

令和2（2020）年度
武蔵野市民意識調査報告書

令和3（2021）年3月

武 蔵 野 市

は じ め に

武蔵野市では、これまで「市民意識調査」を市の総合計画である「長期計画」を新たに策定する際に実施しており、昭和 59 年(1984)年に第1回を実施して以来、今回で 11 回目の調査となります。

調査結果は、市民の皆様の市政に関する意向や地域への関心などを的確に把握するための基礎資料として、長期計画や個別計画の策定を始め、様々な施策の検討に活用してまいりました。

令和2年度を初年度とする第六期長期計画の基本施策として掲げられている「効果的な広報・広聴の仕組みづくりとシティプロモーション」において、各種アンケート調査の他、市民と市長との対話の機会や意見交換会などの広聴の機会を充実させることで市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、市民が市への愛着を高め、住み続けたいと思う施策の実施を取り組み事項としています。これを受けて本年度より本調査と市政アンケート調査を隔年で交互に実施する方式に改め、本調査の結果を今後の市政全般に関する基礎資料とするとともに、現在行っている事務や事業を評価し、新しい行政課題や多様な市民ニーズ、満足度を把握することを目的として実施しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症に関する項目を新たに追加し、現状やご意見を伺いました。

このたびまとめました調査結果についても、市民の皆様からの貴重なご意見として、市の施策に役立て、誰もが安心して暮らし続けられるための市政を推進していきたいと思えます。

この調査にご協力をいただきました市民の皆様には心からお礼を申し上げますとともに、今後とも市政へのご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年3月

武 蔵 野 市 長

松下 玲子

はじめに

武蔵野市民意識調査実施の沿革	1
I 調査の概要	3
II 調査回答者の属性	7
III 調査結果	15
1 お住まいの地域のことについて	17
1-1 定住のきっかけ	17
1-2 生活環境の評価	21
1-3 定住意向	26
1-4 定住意向の理由	31
1-5 転出意向の理由	38
1-6 地域への関心度	48
1-7 近隣との交際状況	57
1-8 近隣との交際のきっかけ	62
1-9 近隣との交際がない理由	64
1-10 地域における行動の状況・意向	68
1-11 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと	71
1-12 地域への誇り・愛着	73
1-13 困っていること・不安なこと	79
1-14 手伝ってもらおう相手	84
1-15 相談相手	87
2 市政に関する情報提供などについて	90
2-1 市の情報の入手状況	90
2-2 知りたい行政情報	93
2-3 広報媒体の認知状況	100
3 市の施策に対する満足度・重要度について	102
3-1 満足度	102
3-2 重要度	113
3-3 ニーズ得点	123
3-4 満足度と重要度の分析(居住地域別)	131
3-5 市政の現状や問題点	134
3-6 武蔵野市の将来像	135
4 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供などについて	140
4-1 新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手状況	140
4-2 新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手手段	143
5 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度・重要度について	145
5-1 満足度	145
5-2 重要度	157
6 新型コロナウイルス感染症の状況下での行動変化について	163
6-1 心配や負担の内容	163
6-2 緊急事態宣言発令期間中の外出先	167
6-3 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度	170
6-4 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度の変化	173
6-5 オンライン活動の現状	176
6-6 新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用する頻度・回数が増えたもの	180
6-7 今後も利用が促進されるべきオンライン活動	184
7 市政についての自由回答	188
8 新型コロナウイルス感染症についての自由回答	201
IV 調査票	211

武蔵野市民意識調査実施の沿革

武蔵野市では、昭和59(1984)年に第1回市民意識調査を実施して以降、3～4年に一度の間隔で「武蔵野市民意識調査」を継続して行っています。調査項目と実施の背景は以下の表のとおりです。

第11回である今回の調査は、郵送配布－郵送・WEB回収併用法によって行いました。その中で、標本対象を前回調査と同様に満18歳以上とし、3,500件の調査票を郵送したところ、1,805件の市民の皆様の声をいただきました。

また調査項目を一部変更・追加し、近年の社会状況等を勘案して一部を見直すとともに、「新型コロナウイルス感染症に関する情報提供などについて」、「新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度」などの設問を追加しました。

	実施年度	調査手法	標本数 /回収率	調査項目
第1回	昭和59(1984)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 82.0%	1 地域に関する関心 2 市政評価 3 学習活動と教育 4 『老後』観 5 市政と情報
第2回	昭和62(1987)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.9%	1 地域生活とコミュニティ意識 2 市政評価と自治体意識 3 有償福祉に対する市民意識
第3回	平成3(1991)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 71.9%	1 地域に関する関心 2 市政の主要課題に対する考え 3 市政の現状、今後のあるべき姿について
第4回	平成7(1995)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.3%	1 地域に関する関心 2 市政の主要課題に対する考え 3 市政の現状、今後のあるべき姿について
第5回	平成11(1999)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.2%	1 地域に関する関心 2 ボランティア活動とコミュニティ活動 3 市政の主要課題に対する考え 4 市の行政のあり方について 5 市政の現状、今後のあるべき姿について
第6回	平成15(2003)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 72.1%	1 地域に関する関心 2 ボランティア活動 3 市民生活の安全 4 市政の主要課題に対する考え 5 市政の現状、今後のあるべき姿について
第7回	平成19(2007)年	郵送配布－ 郵送回収法	3,000 48.1%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第8回	平成22(2010)年	郵送配布－ 郵送回収法	3,500 47.8%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第9回	平成26(2014)年	郵送配布－ 郵送回収法	3,500 40.1%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第10回	平成30(2018)年	郵送配布－ 郵送・WEB 回収併用法	3,500 43.0%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第11回	令和2(2020)年	郵送配布－ 郵送・WEB 回収併用法	3,500 51.6%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度 4 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供など について 5 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度・ 重要度

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の経緯と目的

武蔵野市では、長期計画・調整計画の策定に先立ち、市民の皆様の市政に対する考えをうかがうことを目的に、市民意識調査を実施してきました。今回の調査結果を今後の長期計画・調整計画を含めた市政全般に関する基礎資料とするとともに、現在行っている事務や事業を評価し、新しい行政課題や多様な市民ニーズ、満足度を把握することを目的として実施しました。

2 調査項目

今回の調査では、以下のテーマについて調査しました。

<調査テーマ>	<問番号>
(1) お住まいの地域のことについて 〔定住のきっかけ、生活環境の評価、定住意向、地域への関心度、近隣との交際状況、地域における行動の状況・意向、地域の活動の参加者を増やすために必要なこと、地域への誇り・愛着、困っていること・不安なこと、手伝ってもらう相手、相談相手〕	(問1～問11)
(2) 市政に関する情報提供などについて 〔市の情報の入手状況、知りたい市政情報、広報媒体の認知状況〕	(問12～問14)
(3) 市の施策に対する満足度・重要度について 〔市の施策に対する満足度・重要度、市政の現状や問題点、市の将来像〕	(問15～問17)
(4) 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供などについて	(問18～問19)
(5) 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度について 〔市の施策に対する満足度・重要度 新型コロナウイルス感染症の状況下での心配や負担の内容など〕	(問20～問25)
(6) 自由意見欄 〔市政についての自由意見 新型コロナウイルス感染症に関する市の政策についての自由意見〕	

3 調査設計

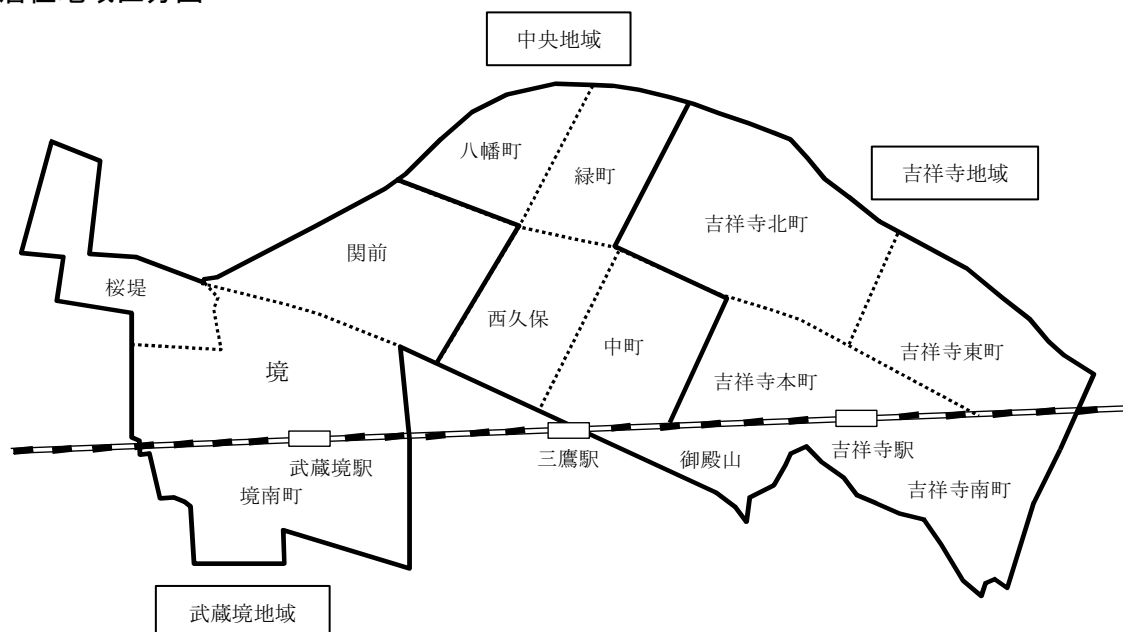
- | | |
|----------|----------------------------|
| (1) 調査地域 | 武蔵野市全域 |
| (2) 調査対象 | 武蔵野市に居住する満18歳以上の方 |
| (3) 標本抽出 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送配布－郵送・WEB回収併用・封書による督促を1回 |
| (5) 調査時期 | 令和2年9月1日(火)～9月18日(金) |

4 回収結果

	標本数	回収率	
今回	3,500標本	51.6% (1,805件)	郵送回収：1,244件 WEB回収：561件
平成30年	3,500標本	43.0% (1,504件)	郵送回収：1,180件 WEB回収：324件
平成26年	3,500標本	40.1% (1,403件)	

5 居住地域区分

◆ 居住地域区分図



◆ 居住地域該当町表

＜地域名＞	＜地域該当町＞
1 吉祥寺地域	吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町
2 中央地域	中町、西久保、緑町、八幡町
3 武蔵境地域	関前、境、境南町、桜堤

6 報告書の見方

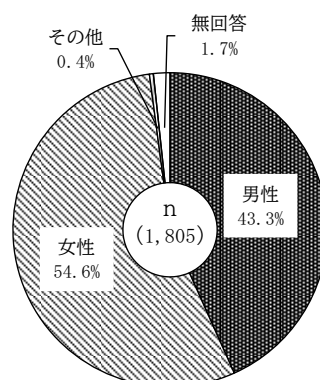
- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数です。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- (4) 性別の「その他」、年齢の「18～19歳」については、回答数が少ないため、数値の見方に注意が必要です。
- (5) 各設問の回答者の属性別の表では、無回答数を表記していないため、合計が全体の数値と合わない場合があります。
- (6) いくつかの調査項目は平成30年度（前回調査）と比較しています。
- (7) 問22～問25については、集計結果をわかりやすく示すために、「新型コロナウイルス感染症の状況下での行動変化について」として新たに項目を作成しています。

Ⅱ 調査回答者の属性

Ⅱ 調査回答者の属性

1 性別

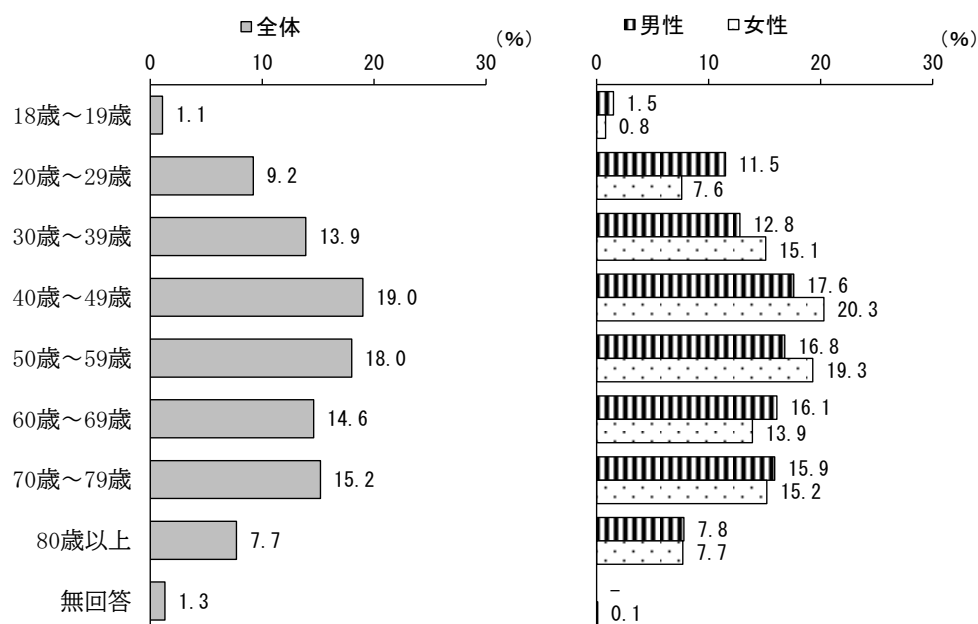
	基 数	構成比 (%)
1 男性	782	43.3
2 女性	986	54.6
3 その他	7	0.4
(無回答)	30	1.7
合 計	1,805	100.0



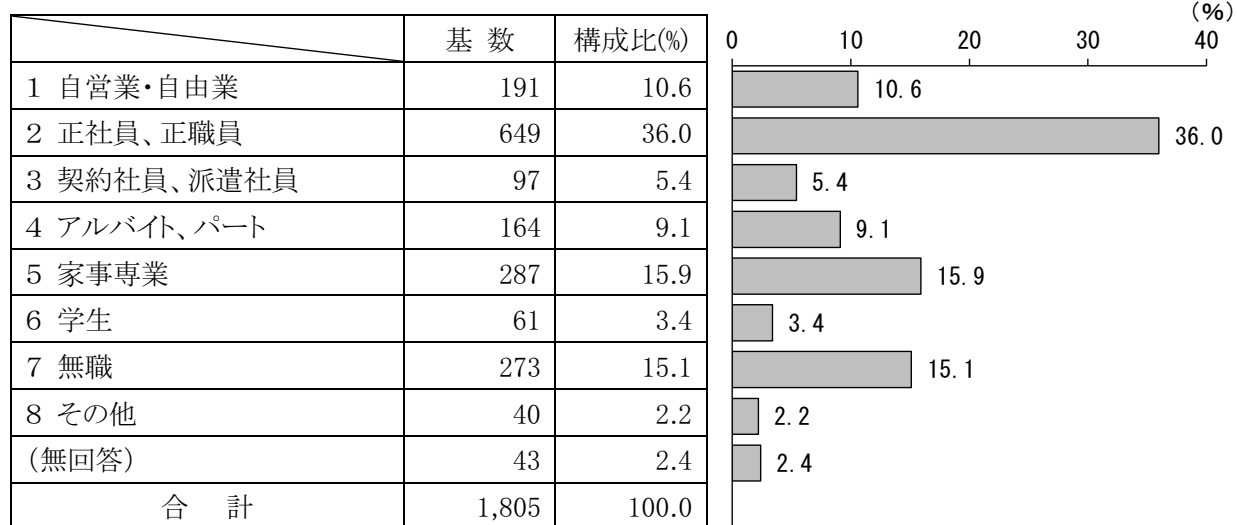
2 年齢／性・年齢

	全体		男性		女性	
	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)
1 18歳～19歳	20	1.1	12	1.5	8	0.8
2 20歳～29歳	166	9.2	90	11.5	75	7.6
3 30歳～39歳	251	13.9	100	12.8	149	15.1
4 40歳～49歳	343	19.0	138	17.6	200	20.3
5 50歳～59歳	324	18.0	131	16.8	190	19.3
6 60歳～69歳	264	14.6	126	16.1	137	13.9
7 70歳～79歳	274	15.2	124	15.9	150	15.2
8 80歳以上	139	7.7	61	7.8	76	7.7
(無回答)	24	1.3	0	0.0	1	0.1
合 計	1,805	100.0	782	100.0	986	100.0

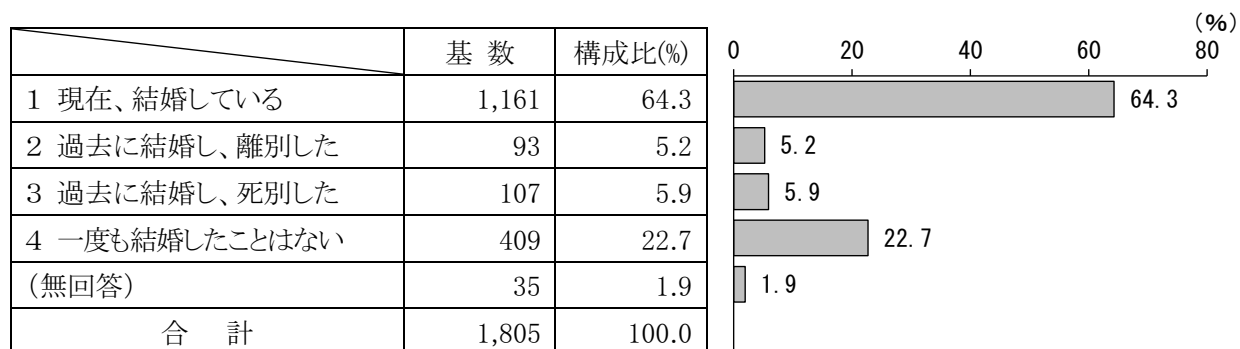
※性別では、男女を足し合わせても、回答数がごく少数のその他・無回答を表記していないため、全体の人数にはなりません。



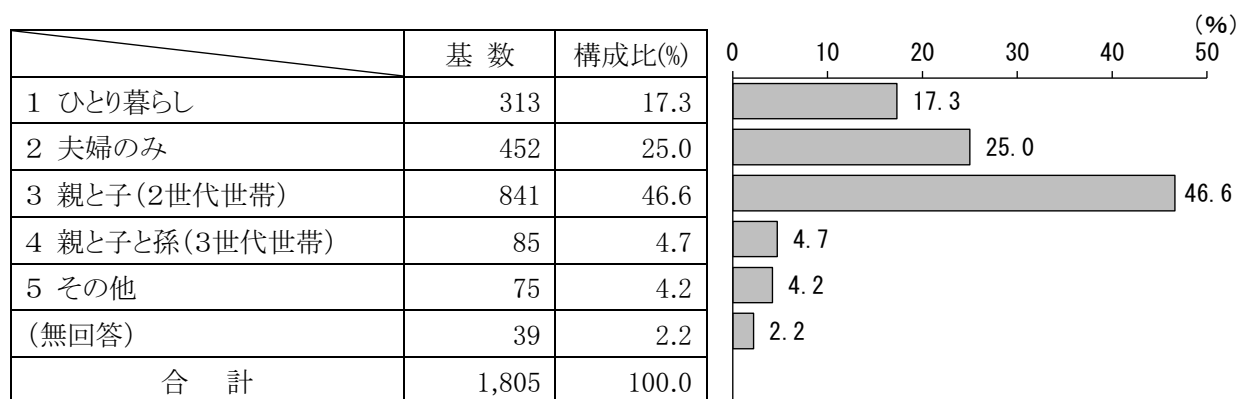
3 職業



4 婚姻状況

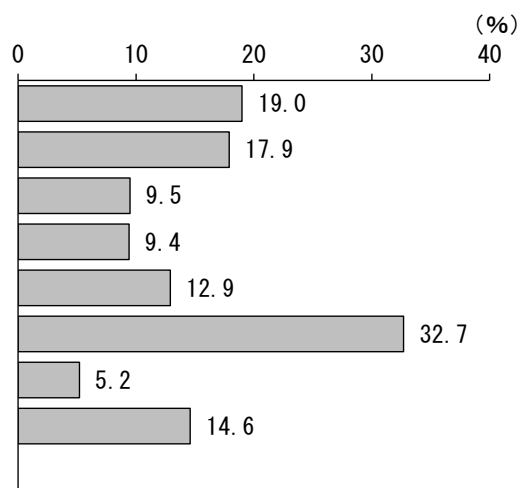


5 家族構成



5-1 お子さんの就学状況

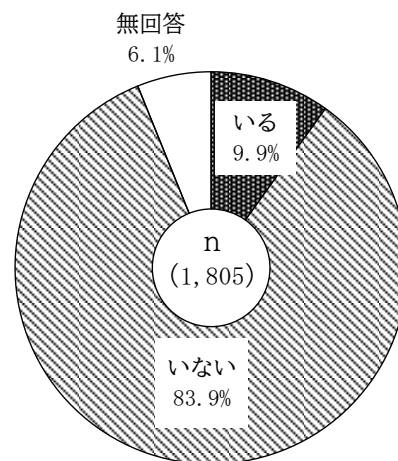
	基 数	構成比(%)
1 小学校入学前	176	19.0
2 小学生	166	17.9
3 中学生	88	9.5
4 高校生	87	9.4
5 専門学校、短期大学、大学生等	119	12.9
6 社会人	303	32.7
7 その他	48	5.2
(無回答)	135	14.6
合 計	1,122	



※回答者数は 926 です。

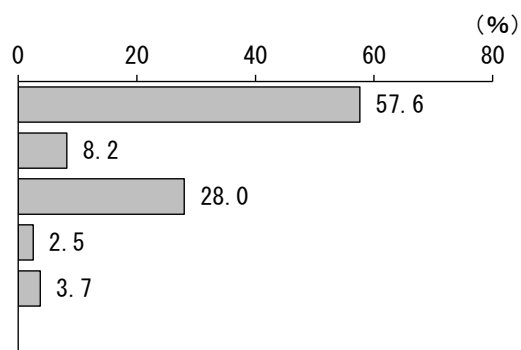
6 介護が必要な高齢者や障がい者の同居の有無

	基 数	構成比(%)
1 いる	179	9.9
2 いない	1,515	83.9
(無回答)	111	6.1
合 計	1,805	100.0

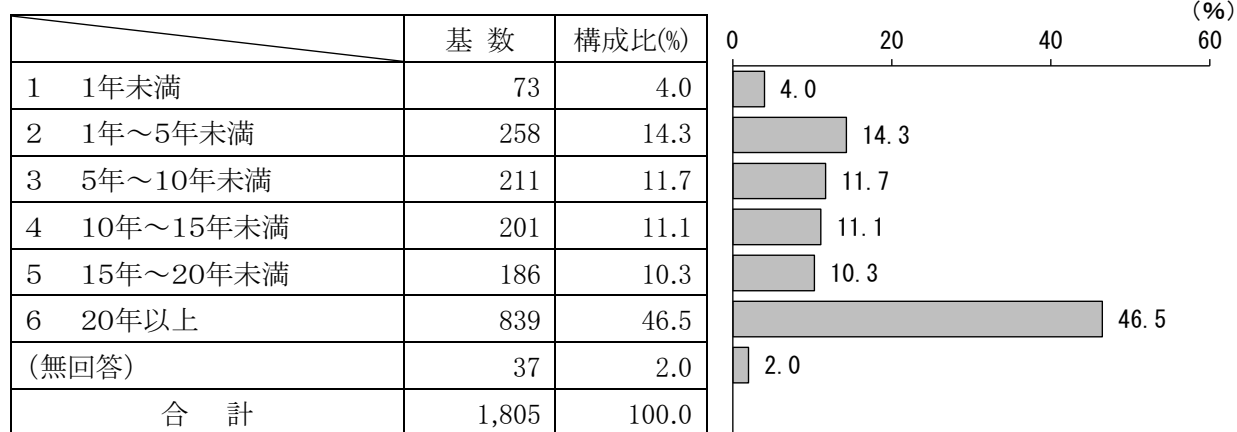


7 日中最も多くの時間を過ごす場所

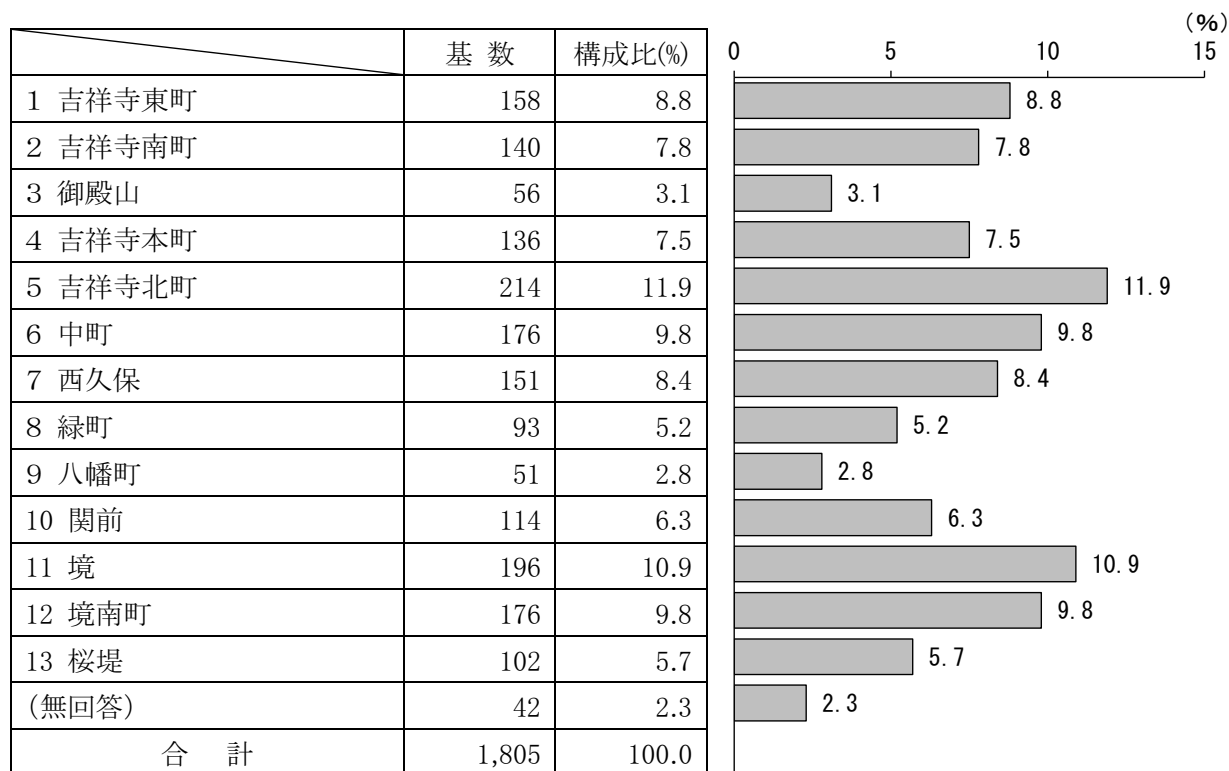
	基 数	構成比(%)
1 武蔵野市内	1,040	57.6
2 武蔵野市以外の東京都の市町村	148	8.2
3 東京都23区内	505	28.0
4 東京都外	45	2.5
(無回答)	67	3.7
合 計	1,805	100.0



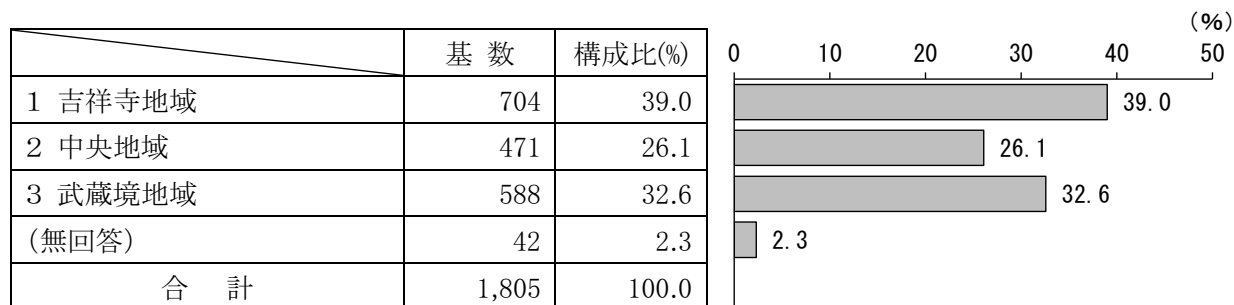
8 居住年数



9 居住町名



9-1 居住地域※

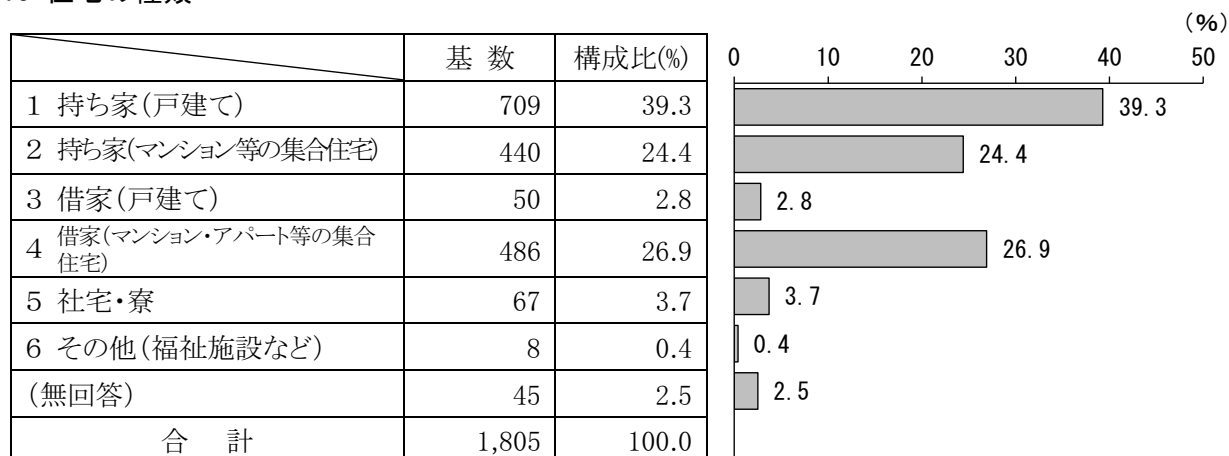


※吉祥寺地域 …(吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町)

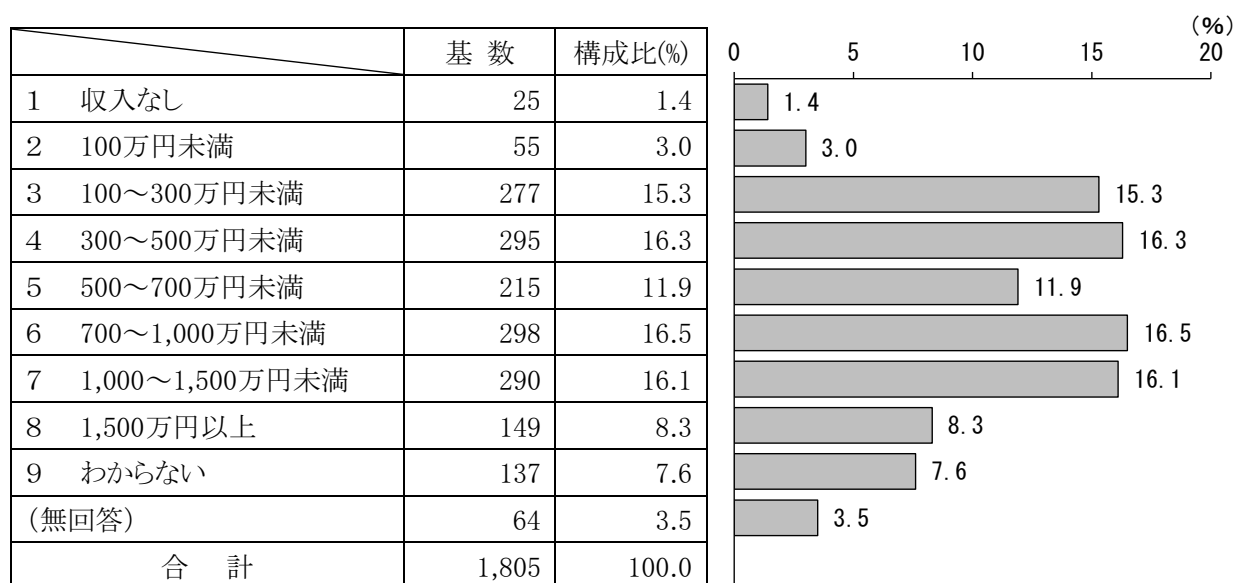
中 央 地 域 …(中町、西久保、緑町、八幡町)

武蔵境地域 …(関前、境、境南町、桜堤)

10 住宅の種類



11 世帯収入



Ⅲ 調査結果

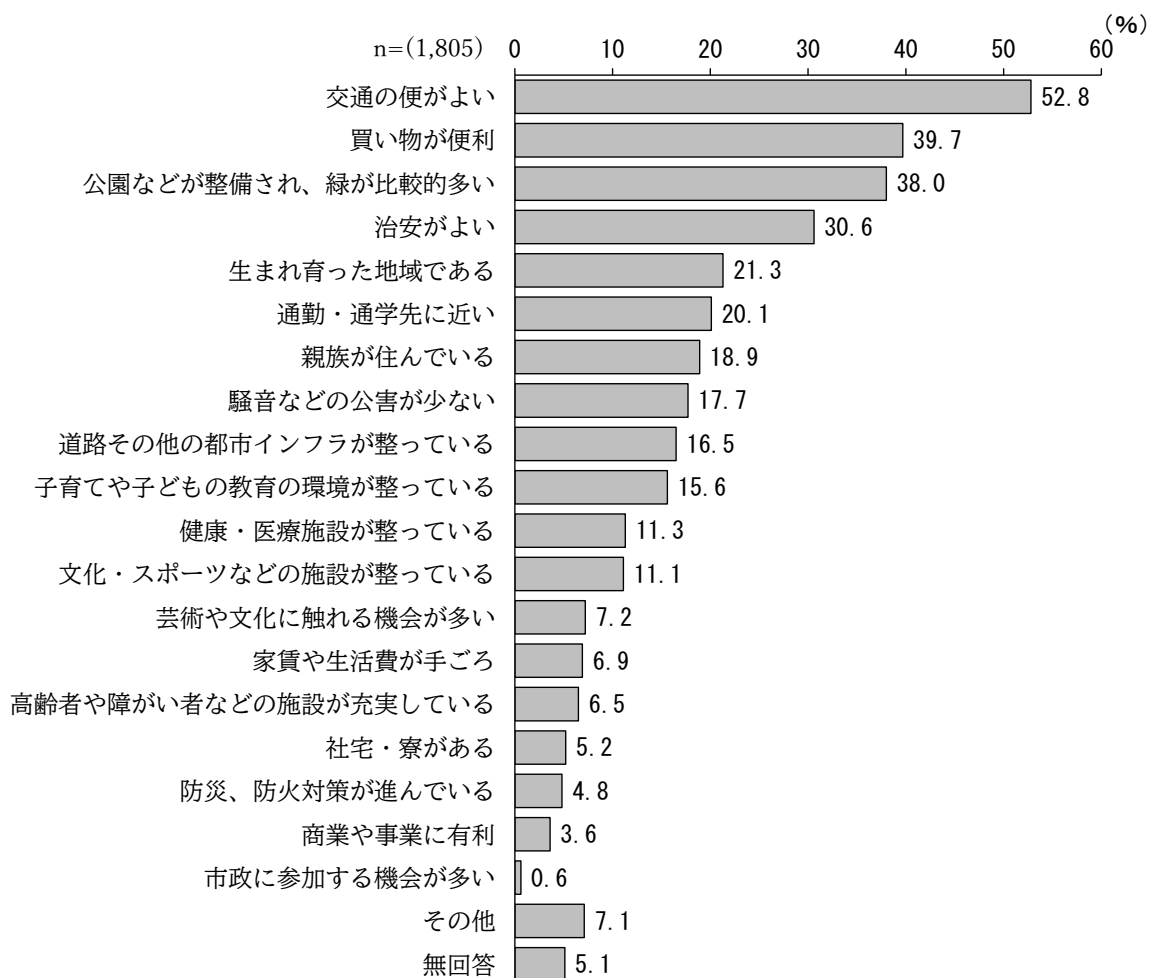
1 お住まいの地域のことについて

1-1 定住のきっかけ

◎「交通の便がよい」、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」が上位3項目。

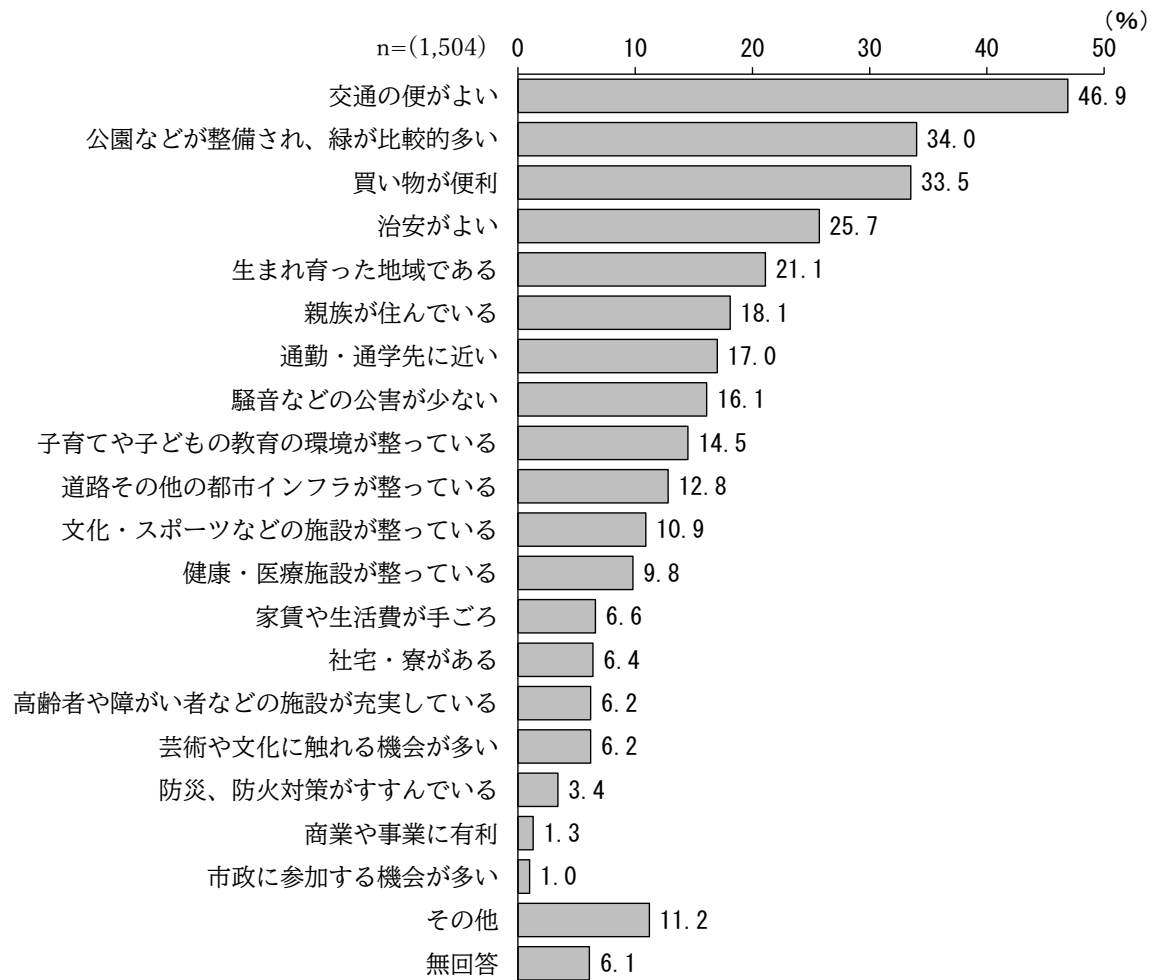
問1 あなたが現在住んでいるところに住みはじめた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1-1 定住のきっかけ(複数回答)



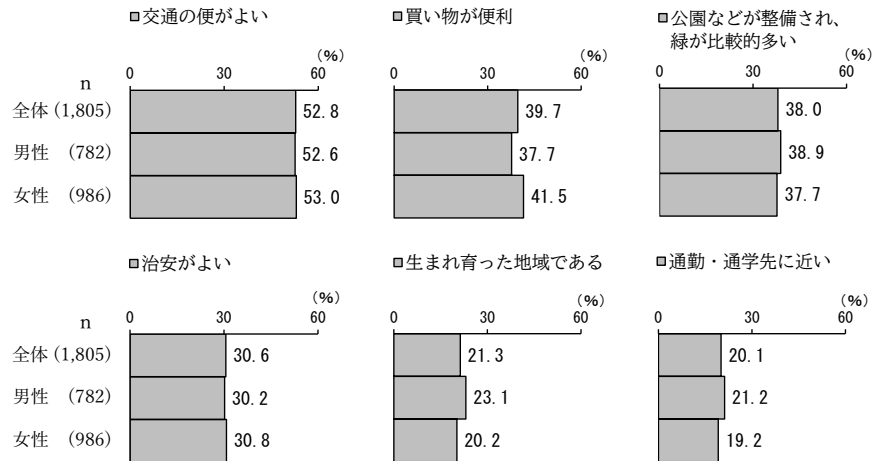
定住のきっかけとしては、「交通の便がよい」(52.8%)が5割を超えて最も高い。次いで、「買い物が便利」(39.7%)「公園などが整備され、緑が比較的多い」(38.0%)、「治安がよい」(30.6%)が3割台、「生まれ育った地域である」(21.3%)、「通勤・通学先に近い」(20.1%)がそれぞれ2割台で続く。(図表1-1)

参考：平成 30 年度調査の結果



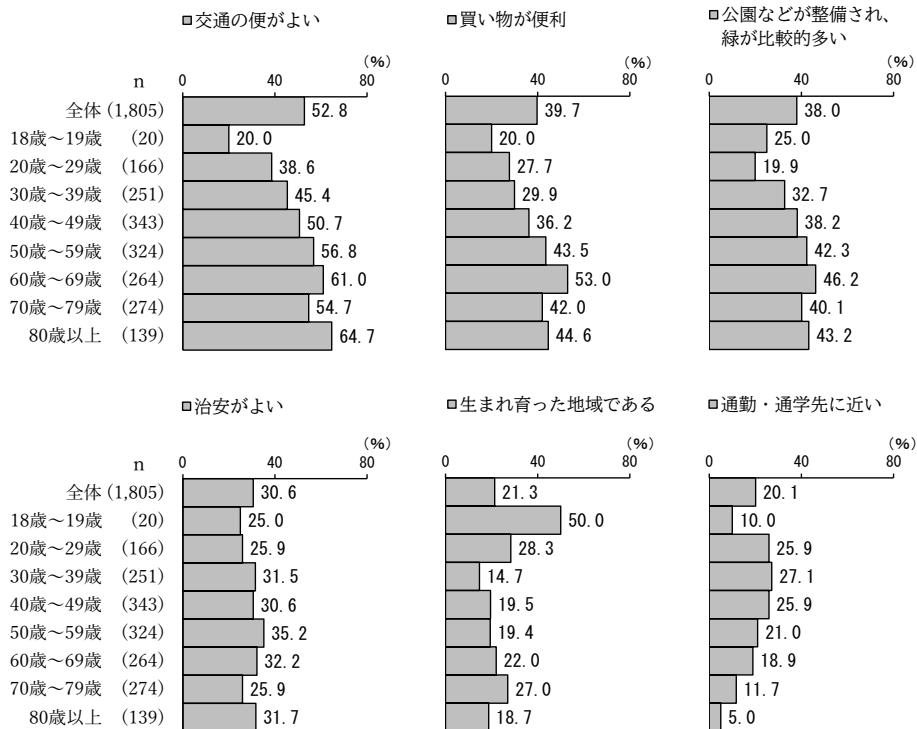
前回調査と比較すると、「買い物が便利」が6.2ポイント増加し2位となった。3位は「公園などが整備され、緑が比較的多い」で4.0ポイントの増加となっている。上位3項目の割合が高い点に変わりはないものの、続く4位の「治安がよい」は4.9ポイント増加している。

図表1－2 定住のきっかけ（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「買い物が便利」では、女性の方が男性よりも3.8ポイントとやや高くなっている。他の項目では性別による大きな違いは見られない。（図表1－2）

図表1－3 定住のきっかけ（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「交通の便がよい」は、60歳～69歳、80歳以上で最も高く6割を超えている。次いで50歳～59歳、70歳～79歳、40歳～49歳で5割台となっている。「買い物が便利」は、60歳～69歳で5割台前半と最も高く、次いで80歳以上、50歳～59歳、70歳～79歳で約4割となっている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、60歳～69歳で4割台後半と最も高く、次いで80歳以上、50歳～59歳、70歳～79歳で4割台前半となっている。「治安がよい」は、50歳～59歳で3割台後半と最も高く、次いで60歳～69歳、80歳以上、30歳～39歳、40歳～49歳で3割台となっている。「生まれ育った地域である」は、18歳～19歳が5割で最も高く、20歳～29歳、70歳～79歳で2割台後半となっている。「通勤・通学先に近い」は、30歳～39歳、20歳～29歳、40歳～49歳で2割台後半となっている。（図表1－3）

図表1－4 定住のきっかけ（居住地域別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 52.8	買い物が便利 39.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 38.0	治安がよい 30.6	生まれ育った地域 である 21.3
居住地域別	吉祥寺地域	交通の便がよい 53.7	買い物が便利 46.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 38.5	治安がよい 26.8	生まれ育った地域 である 23.7
		交通の便がよい 58.2	買い物が便利 52.5	生まれ育った地域 である 27.2	治安がよい 26.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 24.7
		交通の便がよい 54.3	買い物が便利 公園などが整備され、 緑が比較的多い 49.3	－ －	親族が住んでいる 27.9	生まれ育った地域 である 25.7
		交通の便がよい 67.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 57.1	買い物が便利 42.9	治安がよい 32.1	道路その他の都市 インフラが整っている 23.2
		交通の便がよい 58.8	買い物が便利 55.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 37.5	治安がよい 27.9	生まれ育った地域 である 25.7
		交通の便がよい 43.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 37.4	買い物が便利 36.4	治安がよい 27.1	通勤・通学先に近い 21.0
	中央地域	交通の便がよい 55.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 36.9	買い物が便利 36.1	治安がよい 35.2	生まれ育った地域 である 19.3
		交通の便がよい 65.3	買い物が便利 40.3	治安がよい 36.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 33.0	生まれ育った地域 である 23.3
		交通の便がよい 53.0	治安がよい 35.8	買い物が便利 33.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 31.8	騒音などの公害が 少ない 21.9
		交通の便がよい 公園などが整備され、 緑が比較的多い 51.6	－ －	買い物が便利 41.9	治安がよい 34.4	子育てや子どもの教育 の環境が整っている 25.8
		公園などが整備され、 緑が比較的多い 39.2	交通の便がよい 31.4	治安がよい 29.4	親族が住んでいる 25.5	社宅・寮がある 23.5
	武蔵境地域	交通の便がよい 50.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 38.4	買い物が便利 34.4	治安がよい 32.3	通勤・通学先に近い 21.4
		交通の便がよい 47.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 45.6	治安がよい 27.2	買い物が便利 子育てや子どもの教育 の環境が整っている 23.7	－ －
		交通の便がよい 52.6	買い物が便利 42.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 治安がよい 30.1	－ －	通勤・通学先に近い 22.4
		交通の便がよい 58.0	買い物が便利 39.2	治安がよい 34.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 27.3	通勤・通学先に近い 24.4
		公園などが整備され、 緑が比較的多い 65.7	治安がよい 39.2	交通の便がよい 36.3	騒音などの公害が 少ない 26.5	道路その他の都市 インフラが整っている 25.5

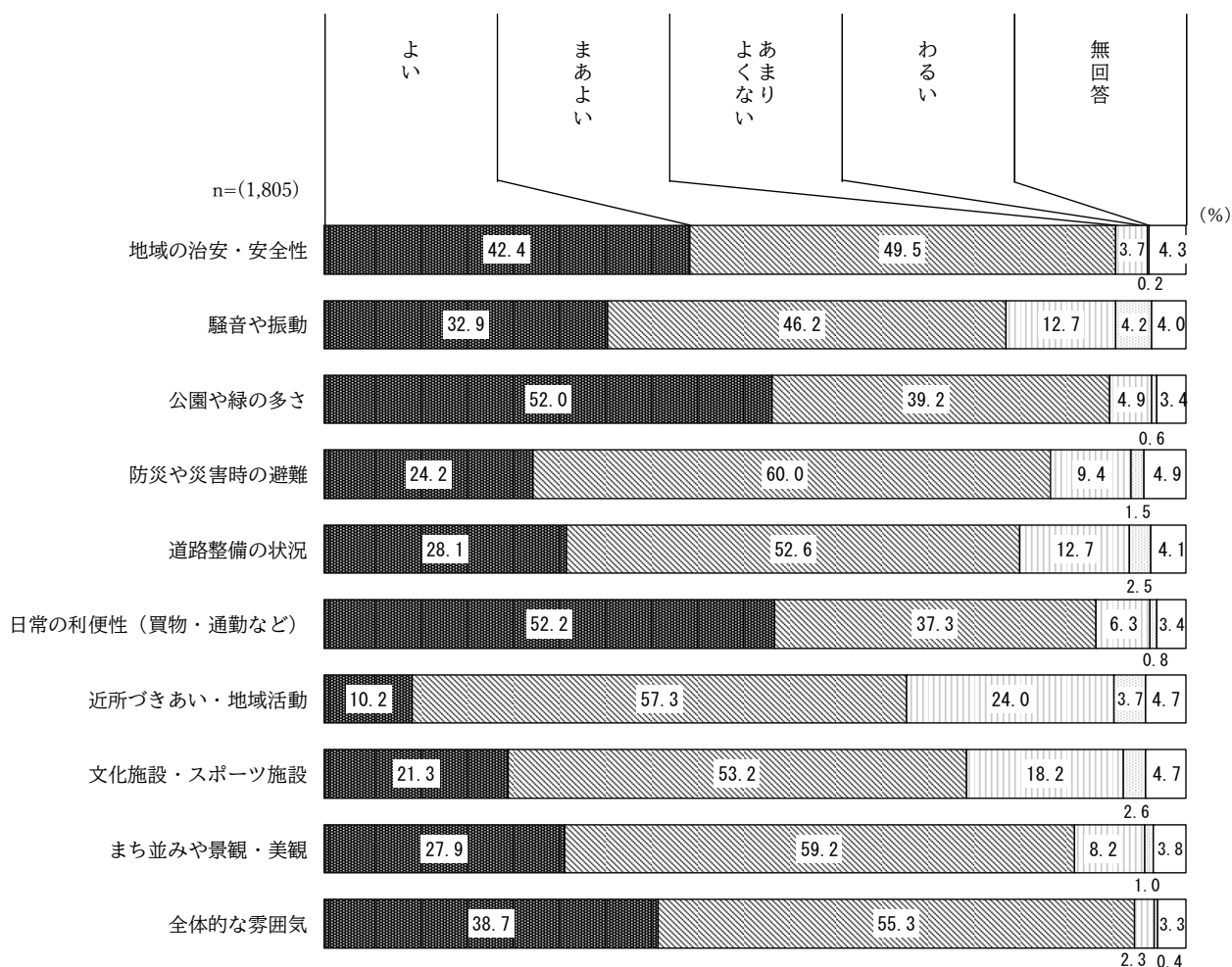
居住地域別で見ると、「交通の便がよい」は、八幡町、桜堤以外で第1位となっており、御殿山で6割台後半と最も高くなっている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、緑町、八幡町、桜堤で第1位となっている。（図表1－4）

1－2 生活環境の評価

◎「よい」が〔日常の利便性(買物・通勤など)〕、〔公園や緑の多さ〕で5割台前半となっている。
〔全体的な雰囲気〕では「まあよい」が5割台半ばである。

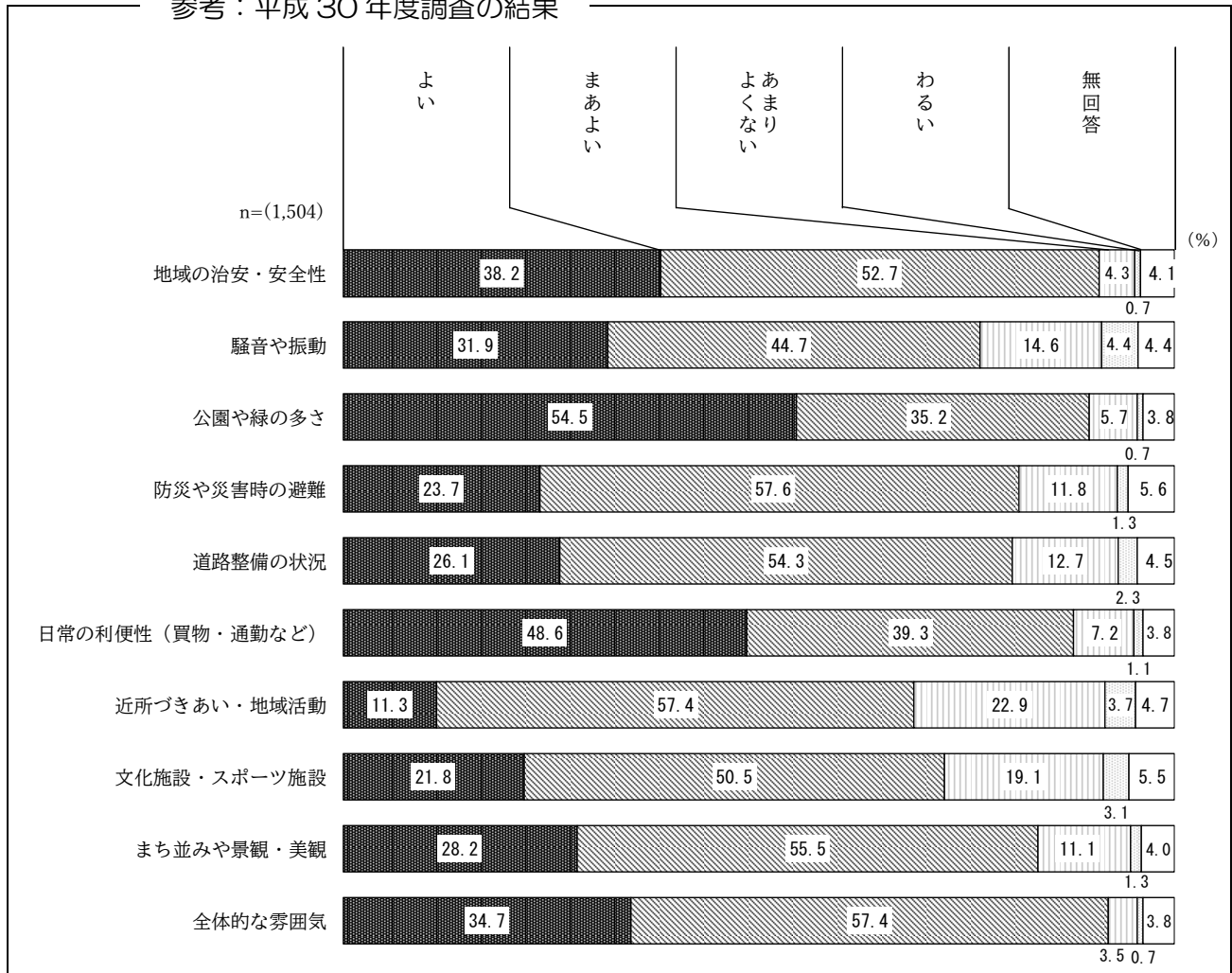
問2 あなたは、お住まいの周りの環境についてどう思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

図表1－5 生活環境の評価



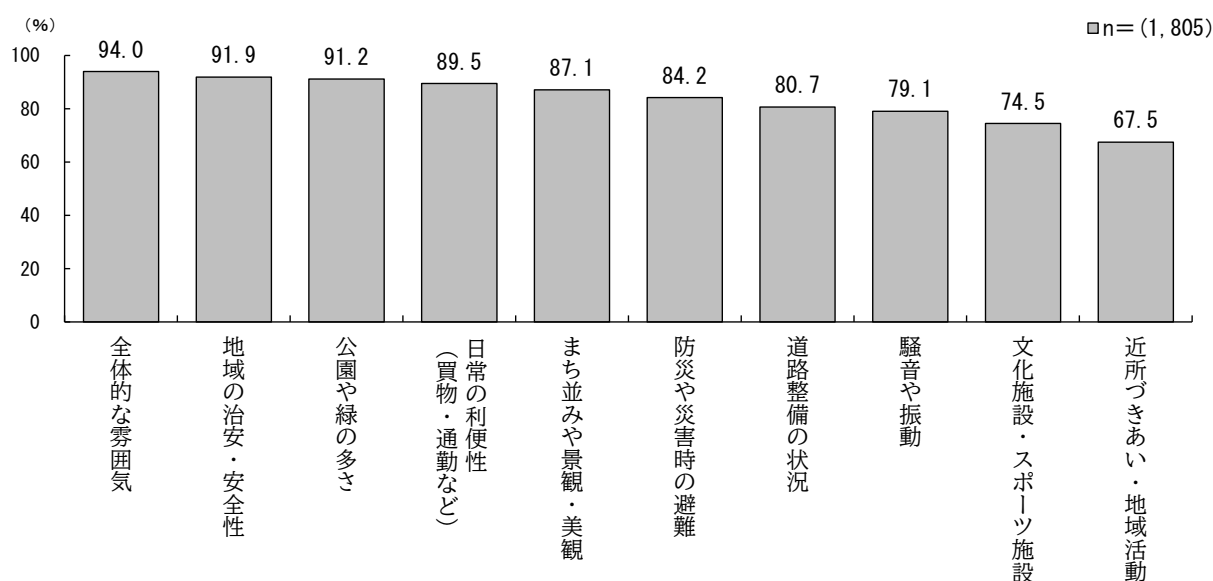
〔全体的な雰囲気〕では、「よい」(38.7%)が3割台後半、「まあよい」(55.3%)が5割台半ばで合わせて9割以上の方から評価を得ている。その他に「よい」が多い項目は、〔日常の利便性(買物・通勤など)〕(52.2%)、〔公園や緑の多さ〕(52.0%)がそれぞれ5割台前半となっている。その他の項目では「まあよい」がそれぞれ最も高い。(図表1－5)

参考：平成 30 年度調査の結果



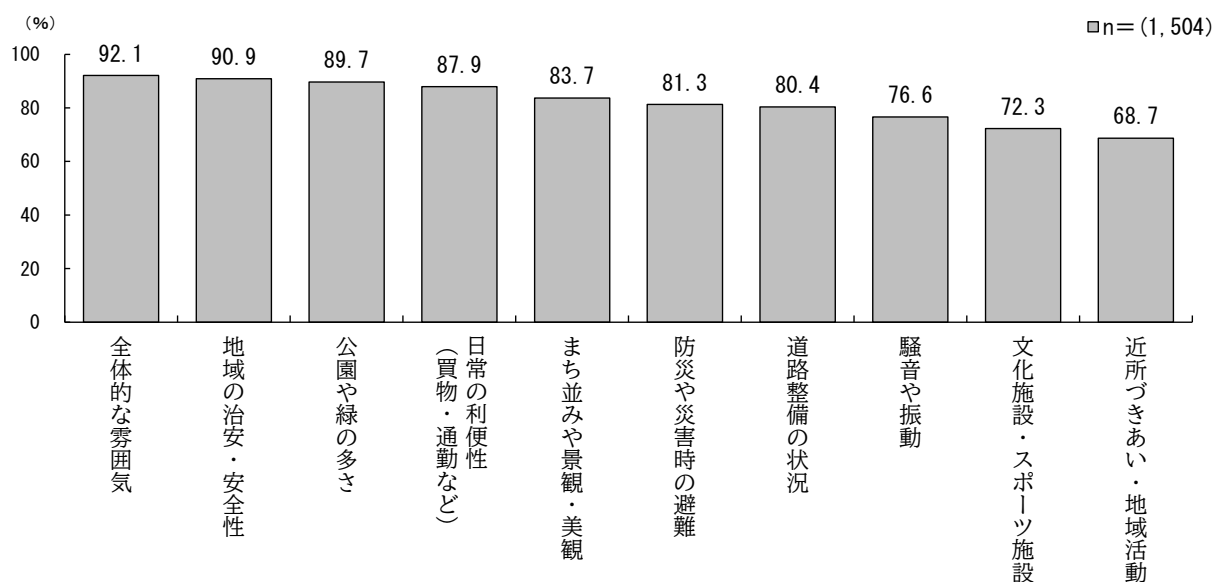
前回調査と比較すると、〔全体的な雰囲気〕は「いい」が4.0ポイント増加し、「まあいい」は、ほとんど変化が見られない。個別に見ると、〔地域の治安・安全性〕について「いい」の割合が4.2ポイント増加しており、〔公園や緑の多さ〕は2.5ポイント減少している。

図表1－6 生活環境の評価（『よい』の多い順）



『よい』（「よい」＋「まあよい」）の多さで見ると、〔全体的な雰囲気〕、〔地域の治安・安全性〕、〔公園や緑の多さ〕が9割を超えている。次いで、〔日常の利便性（買物・通勤など）〕、〔まち並みや景観・美観〕が8割台後半となっている。（図表1－6）

参考：平成30年度調査の結果



前回調査と比較すると、大きな違いは見られない。

図表1－7 生活環境の評価(『よい』の多い順、性別・居住地域別)

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		全体的な雰囲気 94.0	地域の治安・安全性 91.9	公園や緑の多さ 91.2	日常の利便性 (買物・通勤など) 89.5	まち並みや景観・美観 87.1
性別	男性	全体的な雰囲気 95.3	地域の治安・安全性 93.9	公園や緑の多さ 92.8	日常の利便性 (買物・通勤など) 89.6	まち並みや景観・美観 防災や災害時の避難 86.8
	女性	全体的な雰囲気 93.7	地域の治安・安全性 91.0	公園や緑の多さ 90.0	日常の利便性 (買物・通勤など) 89.8	まち並みや景観・美観 87.9
居住地域	吉祥寺地域	全体的な雰囲気 94.0	公園や緑の多さ 91.7	日常の利便性 (買物・通勤など) 90.3	地域の治安・安全性 90.2	まち並みや景観・美観 85.6
	中央地域	全体的な雰囲気 93.9	地域の治安・安全性 93.2	日常の利便性 (買物・通勤など) 90.7	公園や緑の多さ 90.5	まち並みや景観・美観 87.1
	武蔵境地域	全体的な雰囲気 95.1	地域の治安・安全性 93.8	公園や緑の多さ 91.7	まち並みや景観・美観 89.6	日常の利便性 (買物・通勤など) 88.8

『よい』（「よい」＋「まあよい」）の上位5項目を属性別に分析した。
性別による大きな違いは見られない。

居住地域別で見ると、すべての地域で「全体的な雰囲気」が1位となっている。2位は吉祥寺地域で「公園や緑の多さ」、中央地域と武蔵境地域で「地域の治安・安全性」となっている。（図表1－7）

図表1－8 生活環境の評価
 (『よい』の多い順、子どもの就学状況別・介護が必要な同居家族の有無別)

(%)

属性		順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
子どもの就学状況	小学校入学前	全体的な雰囲気	96.0	地域の治安・安全性	まち並みや景観・美観	公園や緑の多さ	-
		防災や災害時の避難				90.4	
	小学生	全体的な雰囲気	95.8	地域の治安・安全性	公園や緑の多さ	防災や災害時の避難	日常の利便性 (買物・通勤など)
						92.7	
	中学生	全体的な雰囲気	94.3	地域の治安・安全性	公園や緑の多さ	日常の利便性 (買物・通勤など)	-
						まち並みや景観・美観	
	高校生	全体的な雰囲気	95.4	公園や緑の多さ	地域の治安・安全性	日常の利便性 (買物・通勤など)	まち並みや景観・美観
						89.6	
同居家族の介護が必要の有無別	いる	全体的な雰囲気	95.5	地域の治安・安全性	公園や緑の多さ	日常の利便性 (買物・通勤など)	まち並みや景観・美観
						90.0	
	いない	全体的な雰囲気	94.9	地域の治安・安全性	公園や緑の多さ	日常の利便性 (買物・通勤など)	まち並みや景観・美観
						90.1	
	その他	全体的な雰囲気	97.9	公園や緑の多さ	地域の治安・安全性	防災や災害時の避難	道路整備の状況
						93.8	
	その他	全体的な雰囲気	97.9	公園や緑の多さ	地域の治安・安全性	防災や災害時の避難	道路整備の状況
						93.8	

『よい』（「よい」＋「まあよい」）の多い5項目を子どもの就学状況別で見ると、すべての就学状況で「全体的な雰囲気」が1位となっている。

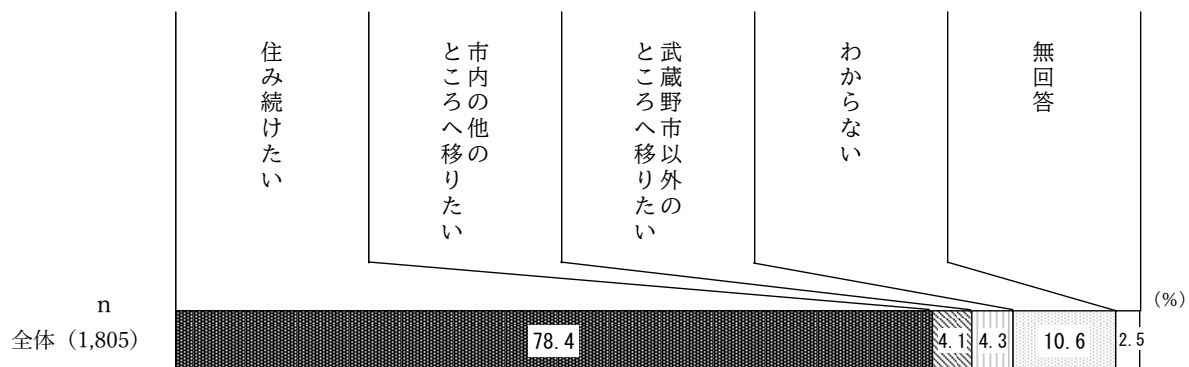
介護が必要な同居家族の有無別による大きな違いは見られない。（図表1－8）

1-3 定住意向

◎ 「住み続けたい」が7割台後半と最も高い。

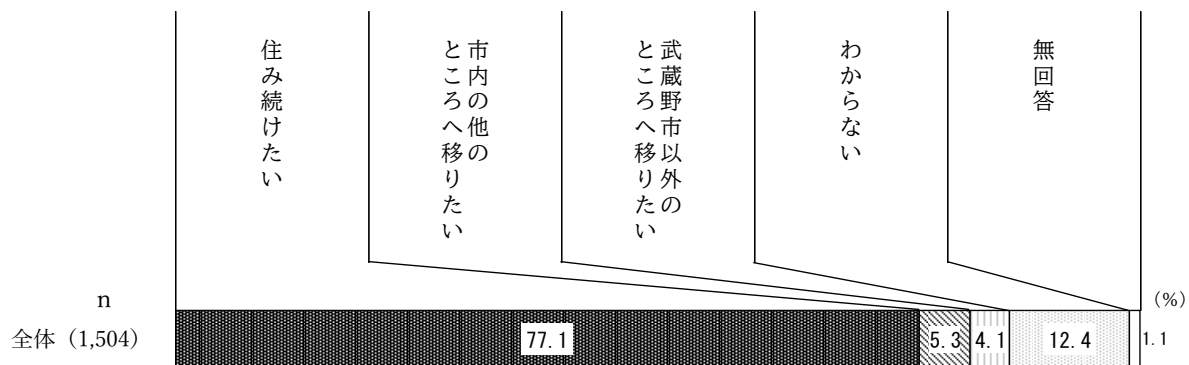
問3 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

図表1-9 定住意向



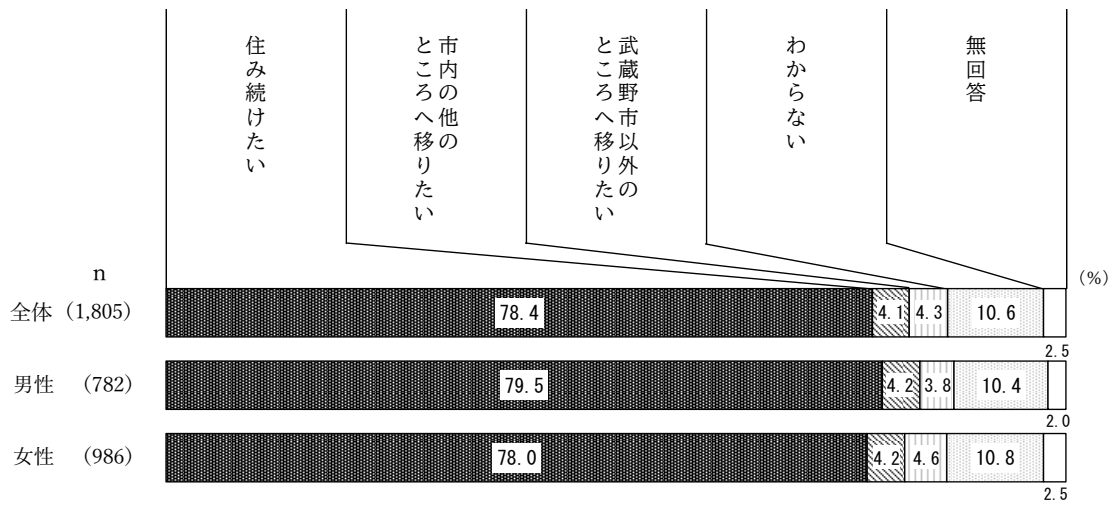
定住意向としては、「住み続けたい」(78.4%)が7割台後半と最も高くなっている。(図表1-9)

参考：平成30年度調査の結果



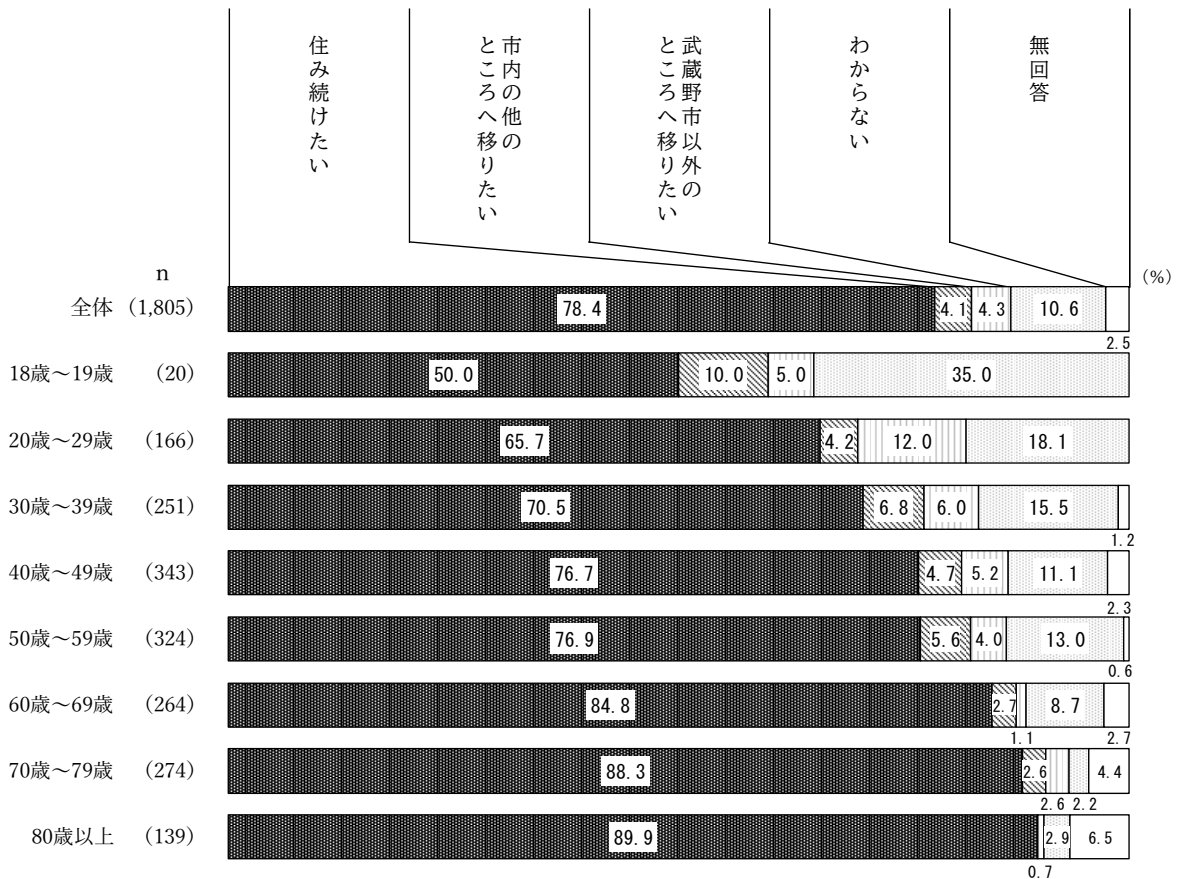
前回調査と比較すると、「住み続けたい」が1.3ポイント増加している。

図表1－10 定住意向（性別）



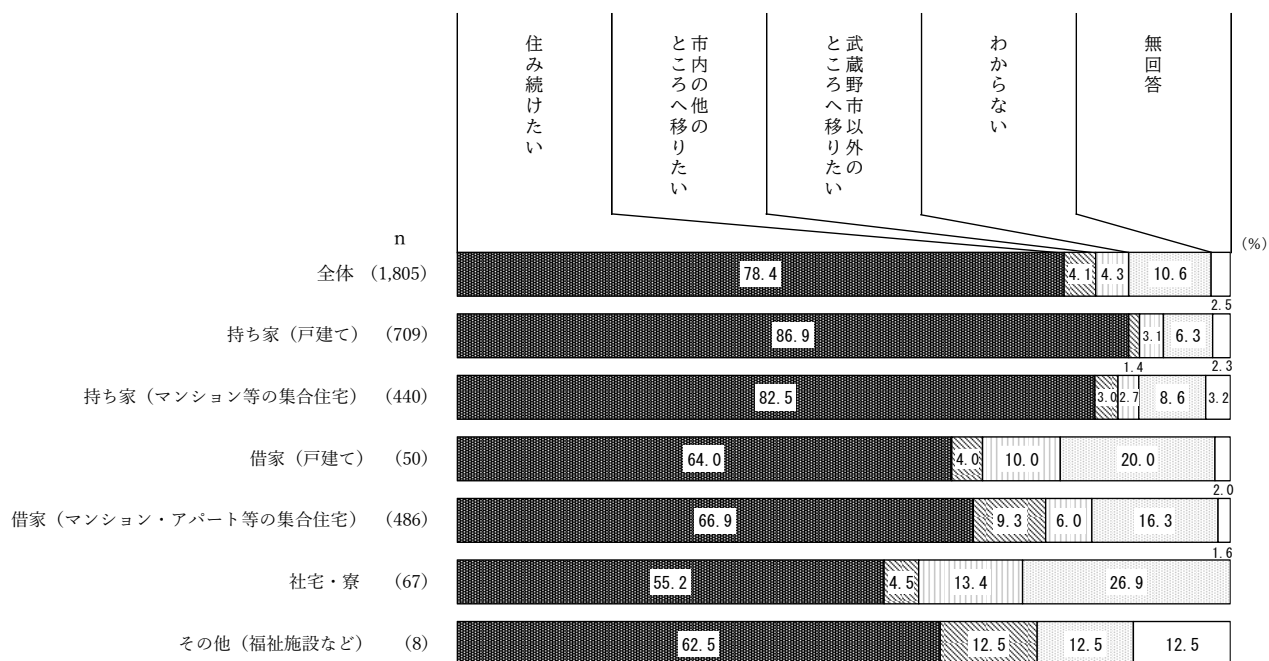
性別で見ると、特に大きな違いは見られない。（図表1－10）

図表1－11 定住意向（年代別）



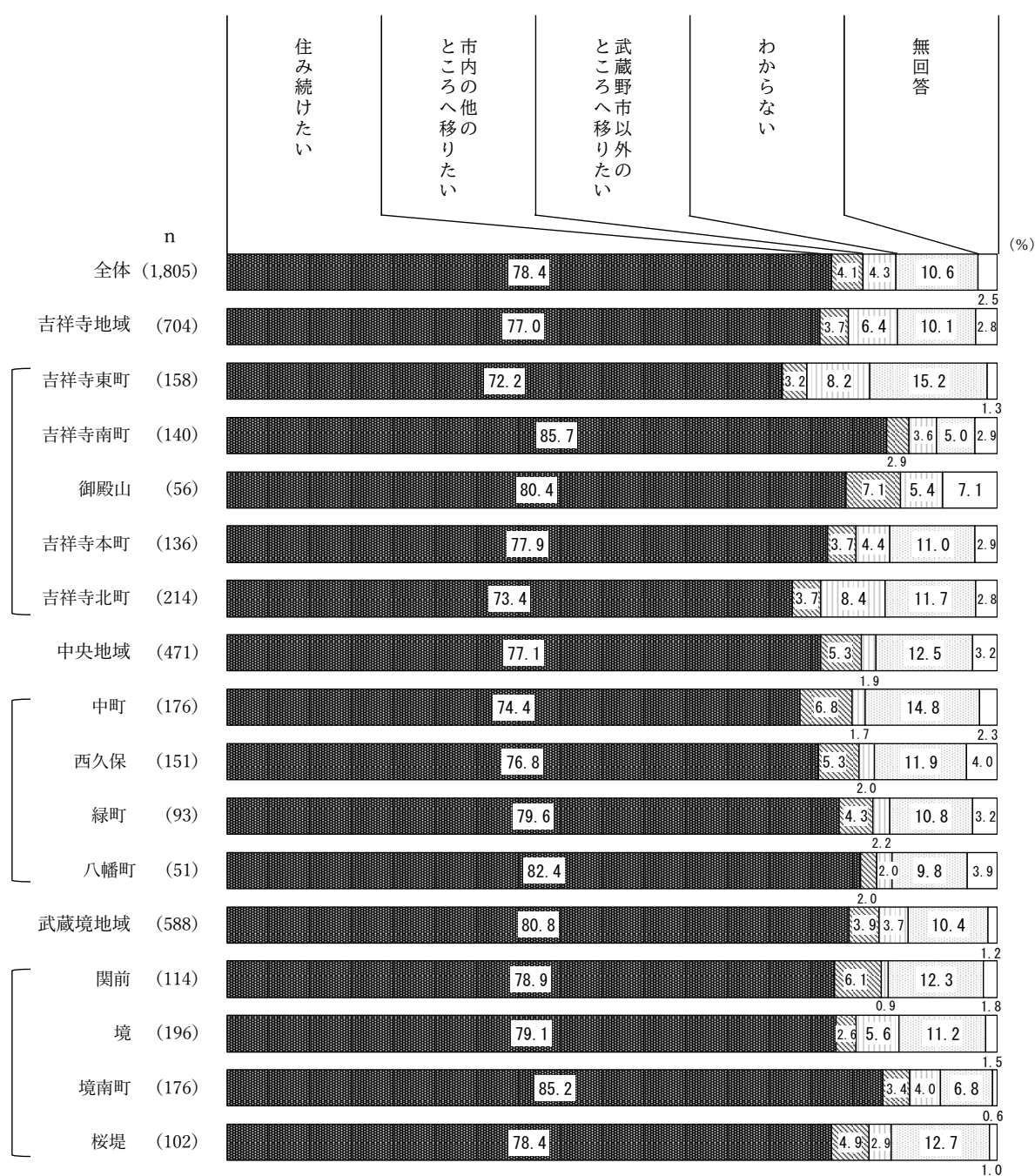
年代別で見ると、「住み続けたい」は、年代が上がるほど増加する傾向にあり、60歳以上の年代で8割を超えている。一方、「わからない」は、年代が低くなるほど増加する傾向にあり、18歳～19歳で3割台半ば、20歳～29歳、30歳～39歳では1割台後半から半ばと他の年代に比べて高くなっている。

図表1－12 定住意向（住宅の種類別）



住宅の種類別で見ると、「住み続けたい」は、持ち家（戸建て）、持ち家（マンション等の集合住宅）で8割を超え、社宅・寮以外では6割台となっている。（図表1－12）

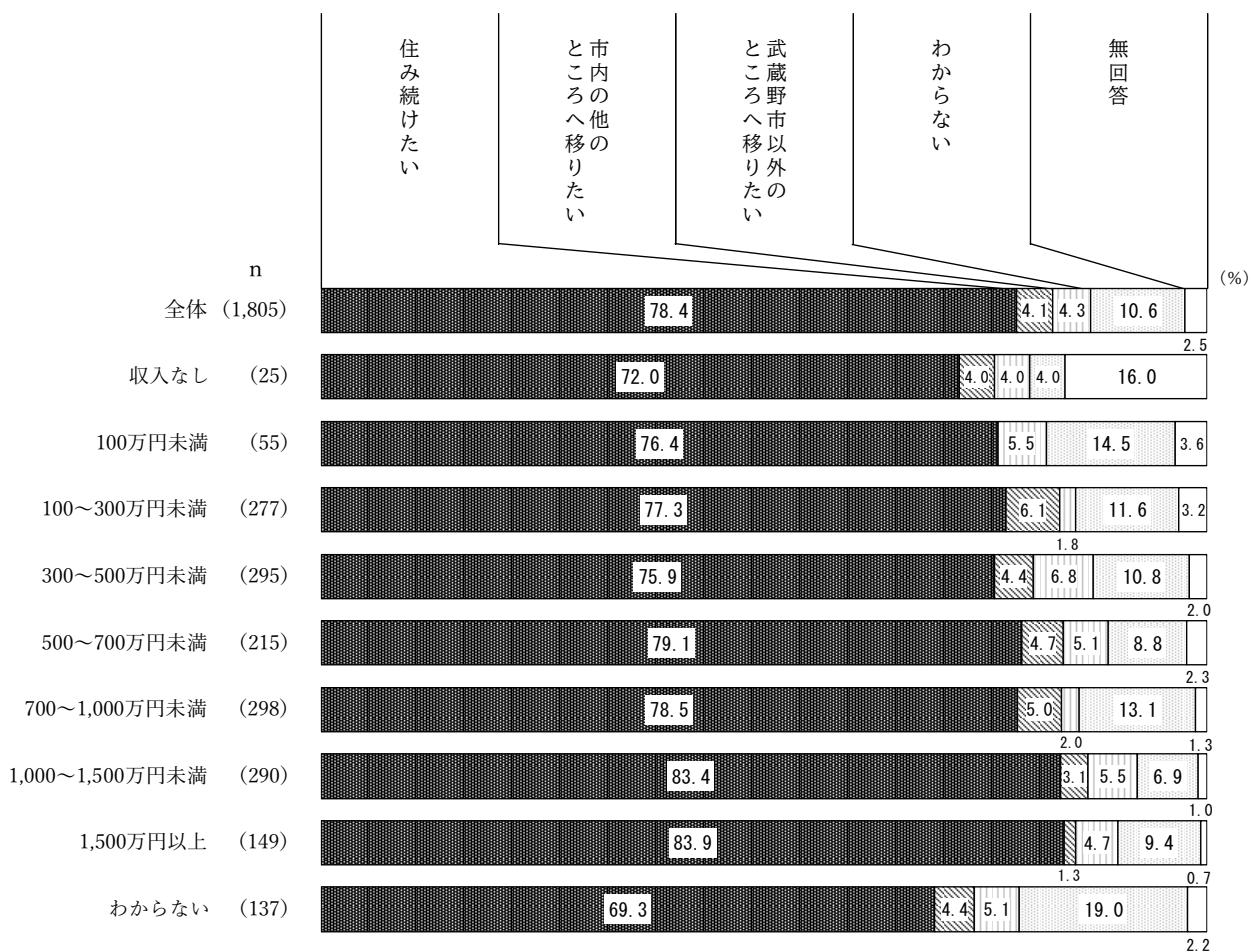
図表1－13 定住意向（居住地域別）



居住地域別で見ると、「住み続けたい」は、武蔵境地域で8割台前半と最も高くなっており、中央地域、吉祥寺地域で7割台後半となっている。

居住町名別で見ると、「住み続けたい」は、吉祥寺南町で8割台後半と最も高く、次いで、境南町でも8割台後半、八幡町、御殿山で8割台前半となっている。（図表1－13）

図表1－14 定住意向（世帯収入別）



世帯収入別で見ると、「住み続けたい」は、1,500万円以上で8割台前半と最も高く、次いで1,000～1,500万円未満でも8割台前半、500～700万円未満、700～1,000万円未満で約8割と続く。（図表1－14）

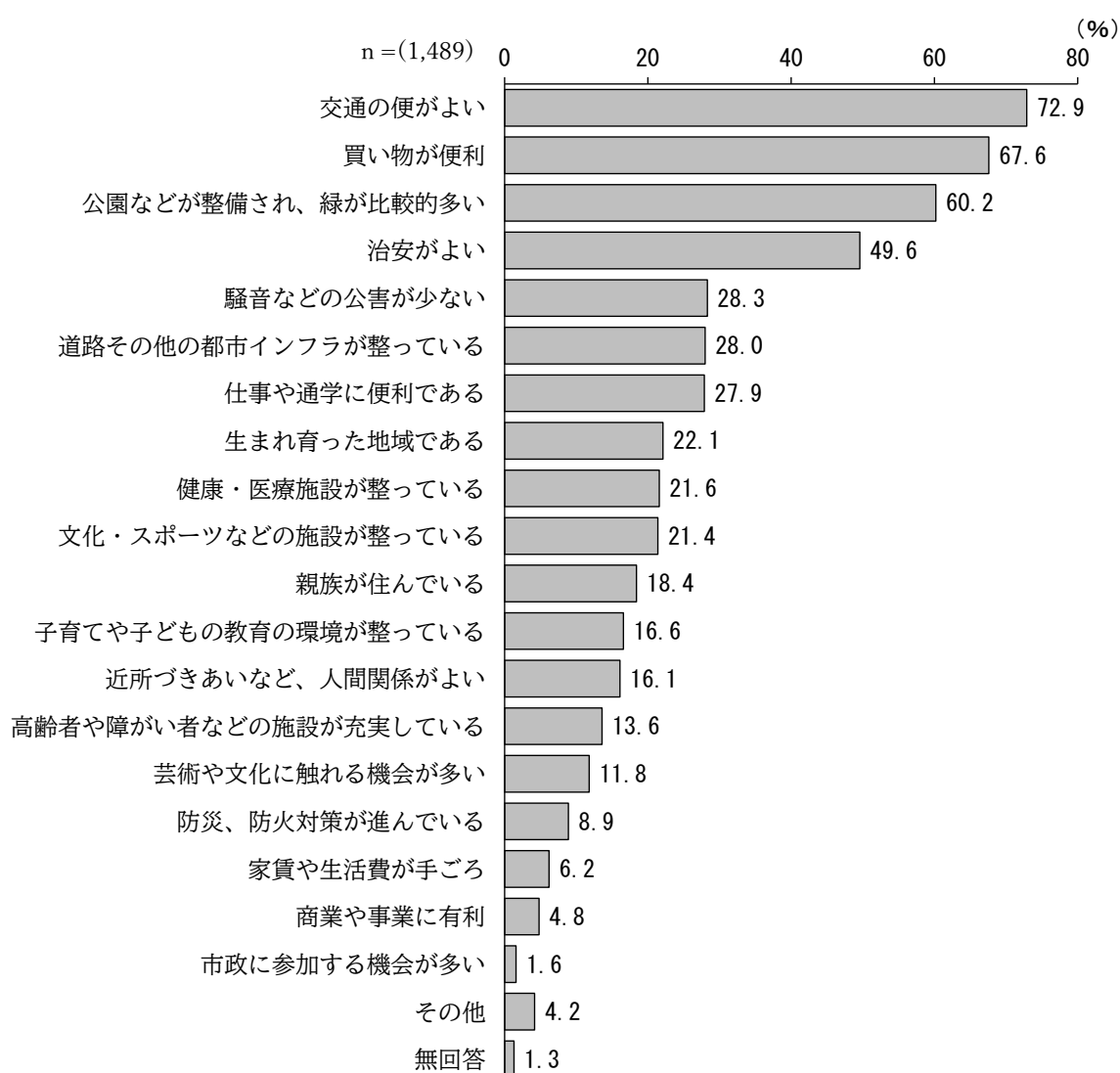
1-4 定住意向の理由

◎ 「交通の便がよい」、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」が上位3項目となる。

(問3で「住み続けたい」か「市内の他のところへ移りたい」とお答えの方に)

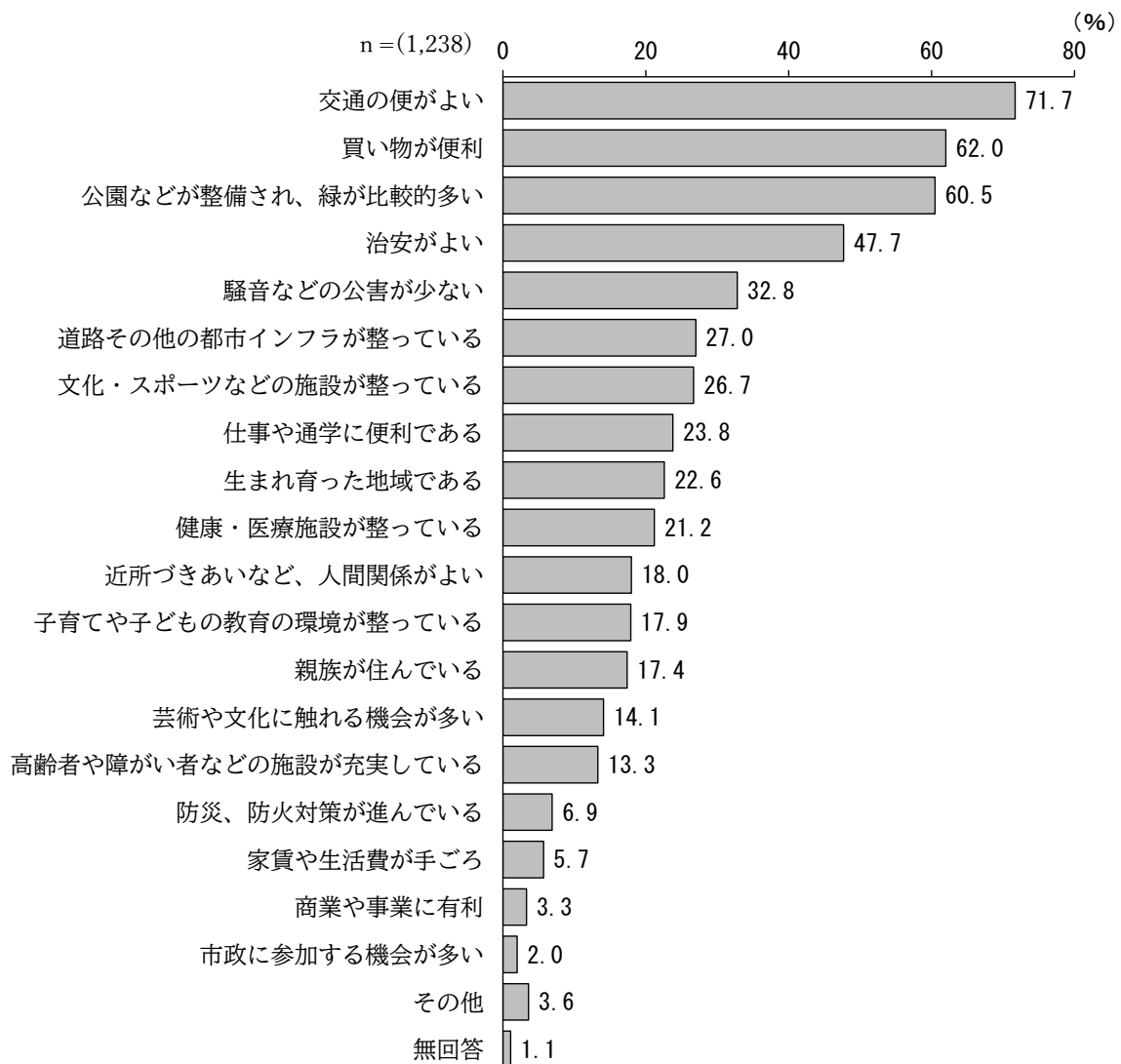
問3-1 武蔵野市内に住み続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1-15 定住意向の理由(複数回答)



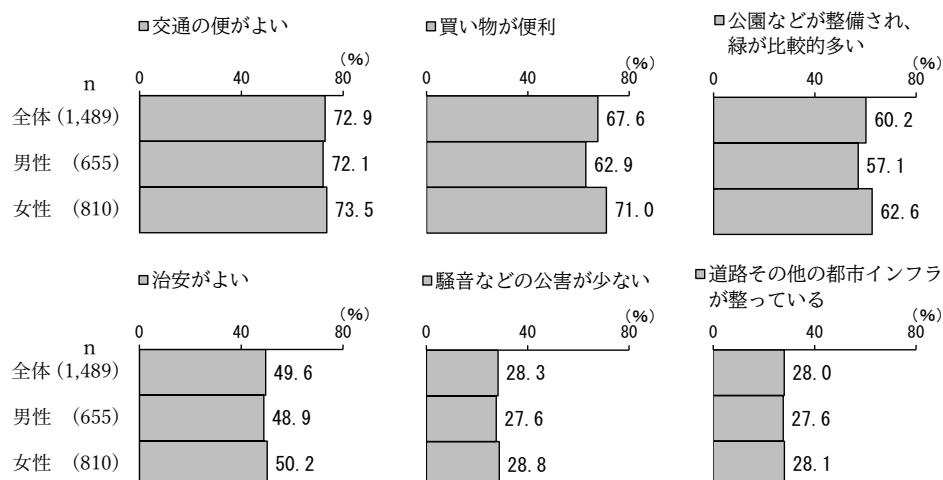
定住意向の理由としては、「交通の便がよい」(72.9%)が7割台前半と最も高い。次いで、「買い物が便利」(67.6%)が6割台後半、「公園などが整備され、緑が比較的多い」(60.2%)が約6割である。「治安がよい」(49.6%)が4割台後半と続く。(図表1-15)

参考：平成 30 年度調査の結果



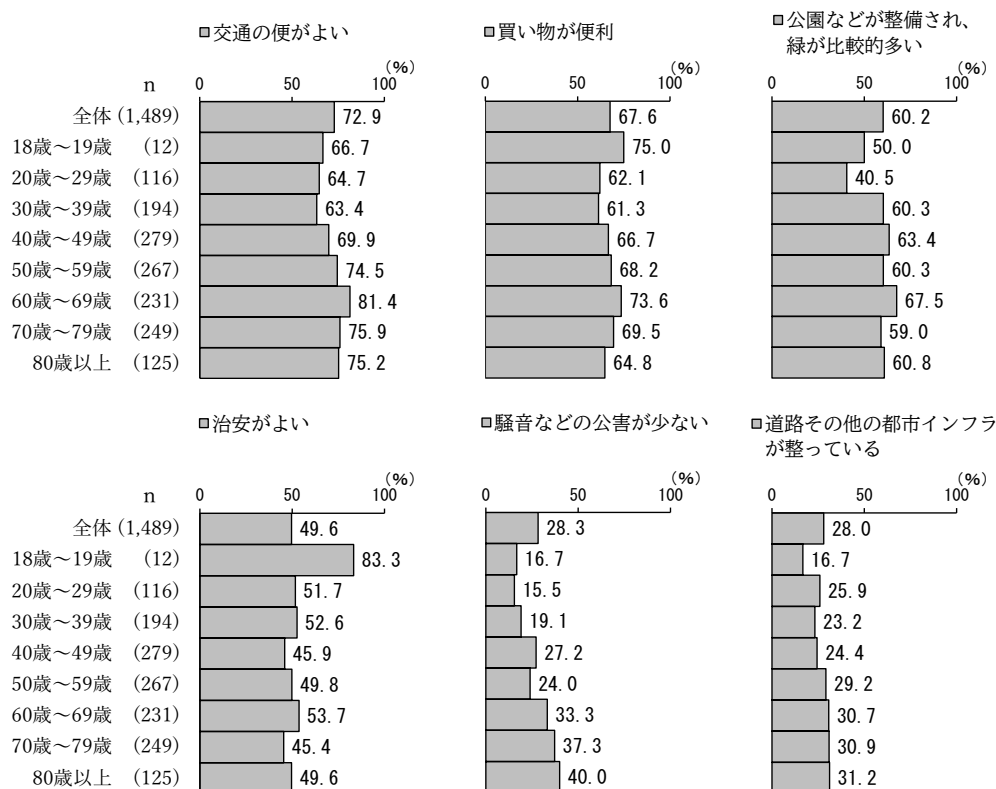
前回調査と比較すると、大きく順位は変わっておらず、上位 3 項目の割合が高い点も同様である。なお、割合を見ると、「買い物が便利」は、前回調査から 5.6 ポイント増加している。

図表1－16 定住意向の理由（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「買い物が便利」は、女性の方が男性よりも8.1ポイント高く、「公園などが整備され、緑が比較的多い」も、女性の方が男性よりも5.5ポイント高くなっている。（図表1－16）

図表1－17 定住意向の理由（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「交通の便がよい」は、60歳～69歳が8割台前半と最も高く、次いで70歳～79歳、80歳以上で7割台後半となっている。「買い物が便利」は、18歳～19歳で7割台後半、60歳～69歳で7割台前半となっている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、60歳～69歳で6割台後半となっている。「治安がよい」は、18歳～19歳で8割、60歳～69歳、30歳～39歳、20歳～29歳で5割台前半となっている。「騒音などの公害が少ない」は、80歳以上で4割となっている。（図表1－17）

図表1－18 定住意向の理由（居住地域別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.9	買い物が便利 67.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.2	治安がよい 49.6	騒音などの公害が 少ない 28.3
居住地域別	吉祥寺地域	交通の便がよい 76.4	買い物が便利 74.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.0	治安がよい 43.1	仕事や通学に 便利である 28.0
	吉祥寺東町	交通の便がよい 買い物が便利 77.3	－	公園などが整備され、 緑が比較的多い 48.7	治安がよい 42.0	生まれ育った地域 である 28.6
	吉祥寺南町	交通の便がよい 81.5	買い物が便利 75.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.1	治安がよい 44.4	騒音などの公害が 少ない 32.3
	御殿山	交通の便がよい 79.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 77.6	買い物が便利 61.2	治安がよい 40.8	道路その他の都市 インフラが整っている 28.6
	吉祥寺本町	交通の便がよい 84.7	買い物が便利 81.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.4	治安がよい 42.3	仕事や通学に 便利である 38.7
	吉祥寺北町	買い物が便利 70.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 67.9	交通の便がよい 65.5	治安がよい 44.2	文化・スポーツなどの 施設が整っている 37.6
	中央地域	交通の便がよい 73.7	買い物が便利 66.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 59.8	治安がよい 56.4	道路その他の都市 インフラが整っている 29.1
	中町	交通の便がよい 79.7	買い物が便利 67.8	治安がよい 55.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 53.1	仕事や通学に 便利である 35.7
	西久保	交通の便がよい 75.0	買い物が便利 69.4	治安がよい 59.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 54.8	騒音などの公害が 少ない 34.7
	緑町	公園などが整備され、 緑が比較的多い 79.5	買い物が便利 76.9	交通の便がよい 69.2	治安がよい 53.8	文化・スポーツなどの 施設が整っている 44.9
	八幡町	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.5	交通の便がよい 58.1	治安がよい 53.5	買い物が便利 34.9	道路その他の都市 インフラが整っている 30.2
	武蔵境地域	交通の便がよい 68.1	買い物が便利 60.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 59.0	治安がよい 52.8	騒音などの公害が 少ない 31.3
	関前	公園などが整備され、 緑が比較的多い 72.2	交通の便がよい 60.8	買い物が便利 47.4	治安がよい 43.3	騒音などの公害が 少ない 36.1
	境	交通の便がよい 76.9	買い物が便利 70.6	治安がよい 51.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 50.6	仕事や通学に 便利である 34.4
	境南町	交通の便がよい 72.4	買い物が便利 69.2	治安がよい 57.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 47.4	騒音などの公害が 少ない 31.4
	桜堤	公園などが整備され、 緑が比較的多い 81.2	治安がよい 58.8	交通の便がよい 51.8	買い物が便利 道路その他の都市 インフラが整っている 40.0	－

居住地域別で見ると、「交通の便がよい」は吉祥寺本町、吉祥寺南町で8割台と高くなっている。「買い物が便利」は、吉祥寺東町、吉祥寺北町で1位となっており、吉祥寺本町で8割台前半、吉祥寺東町、緑町、吉祥寺南町、境、吉祥寺北町で7割台となっている。（図表1－18）

図表1－19 定住意向の理由（職業別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.9	買い物が便利 67.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.2	治安がよい 49.6	騒音などの公害が 少ない 28.3
職業別	自営業・自由業	交通の便がよい 78.0	買い物が便利 75.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 63.4	治安がよい 48.8	道路その他の都市 インフラが整っている 34.1
	正社員、正職員	交通の便がよい 74.0	買い物が便利 64.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 58.1	治安がよい 49.1	仕事や通学に 便利である 37.8
	契約社員、 派遣社員	交通の便がよい 69.7	買い物が便利 65.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 57.9	治安がよい 44.7	仕事や通学に 便利である 35.5
	アルバイト、パート	交通の便がよい 74.2	買い物が便利 72.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.5	治安がよい 53.1	仕事や通学に 便利である 39.8
	家事専業	交通の便がよい 70.3	買い物が便利 69.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.3	治安がよい 51.3	騒音などの公害が 少ない 30.9
	学生	交通の便がよい 66.7	買い物が便利 61.9 治安がよい	－ －	生まれ育った地域 である 52.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 42.9
	無職	交通の便がよい 73.5	買い物が便利 63.3 公園などが整備され、 緑が比較的多い	－ －	治安がよい 49.8	騒音などの公害が 少ない 37.1
	その他	買い物が便利 75.0	交通の便がよい 65.6 公園などが整備され、 緑が比較的多い	－ －	道路その他の都市 インフラが整っている 43.8	治安がよい 37.5

職業別で見ると、「交通の便がよい」は、その他以外で第1位となっており、自営業・自由業で7割台後半となっている。

次いで、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」、「治安がよい」が第2位、もしくは第3位で、「治安がよい」、「生まれ育った地域である」、「道路その他の都市インフラが整っている」が第4位となっている。（図表1－19）

図表1－20 定住意向の理由（居住年数別・住宅の種類別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.9	買い物が便利 67.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.2	治安がよい 49.6	騒音などの公害が 少ない 28.3
居住年数	1年未満	買い物が便利 80.4	交通の便がよい 68.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.7	治安がよい 52.9	仕事や通学に 便利である 39.2
	1年～5年未満	交通の便がよい 69.8	買い物が便利 64.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 63.2	治安がよい 54.9	仕事や通学に 便利である 36.3
	5年～10年未満	公園などが整備され、 緑が比較的多い 68.2	交通の便がよい 66.5	買い物が便利 61.8	治安がよい 50.9	仕事や通学に 便利である 34.7
	10年～15年未満	交通の便がよい 79.5	買い物が便利 67.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 65.8	治安がよい 50.9	仕事や通学に 便利である 33.5
	15年～20年未満	買い物が便利 72.7	交通の便がよい 71.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 67.3	治安がよい 58.7	仕事や通学に 便利である 32.7
	20年以上	交通の便がよい 74.2	買い物が便利 67.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 54.8	治安がよい 46.0	生まれ育った地域 である 36.0
住宅の種類	持ち家(戸建て)	交通の便がよい 71.9	買い物が便利 65.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 54.6	治安がよい 45.0	生まれ育った地域 である 33.7
	持ち家(マンション 等の集合住宅)	交通の便がよい 76.6	買い物が便利 72.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 69.4	治安がよい 51.9	道路その他の都市 インフラが整っている 31.1
	借家(戸建て)	買い物が便利 85.3	治安がよい 76.5	交通の便がよい 公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.7	－ －	騒音などの公害が 少ない 50.0
	借家(マンション・ア パート等の集合住 宅)	交通の便がよい 72.4	買い物が便利 66.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.1	治安がよい 53.2	仕事や通学に 便利である 34.3
	社宅・寮	交通の便がよい 62.5	治安がよい 55.0	買い物が便利 公園などが整備され、 緑が比較的多い 52.5	－ －	仕事や通学に 便利である 47.5
	その他 (福祉施設など)	高齢者や障がい者な どの施設が充実して いる 66.7	交通の便がよい 買い物が便利 公園などが整備され、 緑が比較的多い 健康・医療施設が整 っている 50.0	－ －	－ －	－ －

居住年数別で見ると、「交通の便がよい」は、10年～15年未満、20年以上、1年～5年未満で第1位となっており、1年未満、15年～20年未満は「買い物が便利」、5年～10年未満は「公園などが整備され、緑が比較的多い」が第1位となっている。

住宅の種類別で見ると、「交通の便がよい」は、借家（戸建て）、その他（福祉施設など）以外で第1位となっている。（図表1－20）

図表1－21 定住意向の理由（世帯収入別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.9	買い物が便利 67.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.2	治安がよい 49.6	騒音などの公害が 少ない 28.3
世帯収入別	収入なし	買い物が便利 公園などが整備され、 緑が比較的多い 63.2	－ －	交通の便がよい 57.9	治安がよい 52.6	健康・医療施設が 整っている 36.8
	100万円未満	交通の便がよい 73.8	買い物が便利 69.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 52.4	治安がよい 38.1	健康・医療施設が 整っている 31.0
	100～300万円 未満	交通の便がよい 73.2	買い物が便利 67.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 55.4	治安がよい 42.0	騒音などの公害が 少ない 33.8
	300～500万円 未満	交通の便がよい 71.3	買い物が便利 66.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 63.7	治安がよい 52.3	騒音などの公害が 少ない 32.1
	500～700万円 未満	交通の便がよい 68.9	買い物が便利 63.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 56.1	治安がよい 52.2	仕事や通学に 便利である 30.6
	700～1,000万円 未満	交通の便がよい 72.7	買い物が便利 67.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.7	治安がよい 55.0	仕事や通学に 便利である 35.7
	1,000～1,500万円 未満	交通の便がよい 78.9	買い物が便利 69.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.5	治安がよい 48.2	仕事や通学に 便利である 35.1
	1,500万円以上	交通の便がよい 78.7	買い物が便利 72.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 70.1	治安がよい 55.9	騒音などの公害が 少ない 32.3

世帯収入別で見ると、「交通の便がよい」は、収入なし以外で第1位となっており、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、収入なしで同率第1位となっている。
(図表1－21)

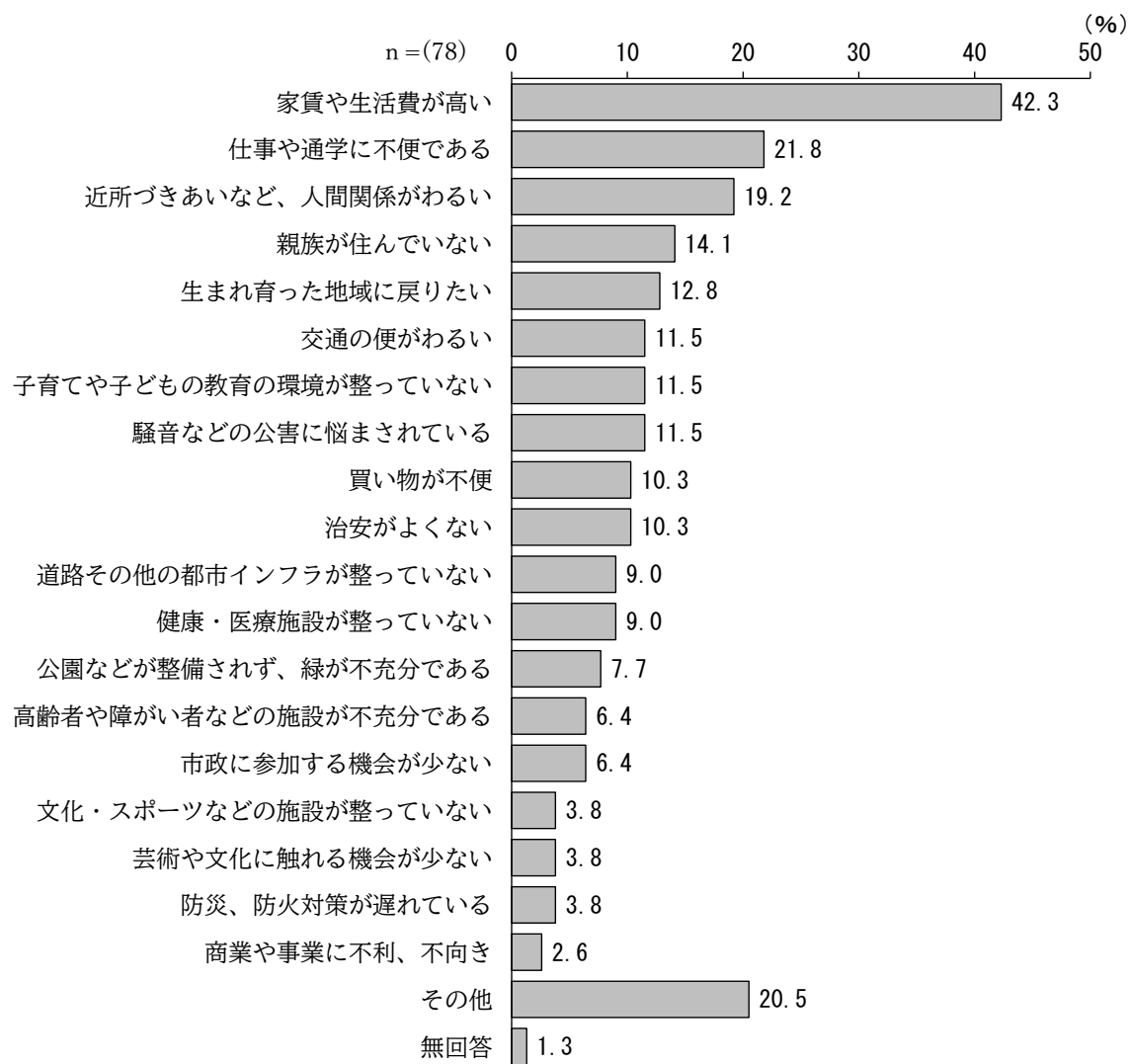
1－5 転出意向の理由

◎ 「家賃や生活費が高い」が4割台前半と最も高い。

(問3で「武蔵野市以外のところへ移りたい」とお答えの方に)

問3－2 武蔵野市外に移りたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1－22 転出意向の理由(複数回答)

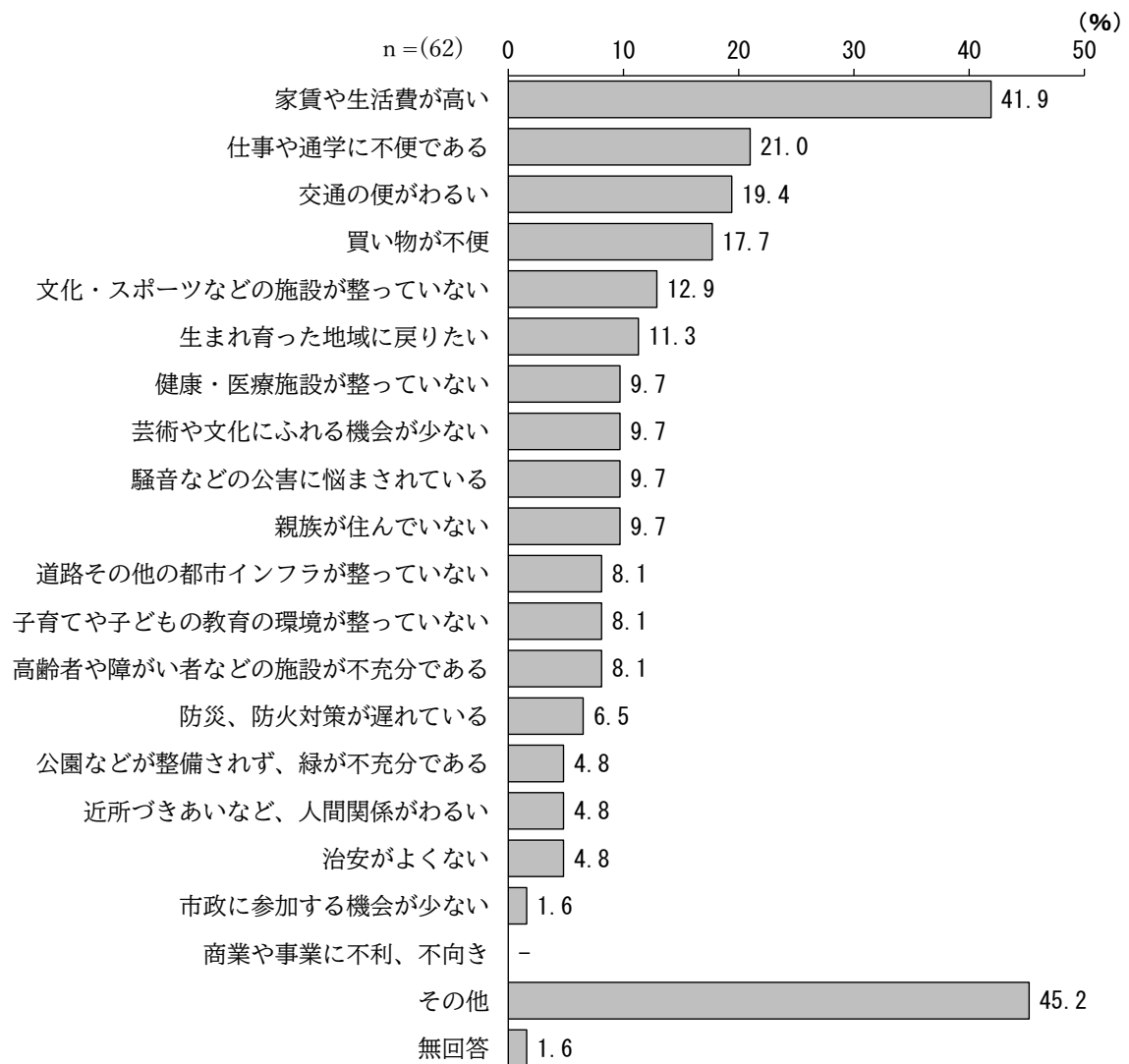


※回答者数は、他の設問の回答と比べて少ない

転出意向の理由としては、「家賃や生活費が高い」(42.3%)が、4割台前半と最も高い。次いで、「仕事や通学に不便である」(21.8%)、「近所づきあいなど、人間関係がわるい」(19.2%)が約2割、「親族が住んでいない」(14.1%)が1割台前半と続く。

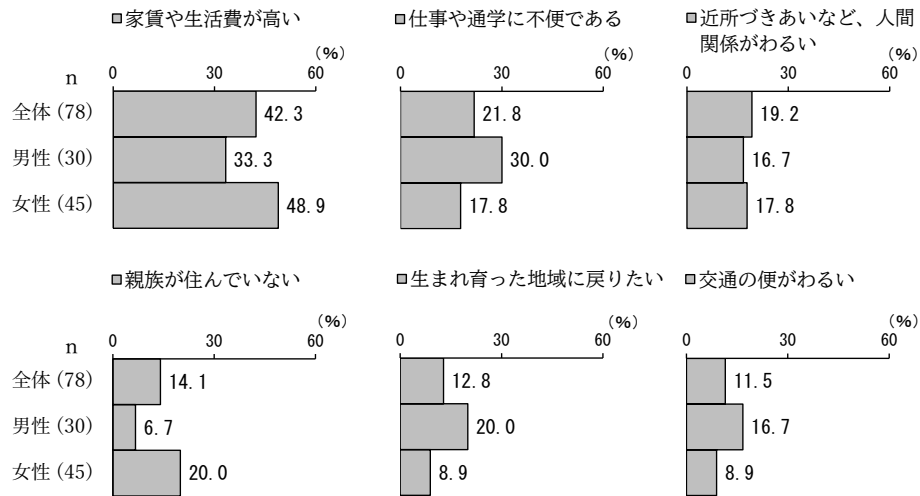
「その他」の主な内容は、「人や家が密集しすぎている」、「住みたい地域が他にある」などが挙げられている。(図表1－22)

参考：平成 30 年度調査の結果



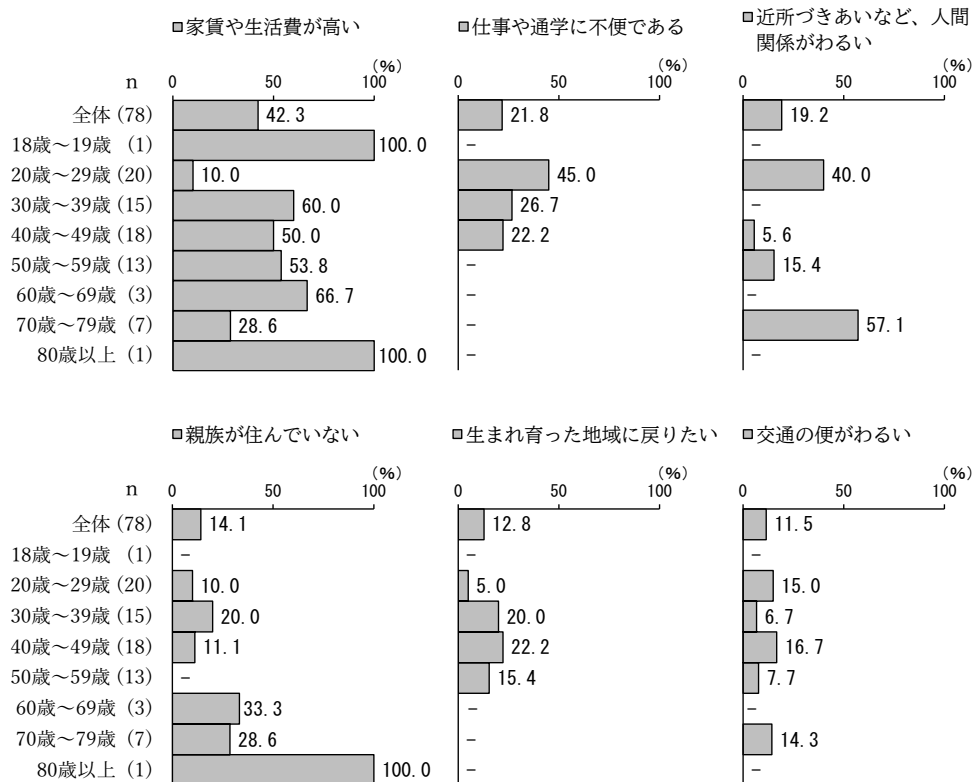
前回調査と比較すると、1位、2位は前回調査と同様で、それぞれ「家賃や生活費が高い」、「仕事や通学に不便である」となっている。「近所づきあいなど、人間関係がわるい」は14.4ポイント増加し3位となっている。また、「交通の便がわるい」は、7.9ポイント減少している。

図表1－23 転出意向の理由（性別）上位6項目



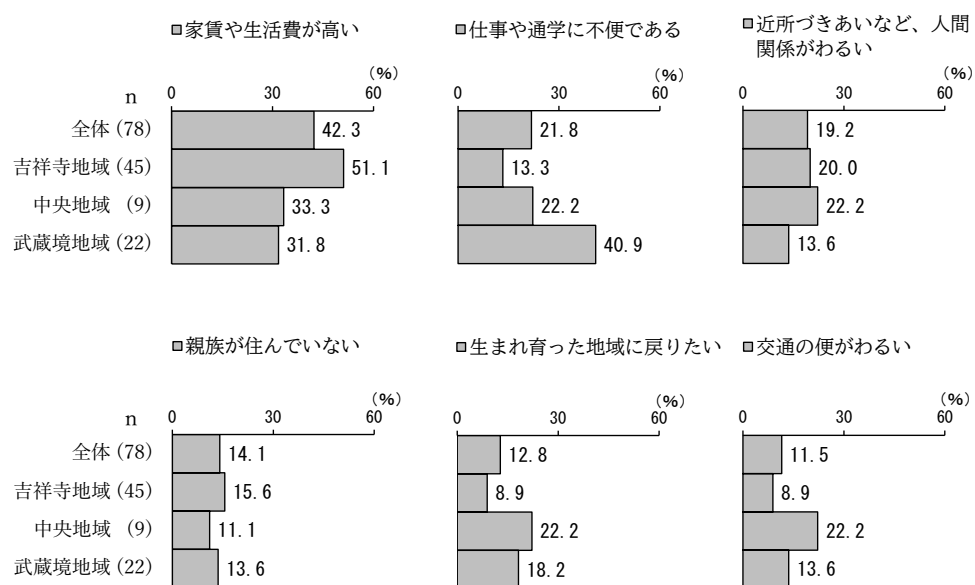
上位6項目について、性別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、女性の方が男性より15.6ポイント高く、「仕事や通学に不便である」は、男性の方が女性より12.2ポイント高い。「近所づきあいなど、人間関係がわるい」は、男女比は同程度となっている。（図表1－23）

図表1－24 転出意向の理由（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、nが1の18歳～19歳、80歳以上を除くと、60歳～69歳、30歳～39歳で6割台、50歳～59歳、40歳～49歳で5割台前半となっている。（図表1－24）

図表1－25 転出意向の理由（居住地域別）上位6項目



居住地域別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、吉祥寺地域で高く、「仕事や通学に不便である」は、武蔵境地域で高くなっている。（図表1－25）

図表1－26 転出意向の理由（居住地域別）上位5項目

(%)

属性		順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体			家賃や生活費が高い 42.3	仕事や通学に 不便である 21.8	近所づきあいなど、 人間関係がわるい 19.2	親族が住んでいない 14.1	生まれ育った地域に 戻りたい 12.8
居住地域別	吉祥寺地域	吉祥寺地域	家賃や生活費が高い 51.1	近所づきあいなど、 人間関係がわるい 20.0	親族が住んでいない 治安がよくない 15.6	－	仕事や通学に 不便である 13.3
		吉祥寺東町	家賃や生活費が高い 61.5	仕事や通学に 不便である 親族が住んでいない 23.1	－	近所づきあいなど、 人間関係がわるい 生まれ育った地域に 戻りたい 15.4	－
		吉祥寺南町	親族が住んでいない 60.0	家賃や生活費が高い 40.0	近所づきあいなど、 人間関係がわるい 生まれ育った地域に 戻りたい 治安がよくない 20.0	－	－
		御殿山	近所づきあいなど、 人間関係がわるい 生まれ育った地域に 戻りたい 子育てや子どもの教育の 環境が整っていない 33.3	－	－	－	－
		吉祥寺本町	家賃や生活費が高い 50.0	近所づきあいなど、 人間関係がわるい 子育てや子どもの教育の 環境が整っていない 治安がよくない 33.3	－	－	親族が住んでいない 16.7
		吉祥寺北町	家賃や生活費が高い 55.6	仕事や通学に 不便である 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 騒音などの公害に 悩まされている 治安がよくない 16.7	－	－	－
	中央地域	中央地域	家賃や生活費が高い 健康・医療施設が 整っていない 33.3	－	仕事や通学に 不便である 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 生まれ育った地域に 戻りたい 22.2	－	－
		中町	家賃や生活費が高い 66.7	近所づきあいなど、 人間関係がわるい 親族が住んでいない 生まれ育った地域に 戻りたい 健康・医療施設が 整っていない 33.3	－	－	－
		西久保	仕事や通学に 不便である 健康・医療施設が 整っていない 66.7	－	生まれ育った地域に 戻りたい 交通の便がわるい 子育てや子どもの教育の 環境が整っていない 33.3	－	－
		緑町	家賃や生活費が高い 子育てや子どもの教育の 環境が整っていない 50.0	－	－	－	－
		八幡町	近所づきあいなど、 人間関係がわるい 交通の便がわるい 買い物が不便 100.0	－	－	－	－

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
居住地域別	武蔵境地域	仕事や通学に不便である	家賃や生活費が高い	生まれ育った地域に戻りたい	近所づきあいなど、人間関係がわるい 親族が住んでいない	－
		40.9	31.8	18.2	13.6	－
	関前	近所づきあいなど、人間関係がわるい	－	－	－	－
		騒音などの公害に悩まされている				
		治安がよくない				
	境	道路その他の都市インフラが整っていない	－	－	－	－
		100.0				
		仕事や通学に不便である	家賃や生活費が高い	親族が住んでいない 生まれ育った地域に戻りたい 買い物が不便	－	－
	境南町	45.5				
		家賃や生活費が高い				
	桜堤	仕事や通学に不便である	－	－	近所づきあいなど、人間関係がわるい 親族が住んでいない	－
		28.6				
		生まれ育った地域に戻りたい				
	桜堤	66.7	家賃や生活費が高い 近所づきあいなど、人間関係がわるい 交通の便がわるい 買い物が不便	－	－	－
		33.3				
		66.7				

※同率数値の項目が複数ある場合は、全体の上位順を基準とする。

居住地域別（町別）で見ると、御殿山、西久保、八幡町、関前以外の地域において、「家賃や生活費が高い」が上位3位以内に入っている。（図表1－26）

図表1－27 転出意向の理由（職業別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		家賃や生活費が高い 42.3	仕事や通学に不便である 21.8	近所づきあいなど、人間関係がわるい 19.2	親族が住んでいない 14.1	生まれ育った地域に戻りたい 12.8
職業別	自営業・自由業	家賃や生活費が高い 75.0	騒音などの公害に悩まされている 37.5	治安がよくない 道路その他の都市インフラが整っていない 市政に参加する機会が少ない 25.0	－	－
	正社員、正職員	家賃や生活費が高い 仕事や通学に不便である 28.6	－	子育てや子どもの教育の環境が整っていない 21.4	生まれ育った地域に戻りたい 17.9	近所づきあいなど、人間関係がわるい 10.7
	契約社員、派遣社員	仕事や通学に不便である 60.0	近所づきあいなど、人間関係がわるい 40.0	家賃や生活費が高い 交通の便がわるい 騒音などの公害に悩まされている 20.0	－	－
	アルバイト、パート	家賃や生活費が高い 66.7	近所づきあいなど、人間関係がわるい 買い物が不便 33.3	－	生まれ育った地域に戻りたい 交通の便がわるい 22.2	－
	家事専業	家賃や生活費が高い 50.0	近所づきあいなど、人間関係がわるい 25.0	親族が住んでいない 18.8	仕事や通学に不便である 交通の便がわるい 12.5	－
	学生	仕事や通学に不便である 50.0	家賃や生活費が高い 33.3	親族が住んでいない 生まれ育った地域に戻りたい 公園などが整備されず、緑が不十分である 16.7	－	－
	無職	家賃や生活費が高い 親族が住んでいない 40.0	－	近所づきあいなど、人間関係がわるい 交通の便がわるい 子育てや子どもの教育の環境が整っていない 20.0	－	－
	その他	近所づきあいなど、人間関係がわるい 100.0	－	－	－	－

※同率数値の項目が複数ある場合は、全体の上位順を基準とする。

職業別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、契約社員、派遣社員、学生、その他を除くすべての職業で1位となっている。契約社員、派遣社員、学生、正社員、正職員では「仕事や通学に不便である」が1位となっている。（図表1－27）

図表1－28 転出意向の理由（居住年数別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		家賃や生活費が高い 42.3	仕事や通学に不便である 21.8	近所づきあいなど、人間関係がわるい 19.2	親族が住んでいない 14.1	生まれ育った地域に戻りたい 12.8
居住年数	1年未満	家賃や生活費が高い 37.5	仕事や通学に不便である 25.0	子育てや子どもの教育の環境が整っていない 公園などが整備されず、緑が不十分である 12.5	－	－
	1年～5年未満	家賃や生活費が高い 47.8	仕事や通学に不便である 39.1	近所づきあいなど、人間関係がわるい 親族が住んでいない 26.1	－	生まれ育った地域に戻りたい 21.7
	5年～10年未満	家賃や生活費が高い 55.6	生まれ育った地域に戻りたい 子育てや子どもの教育の環境が整っていない 買い物が不便 公園などが整備されず、緑が不十分である 22.2	－	－	－
	10年～15年未満	家賃や生活費が高い 37.5	生まれ育った地域に戻りたい 25.0	仕事や通学に不便である 子育てや子どもの教育の環境が整っていない 12.5	－	－
	15年～20年未満	家賃や生活費が高い 42.9	仕事や通学に不便である 近所づきあいなど、人間関係がわるい 親族が住んでいない 交通の便がわるい 14.3	－	－	－
	20年以上	家賃や生活費が高い 36.4	近所づきあいなど、人間関係がわるい 27.3	親族が住んでいない 治安がよくない 18.2	－	仕事や通学に不便である 13.6

※同率数値の項目が複数ある場合は、全体の上位順を基準とする。

居住年数別で見ると、すべての年数で「家賃や生活費が高い」が最も高くなっている。（図表1－28）

図表1－29 転出意向の理由（住宅の種類別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		家賃や生活費が高い 42.3	仕事や通学に不便である 21.8	近所づきあいなど、人間関係がわるい 19.2	親族が住んでいない 14.1	生まれ育った地域に戻りたい 12.8
住宅の種類	持ち家(戸建て)	家賃や生活費が高い 31.8	仕事や通学に不便である	-	-	-
			近所づきあいなど、人間関係がわるい			
			生まれ育った地域に戻りたい			
			交通の便がわるい 13.6			
	持ち家(マンション等の集合住宅)	家賃や生活費が高い 33.3	-	親族が住んでいない 25.0	治安がよくない 16.7	生まれ育った地域に戻りたい 8.3
	借家(戸建て)	家賃や生活費が高い 80.0	仕事や通学に不便である	-	-	-
			交通の便がわるい 買い物が不便 20.0			
	借家(マンション・アパート等の集合住宅)	家賃や生活費が高い 44.8	仕事や通学に不便である 31.0	子育てや子どもの教育の環境が整っていない 24.1	近所づきあいなど、人間関係がわるい 親族が住んでいない 17.2	-
社宅・寮	家賃や生活費が高い 55.6	仕事や通学に不便である 44.4	買い物が不便 33.3	近所づきあいなど、人間関係がわるい 生まれ育った地域に戻りたい 22.2	-	
その他(福祉施設など)	-	-	-	-	-	

※同率数値の項目が複数ある場合は、全体の上位順を基準とする。

※その他（福祉施設など）の回答数は0件であった。

住宅の種類別で見ると、すべての種類で「家賃や生活費が高い」が第1位となっている。（図表1－29）

図表1－30 転出意向の理由（世帯収入別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		家賃や生活費が高い 42.3	仕事や通学に不便である 21.8	近所づきあいなど、人間関係がわるい 19.2	親族が住んでいない 14.1	生まれ育った地域に戻りたい 12.8
世帯収入別	収入なし	仕事や通学に不便である	－	－	－	－
		公園などが整備されず、緑が不十分である 100.0	－	－	－	－
	100万円未満	家賃や生活費が高い	－	生まれ育った地域に戻りたい	－	－
		親族が住んでいない 66.7	－	33.3	－	－
	100～300万円未満	家賃や生活費が高い	－	－	－	－
		仕事や通学に不便である	－	－	－	－
		親族が住んでいない	－	－	－	－
		交通の便がわるい	－	－	－	－
	300～500万円未満	騒音などの公害に悩まされている 40.0	－	－	－	－
		家賃や生活費が高い	近所づきあいなど、人間関係がわるい 35.0	仕事や通学に不便である 親族が住んでいない 30.0	－	生まれ育った地域に戻りたい 15.0
	500～700万円未満	家賃や生活費が高い	仕事や通学に不便である	－	－	騒音などの公害に悩まされている
		生まれ育った地域に戻りたい 子育てや子どもの教育の環境が整っていない 63.6	27.3	－	－	18.2
	700～1,000万円未満	家賃や生活費が高い	騒音などの公害に悩まされている 50.0	治安がよくない 33.3	近所づきあいなど、人間関係がわるい 道路その他の都市インフラが整っていない 16.7	－
		66.7				
	1,000～1,500万円未満	家賃や生活費が高い	仕事や通学に不便である 18.8	近所づきあいなど、人間関係がわるい 生まれ育った地域に戻りたい 交通の便がわるい 12.5	－	－
		37.5				
	1,500万円以上	家賃や生活費が高い	－	－	－	－
		仕事や通学に不便である	－	－	－	－
		近所づきあいなど、人間関係がわるい	－	－	－	－
		交通の便がわるい 子育てや子どもの教育の環境が整っていない 14.3	－	－	－	－

※同率数値の項目が複数ある場合は、全体の上位順を基準とする。

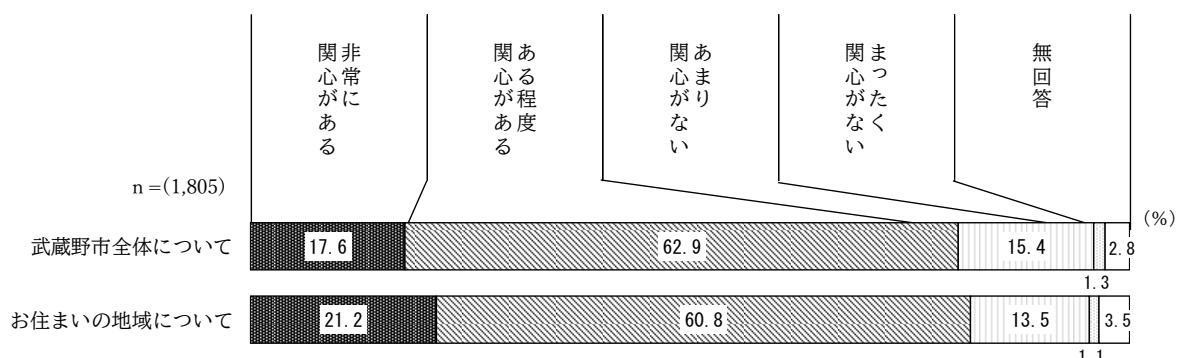
世帯収入別で見ると、収入なし以外の世帯で「家賃や生活費が高い」が第1位となっている。
(図表1－30)

1-6 地域への関心度

◎ 「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」で『関心がある』がともに8割台である。

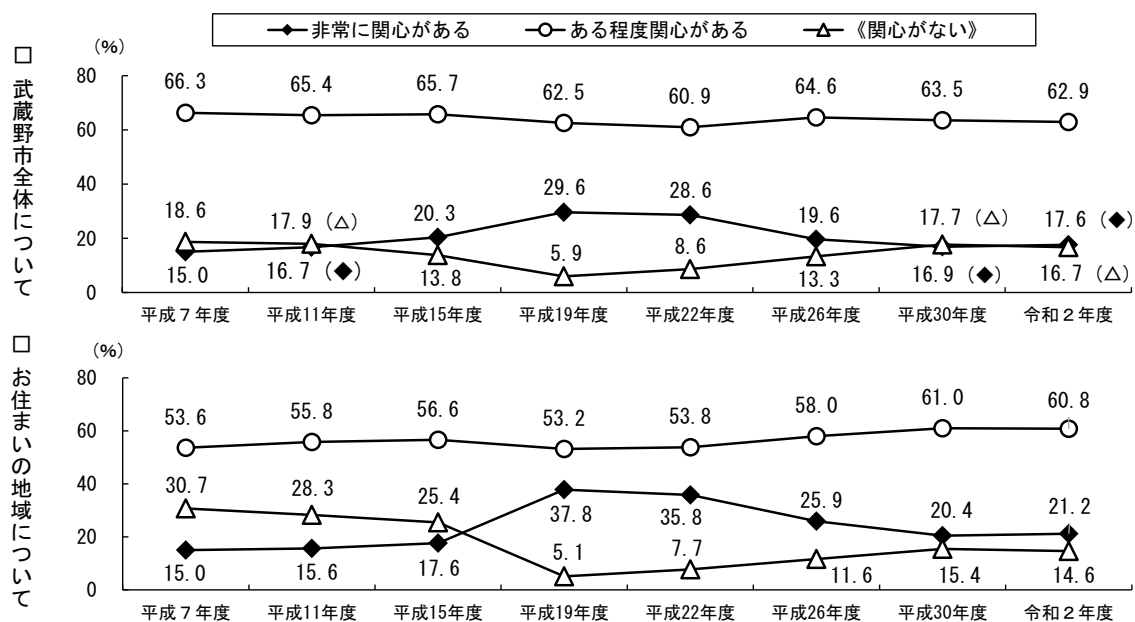
問4 あなたは、武蔵野市全体のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。
また、お住まいの地域のできごとや動きについてはいかがですか。(○はそれぞれ1つ)

図表1-31 地域への関心度



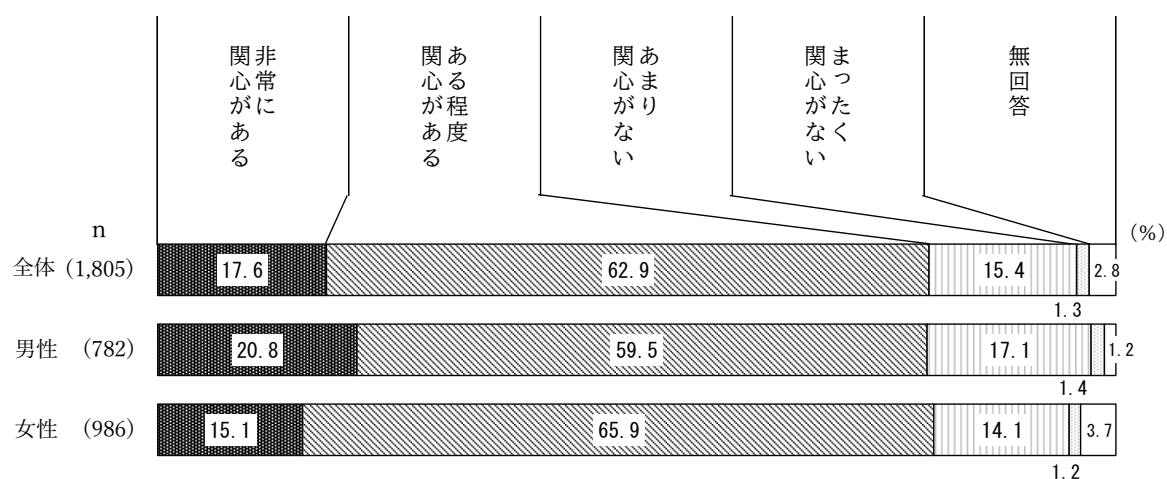
地域への関心度について見ると、「非常に関心がある」＋「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』の割合は、「武蔵野市全体について」(80.5%)、「お住まいの地域について」(82.0%) 双方で8割台となっている。(図表1-31)

図表1-32 地域への関心度(経年比較)

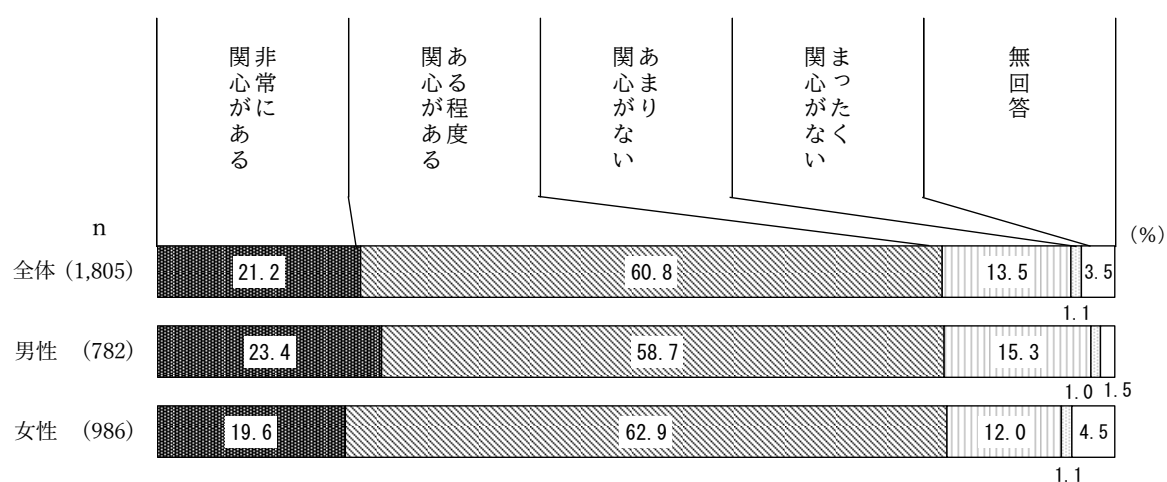


過去の調査と比較すると、「武蔵野市全体について」では、「非常に関心がある」は、平成30年度と比べ0.7ポイント増加している。一方、『関心がない』（「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」）は、1.0ポイント減少している。「お住まいの地域について」では、「非常に関心がある」は平成30年度と比べ0.8ポイント増加、『関心がない』は0.8ポイント減少している。(図表1-32)

図表1－33 地域への関心度・武蔵野市全体について（性別）

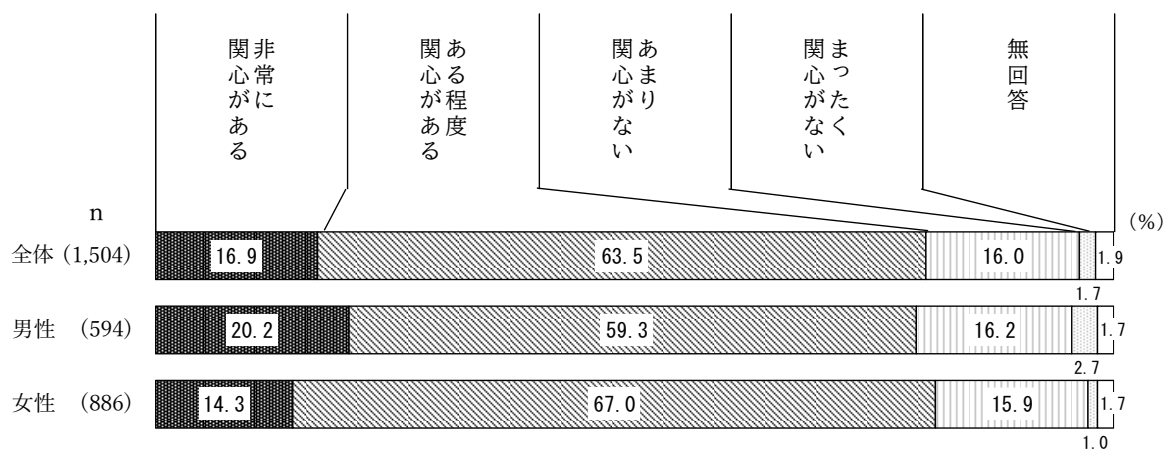


図表1－34 地域への関心度・お住まいの地域について（性別）

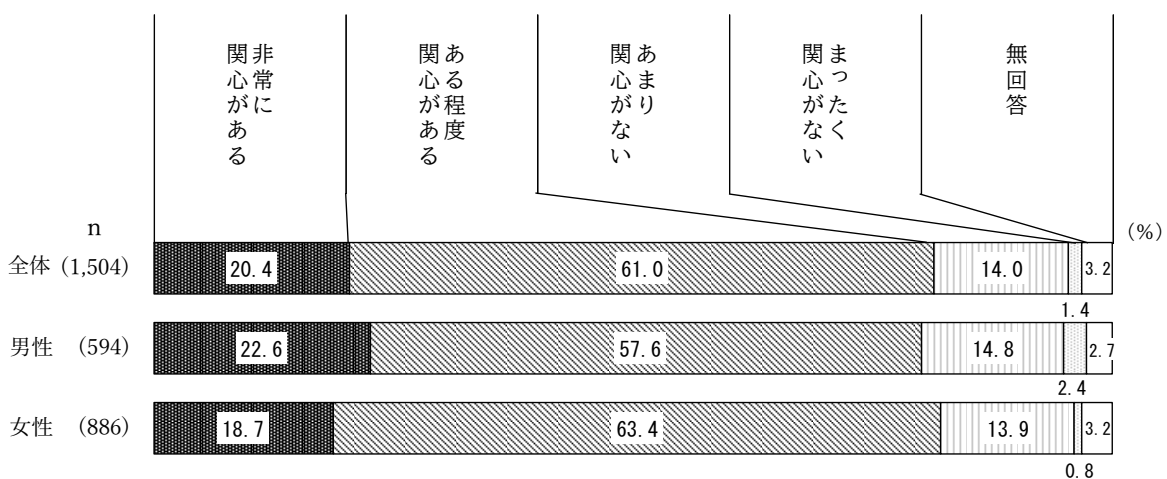


性別で見ると、「非常に関心がある」は、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」ともに、女性よりも男性が高くなっており、「武蔵野市全体について」で男性の方が女性より5.7ポイント、「お住まいの地域について」で男性の方が女性より3.8ポイント高くなっている。（図表1－33、図表1－34）

武蔵野市全体について（性別）

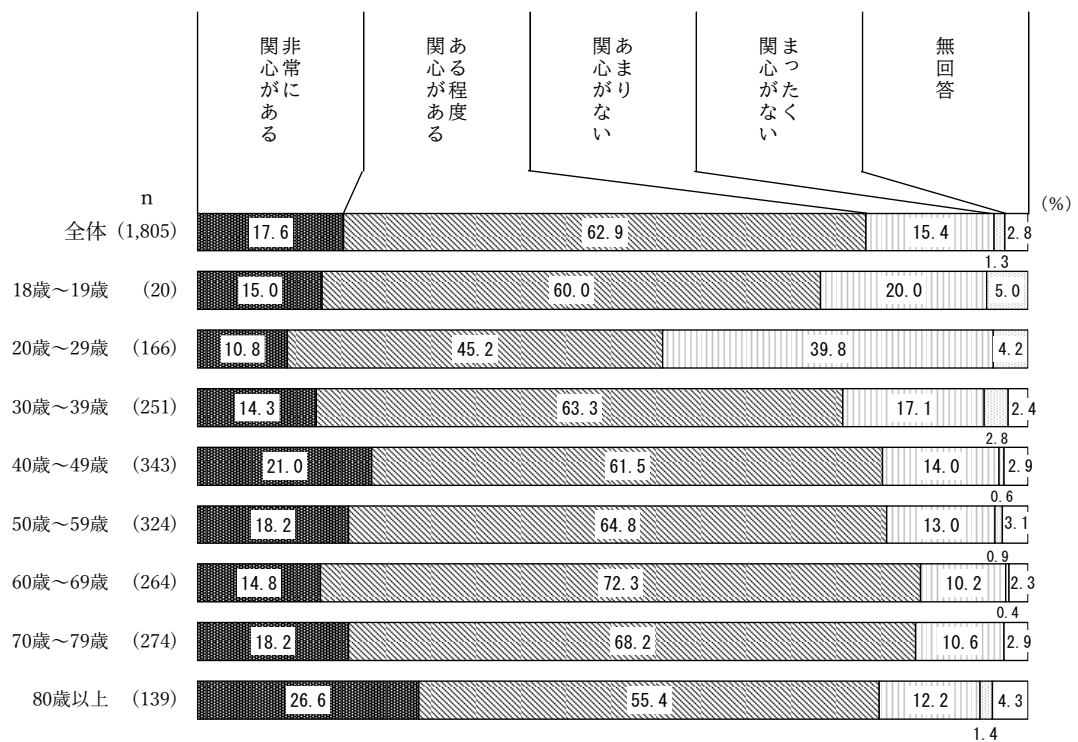


お住まいの地域について（性別）

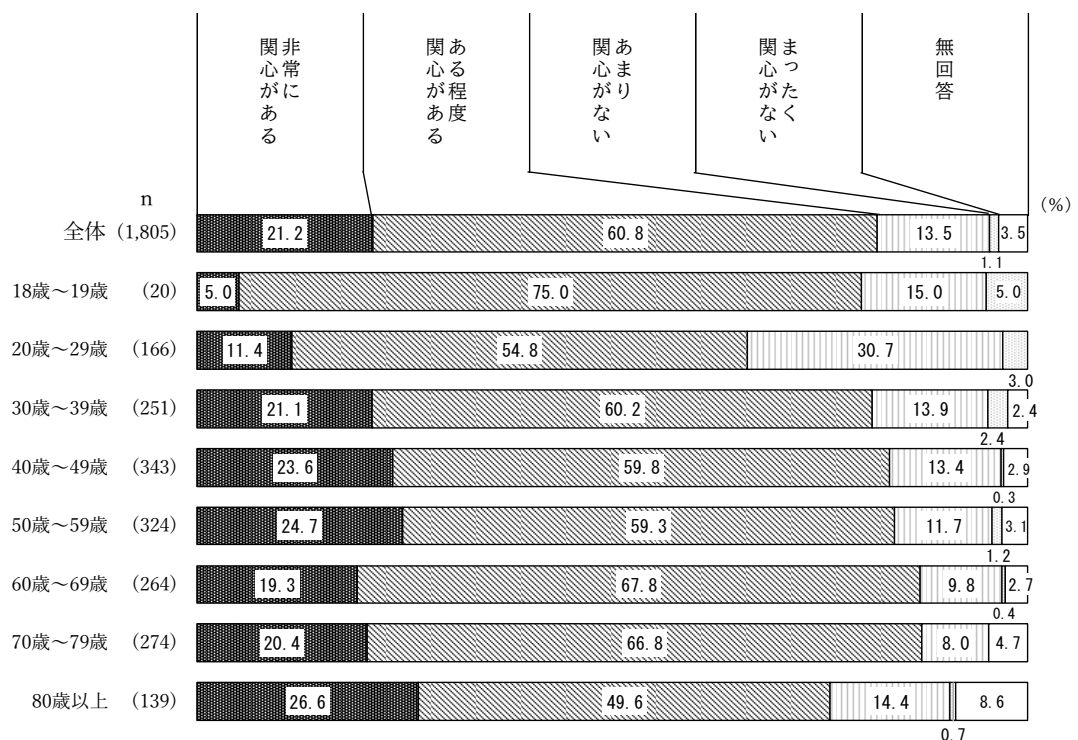


前回調査と比較すると、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」ともに、男女とも「非常に関心がある」の割合が微増している。

図表1－35 地域への関心度・武蔵野市全体について（年代別）

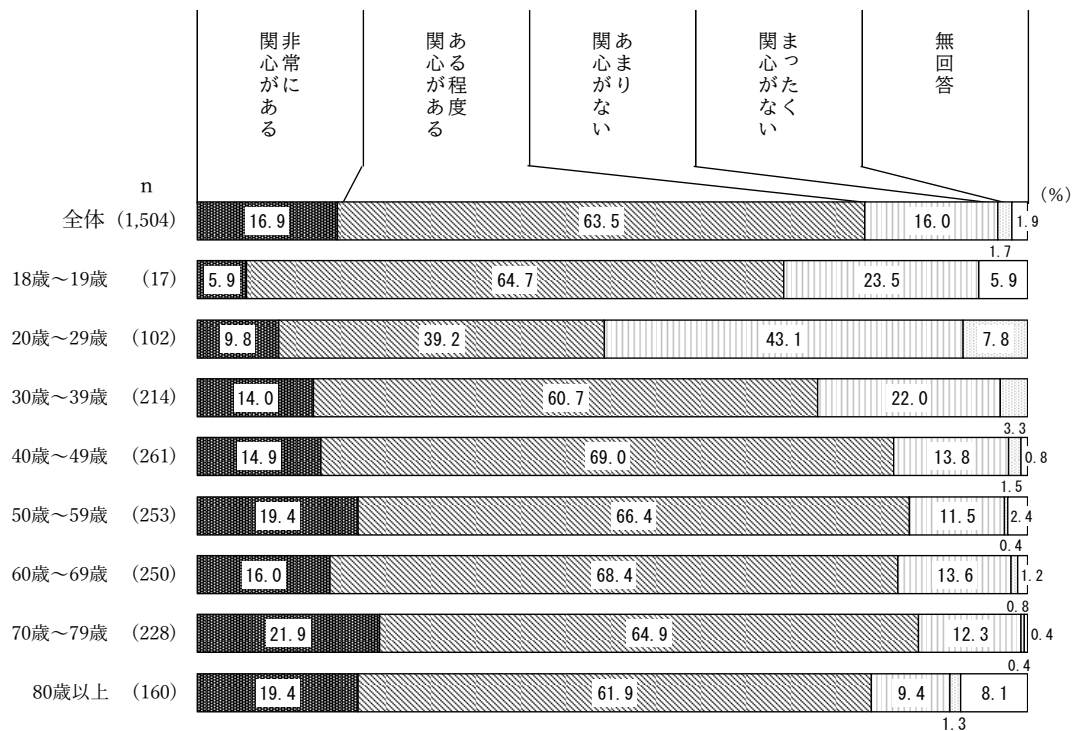


図表1－36 地域への関心度・お住まいの地域について（年代別）

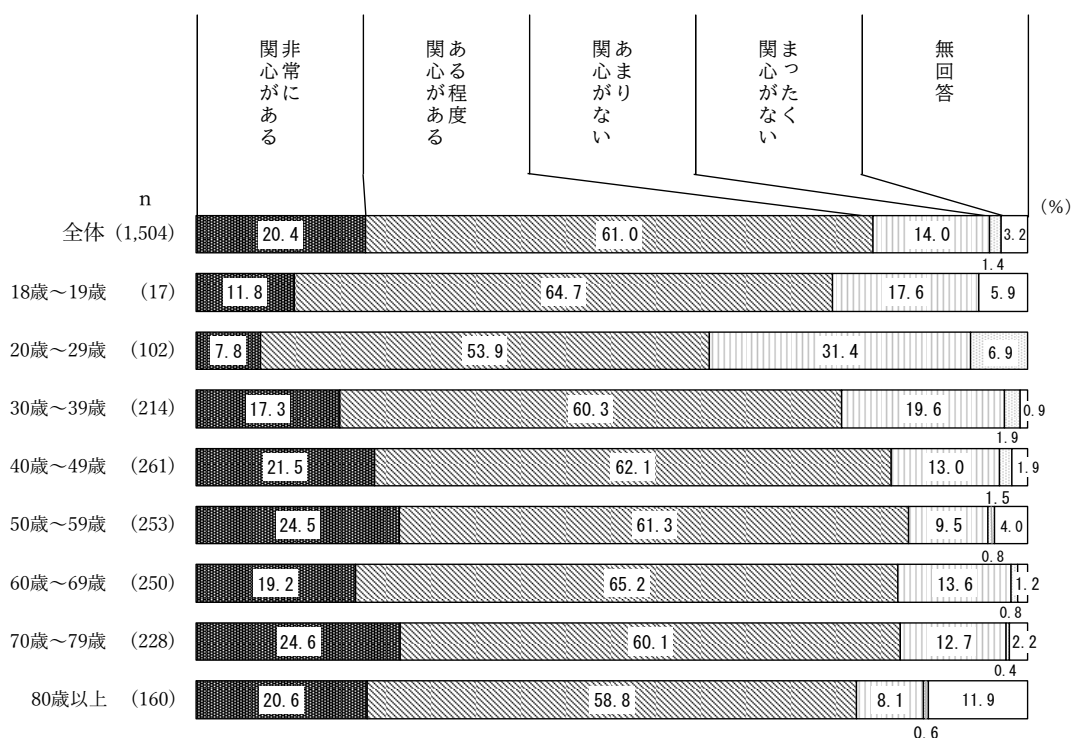


年代別で見ると、「武蔵野市全体について」では、『関心がある』は、60歳～69歳、70歳～79歳では8割台後半となっており、50歳～59歳、40歳～49歳、80歳以上で8割台前半となっている。「お住まいの地域について」では、『関心がある』は70歳～79歳、60歳～69歳で8割台後半となっており、50歳～59歳、40歳～49歳、30歳～39歳で8割台前半となっている。（図表1－35、図表1－36）

武蔵野市全体について（年代別）

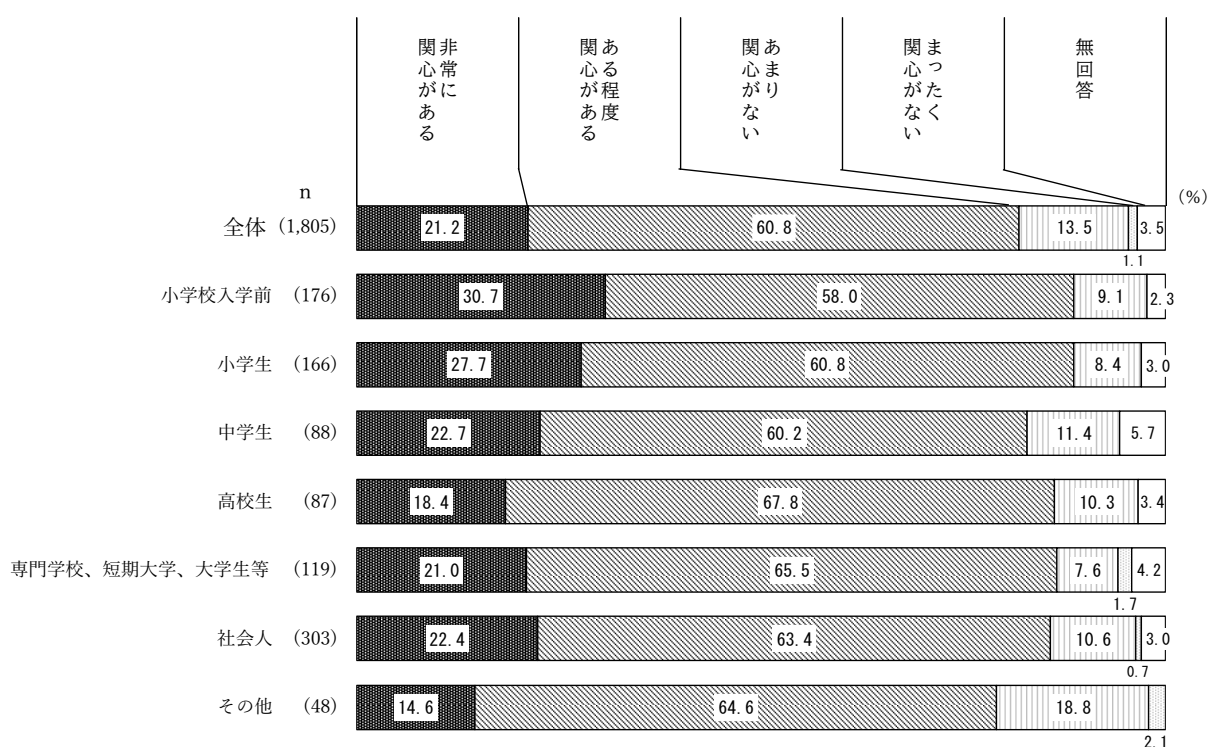


お住まいの地域について（年代別）



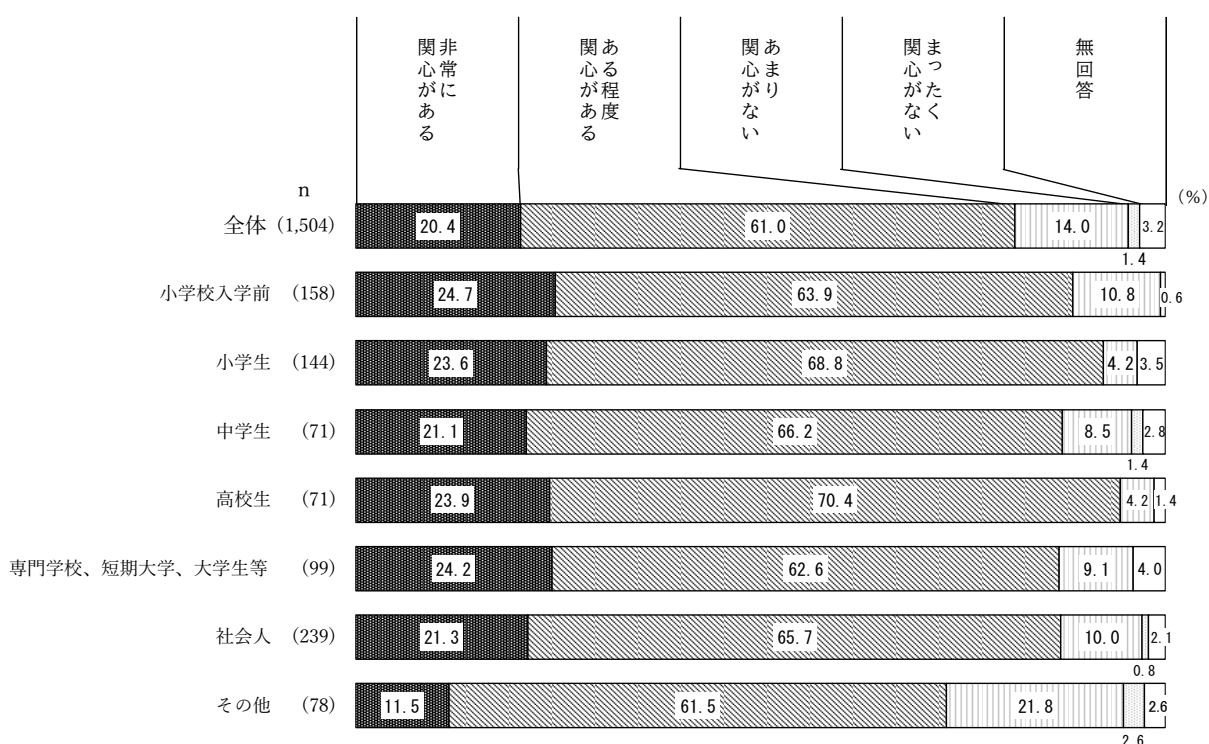
前回調査と比較すると、「武蔵野市全体について」では「非常に興味がある」は、18歳～19歳で9.1ポイント、80歳以上で7.2ポイント、40歳～49歳で6.1ポイントの増加となっている。〔お住まいの地域について〕では、「非常に興味がある」は、18歳～19歳、70歳～79歳以外で微増もしくは同程度となっている。

図表1－37 地域への関心度・お住まいの地域について（子どもの就学状況別）



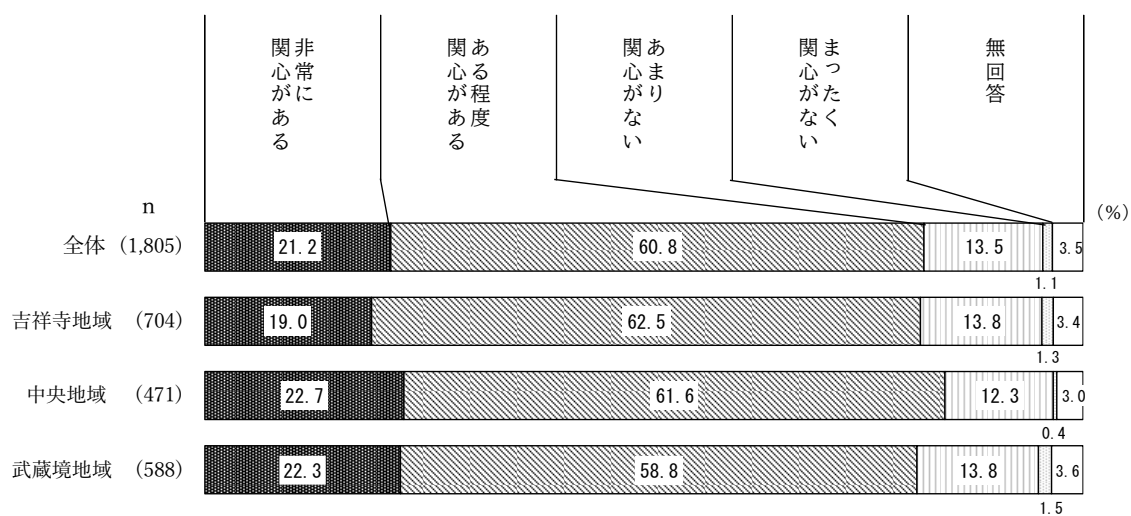
〔お住まいの地域について〕子どもの就学状況別で見ると、『関心がある』は、中学生の子を持つ方及びその他の方以外で8割台後半となっている。（図表1－37）

参考：平成30年度調査の結果



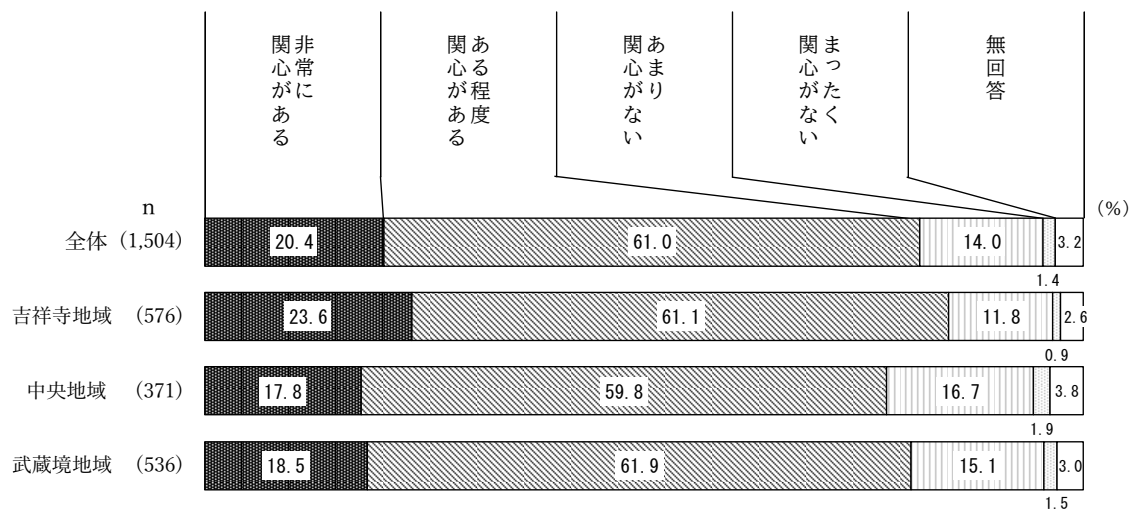
〔お住まいの地域について〕前回調査と比較すると、「非常に関心がある」は、小学校入学前で6.0ポイント増加、高校生で5.5ポイント減少している。

図表1－38 地域への関心度・お住まいの地域について（居住地域別）



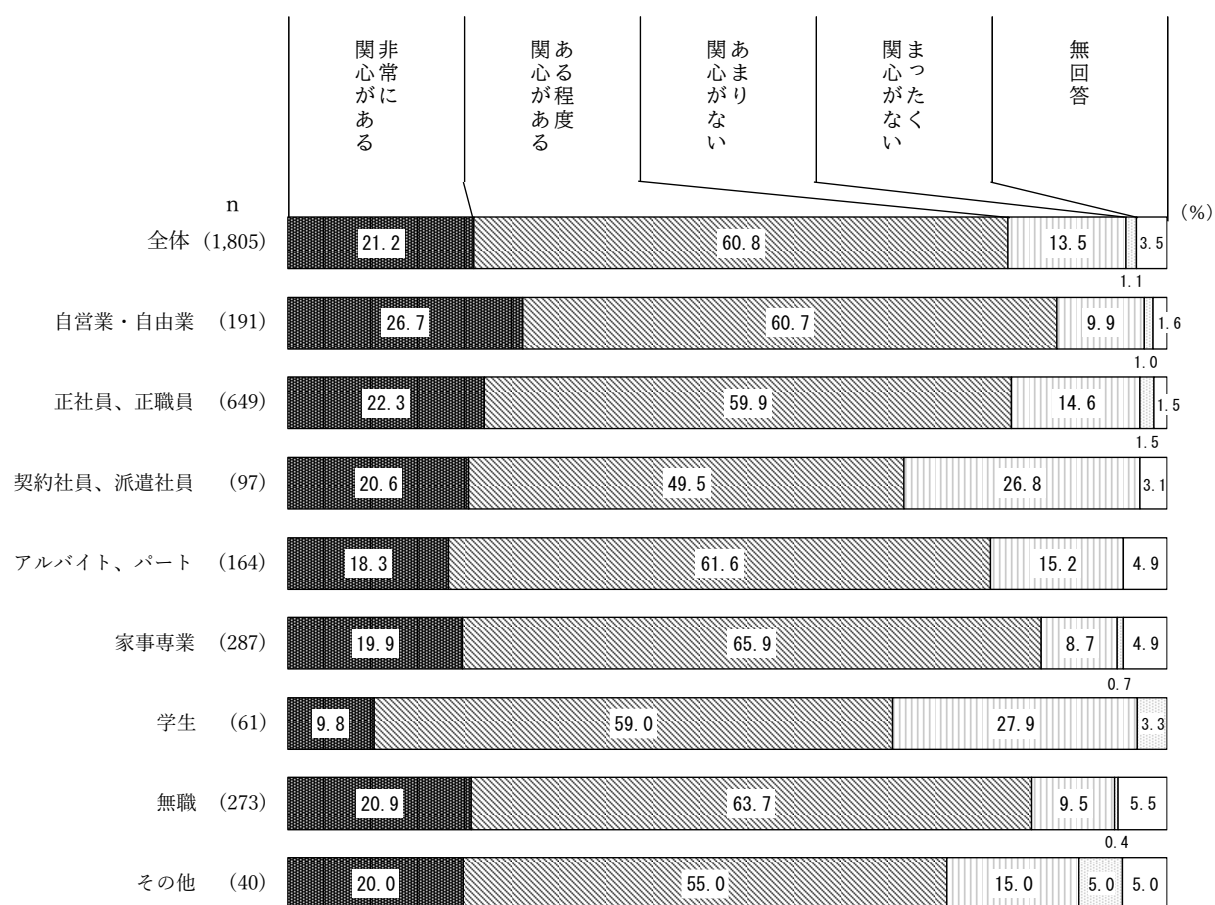
〔お住まいの地域について〕居住地域別で見ると、『関心がある』は、すべての地域で8割台前半となっている。（図表1－38）

参考：平成30年度調査の結果



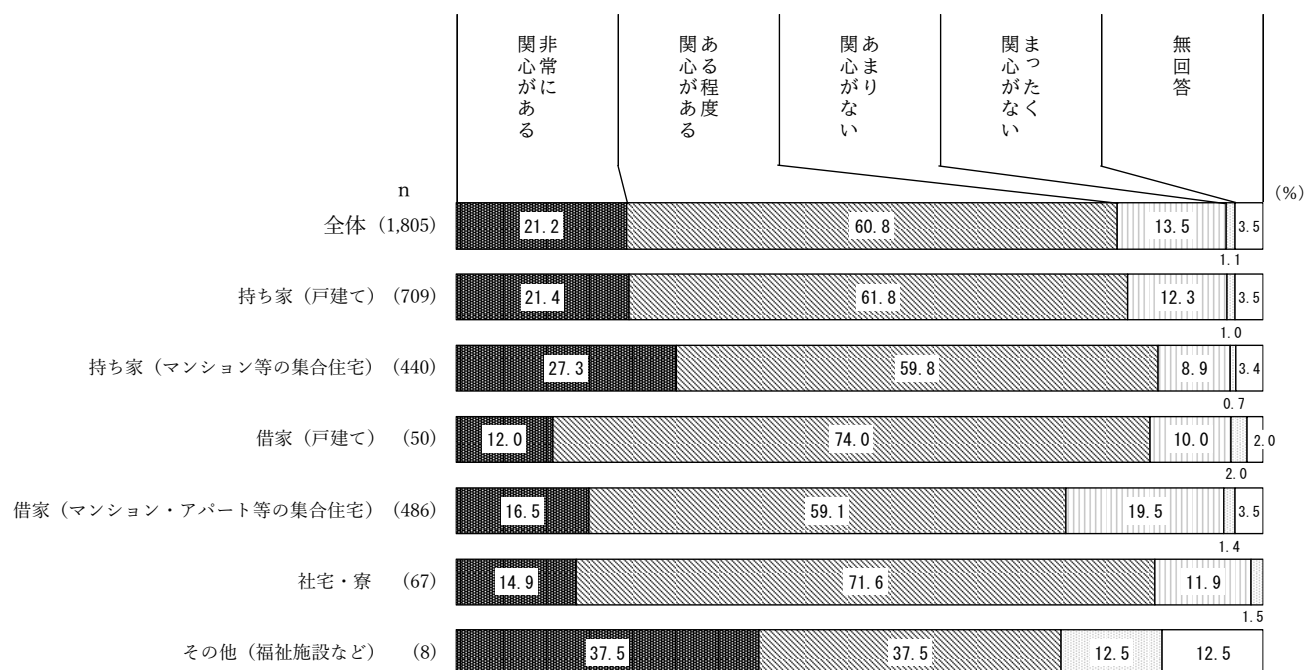
〔お住まいの地域について〕前回調査と比較すると、「非常に関心がある」は、吉祥寺地域で4.6ポイント減少、中央地域で4.9ポイント増加、武蔵境地域で3.8ポイント増加している。

図表1－39 地域への関心度・お住まいの地域について（職業別）



〔お住まいの地域について〕職業別で見ると、『関心がある』は、自営業・自由業、家事専業で8割台後半と高く、無職、正社員、正職員で8割台前半となっている。一方、学生では6割台と他に比べて低くなっている。（図表1－39）

図表1－40 地域への関心度・お住まいの地域について（住宅の種類別）



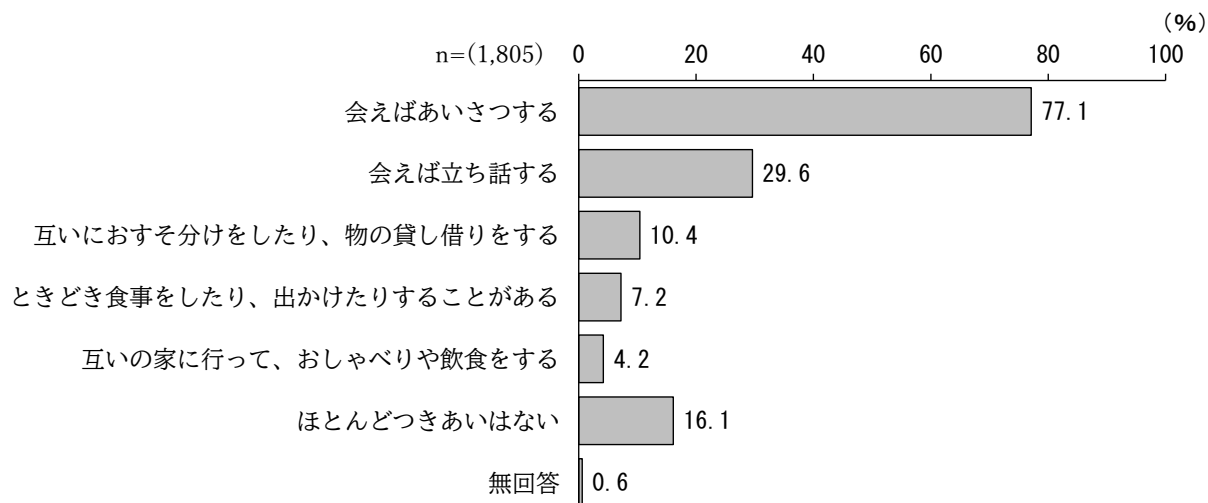
〔お住まいの地域について〕住宅の種類別で見ると、『関心がある』は、持ち家（マンション等の集合住宅）、社宅・寮、借家（戸建て）で8割台後半、持ち家（戸建て）で8割台前半、借家（マンション・アパート等の集合住宅）、その他（福祉施設など）で7割台半ばとなっている。（図表1－40）

1-7 近隣との交際状況

◎ 「会えばあいさつする」が7割台後半、「会えば立ち話する」が約3割である。

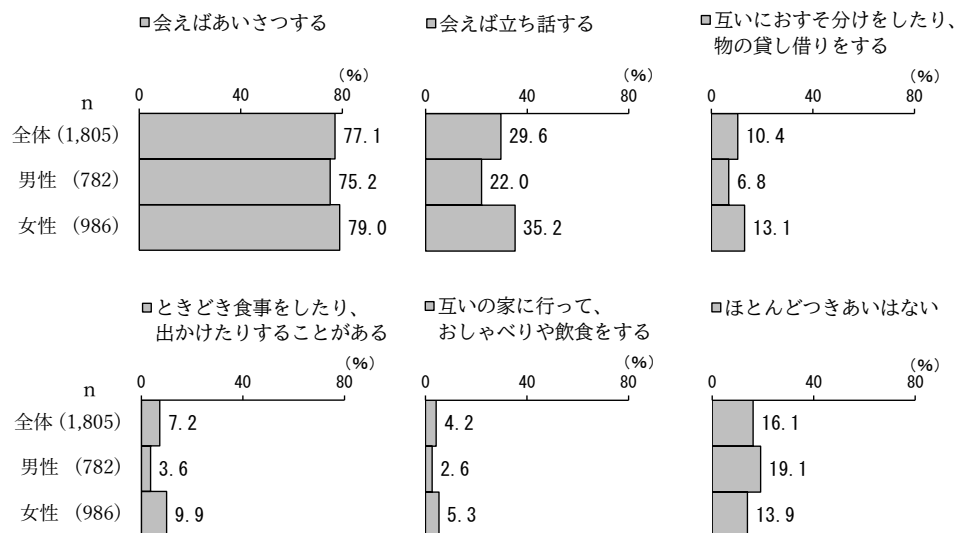
問5 あなたは日頃、近所の方とどの程度のおつきあいをされていますか。(○はいくつでも)

図表1-41 近隣との交際状況(複数回答)



近隣との交際は、「会えばあいさつする」(77.1%)が7割台後半と最も高く、次いで、「会えば立ち話する」(29.6%)が約3割となっている。(図表1-41)

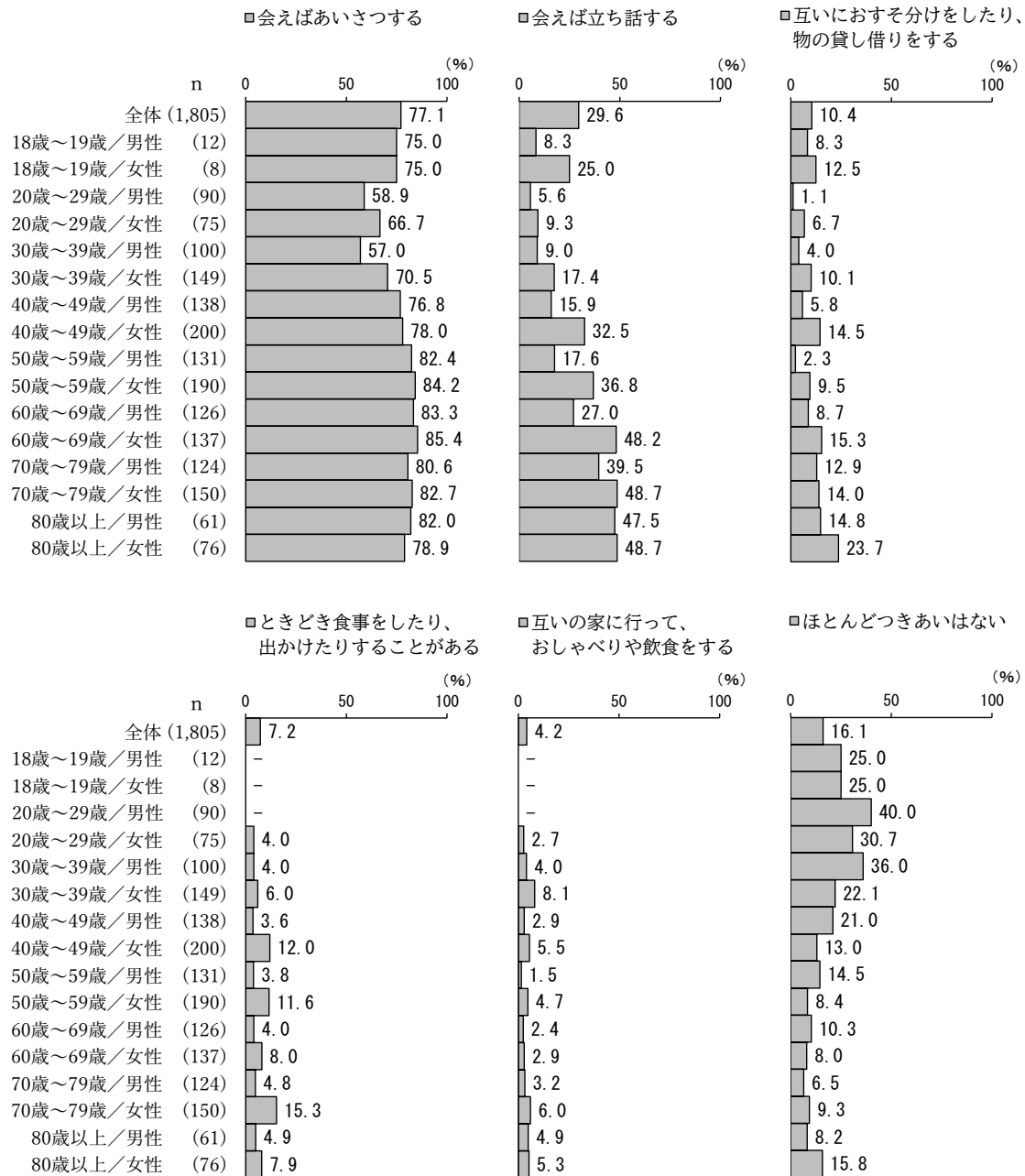
図表1-42 近隣との交際状況(性別)



性別で見ると、「会えば立ち話する」は、女性の方が男性より13.2ポイント高く、「互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする」は、女性の方が男性より6.3ポイント高い。「ときどき食事をしたり、出かけたりすることがある」は、女性の方が男性より6.3ポイント高くなっている。

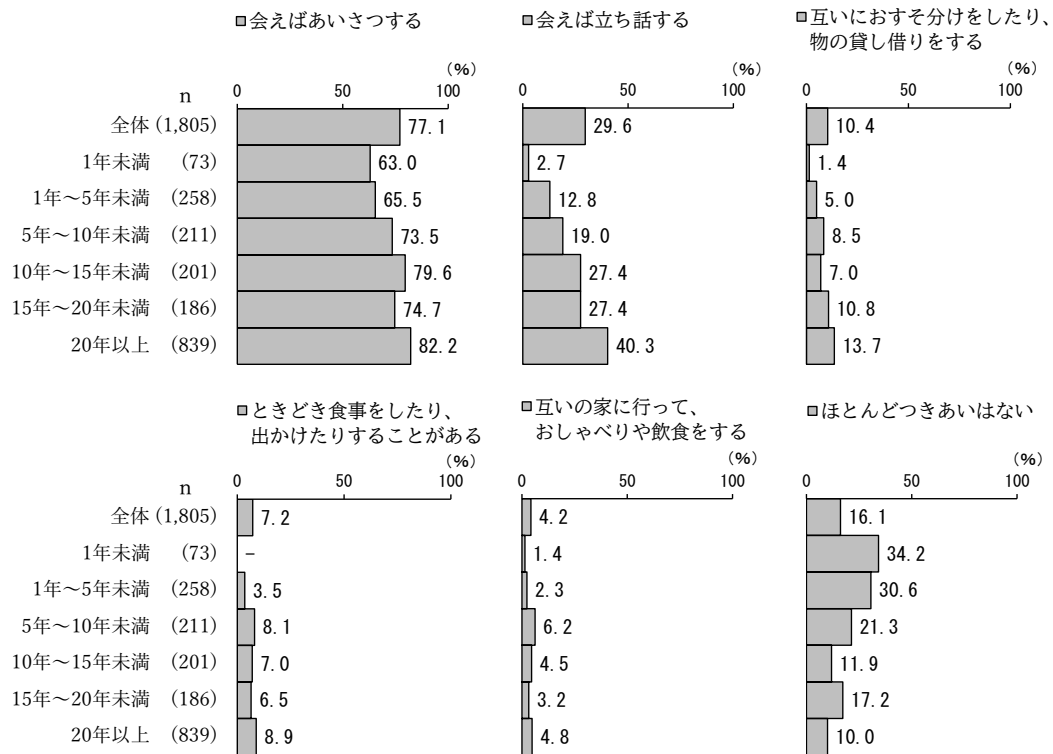
一方で、「ほとんどつきあいはない」は男性の方が女性より5.2ポイント高くなっている。(図表1-42)

図表1－43 近隣との交際状況（性／年代別）



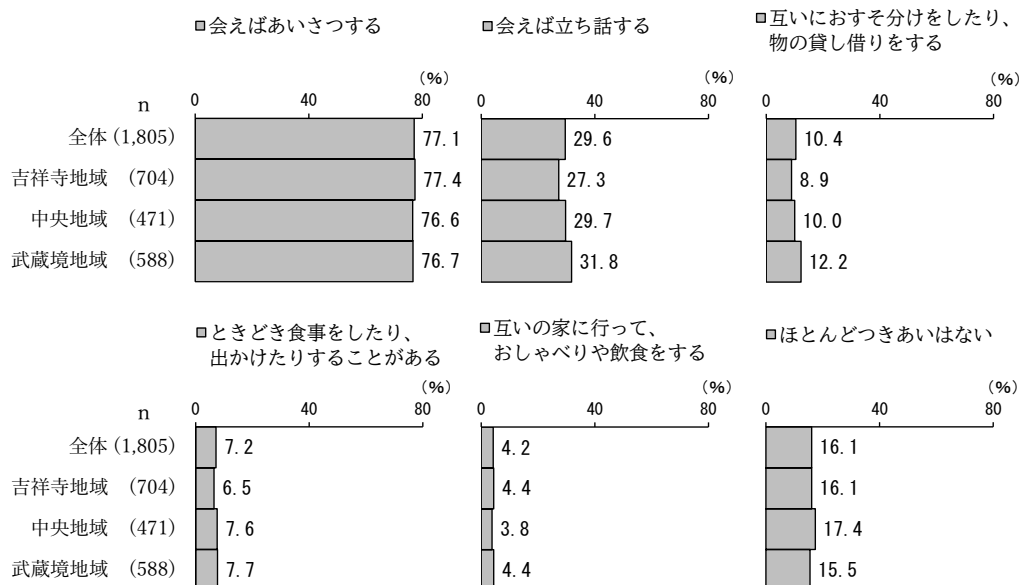
性／年代別で見ると、「会えばあいさつする」は、男女とも50歳～79歳で8割以上となっている。一方、20歳～29歳、30歳～39歳の男性で5割台後半、女性の20歳～29歳で6割台後半となっている。「会えば立ち話する」は、男女ともに年代が上がるほど増加する傾向となっている。「ほとんどつきあいはない」は、男性の20歳～29歳で4割、女性の20歳～29歳で3割と高くなっている。（図表1－43）

図表1－44 近隣との交際状況（居住年数別）



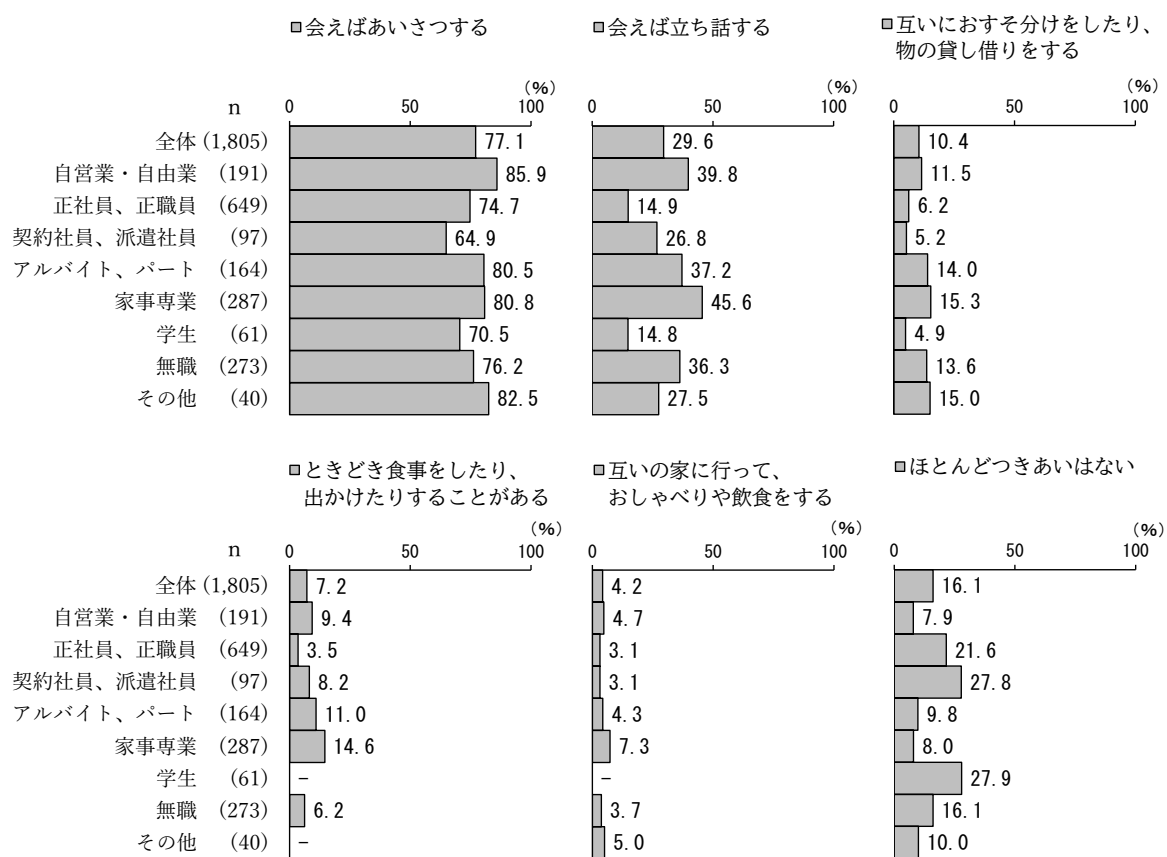
居住年数別で見ると、「会えばあいさつする」は20年以上で8割台前半、10年～15年未満では7割台後半である。「会えば立ち話する」は、居住年数が長いほど高くなる傾向にあり、20年以上で4割と最も高くなっている。一方、「ほとんどつきあいはない」は居住年数が短いほど高くなる傾向にあり、1年未満で3割台前半となっている。（図表1－44）

図表1－45 近隣との交際状況（居住地域別）



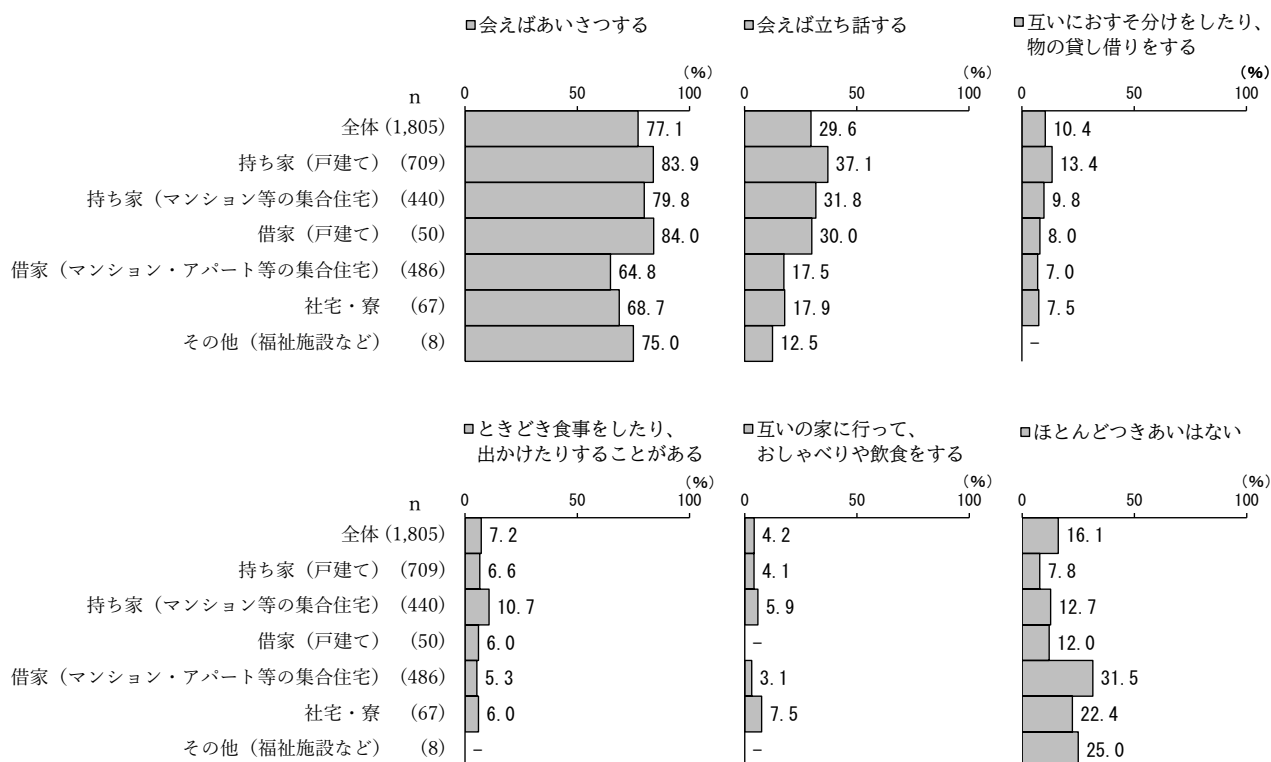
居住地域別で見ると、地域による大きな違いは見られない。（図表1－45）

図表1－46 近隣との交際状況（職業別）



職業別で見ると、「会えばあいさつする」は、自営業・自由業、その他、家事専業、アルバイト、パートで8割を超えて高くなっている。「会えば立ち話する」は、家事専業で4割台後半と最も高くなっている。一方、正社員、正職員、学生で1割台半ばと低くなっている。（図表1－46）

図表1－47 近隣との交際状況（住宅の種類別）



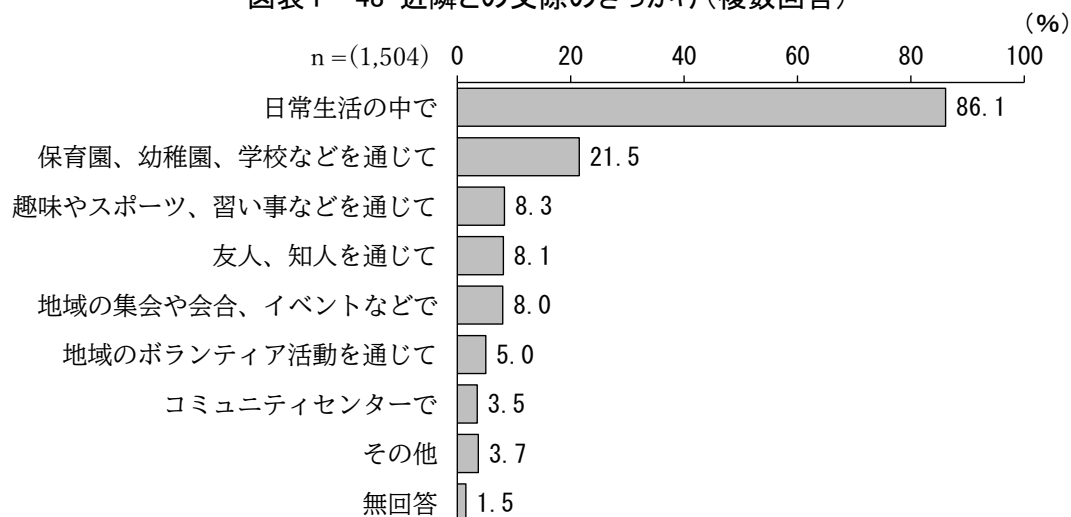
住宅の種類別で見ると、「会えばあいさつする」は、借家（戸建て）、持ち家（戸建て）で8割を超え高くなっている。「会えば立ち話する」は、持ち家（戸建て）で3割台後半と最も高くなっている。一方、「ほとんどつきあいはない」は、借家（マンション・アパート等の集合住宅）で3割台前半、その他（福祉施設など）、社宅・寮で2割台と他に比べて高くなっている。（図表1－47）

1－8 近隣との交際のきっかけ

◎ 「日常生活の中で」が8割台後半と最も高い。

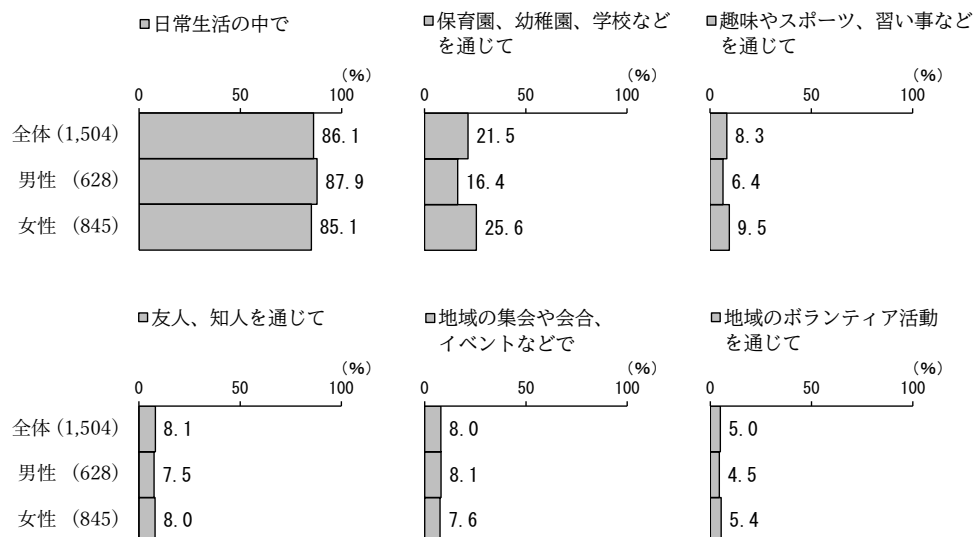
問5－1 どのようなきっかけで、近所の方とのつながりができましたか。(○はいくつでも)

図表1－48 近隣との交際のきっかけ(複数回答)



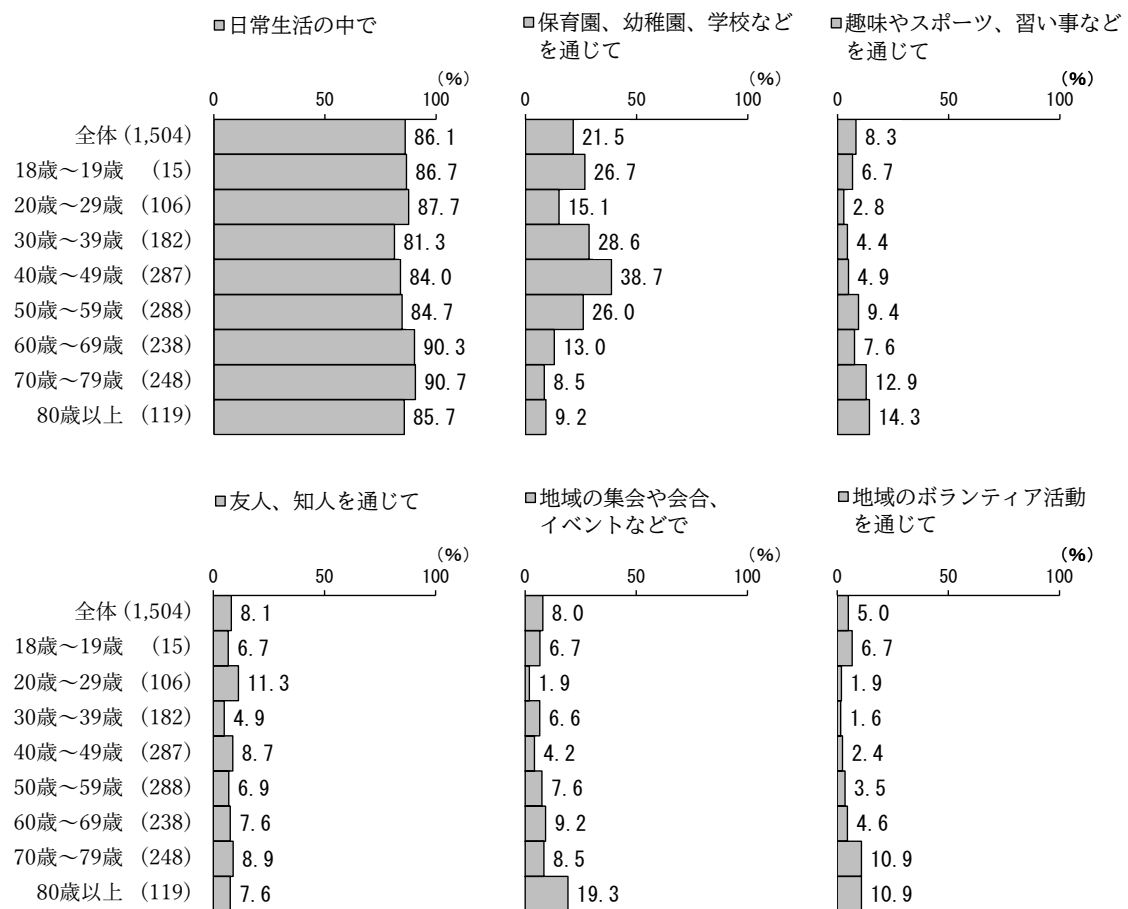
近隣との交際のきっかけは、「日常生活の中で」(86.1%)が8割台後半で最も高く、次いで、「保育園、幼稚園、学校などを通じて」(21.5%)が2割台前半となっている。(図表1－48)

図表1－49 近隣との交際のきっかけ(性別)上位6項目



性別で見ると、「日常生活の中で」は、男性の方が女性より2.8ポイント高く、「保育園、幼稚園、学校などを通じて」は、女性の方が男性より9.2ポイント高い。「趣味やスポーツ、習い事などを通じて」は、女性の方が男性より3.1ポイント高くなっている。(図表1－49)

図表1－50 近隣との交際のきっかけ（年代別）上位6項目



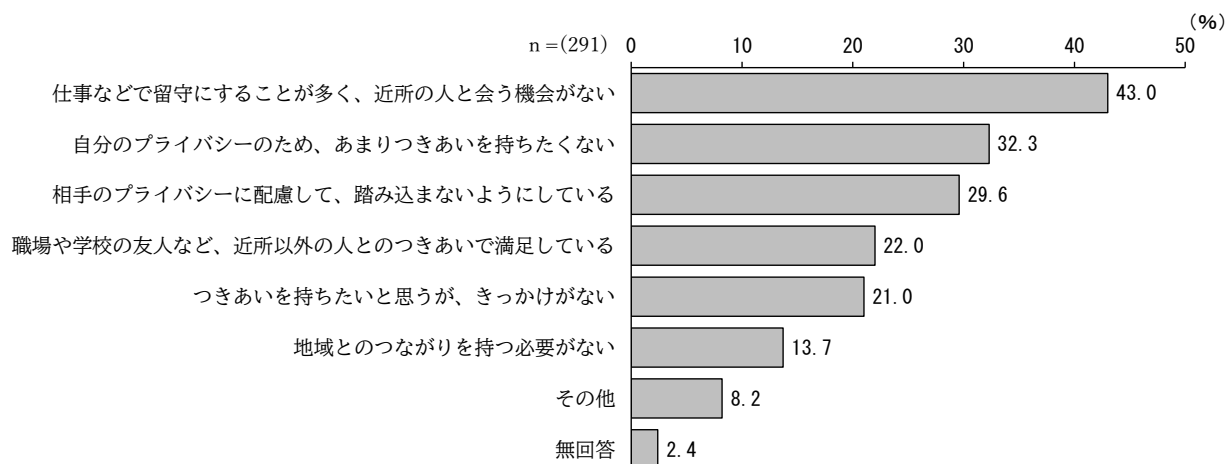
年代別で見ると、「日常生活の中で」は60歳～69歳と70歳～79歳で9割を超えている。「保育園、幼稚園、学校などを通じて」は、40歳～49歳で3割台後半と最も高く、次いで30歳～39歳、18歳～19歳、50歳～59歳が2割台後半となっている。「趣味やスポーツ、習い事などを通じて」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、80歳以上では1割台半ばとなっている。「友人、知人を通じて」は、20歳～29歳で約1割である。「地域の集会や会合、イベントなどで」は、80歳以上で1割台後半と最も高くなっている。「地域のボランティア活動を通じて」は、70歳～79歳、80歳以上で約1割と最も高くなっている。（図表1－50）

1－9 近隣との交際がない理由

◎ 「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」が4割台前半と最も高い。

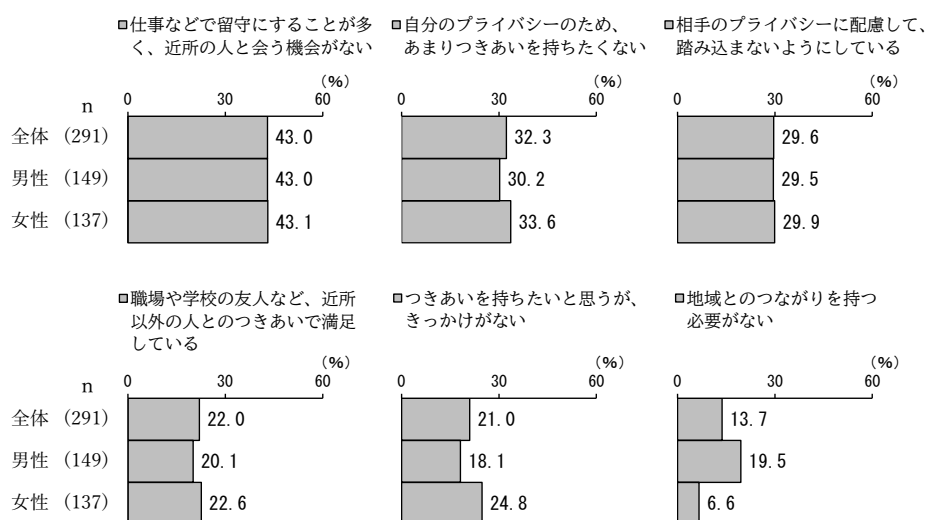
問5－2 近所の方とのつきあいがいい理由は何でしょうか。(○はいくつでも)

図表1－51 近隣との交際がない理由(複数回答)



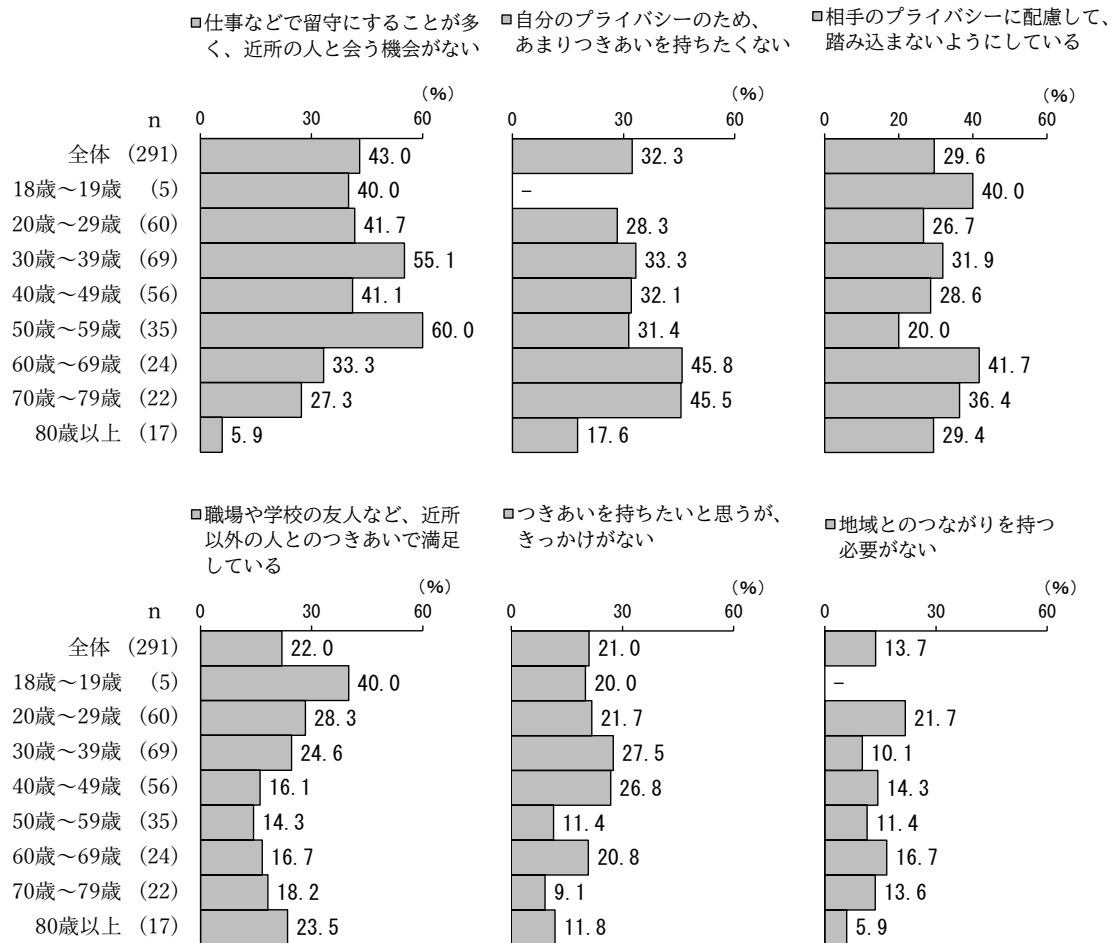
近隣との交際がない理由は、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」(43.0%)が4割台前半で最も高く、次いで、「自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない」(32.3%)が3割台前半、「相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている」(29.6%)が2割台後半、「職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している」(22.0%)、「つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない」(21.0%)が2割台前半、「地域とのつながりを持つ必要がない」(13.7%)が1割台前半となっている。(図表1－51)

図表1－52 近隣との交際がない理由(性別)



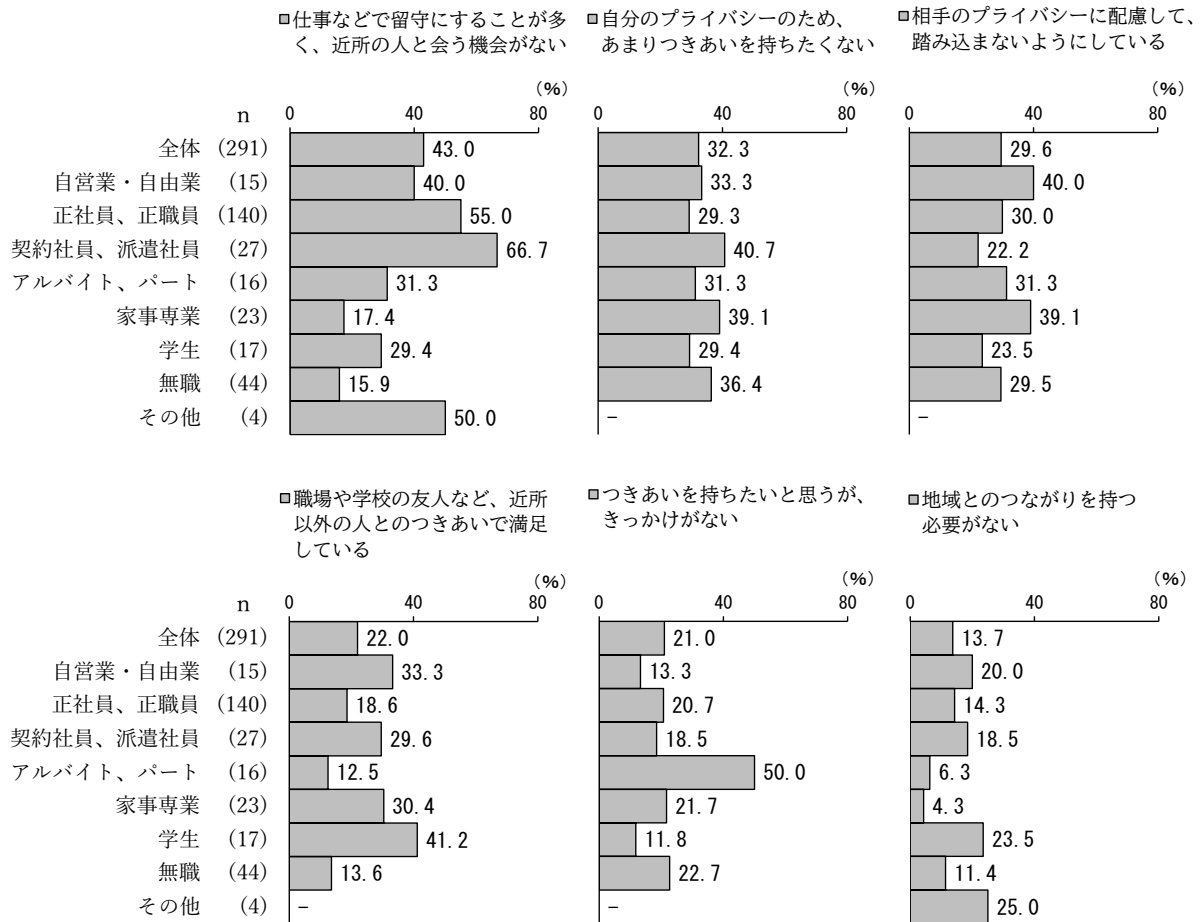
性別で見ると、女性の方が男性よりやや高い傾向となっており、一方で「地域とのつながりを持つ必要がない」は男性の方が女性より12.9ポイント高くなっている。(図表1－52)

図表1－53 近隣との交際がない理由（年代別）



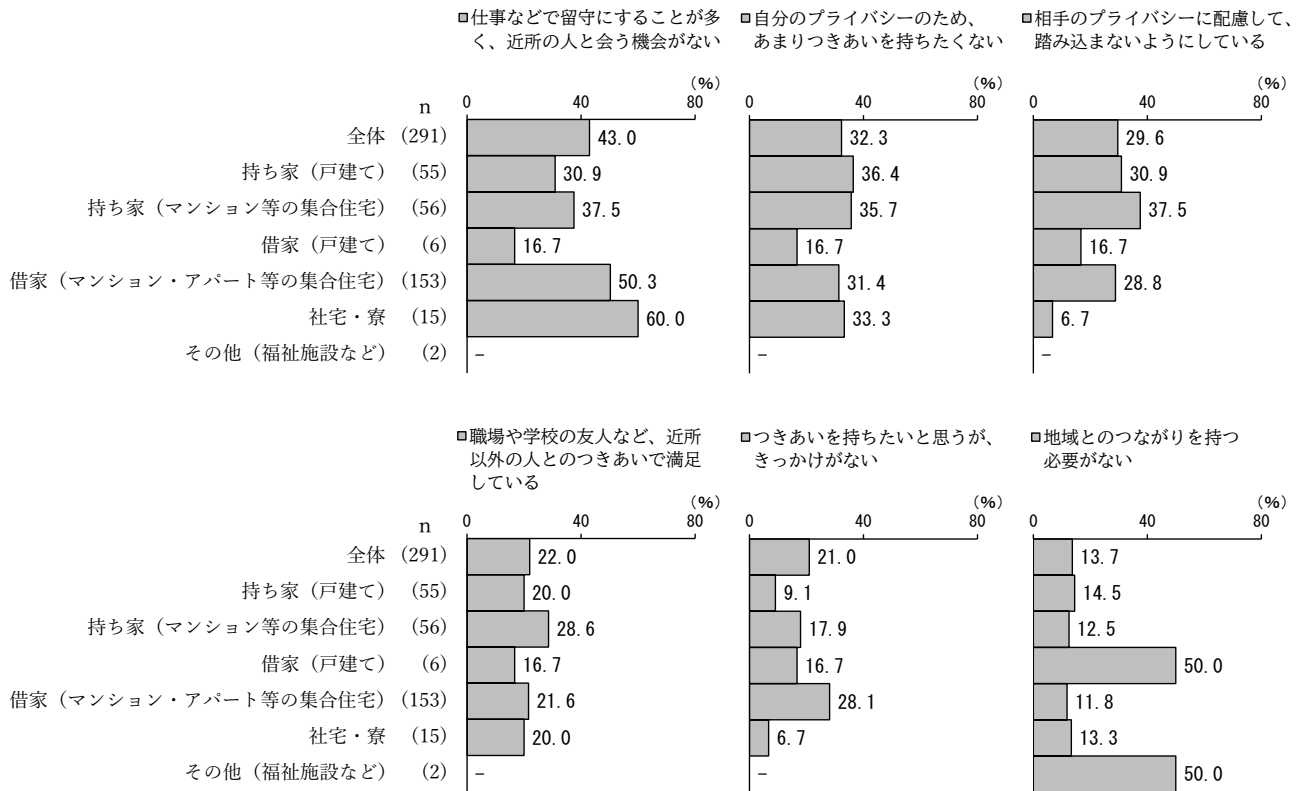
年代別で見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、50歳～59歳で6割と最も高くなっている。「自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない」は、60歳～69歳、70歳～79歳で4割台後半と最も高くなっている。「相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている」は、60歳～69歳、18歳～19歳で4割台前半と最も高くなっている。（図表1－53）

図表1－54 近隣との交際がない理由（職業別）



職業別で見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、契約社員、派遣社員で6割台半ばと最も高くなっている。「自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない」は契約社員、派遣社員が4割台前半と最も高い。「つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない」は、アルバイト、パートで5割と高くなっている。（図表1－54）

図表1－55 近隣との交際がない理由（住宅の種類別）



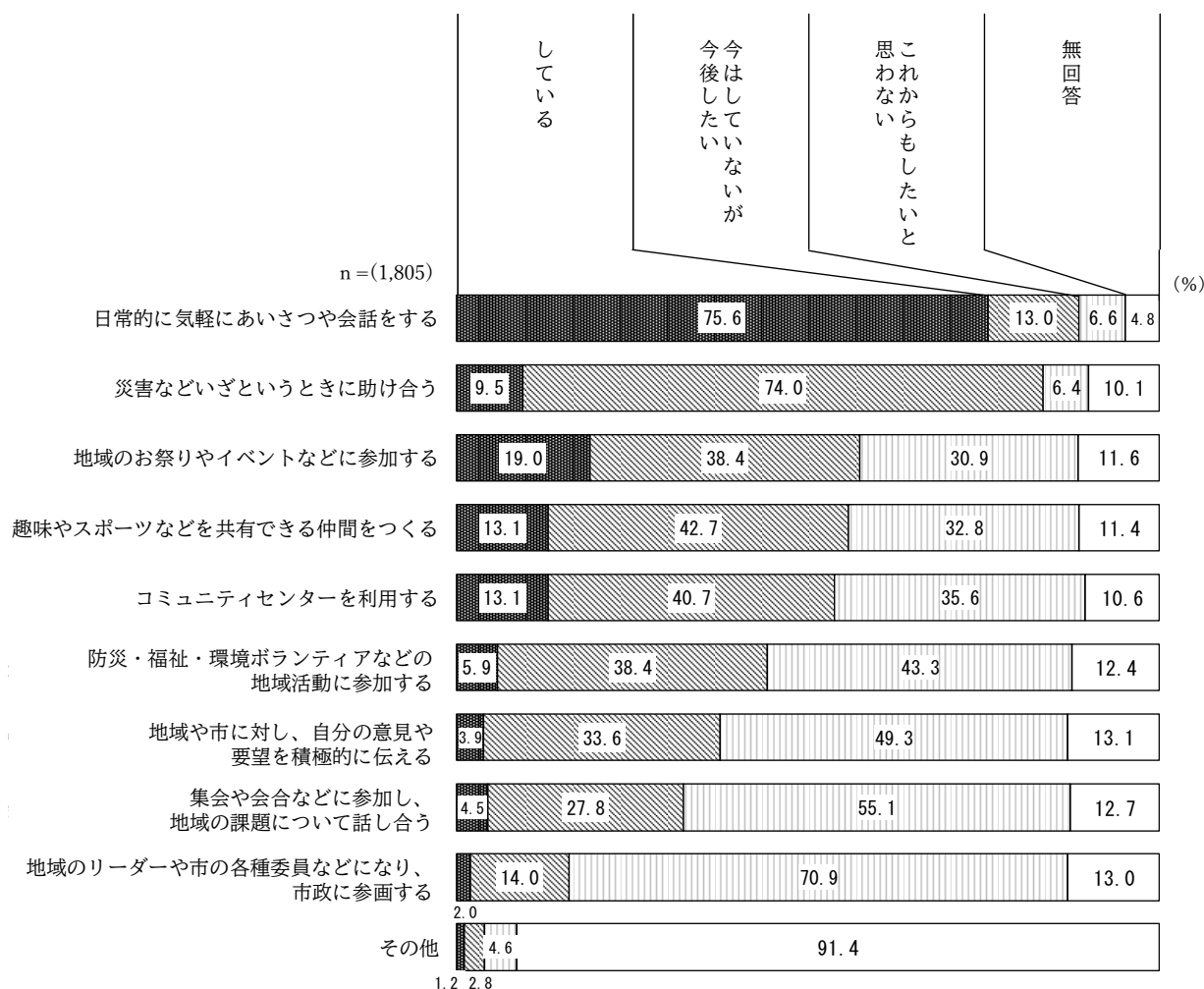
住宅の種類別で見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、社宅・寮で6割と最も高くなっている。「相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている」は持ち家（マンション等の集合住宅）で3割台半ばと最も高くなっている。「つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない」は、借家（マンション・アパート等の集合住宅）で2割台後半と最も高くなっている。（図表1－55）

1-10 地域における行動の状況・意向

◎ 『日常的に気軽にあいさつや会話をする』の『意向あり』が9割弱。

問6 あなたは、お住まいの地域とのつながりやコミュニケーションのために何かしていることがありますか。していることがない場合、今後したいと思っていますか。(〇はそれぞれ1つ)

図表1-56 地域における行動の状況・意向



地域における行動の状況・意向について見ると、『意向あり』（「している」＋「今はしていないが今後したい」）は『日常的に気軽にあいさつや会話をする』（88.6%）、『災害などいざというときに助け合う』（83.5%）、『地域のお祭りやイベントなどに参加する』（57.4%）、『趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる』（55.8%）、『コミュニティセンターを利用する』（53.8%）で過半数を超えている。（図表1-56）

図表1－57 地域における行動の状況・意向『意向あり』（性別・年代別・居住地域別）

(%)

		調査数（n）	日常的に気軽に や会話をする	災害などいざというとき に助け合う	地域のお祭りやイベント などに参加する	趣味やスポーツなどを 共有できる仲間をつくる	コミュニティセンターを 利用する	防災・福祉・環境ボランテ ィアなどの地域活動に参 加する	地域や市に対し、自分の 意見や要望を積極的に 伝える	地域や市に対し、自分の 意見や要望を積極的に 伝える	集会や会合などに参加 し、地域の課題について話 し合う	地域のリーダーや市の各 種委員などになり、市政 に参画する	その他
全体		1,805	88.6	83.5	57.4	55.8	53.8	44.3	37.5	32.3	16.0	4.0	
性別	男性	782	87.5	84.0	56.9	56.6	50.6	45.2	43.4	37.8	21.5	5.2	
	女性	986	90.0	84.4	58.9	56.0	56.8	44.3	33.4	28.3	12.0	2.9	
年代別	18歳～19歳	20	85.0	100.0	70.0	50.0	45.0	60.0	50.0	35.0	15.0	－	
	20歳～29歳	166	84.3	86.7	63.2	49.4	35.5	37.9	36.7	28.9	14.5	5.4	
	30歳～39歳	251	88.8	92.4	72.5	57.8	58.6	41.4	38.6	27.9	15.9	4.8	
	40歳～49歳	343	92.1	90.1	66.8	58.6	56.0	48.4	40.6	31.8	17.2	3.8	
	50歳～59歳	324	91.7	90.7	60.5	64.2	56.8	54.0	39.8	36.7	15.4	4.9	
	60歳～69歳	264	91.7	84.5	53.4	62.9	64.4	49.2	40.2	37.8	19.3	3.1	
	70歳～79歳	274	89.1	73.0	46.0	52.9	56.2	42.3	38.0	34.7	17.1	3.3	
	80歳以上	139	73.4	53.9	28.1	30.3	34.5	21.6	20.9	23.0	11.5	2.8	
居住地域別	吉祥寺地域	704	88.6	82.1	55.0	52.5	51.8	43.5	37.5	31.1	16.5	4.0	
	中央地域	471	88.3	87.5	59.4	59.0	55.4	42.8	35.8	29.5	13.8	3.6	
	武蔵境地域	588	90.3	83.5	59.7	57.5	55.4	47.0	39.6	36.2	17.0	4.5	

地域における行動の状況・意向について、『意向あり』の割合を性別で見ると、『コミュニティセンターを利用する』では、女性の方が男性より6ポイント以上高くなっている。一方、『地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える』では10ポイント、『集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う』、『地域のリーダーや市の各種委員などになり、市政に参画する』では、9ポイント以上、男性の方が女性より高くなっている。

年代別で見ると、『地域のお祭りやイベントなどに参加する』では、18歳～19歳、30歳～39歳で7割台となっている。『趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる』では、50歳～59歳、60歳～69歳で6割台となっている。『コミュニティセンターを利用する』では、60歳～69歳で6割台と最も高くなっている。

地域別で見ると、『災害などいざというときに助け合う』、『趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる』、『コミュニティセンターを利用する』では、中央地域が最も高くなっており、それ以外の項目では、武蔵境地域が最も高くなっている。（図表1－57）

図表1－58 地域における行動の状況・意向『意向あり』
（住宅の種類別・家族構成別・地域への愛着を『感じている』回答者別）

(%)

		調査数（n）	日常的に気軽にあいさつや会話をする	災害などいざというときに助け合う	地域のお祭りやイベントなどに参加する	趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる	コミュニティセンターを利用する	防災・福祉・環境ボランティアなどの地域活動に参加する	地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える	集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う	地域のリーダーや市の各種委員などになり、市政に参画する	その他
全体		1,805	88.6	83.5	57.4	55.8	53.8	44.3	37.5	32.3	16.0	4.0
住宅の種類別	持ち家(戸建て)	709	90.9	82.0	54.6	52.4	54.0	45.0	37.4	32.3	15.9	2.5
	持ち家(マンション等の集合住宅)	440	92.3	85.7	59.8	62.1	56.6	48.6	40.9	36.4	16.6	3.9
	借家(戸建て)	50	90.0	90.0	64.0	54.0	60.0	50.0	50.0	42.0	20.0	6.0
	借家(マンション・アパート等の集合住宅)	486	83.8	84.4	59.3	55.4	51.5	40.1	34.6	28.2	14.8	5.7
	社宅・寮	67	91.0	91.0	67.2	64.2	55.3	43.3	38.8	31.4	19.4	7.5
	その他(福祉施設など)	8	62.5	62.5	37.5	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	-	-
家族構成別	ひとり暮らし	313	77.6	77.7	45.7	54.3	47.0	37.7	29.7	28.7	15.4	7.3
	夫婦のみ	452	90.1	84.0	56.6	57.1	55.5	44.7	39.6	36.1	16.4	3.1
	親と子(2世代世帯)	841	92.4	86.6	64.2	57.5	56.7	48.0	39.4	32.1	16.5	3.4
	親と子と孫(3世代世帯)	85	91.7	87.0	60.0	60.0	58.8	47.1	45.9	32.9	21.2	3.6
	その他	75	86.7	82.7	45.3	40.0	41.3	38.6	38.7	32.0	13.3	2.6
武蔵野市全体に誇りや愛着を『感じている』※		1,508	90.8	85.4	59.5	58.2	56.6	46.8	40.3	34.4	17.0	4.2
お住まいの地域に誇りや愛着を『感じている』※		1,441	91.1	85.9	60.4	58.6	56.8	47.4	40.8	35.3	17.6	4.4

※「問8 あなたは、武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていますか」の質問に、『感じている』（「感じている」＋「やや感じている」）と回答した方が対象となる。

地域における行動の状況・意向について、『意向あり』の割合を住宅の種類別で見ると、『地域のお祭りやイベントなどに参加する』では、社宅・寮で6割台後半と高くなっている。また、『趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる』でも社宅・寮で6割台前半と高くなっている。『コミュニティセンターを利用する』では借家（戸建て）が6割と高くなっている。

家族構成別で見ると、『地域のお祭りやイベントなどに参加する』では、親と子（2世代世帯）、親と子と孫（3世代世帯）で6割台前半と高くなっている。『地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える』では、親と子と孫（3世代世帯）で4割台半ばと高くなっている。

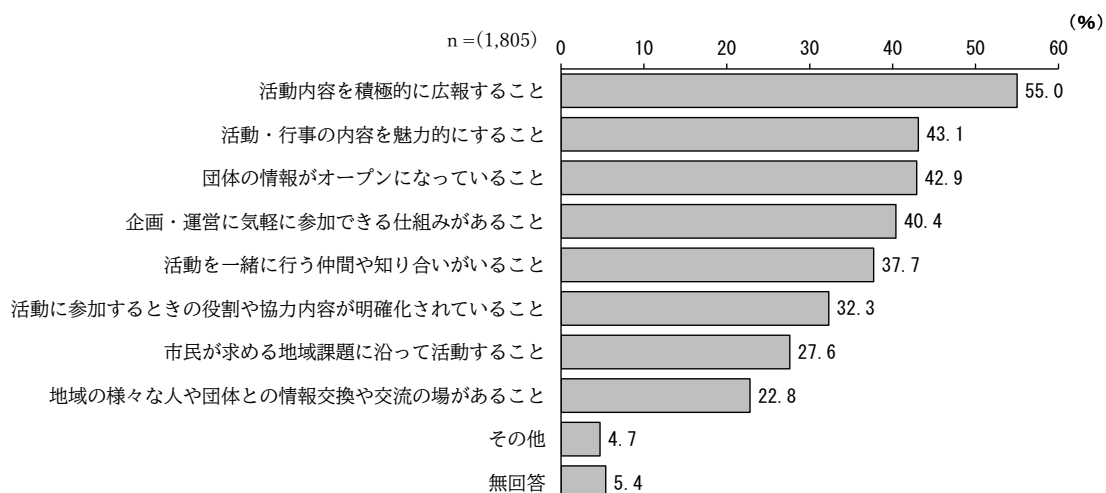
「武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じている」と回答した方では、『日常的に気軽にあいさつや会話をする』では、どちらも9割を超えているほか、他の項目でも同程度の値となっており、地域による大きな違いはみられない。（図表1－58）

1-11 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと

◎ 「活動内容を積極的に広報すること」が5割台半ばで最も高い。

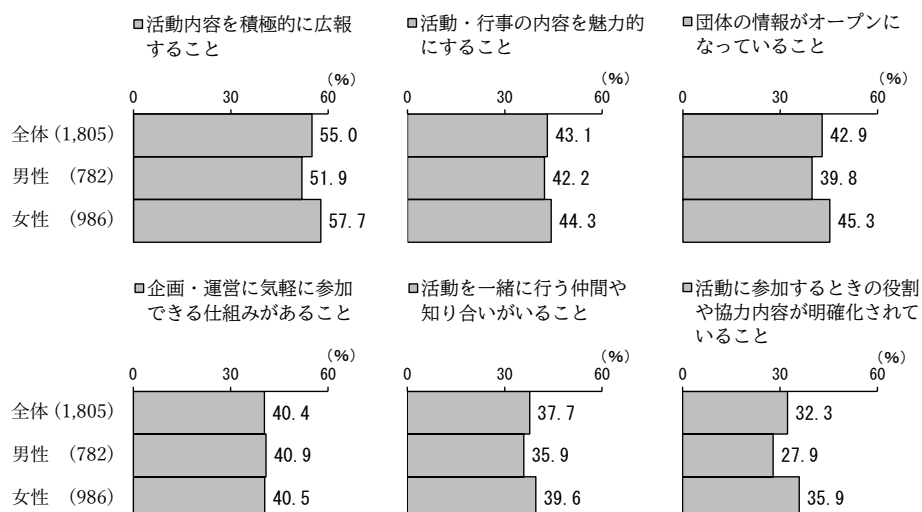
問7 防災・福祉・環境ボランティアなど、地域の活動に、より多くの人が参加するようになるために必要なことは何だと思いませんか。(〇はいくつでも)

図表1-59 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと(複数回答)



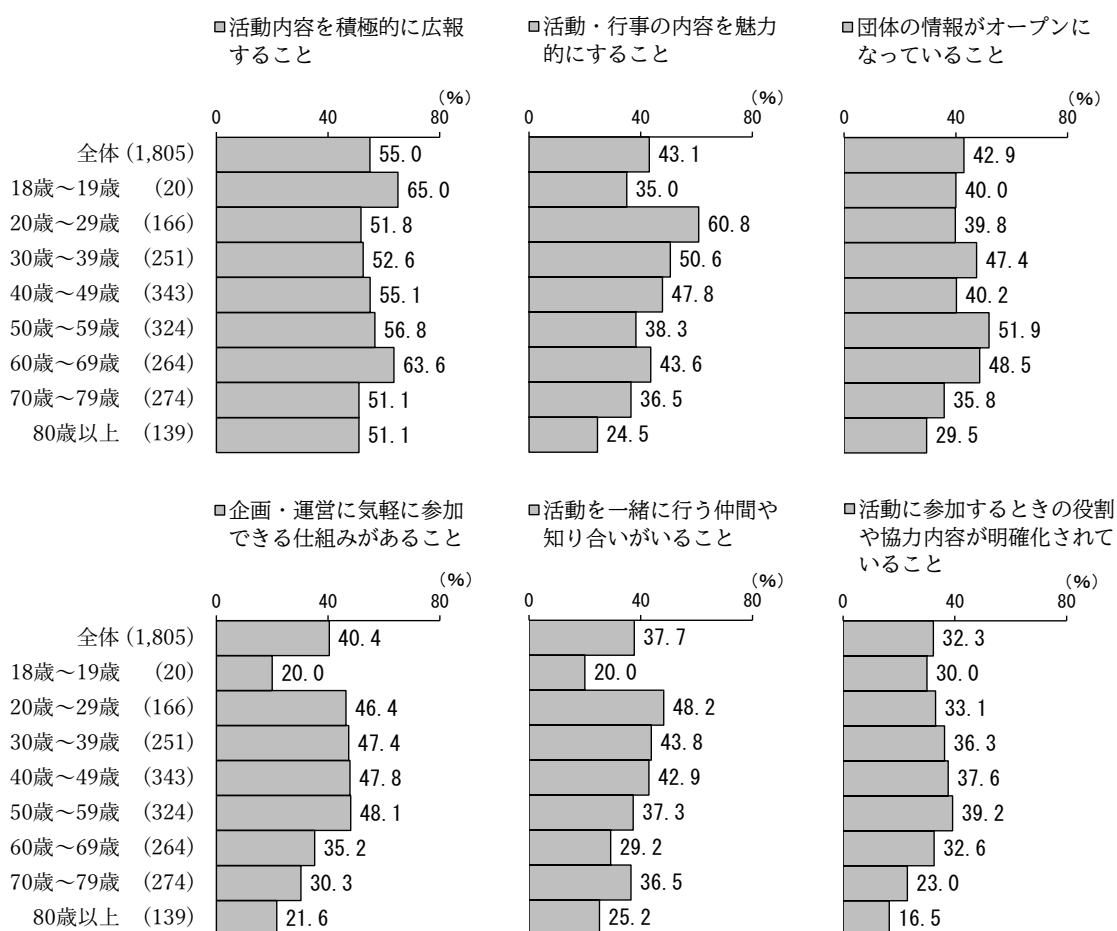
地域の活動の参加者を増やすために必要なことは、「活動内容を積極的に広報すること」(55.0%)が5割台半ばと最も高く、次いで、「活動・行事の内容を魅力的にすること」(43.1%)、「団体の情報がオープンになっていること」(42.9%)、「企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること」(40.4%)が4割台前半と続く。(図表1-59)

図表1-60 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと(性別)上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること」以外は、女性の方が男性より高い傾向となっている。(図表1-60)

図表1－61 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと（年代別）上位6項目



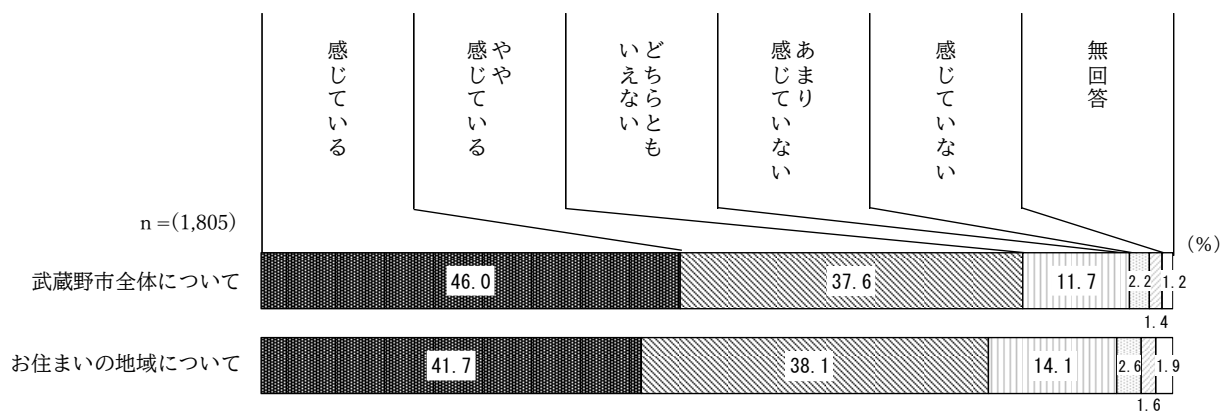
年代別で見ると、「活動内容を積極的に広報すること」は、すべての年代で過半数を超えて高くなっている。「活動・行事の内容を魅力的にすること」は、18歳～19歳を除き、年代が下がるにつれて高くなる傾向があり、20歳～29歳で約6割と最も高くなっている。「団体の情報がオープンになっていること」は、50歳～59歳で5割前半と高くなっている。「活動と一緒にいる仲間や知り合いがいること」は、20歳～29歳で4割台後半と最も高くなっている。（図表1－61）

1－12 地域への誇り・愛着

◎ 〔武蔵野市全体について〕、〔お住まいの地域について〕で「誇りや愛着を感じている」がともに8割前後となっている。

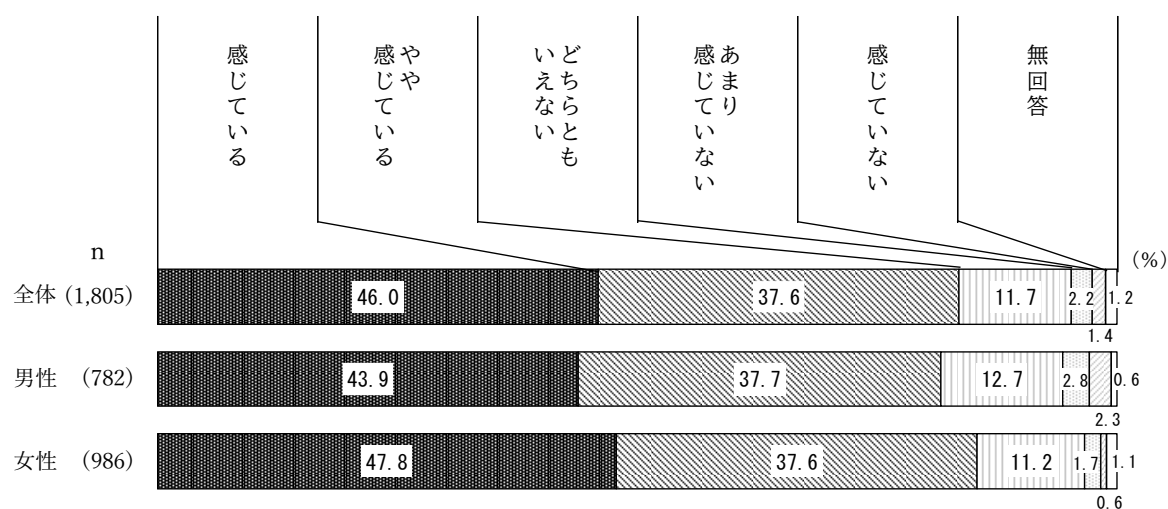
問8 あなたは、武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

図表1－62 地域への誇り・愛着

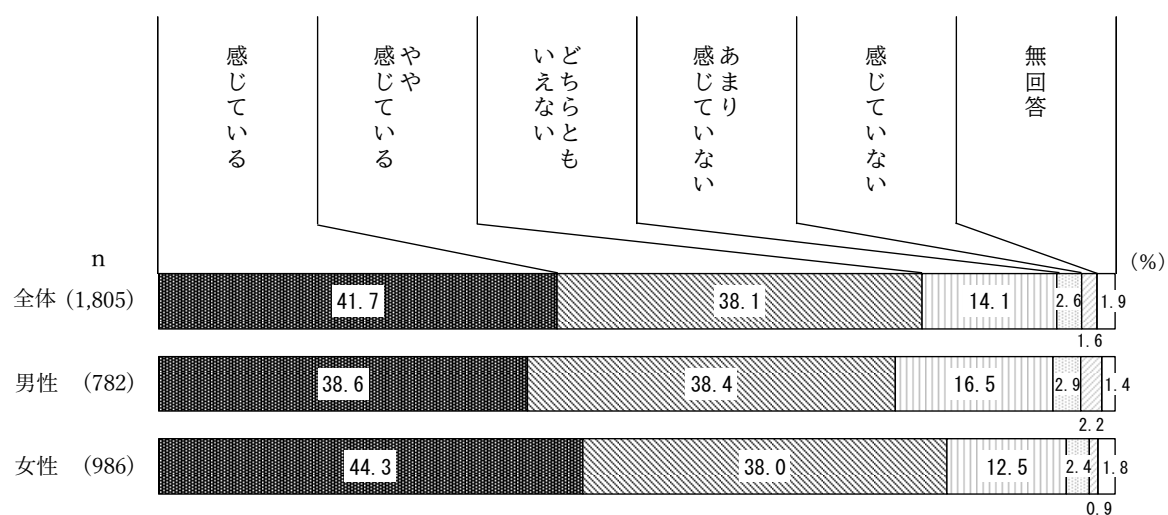


〔武蔵野市全体について〕の誇り・愛着は、『感じている』（「感じている」＋「やや感じている」）（83.6％）が8割台前半、〔お住まいの地域について〕は、『感じている』（79.8％）が7割台後半となっている。（図表1－62）

図表1－63 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(性別)

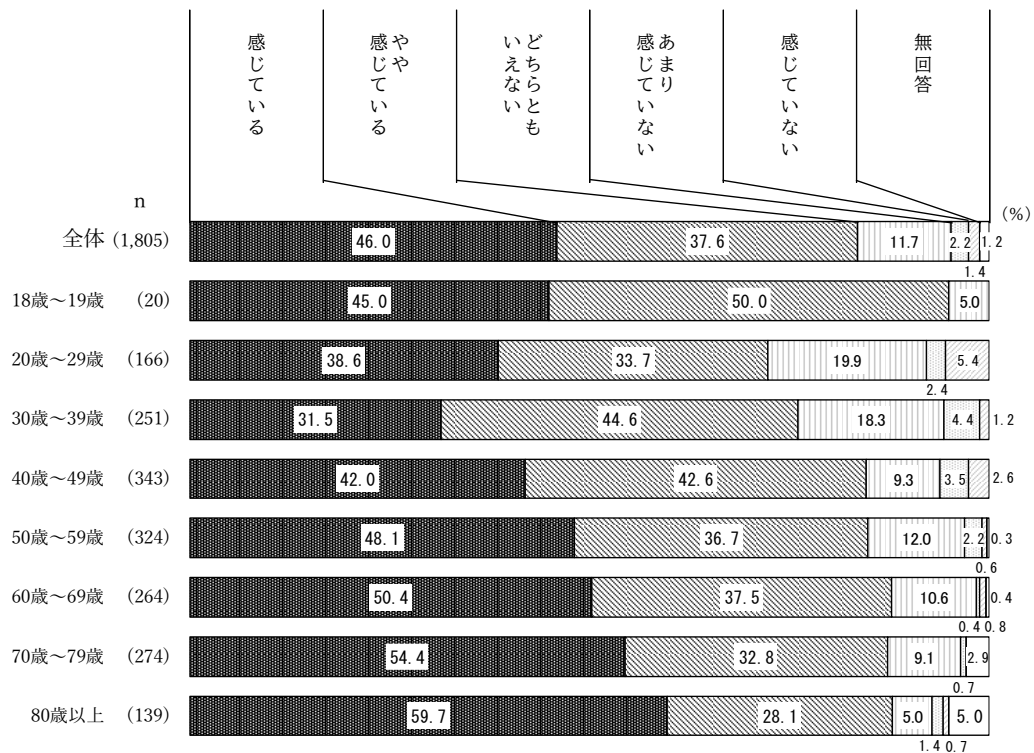


図表1－64 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(性別)

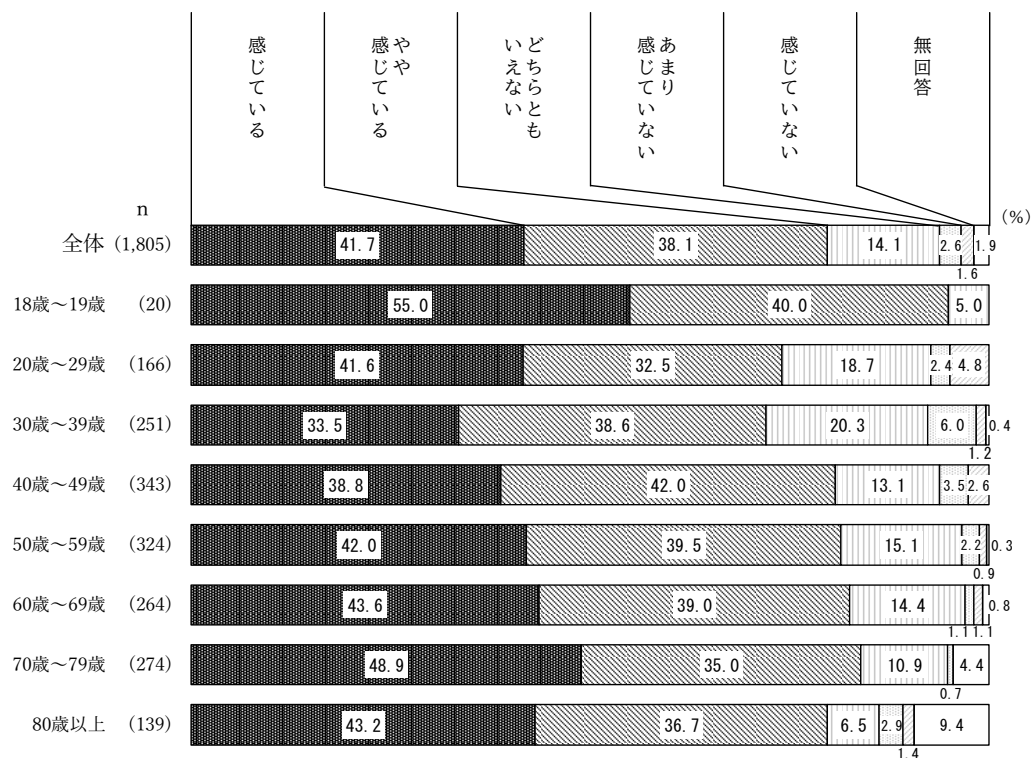


性別で見ると、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」ともに『感じている』は、女性の方が男性よりもやや高い傾向にある。（図表1－63、図表1－64）

図表1－65 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(年代別)

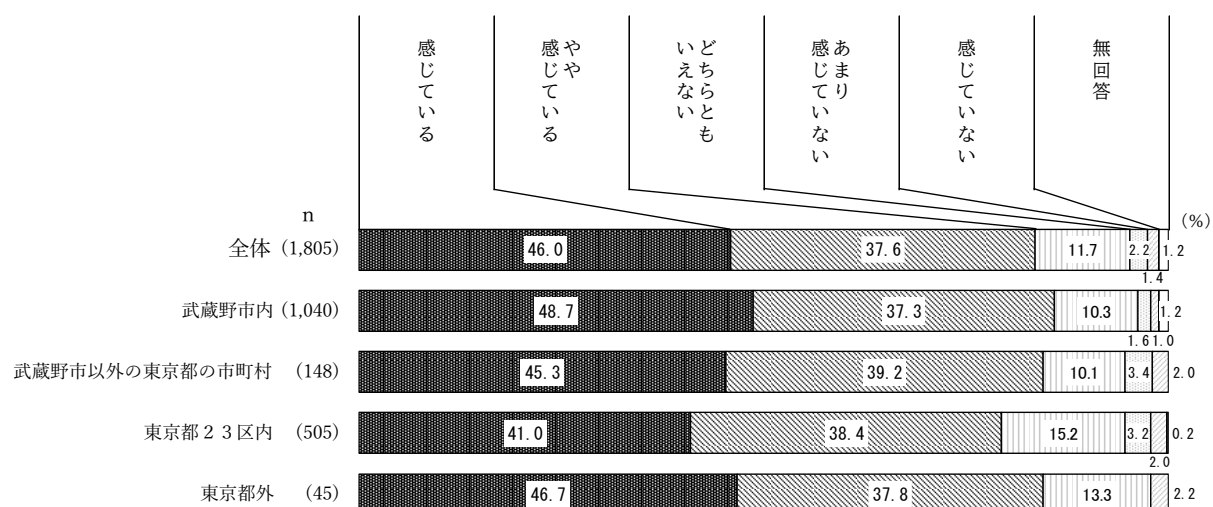


図表1－66 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(年代別)

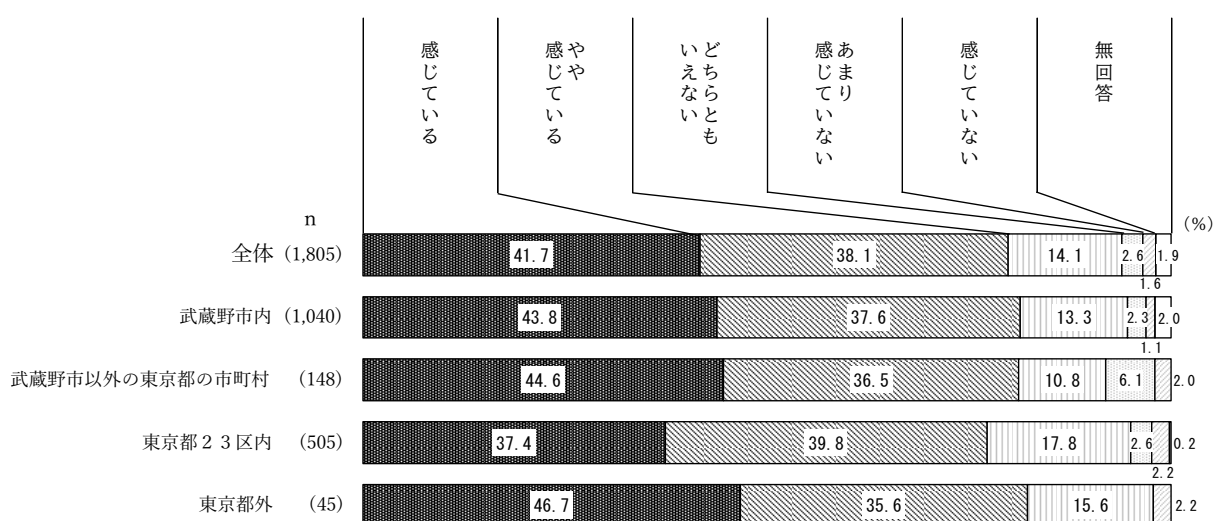


年代別で見ると、「武蔵野市全体について」は、『感じている』が20歳～29歳、30歳～39歳を除く年代で8割を超えている。「お住まいの地域について」は、『感じている』が20歳～29歳、30歳～39歳、80歳以上を除く年代で8割以上と高くなっている。(図表1－65、図表1－66)

図表1－67 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について
(日中最も多くの時間を過ごす場所別)

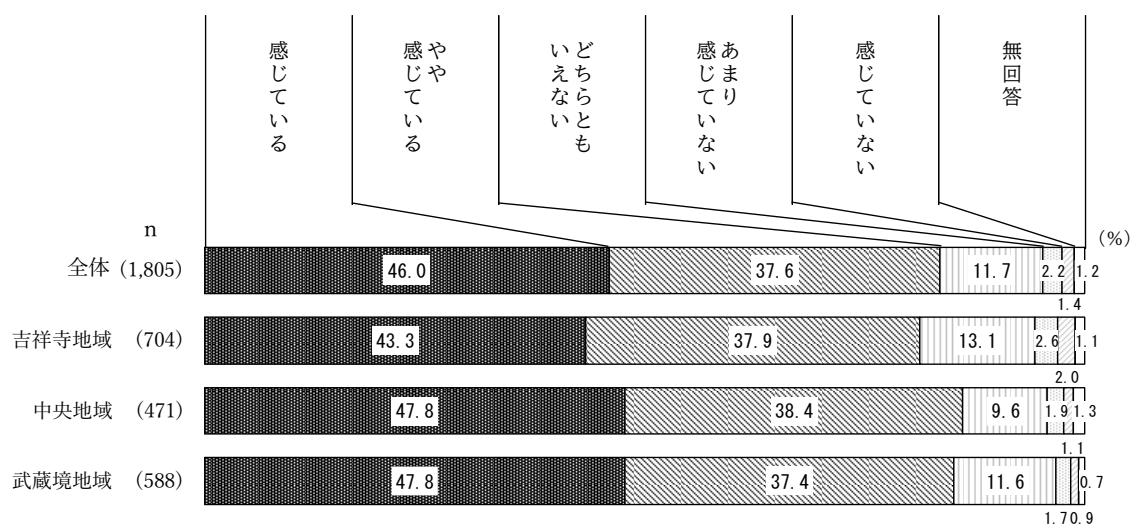


図表1－68 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について
(日中最も多くの時間を過ごす場所別)

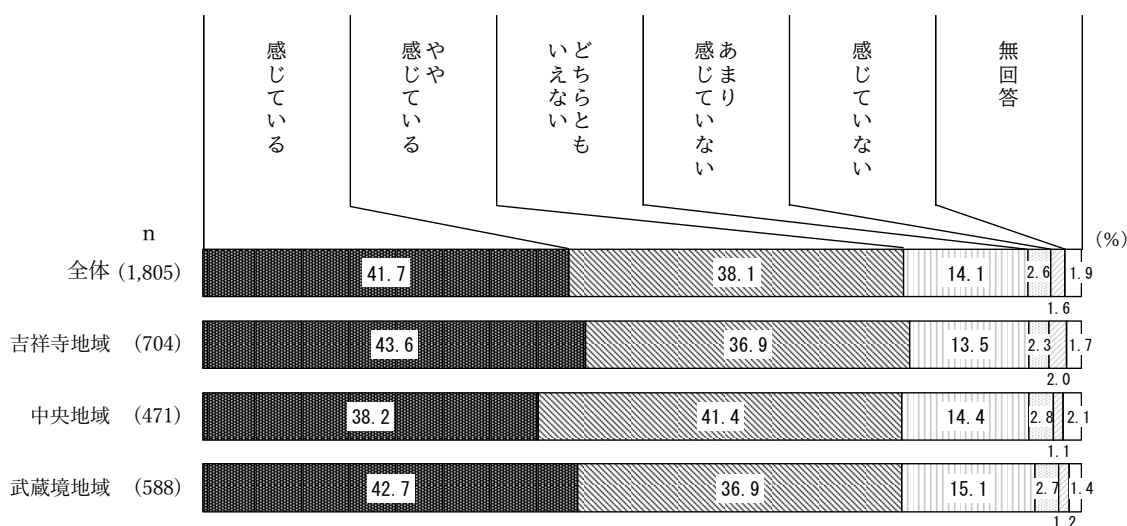


日中最も多くの時間を過ごす場所別で見ると、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」は、どちらも『感じている』が、東京都23区内で他の場所と比べてやや低いものの、すべての場所で7割を超えている。(図表1－67、図表1－68)

図表1－69 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(居住地域別)

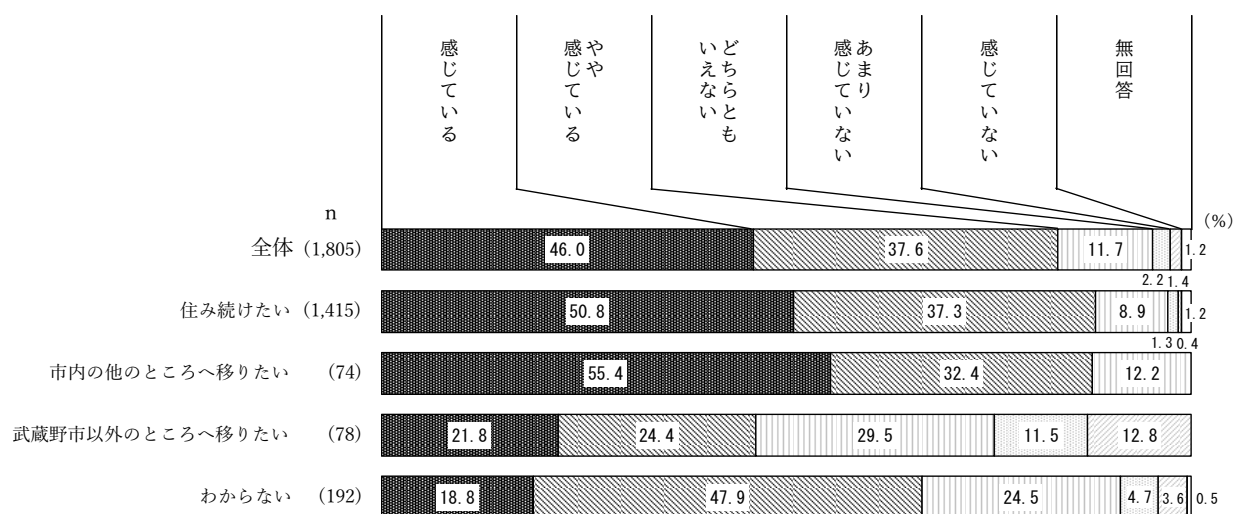


図表1－70 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(居住地域別)

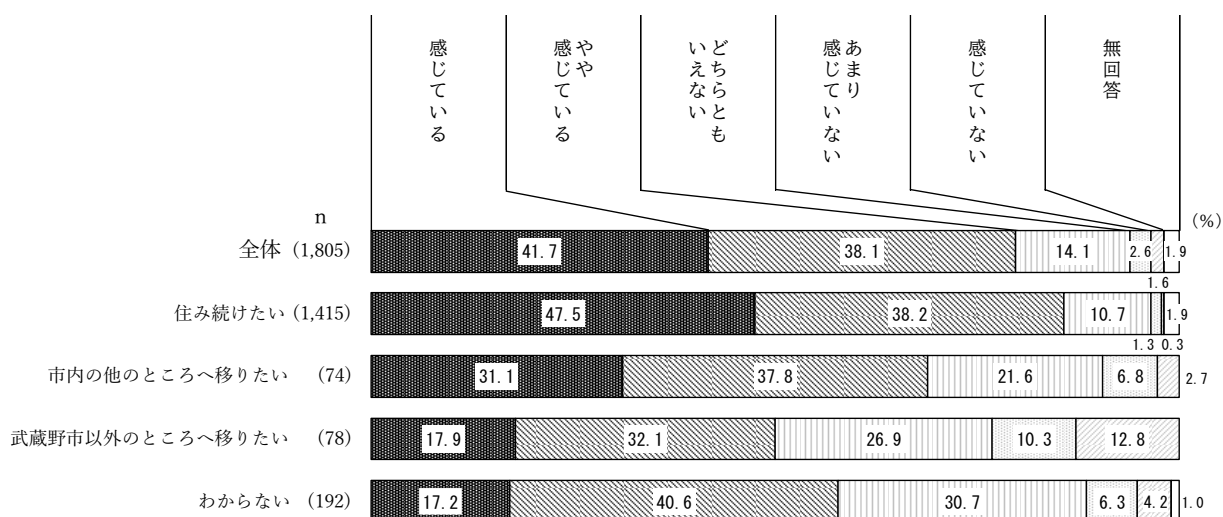


居住地域別で見ると、〔武蔵野市全体について〕は、『感じている』は、中央地域、武蔵境地域で8割台後半となっているほか、吉祥寺地域でも8割を超えている。対して、〔お住まいの地域について〕は、『感じている』は、吉祥寺地域で8割台前半と最も高くなっている。（図表1－69、図表1－70）

図表1－71 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(定住意向別)



図表1－72 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(定住意向別)



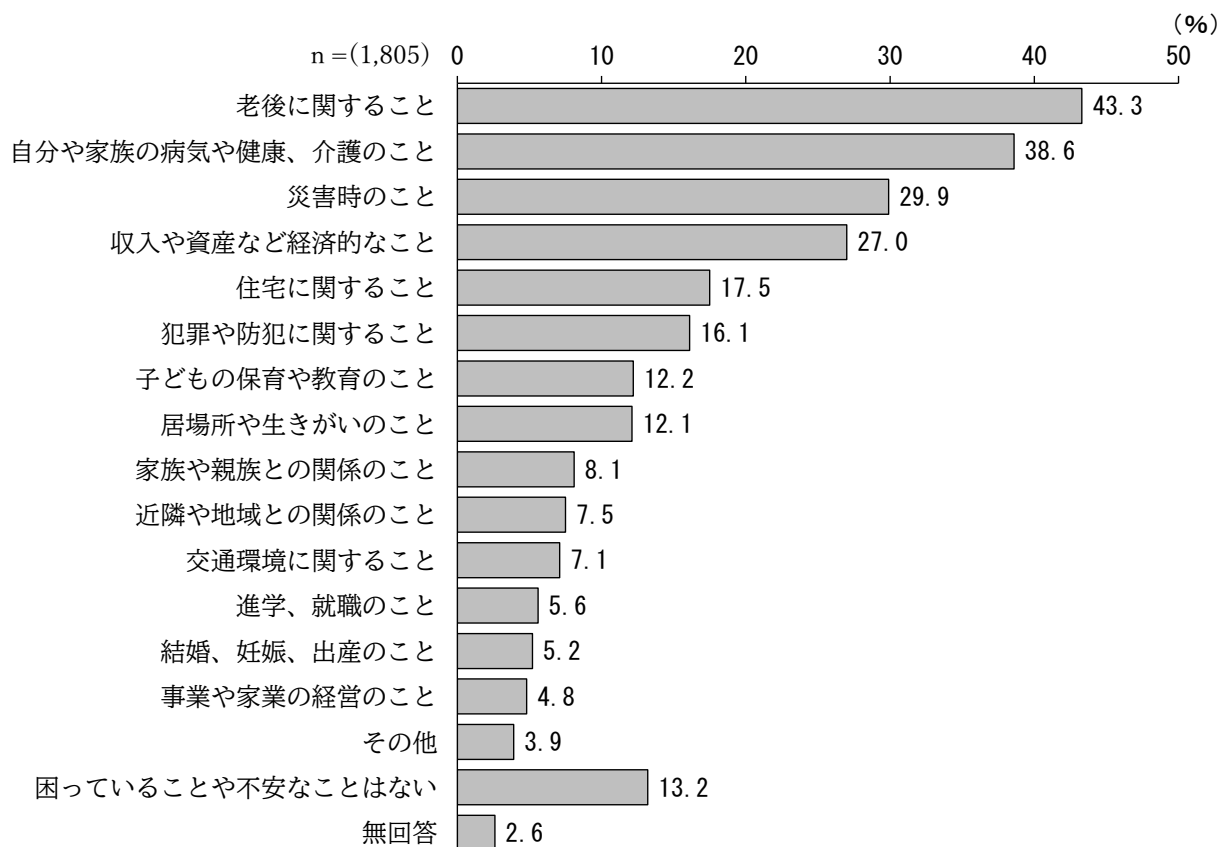
定住意向別で見ると、「武蔵野市全体について」は、『感じている』は、住み続けたい、市内の他のところへ移りたいで8割台後半となっている。一方、武蔵野市以外のところへ移りたいでは4割台後半となっている。「お住まいの地域について」は、『感じている』は、住み続けたいで8割台後半と最も高くなっている。一方、武蔵野市以外のところへ移りたいでは5割となっている。(図表1－71、図表1－72)

1-13 困っていること・不安なこと

◎ 「老後に関すること」が4割台前半で最も高い。

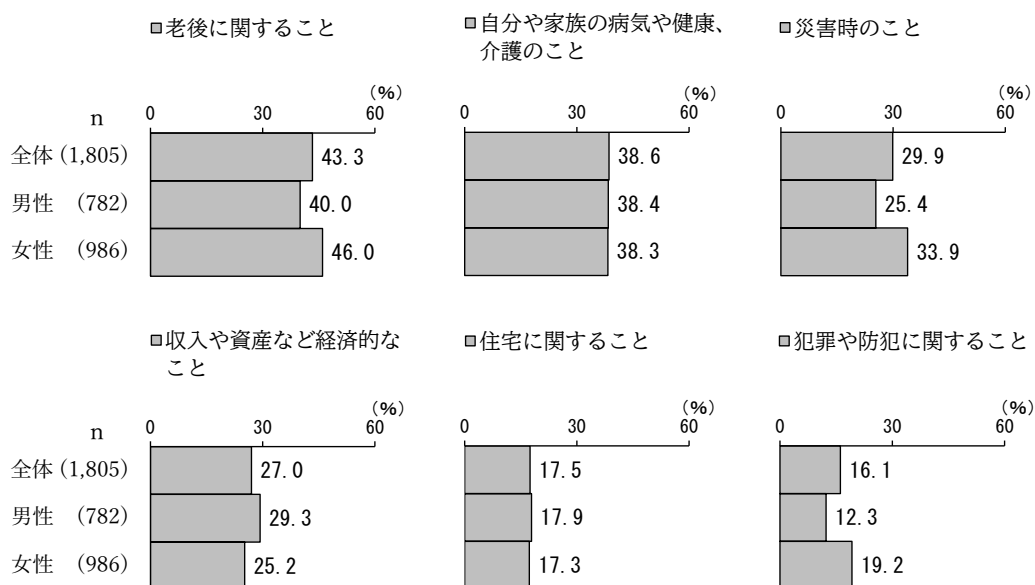
問9 日頃、生活や身近な環境で困っていることや不安なことはありますか。(〇はいくつでも)

図表 1-73 困っていること・不安なこと（複数回答）



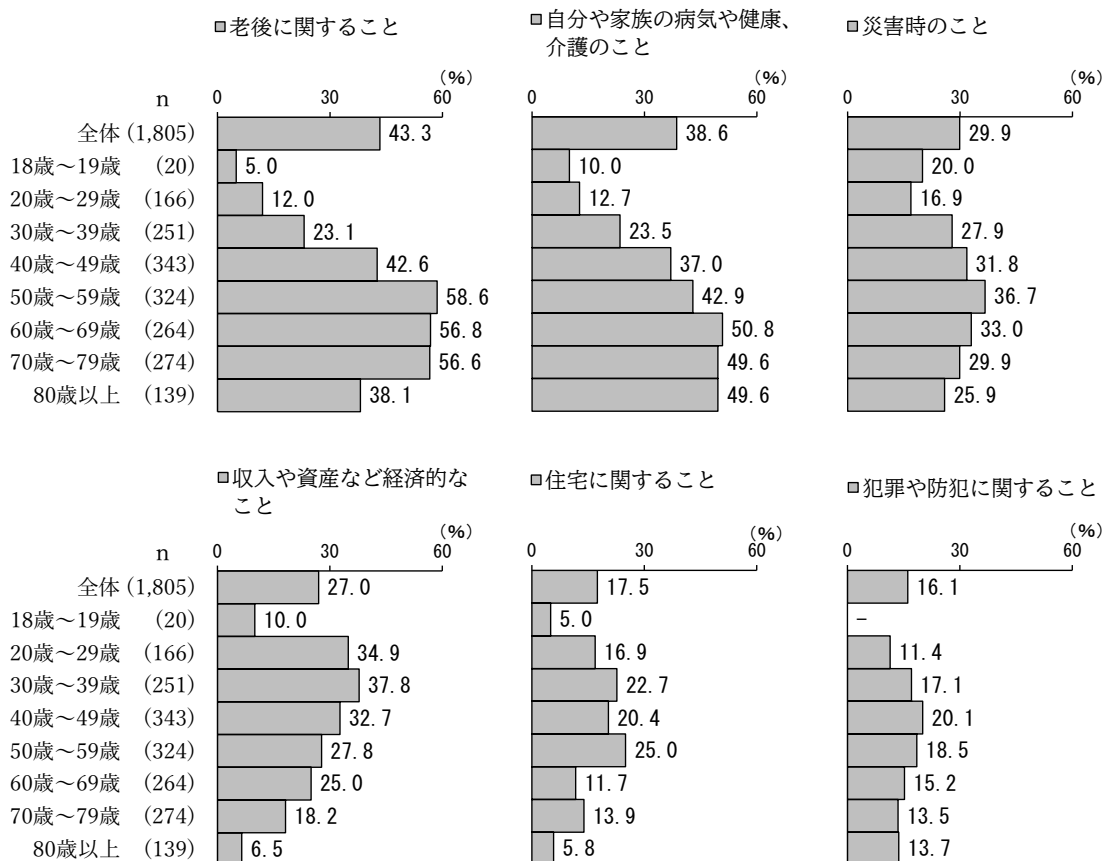
困っていること・不安なことは、「老後に関すること」（43.3%）が4割台前半で最も高い。次いで、「自分や家族の病気や健康、介護のこと」（38.6%）が3割台後半、「災害時のこと」（29.9%）が3割弱、「収入や資産など経済的なこと」（27.0%）が2割台後半と続いている。（図表 1-73）

図表1－74 困っていること・不安なこと（性別）上位6項目



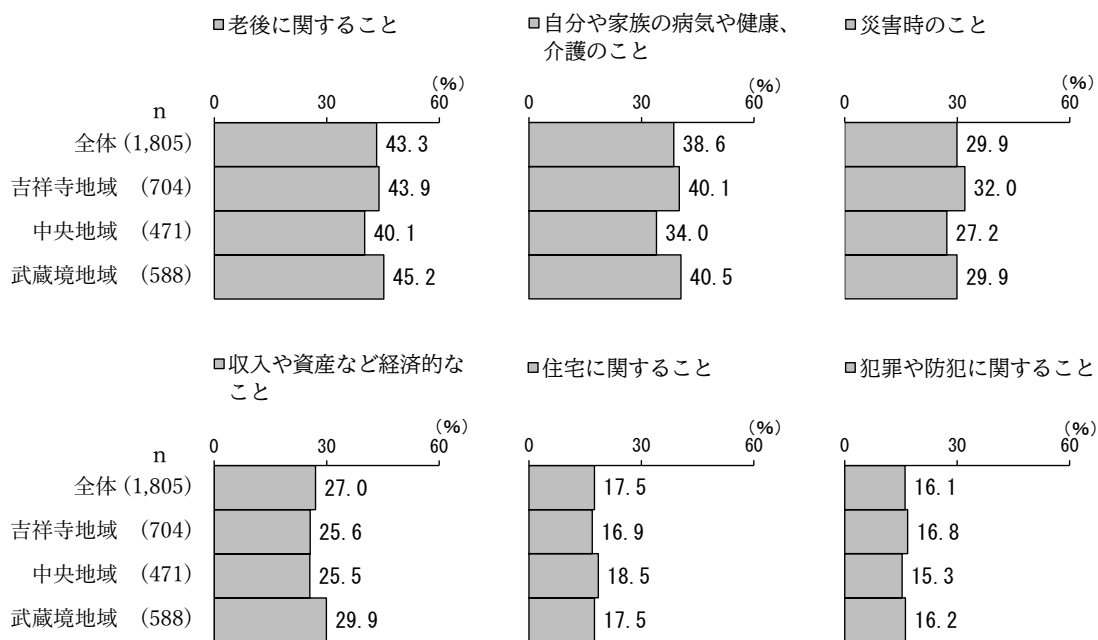
上位6項目について、性別で見ると、「災害時のこと」は8.5ポイント、「犯罪や防犯に関すること」は6.9ポイント、「老後に関すること」は6.0ポイント、それぞれ女性の方が男性より高くなっている。（図表1－74）

図表1－75 困っていること・不安なこと（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「老後に関すること」は、50歳～59歳までは年代が上がるにつれて高くなっており、50歳～59歳で5割台後半と最も高くなっている。また、「自分や家族の病気や健康、介護のこと」も年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、60歳～69歳で5割台前半と最も高くなっている。「収入や資産など経済的なこと」は、18歳～19歳、20歳～29歳を除き、年代が下がるにつれて高くなっており、30歳～39歳で3割台後半と最も高くなっている。（図表1－75）

図表1－76 困っていること・不安なこと（居住地域別）上位6項目



居住地域別で見ると、「老後に関すること」は、武蔵境地域で4割台後半と他の地域に比べてやや高くなっている。「災害時のこと」は、吉祥寺地域で3割台前半と他の地域に比べて高くなっている。（図表1－76）

図表1－77 困っていること・不安なこと（職業別・家族構成別）上位5項目

(%)

属性		順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体			老後に関すること 43.3	自分や家族の病気や健康、介護のこと 38.6	災害時のこと 29.9	収入や資産など経済的なこと 27.0	住宅に関すること 17.5
職業別	自営業・自由業		老後に関すること 44.0	自分や家族の病気や健康、介護のこと 43.5	災害時のこと 32.5	収入や資産など経済的なこと 29.3	事業や家業の経営のこと 23.6
	正社員、正職員		老後に関すること 41.1	自分や家族の病気や健康、介護のこと 31.9	収入や資産など経済的なこと 30.8	災害時のこと 28.2	住宅に関すること 22.5
	契約社員、派遣社員		老後に関すること 59.8	自分や家族の病気や健康、介護のこと 45.4	収入や資産など経済的なこと 44.3	災害時のこと 30.9	住宅に関すること 27.8
	アルバイト、パート		老後に関すること 49.4	自分や家族の病気や健康、介護のこと 41.5	災害時のこと 36.6	収入や資産など経済的なこと 34.8	住宅に関すること 24.4
	家事専業		老後に関すること 44.6	自分や家族の病気や健康、介護のこと 40.4	災害時のこと 30.7	犯罪や防犯に関すること 18.8	収入や資産など経済的なこと 15.7
	学生		進学、就職のこと 39.3	収入や資産など経済的なこと 24.6	災害時のこと 19.7	居場所や生きがいのこと 14.8	自分や家族の病気や健康、介護のこと 13.1
	無職		自分や家族の病気や健康、介護のこと 51.6	老後に関すること 49.1	災害時のこと 31.5	収入や資産など経済的なこと 19.8	住宅に関すること 14.3
	その他		自分や家族の病気や健康、介護のこと 40.0	災害時のこと 27.5	老後に関すること 25.0	収入や資産など経済的なこと 17.5	犯罪や防犯に関すること 15.0
家族構成別	ひとり暮らし		老後に関すること 43.5	自分や家族の病気や健康、介護のこと 36.1	収入や資産など経済的なこと 31.9	災害時のこと 25.6	住宅に関すること 21.1
	夫婦のみ		老後に関すること 48.9	自分や家族の病気や健康、介護のこと 41.6	災害時のこと 31.9	収入や資産など経済的なこと 20.6	犯罪や防犯に関すること 14.4
	親と子 (2世代世帯)		老後に関すること 38.8	自分や家族の病気や健康、介護のこと 36.6	災害時のこと 31.3	収入や資産など経済的なこと 27.6	子どもの保育や教育のこと 20.9
	親と子と孫 (3世代世帯)		老後に関すること 56.5	自分や家族の病気や健康、介護のこと 48.2	収入や資産など経済的なこと 30.6	災害時のこと 29.4	犯罪や防犯に関すること 22.4
	その他		老後に関すること 42.7	自分や家族の病気や健康、介護のこと 41.3	収入や資産など経済的なこと 37.3	災害時のこと 28.0	住宅に関すること -

職業別で見ると、自営業・自由業、正社員、正職員、契約社員、派遣社員、アルバイト、パート、家事専業では「老後に関すること」が第1位となっている。学生では「進学、就職のこと」が第1位となっており、無職、その他では「自分や家族の病気や健康、介護のこと」が第1位となっている。

家族構成別で見ると、すべての家族構成で「老後に関すること」が第1位、次いで、「自分や家族の病気や健康、介護のこと」が第2位となっており、ひとり暮らし、親と子と孫（3世代世帯）、その他では「収入や資産など経済的なこと」が第3位となっている。（図表1－77）

図表1－78 困っていること・不安なこと（世帯収入別）

(%)

		調査数（n）	老後に関すること	自分や家族の病気や健康、介護のこと	災害時のこと	収入や資産など経済的なこと	住宅に関すること	犯罪や防犯に関すること	子どもの保育や教育のこと	居場所や生きがいのこと	家族や親族との関係のこと
全体		1,805	43.3	38.6	29.9	27.0	17.5	16.1	12.2	12.1	8.1
世帯収入別	収入なし	25	24.0	36.0	28.0	28.0	12.0	12.0	4.0	16.0	4.0
	100万円未満	55	36.4	47.3	30.9	34.5	10.9	12.7	7.3	20.0	7.3
	100～300万円未満	277	46.2	45.5	28.5	35.0	20.6	12.3	4.7	11.9	8.3
	300～500万円未満	295	53.2	44.1	31.9	35.6	22.0	16.3	8.5	14.6	6.8
	500～700万円未満	215	47.0	42.8	30.7	29.3	24.7	15.8	13.0	12.6	7.4
	700～1,000万円未満	298	42.3	35.2	31.5	28.2	17.4	18.5	19.5	12.4	9.7
	1,000～1,500万円未満	290	35.2	27.9	28.6	14.5	13.8	16.9	19.7	8.3	6.2
	1,500万円以上	149	47.7	32.9	32.9	15.4	7.4	19.5	12.1	8.7	12.8

		調査数（n）	近隣や地域との関係のこと	交通環境に関すること	進学、就職のこと	結婚、妊娠、出産のこと	事業や家業の経営のこと	その他	困っていることや不安なことはない	無回答
全体		1,805	7.5	7.1	5.6	5.2	4.8	3.9	13.2	2.6
世帯収入別	収入なし	25	8.0	8.0	20.0	4.0	0.0	0.0	4.0	12.0
	100万円未満	55	9.1	3.6	10.9	9.1	5.5	0.0	12.7	7.3
	100～300万円未満	277	9.0	5.4	4.0	3.6	5.1	2.9	10.8	4.3
	300～500万円未満	295	7.8	4.4	4.1	5.4	5.4	3.4	7.8	2.0
	500～700万円未満	215	5.6	7.9	3.3	4.2	4.2	2.3	11.6	0.5
	700～1,000万円未満	298	7.7	8.1	7.0	8.4	5.0	3.7	12.4	2.3
	1,000～1,500万円未満	290	5.9	7.6	5.2	2.8	3.8	4.1	22.1	0.3
	1,500万円以上	149	8.7	12.1	7.4	2.7	2.7	8.7	14.8	2.0

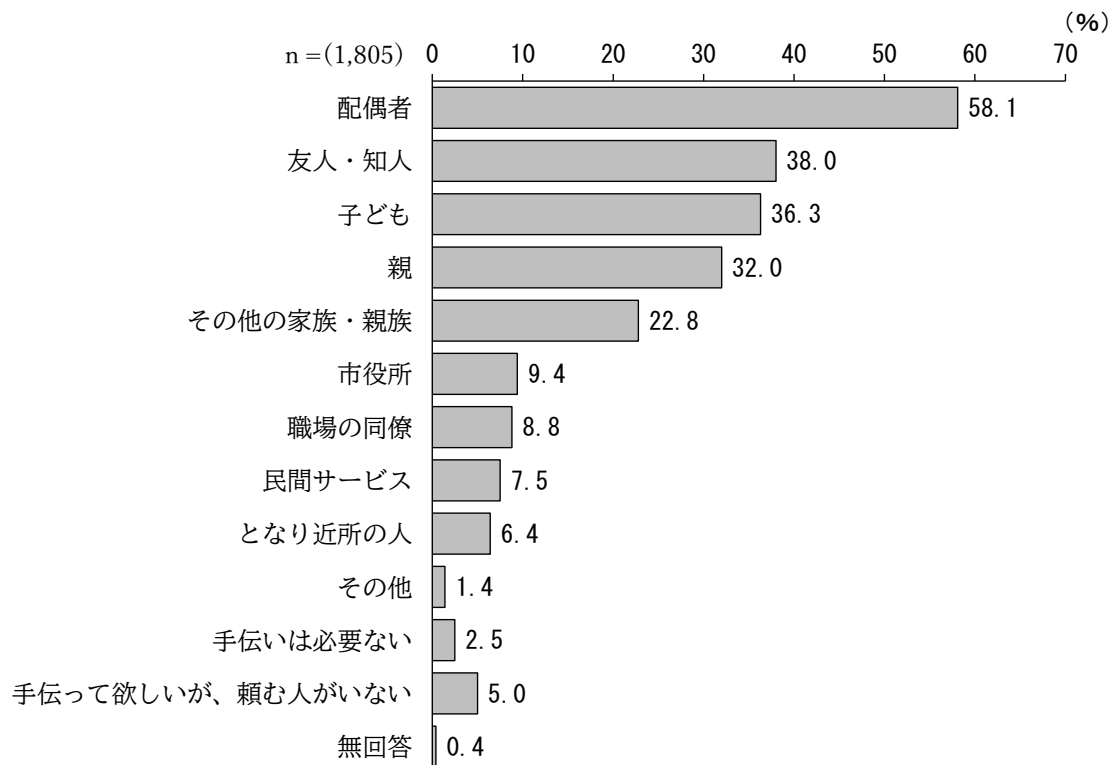
世帯収入別で見ると、300～500万円未満では「老後に関すること」が5割台前半、「収入や資産など経済的なこと」が3割台半ばと他に比べて高くなっている。一方、「困っていることや不安なことはない」は、1,000～1,500万円未満では2割前半と他と比べて高くなっている。（図表1－78）

1-14 手伝ってもらう相手

◎ 「配偶者」が6割弱で最も高い。

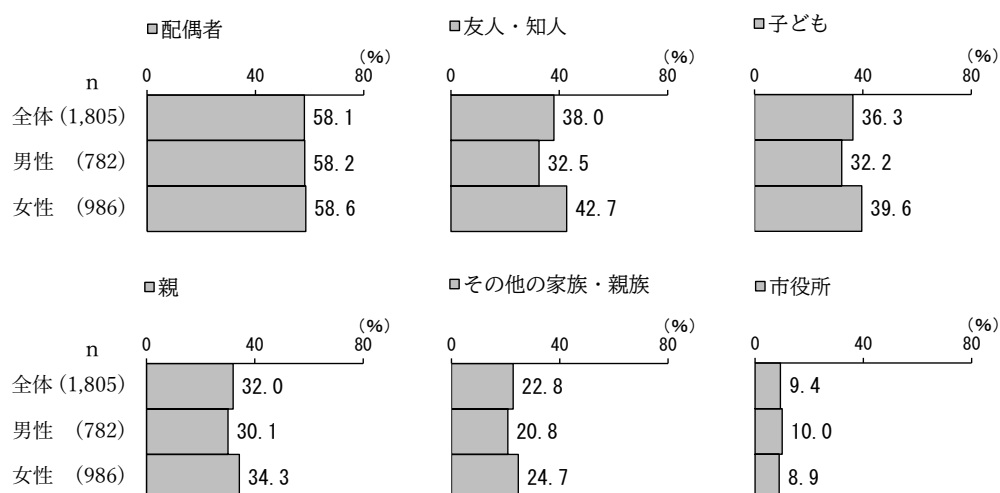
問10 あなたは、困りごとがあるときに、だれに手伝ってもらいますか。(○はいくつでも)

図表1-79 手伝ってもらう相手(複数回答)



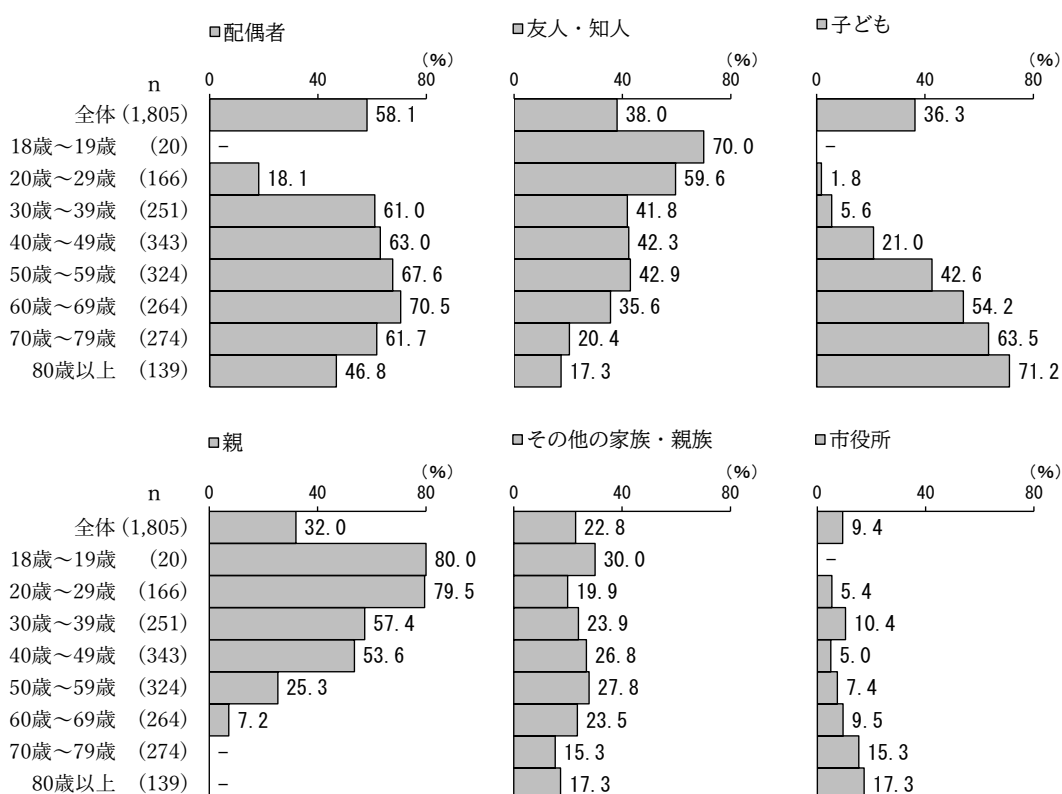
困りごとがあるときに、手伝ってもらう相手は、「配偶者」(58.1%)が6割弱で最も高く、次いで「友人・知人」(38.0%)が4割弱、「子ども」(36.3%)が3割台後半、「親」(32.0%)が3割台前半と続く。(図表1-79)

図表1－80 手伝ってもらう相手（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、おおむね女性の方が男性より高い傾向となっており、「友人・知人」は、女性の方が男性より10.2ポイント、「子ども」も女性の方が男性より7.4ポイント高くなっている。（図表1－80）

図表1－81 手伝ってもらう相手（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「友人・知人」、「親」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向にあり、18歳～19歳でそれぞれ7割、8割と最も高くなっている。一方、「子ども」は、年代が上がるにつれて高くなっており、80歳以上で7割台前半と最も高くなっている。（図表1－81）

図表1－82 手伝ってもらう相手（婚姻状況別・家族構成別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		配偶者 58.1	友人・知人 38.0	子ども 36.3	親 32.0	その他の家族・親族 22.8
婚姻状況別	現在、結婚している	配偶者 87.2	子ども 45.2	友人・知人 31.6	親 28.1	その他の家族・親族 18.4
	過去に結婚し、離別した	友人・知人 45.2	子ども 37.6	その他の家族・親族 34.4	親 18.3	市役所 14.0
	過去に結婚し、死別した	子ども 70.1	友人・知人 28.0	その他の家族・親族 26.2	市役所 12.1	民間サービス 11.2
	一度も結婚したことはない	友人・知人 57.2	親 56.5	その他の家族・親族 32.5	職場の同僚 14.4	市役所 7.6
家族構成別	ひとり暮らし	友人・知人 51.1	親 28.8	その他の家族・親族 27.8	子ども 18.5	職場の同僚 13.4
	夫婦のみ	配偶者 90.0	子ども 40.7	友人・知人 25.7	親 19.0	その他の家族・親族 18.1
	親と子 (2世代世帯)	配偶者 65.9	子ども 41.7	親 40.3	友人・知人 40.0	その他の家族・親族 22.2
	親と子と孫 (3世代世帯)	配偶者 55.3	子ども 45.9	親 37.6	友人・知人 29.4	その他の家族・親族 24.7
	その他	友人・知人 44.0	その他の家族・親族 37.3	親 33.3	配偶者 28.0	職場の同僚 16.0

婚姻状況別で見ると、現在結婚しているでは「配偶者」が第1位となっており、過去に結婚し、離別した、一度も結婚したことはないでは「友人・知人」が第1位、過去に結婚し、死別したでは「子ども」が第1位となっている。

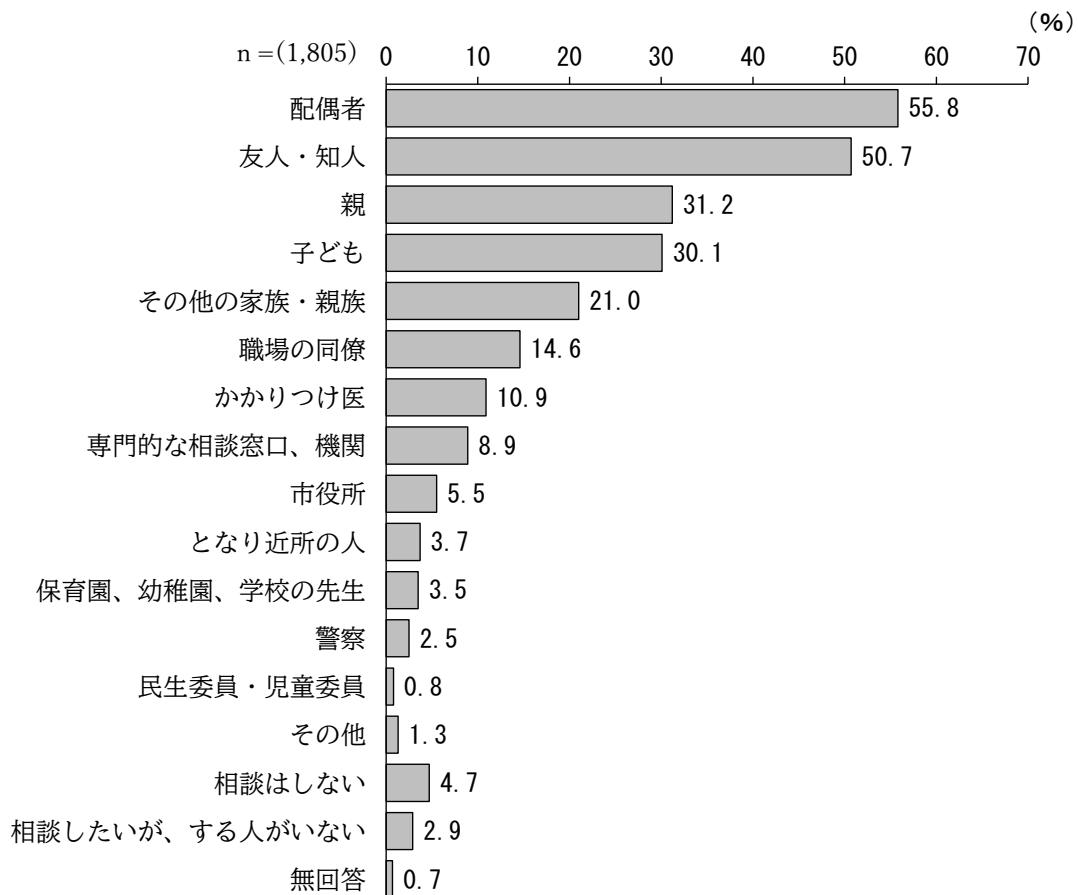
家族構成別で見ると、夫婦のみ、親と子（2世代世帯）、親と子と孫（3世代世帯）では「配偶者」が第1位となっており、ひとり暮らし、その他では「友人・知人」が第1位となっている。
(図表1－82)

1－15 相談相手

◎ 「配偶者」が5割台半ばで最も高い。

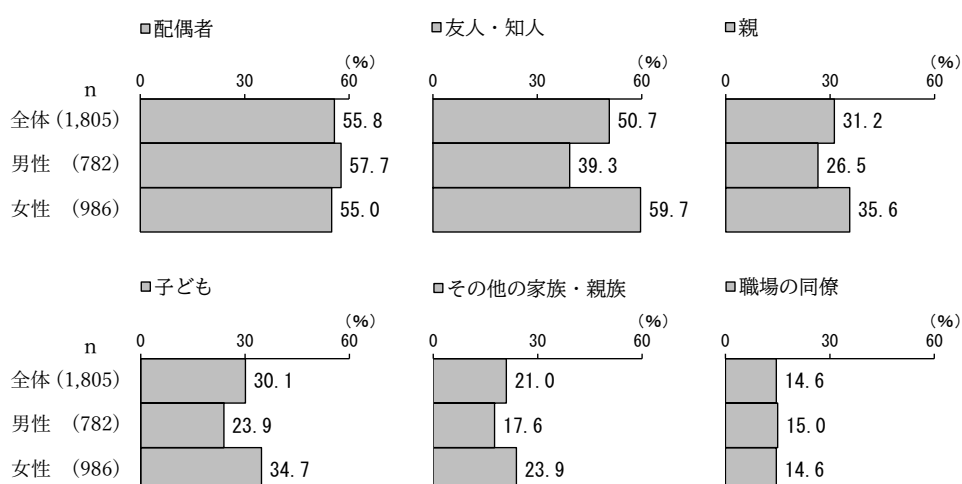
問11 あなたは、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。
(〇はいくつでも)

図表1－83 相談相手(複数回答)



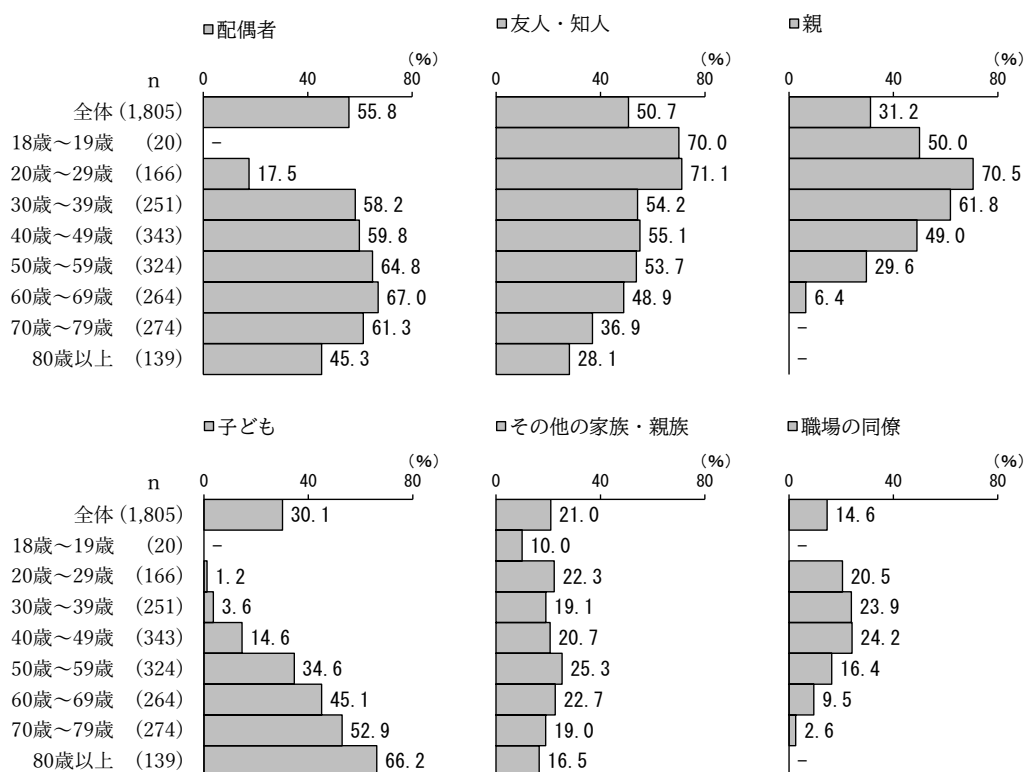
心配ごとや悩みごとができた場合の相談相手は、「配偶者」(55.8%)が5割台半ばで最も高い。次いで、「友人・知人」(50.7%)が5割、「親」(31.2%)、「子ども」(30.1%)が3割台前半となっている。(図表1－83)

図表1－84 相談相手（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「配偶者」では2.7ポイント、男性の方が女性より高くなっている。一方、「友人・知人」が20.4ポイント、「親」が9.1ポイント、「子ども」が10.8ポイント、「その他の家族・親族」が6.3ポイント、女性の方が男性より高くなっている。（図表1－84）

図表1－85 相談相手（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「友人・知人」、「親」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向にあり、20歳～29歳でそれぞれ7割台前半と最も高くなっている。一方、「子ども」は、年代が上がるにつれて高くなっており、80歳以上で6割台後半と最も高くなっている。（図表1－85）

図表1－86 相談相手（婚姻状況別・家族構成別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		配偶者 55.8	友人・知人 50.7	親 31.2	子ども 30.1	その他の家族・親族 21.0
婚姻状況別	現在、結婚している	配偶者 83.8	友人・知人 46.1	子ども 35.9	親 29.1	その他の家族・親族 17.4
	過去に結婚し、離別した	友人・知人 59.1	子ども 34.4	その他の家族・親族 30.1	親 22.6	職場の同僚 15.1
	過去に結婚し、死別した	子ども 66.4	友人・知人 41.1	その他の家族・親族 29.0	かかりつけ医 16.8	専門的な相談窓口、機関 12.1
	一度も結婚したことはない	友人・知人 64.3	親 48.9	その他の家族・親族 27.9	職場の同僚 21.3	かかりつけ医 8.1
家族構成別	ひとり暮らし	友人・知人 59.1	その他の家族・親族 27.8	親 27.5	職場の同僚 20.1	子ども 17.3
	夫婦のみ	配偶者 86.3	友人・知人 41.8	子ども 33.8	親 19.5	その他の家族・親族 17.9
	親と子（2世代世帯）	配偶者 63.1	友人・知人 52.6	親 39.6	子ども 32.5	その他の家族・親族 19.0
	親と子と孫（3世代世帯）	配偶者 56.5	子ども 44.7	友人・知人 43.5	親 35.3	その他の家族・親族 25.9
	その他	友人・知人 52.0	その他の家族・親族 33.3	親 30.7	配偶者 25.3	職場の同僚 22.7

婚姻状況別で見ると、現在結婚しているでは「配偶者」が第1位となっており、過去に結婚し、離別した、一度も結婚したことはないでは「友人・知人」が第1位、過去に結婚し、死別したでは「子ども」が第1位となっている。

家族構成別で見ると、夫婦のみ、親と子（2世代世帯）、親と子と孫（3世代世帯）では「配偶者」が第1位となっており、ひとり暮らし、その他では「友人・知人」が第1位となっている。
（図表1－86）

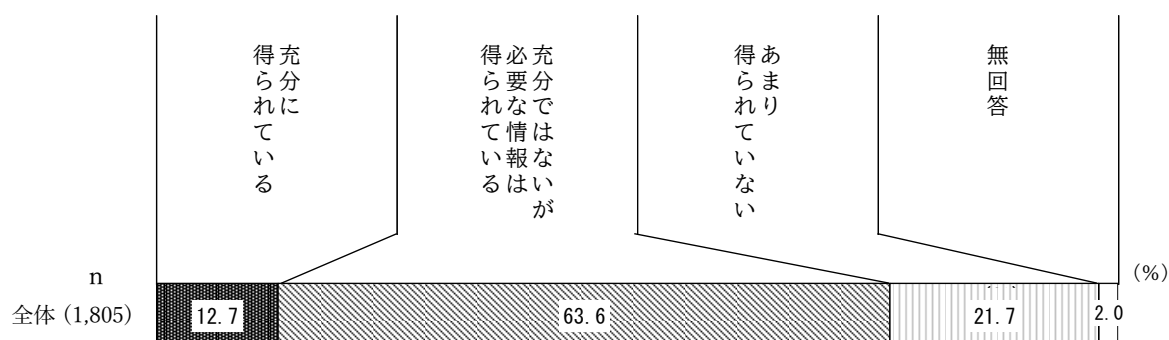
2 市政に関する情報提供などについて

2-1 市の情報の入手状況

◎ 「充分ではないが必要な情報は得られている」が6割台前半、「あまり得られていない」が2割台前半である。

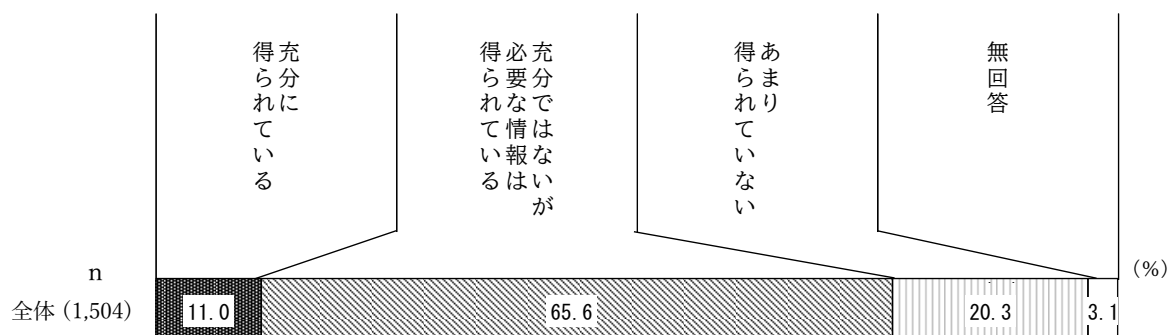
問12 あなたは現在、武蔵野市の情報を十分に得られていると思いますか。(○は1つ)

図表2-1 市の情報の入手状況



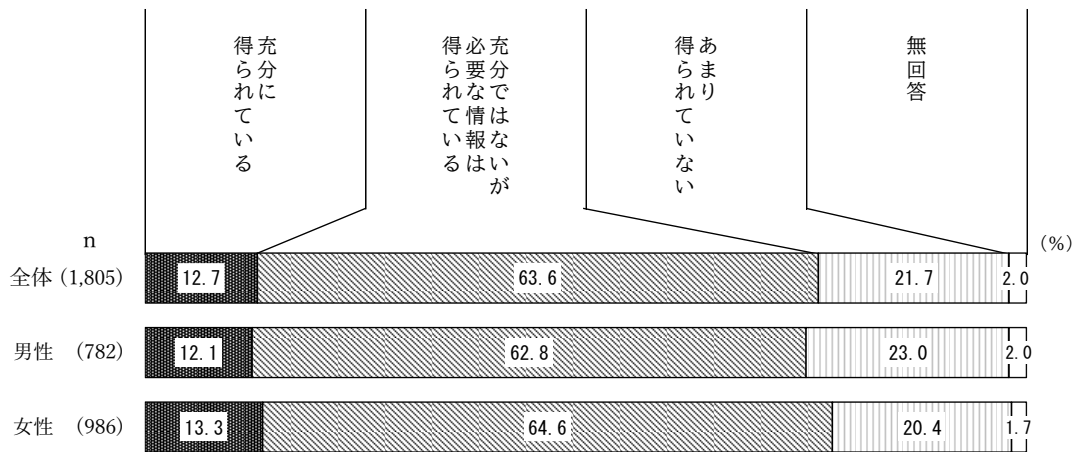
市の情報の入手状況は、「十分に得られている」(12.7%)と「充分ではないが必要な情報は得られている」(63.6%)を合わせると7割を超えている。「あまり得られていない」(21.7%)が2割台前半となっている。(図表2-1)

参考：平成30年度調査の結果



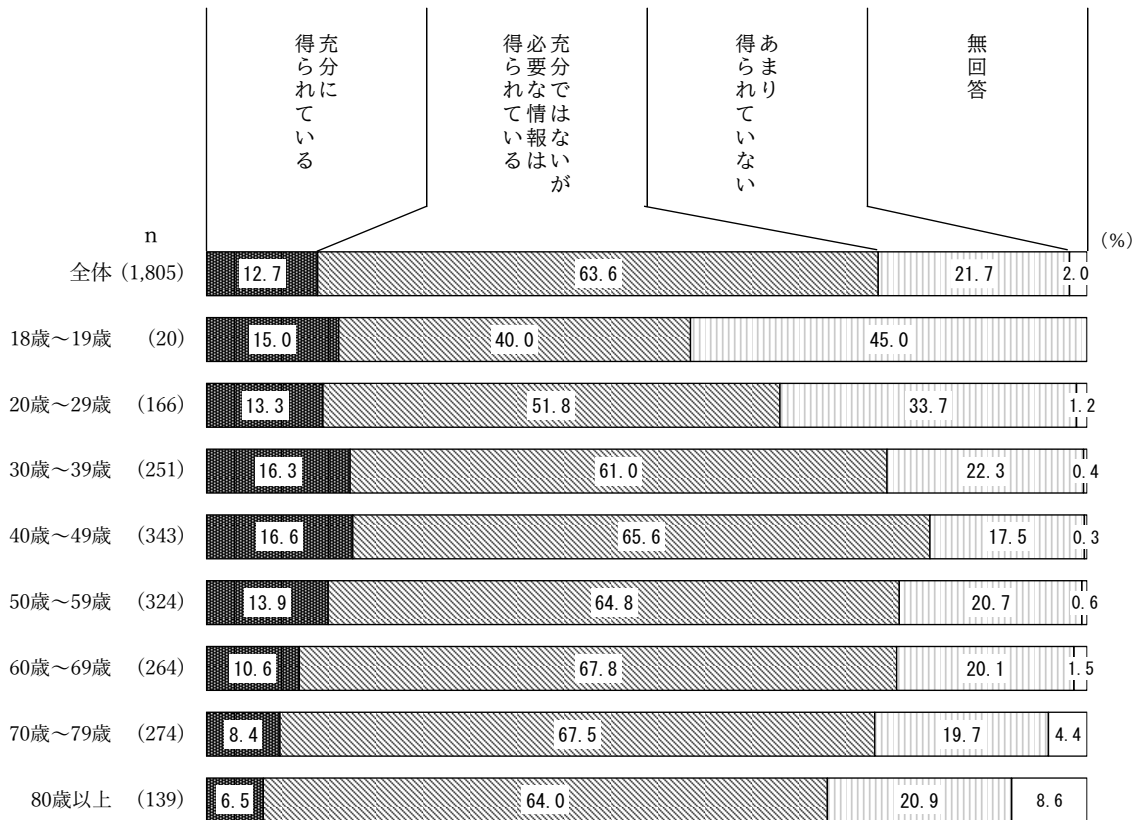
前回調査と比較すると、「十分に得られている」が1.7ポイント増加し、「充分ではないが必要な情報は得られている」が2.0ポイント減少している。

図表2-2 市の情報の入手状況（性別）



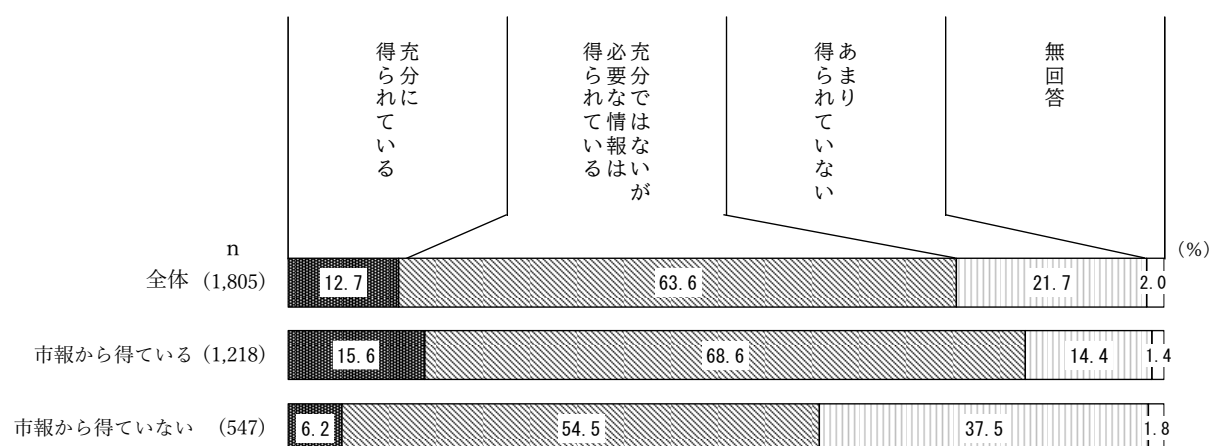
性別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、女性の方が男性よりも3.0ポイント高くなっている。一方、「あまり得られていない」は、男性の方が女性よりも2.6ポイント高くなっている。（図表2-2）

図表2-3 市の情報の入手状況（年代別）



年代別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、18歳～19歳、20歳～29歳を除いた年代で7割以上となっている一方、「あまり得られていない」は、18歳～19歳で4割台半ばとなっている。（図表2-3）

図表2－4 市の情報の入手状況（市報からの市政情報入手別）



※「市報から得ている」は、《問14 広報媒体の認知状況》の『1. 市報』で「知っていて、利用している」と回答した人、「市報から得ていない」は、《問14 広報媒体の認知状況》の『1. 市報』で「知っているが、利用していない」もしくは「知らない」と回答した人を指している。

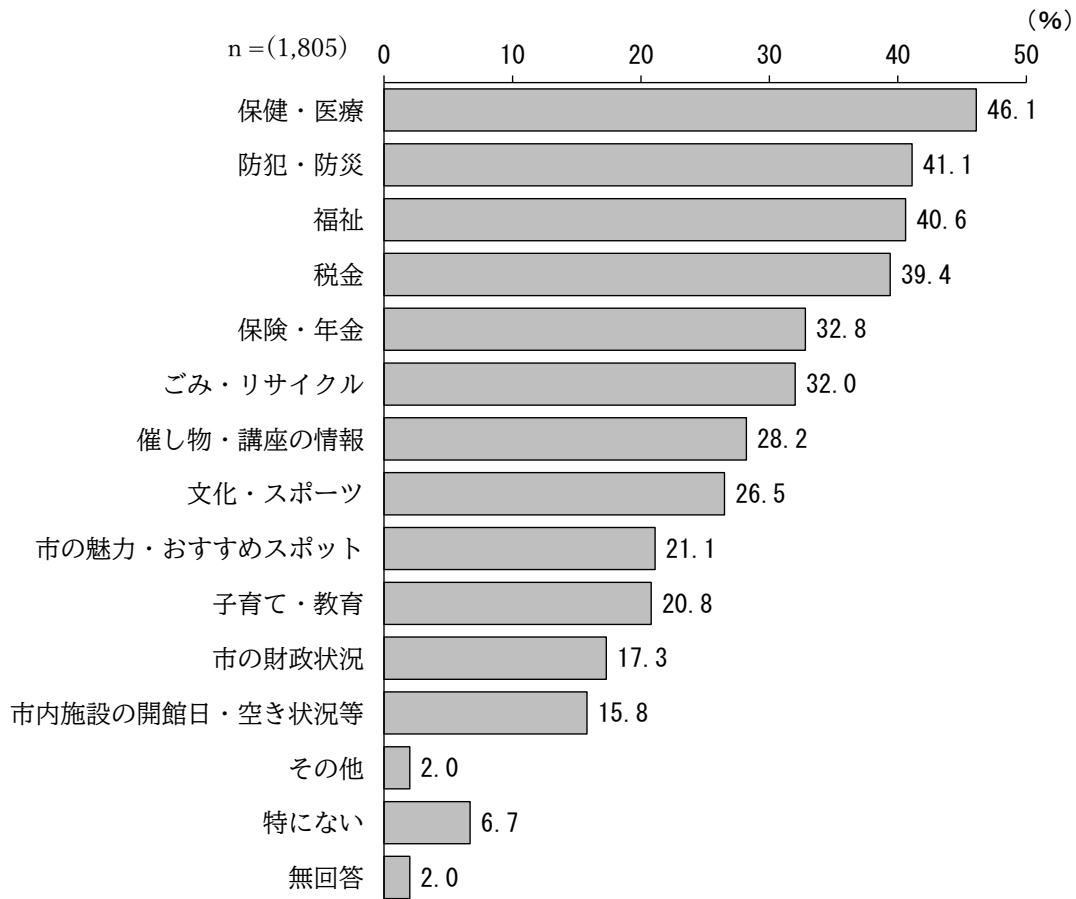
市報からの市政情報入手別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、市報から得ている人で8割台半ばとなっているのに対して、市報から得ていない人で約6割と差が出ている。また、「あまり得られていない」では、市報から得ていない人では3割台後半と高くなっている。（図表2－4）

2-2 知りたい行政情報

◎ 「保健・医療」が4割台後半で最も高い。

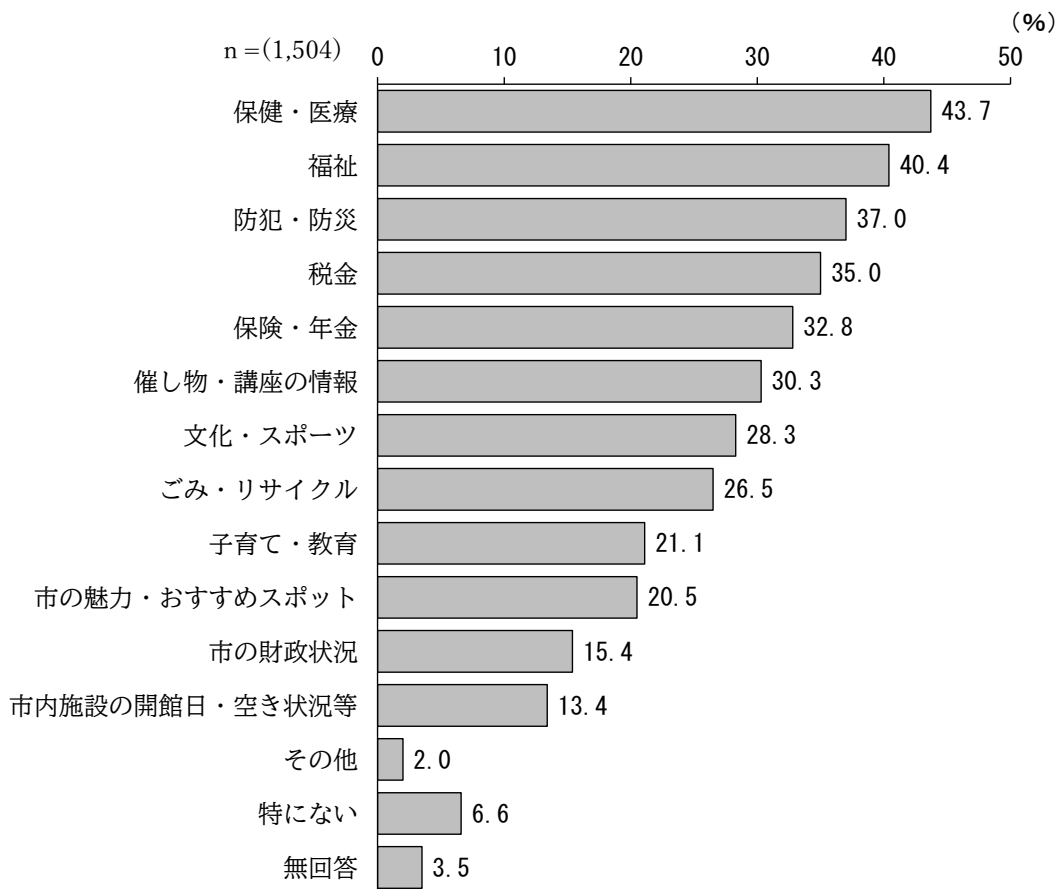
問13 あなたは、市政に関するどのような情報を知りたいと思いますか。(○はいくつでも)

図表 2-5 知りたい行政情報（複数回答）



知りたい行政情報は、「保健・医療」（46.1%）が4割台後半で最も高い。次いで、「防犯・防災」（41.1%）、「福祉」（40.6%）が4割台前半、「税金」（39.4%）が4割弱、「保険・年金」（32.8%）、「ごみ・リサイクル」（32.0%）が3割台前半で続く。（図表 2-5）

参考：平成 30 年度調査の結果



前回調査と比較すると、「保健・医療」は1位で変わらず、前回3位の「防犯・防災」が2位、前回2位の「福祉」が3位となっている。割合を見ると、「防犯・防災」は前回調査と比べて4.1ポイント、「税金」は4.4ポイントそれぞれ増加している。

図表2－6 知りたい行政情報（性別・介護が必要な同居家族の有無別）上位10項目

(%)

属性 順位	全体	男性	女性	介護が必要な同居家族が	
				いる	いない
1位	保健・医療 46.1	税金 44.9	保健・医療 49.1	福祉 63.1	保健・医療 46.5
2位	防犯・防災 41.1	保健・医療 42.5	防犯・防災 44.1	保健・医療 51.4	防犯・防災 42.0
3位	福祉 40.6	防犯・防災 37.7	福祉 43.6	防犯・防災 40.8	税金 41.6
4位	税金 39.4	福祉 37.2	税金 35.6	保険・年金 33.5	福祉 38.4
5位	保険・年金 32.8	保険・年金 34.5	ごみ・リサイクル 33.9	ごみ・リサイクル 32.4	保険・年金 32.9
6位	ごみ・リサイクル 32.0	ごみ・リサイクル 29.8	保険・年金 催し物・講座の情報 31.8	税金 30.7	ごみ・リサイクル 32.3
7位	催し物・講座の情報 28.2	文化・スポーツ 26.1	－ －	催し物・講座の情報 26.3	催し物・講座の情報 29.5
8位	文化・スポーツ 26.5	催し物・講座の情報 24.3	文化・スポーツ 27.6	文化・スポーツ 22.3	文化・スポーツ 28.1
9位	市の魅力・おすすめ スポット 21.1	市の財政状況 21.7	子育て・教育 24.5	市の魅力・おすすめ スポット 17.3	子育て・教育 23.6
10位	子育て・教育 20.8	市の魅力・おすすめ スポット 21.0	市の魅力・おすすめ スポット 21.6	市内施設の開館日・ 空き状況等 14.5	市の魅力・おすすめ スポット 22.3

性別で見ると、男性の第1位は「税金」、第2位は「保健・医療」、第3位は「防犯・防災」となっている。女性の第1位は「保健・医療」、第2位は「防犯・防災」、第3位は「福祉」となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「福祉」は24.7ポイント、「保健・医療」は4.9ポイント、介護が必要な同居家族がいる場合の方が高くなっている。一方、「税金」は、介護が必要な同居家族がいない場合の方が10.9ポイント高くなっている。（図表2－6）

図表2-7 知りたい行政情報（年代別）上位10項目

(%)

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	防犯・防災 45.0	税金 51.8	子育て・教育 54.2	保健・医療 50.7	保健・医療 防犯・防災 49.1	福祉 58.7	福祉 44.9	保健・医療 41.0
2位	税金 市の財政状況 35.0	保険・年金 36.1	税金 48.6	防犯・防災 47.2	－ －	保健・医療 53.0	保健・医療 41.6	福祉 39.6
3位	－ －	防犯・防災 35.5	保健・医療 47.0	税金 46.6	福祉 48.1	防犯・防災 42.4	防犯・防災 31.4	防犯・防災 ごみ・リサイクル 28.8
4位	保険・年金 催し物・講座の 情報 25.0	保健・医療 33.1	防犯・防災 42.6	子育て・教育 41.7	税金 ごみ・リサイクル 38.9	保険・年金 41.3	税金 28.1	－ －
5位	－ －	ごみ・リサイクル 31.9	市の魅力・ おすすめスポット 35.5	催し物・講座の 情報 37.3	－ －	税金 38.6	ごみ・リサイクル 25.5	税金 18.7
6位	文化・スポーツ 市の魅力・ おすすめスポット 20.0	市の魅力・ おすすめスポット 30.7	催し物・講座の 情報 34.7	福祉 36.7	保険・年金 37.3	ごみ・リサイクル 32.6	保険・年金 24.8	保険・年金 催し物・講座の 情報 15.8
7位	－ －	文化・スポーツ 27.1	文化・スポーツ 32.7	ごみ・リサイクル 35.9	文化・スポーツ 28.1	催し物・講座の 情報 28.4	催し物・講座の 情報 24.1	－ －
8位	保健・医療 子育て・教育 市内施設の開 館日・空き状況 等 15.0	催し物・講座の 情報 25.3	保険・年金 32.3	保険・年金 文化・スポーツ 35.0	催し物・講座の 情報 25.3	文化・スポーツ 24.2	文化・スポーツ 19.7	市の財政状況 12.9
9位	－ －	子育て・教育 24.7	ごみ・リサイクル 29.1	－ －	市の財政状況 20.1	市の財政状況 16.7	市の財政状況 13.9	文化・スポーツ 12.2
10位	－ －	福祉 24.1	福祉 26.7	市の魅力・ おすすめスポット 27.1	市の魅力・ おすすめスポット 18.8	市の魅力・ おすすめスポット 15.2	市内施設の 開館日・空き 状況等 11.7	市の魅力・ おすすめスポット 10.8

年代別で見ると、40歳～49歳、50歳～59歳、80歳以上では「保健・医療」が第1位となっている。60歳～69歳、70歳～79歳では「福祉」が第1位、30歳～39歳では「子育て・教育」が第1位、20歳～29歳では「税金」が第1位となっている。（図表2-7）

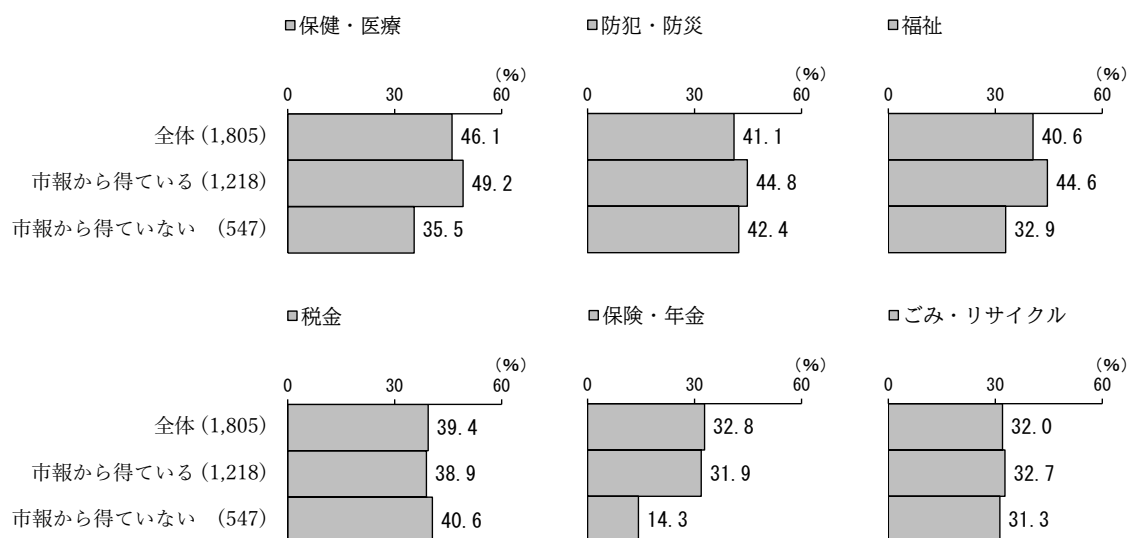
図表2－8 知りたい行政情報（子どもの就学状況別）上位10項目

(%)

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1 位	子育て・教育 87.5	子育て・教育 72.9	保健・医療 48.9	保健・医療 48.3 防犯・防災	防犯・防災 52.1	福祉 51.5	保健・医療 45.8
2 位	催し物・講座の 情報 46.0	保健・医療 51.2	防犯・防災 45.5 子育て・教育	－ －	福祉 50.4	保健・医療 48.5	防犯・防災 41.7
3 位	保健・医療 44.9	文化・スポーツ 催し物・講座の 情報 45.8	－ －	福祉 41.4	保健・医療 47.1	防犯・防災 41.3	福祉 37.5
4 位	税金 38.6	－ －	ごみ・リサイクル 38.6	税金 34.5	ごみ・リサイクル 37.8	保険・年金 36.3	ごみ・リサイクル 33.3 催し物・講座の 情報
5 位	防犯・防災 35.2	税金 41.0	文化・スポーツ 37.5	保険・年金 25.3 催し物・講座の 情報 子育て・教育	税金 37.0 催し物・講座の 情報	税金 33.7	－ －
6 位	文化・スポーツ 34.7	防犯・防災 39.8	税金 36.4 催し物・講座の 情報	－ －	－ －	ごみ・リサイクル 30.0	税金 31.3
7 位	市の魅力・ おすすめスポット 33.5	福祉 34.9	－ －	－ －	保険・年金 32.8	催し物・講座の 情報 23.1	保険・年金 29.2
8 位	福祉 27.8	市の魅力・ おすすめスポット 30.7	福祉 34.1	ごみ・リサイクル 23.0	文化・スポーツ 26.1	文化・スポーツ 19.5	文化・スポーツ 20.8
9 位	保険・年金 22.7	ごみ・リサイクル 28.9	市内施設の開館 日・空き状況等 30.7	文化・スポーツ 20.7	市の魅力・ おすすめスポット 22.7	市の財政状況 16.8	市の財政状況 18.8
10 位	市内施設の開館 日・空き状況等 19.3	保険・年金 28.3	保険・年金 26.1	市の魅力・ おすすめスポット 19.5	市内施設の開館 日・空き状況等 19.3	市の魅力・ おすすめスポット 16.5	市内施設の開館 日・空き状況等 16.7

子どもの就学状況別で見ると、「保健・医療」は、中学生、高校生、その他で第1位となっている。「子育て・教育」は、小学校入学前、小学生で第1位となっている。「福祉」は、社会人で第1位となっている。（図表2－8）

図表２－９ 知りたい行政情報（市報からの市政情報入手別）上位6項目



市報からの市政情報入手別で見ると、「税金」を除く項目すべてで市報から得ていない人よりも得ている人の方が高く、「保険・年金」は17.6ポイント、「保健・医療」は13.7ポイント、「福祉」は11.7ポイントと10ポイント以上の差となっている。（図表２－９）

図表2－10 知りたい行政情報（職業別・家族構成別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		保健・医療 46.1	防犯・防災 41.1	福祉 40.6	税金 39.4	保険・年金 32.8
職業別	自営業・自由業	税金 46.1	福祉 44.5	保健・医療 43.5	防犯・防災 39.8	保険・年金 37.7
	正社員、正職員	税金 49.6	保健・医療 47.1	防犯・防災 43.1	福祉 36.5	ごみ・リサイクル 35.4
	契約社員、派遣社員	防犯・防災 49.5	保険・年金 47.4	保健・医療 46.4	税金 42.3	福祉 40.2
	アルバイト、パート	福祉 51.8	保健・医療 47.6	防犯・防災 44.5	保険・年金 34.8	税金 31.1
	家事専業	保健・医療 51.9	防犯・防災 福祉 41.1	－ －	ごみ・リサイクル 30.7	税金 29.6
	学生	税金 45.9	防犯・防災 37.7	保険・年金 32.8	文化・スポーツ 29.5	催し物・講座の情報 27.9
	無職	福祉 48.0	保健・医療 44.3	防犯・防災 33.3	ごみ・リサイクル 28.9	保険・年金 27.5
	その他	防犯・防災 47.5	保健・医療 ごみ・リサイクル 40.0	－ －	福祉 催し物・講座の情報 27.5	－ －
家族構成別	ひとり暮らし	保健・医療 42.5	税金 40.6	ごみ・リサイクル 39.9	防犯・防災 38.3	保険・年金 37.7
	夫婦のみ	保健・医療 50.9	福祉 47.1	防犯・防災 税金 41.8	－ －	ごみ・リサイクル 32.3
	親と子 (2世代世帯)	保健・医療 46.3	防犯・防災 42.1	福祉 39.1	税金 36.6	子育て・教育 32.6
	親と子と孫 (3世代世帯)	福祉 50.6	保健・医療 44.7	税金 42.4	防犯・防災 40.0	催し物・講座の情報 32.9
	その他	税金 52.0	防犯・防災 ごみ・リサイクル 42.7	－ －	保健・医療 37.3	保険・年金 36.0

職業別で見ると、自営業・自由業、正社員、正職員、学生では「税金」が第1位、契約社員、派遣社員、その他では「防犯・防災」が第1位、アルバイト、パート、無職では「福祉」が第1位、家事専業では「保健・医療」が第1位となっている。

家族構成別で見ると、ひとり暮らし、夫婦のみ、親と子（2世代世帯）では「保健・医療」が第1位、親と子と孫（3世代世帯）では「福祉」が第1位、その他では「税金」が第1位となっている。（図表2－10）

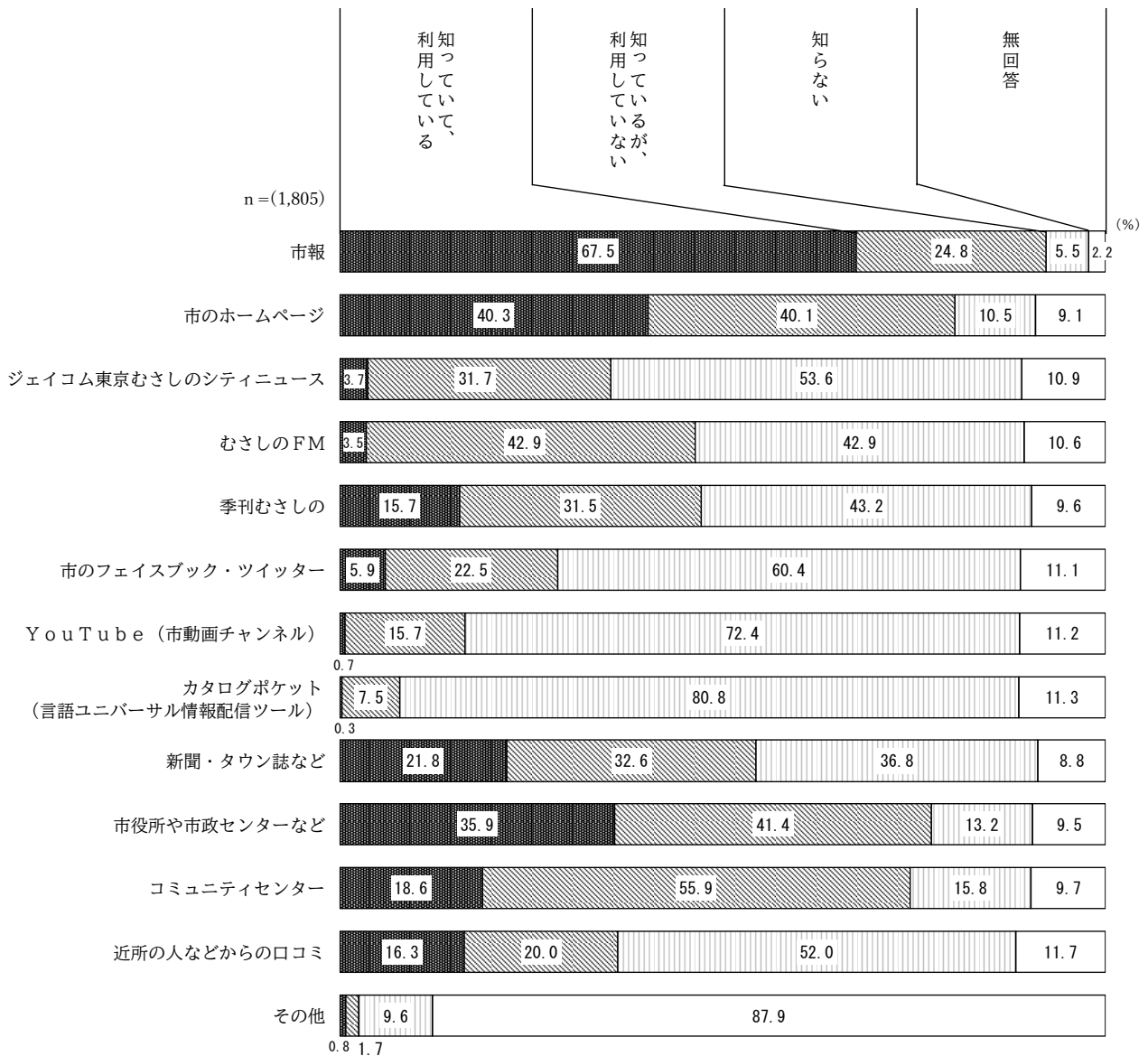
2-3 広報媒体の認知状況

◎ 「知っていて、利用している」は、「市報」が6割台後半で最も高い。

問14 市では、さまざまな手段(場所)で、武蔵野市の情報を発信しています。

あなたは、次の手段(場所)を知っていますか。また、利用していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表2-11 広報媒体の認知状況

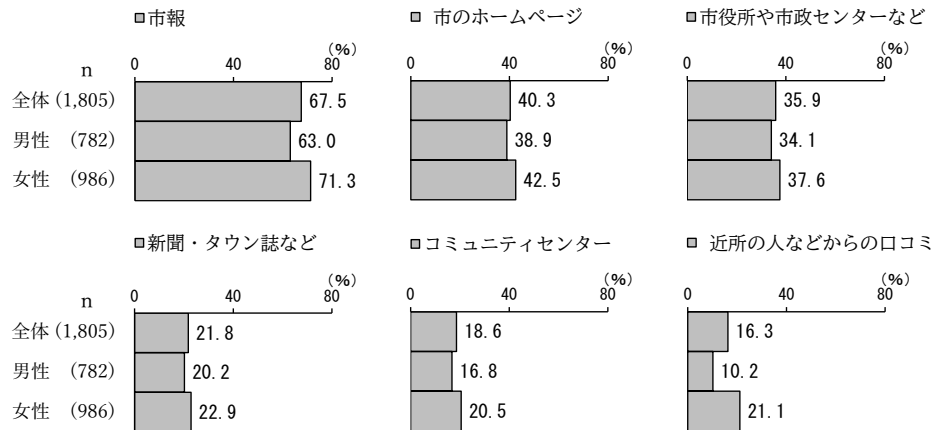


※「ジェイコム東京むさしのシティニュース」は、前は「ジェイコム武蔵野三鷹」であった。

※今回から「YouTube (市動画チャンネル)」を新規で追加した。

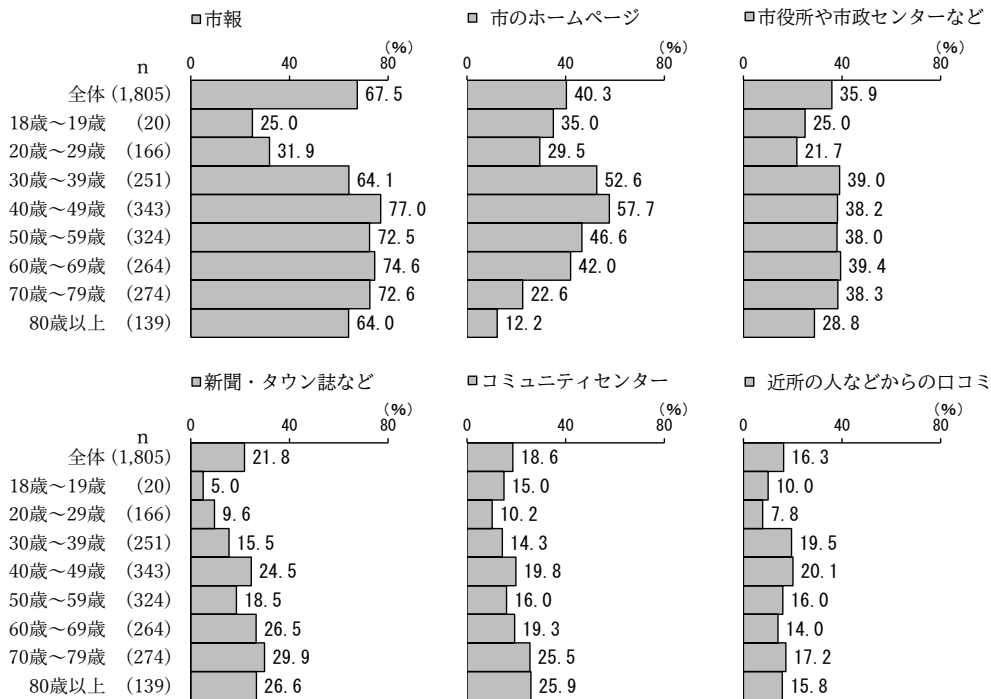
広報媒体の認知状況は、「知っていて、利用している」は「市報」(67.5%)が6割台後半で最も高い。次いで、「市のホームページ」(40.3%)が4割、「市役所や市政センターなど」(35.9%)が3割台半ばと続く。一方「知らない」は、「カタログポケット(言語ユニバーサル情報配信ツール)」(80.8%)、「YouTube(市動画チャンネル)」(72.4%)、「市のフェイスブック・ツイッター」(60.4%)、「ジェイコム東京むさしのシティニュース」(53.6%)、「近所の人などからの口コミ」(52.0%)で過半数を超えて高い。(図表2-11)

図表2-12 広報媒体の認知状況
 (「知っていて、利用している」の割合、性別) 上位6項目



「知っていて、利用している」の割合の上位6項目について、性別で見ると、「市報」は8.3ポイント、「近所の人などからの口コミ」は10.9ポイント、女性の方が男性よりも高くなっている。(図表2-12)

図表2-13 広報媒体の認知状況
 (「知っていて、利用している」の割合、年代別) 上位6項目



年代別で見ると、「市報」は、40歳～79歳の各年代で7割台となっており、「市のホームページ」は、40歳～49歳で5割台後半と他の年代に比べて高くなっている。「新聞・タウン誌など」は、70歳～79歳で3割弱と他の年代に比べて高くなっている。(図表2-13)

3 市の施策に対する満足度・重要度について

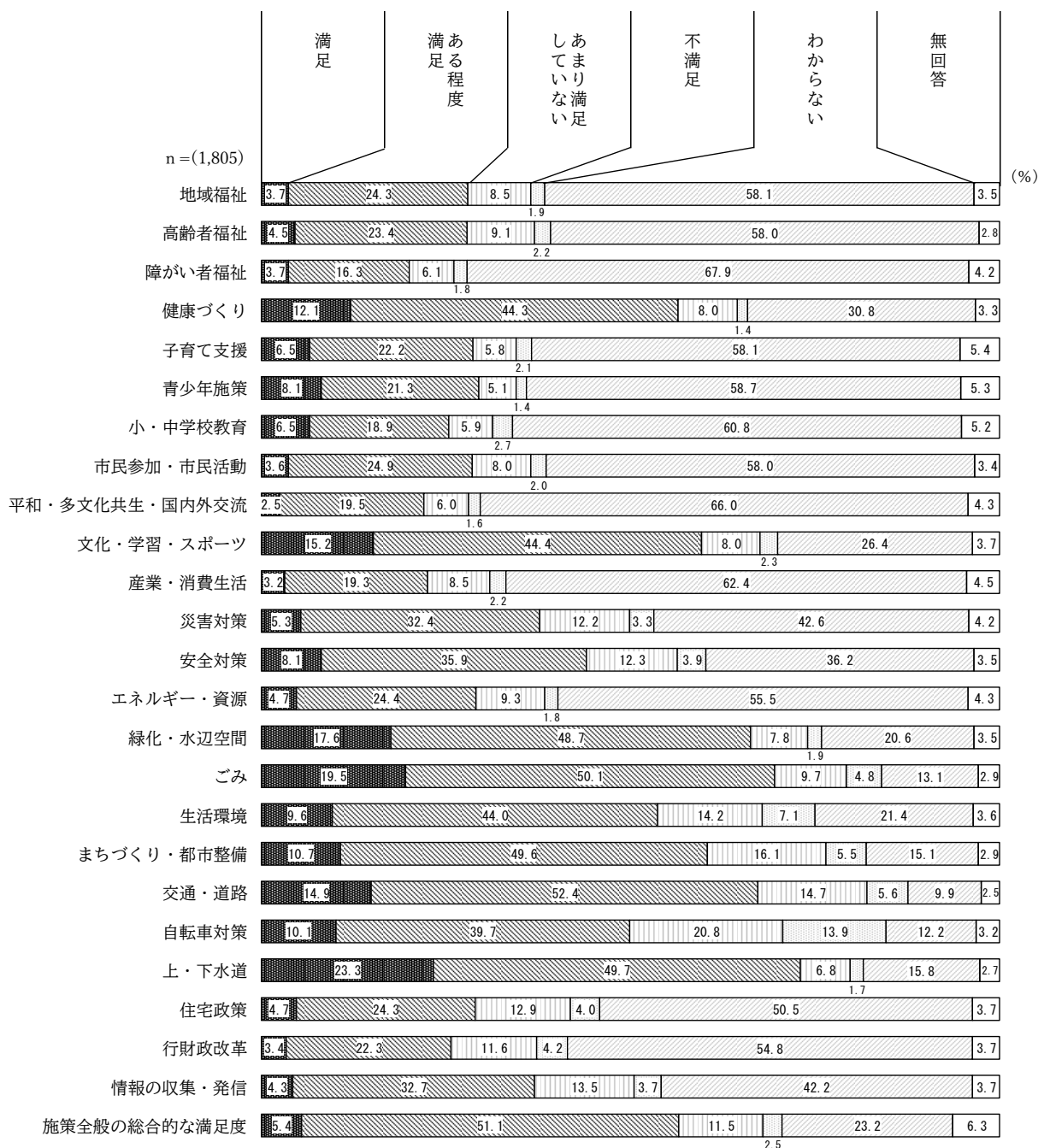
3-1 満足度

◎ 「施策全般の総合的な満足度」は「ある程度満足」が5割前半である。

問15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、【2】今後の重要度については可能な限りご回答ください。

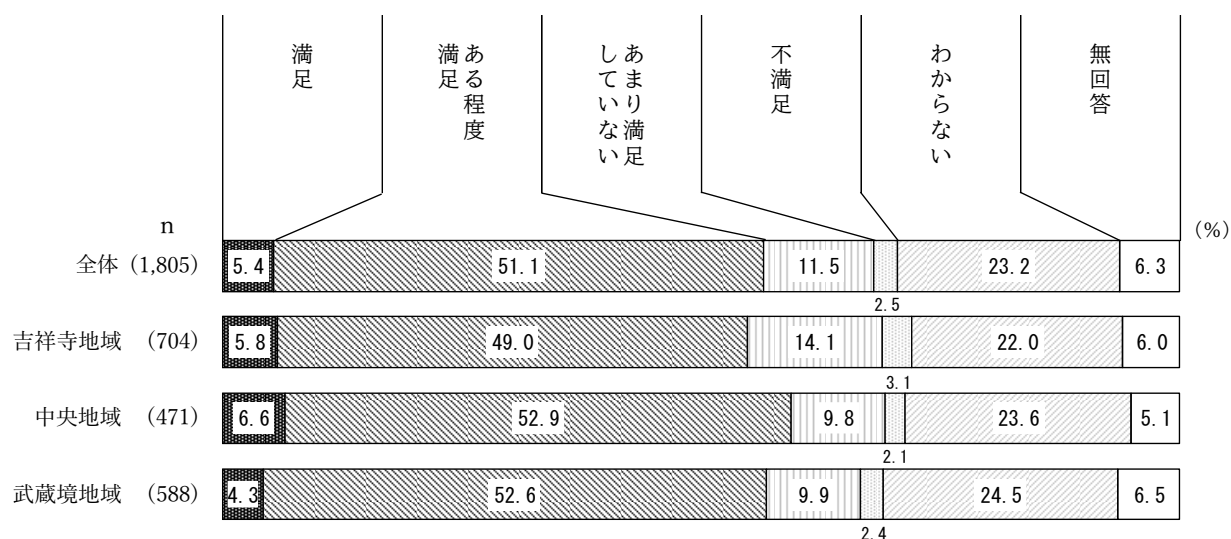
【1】現在の市の施策・事業の実施状況、または今後実施予定の施策・事業に対し、どの程度満足していますか。満足度を判断できない場合は「わからない」に○をしてください。(○は項目ごとにそれぞれ1つ)

図表3-1 満足度



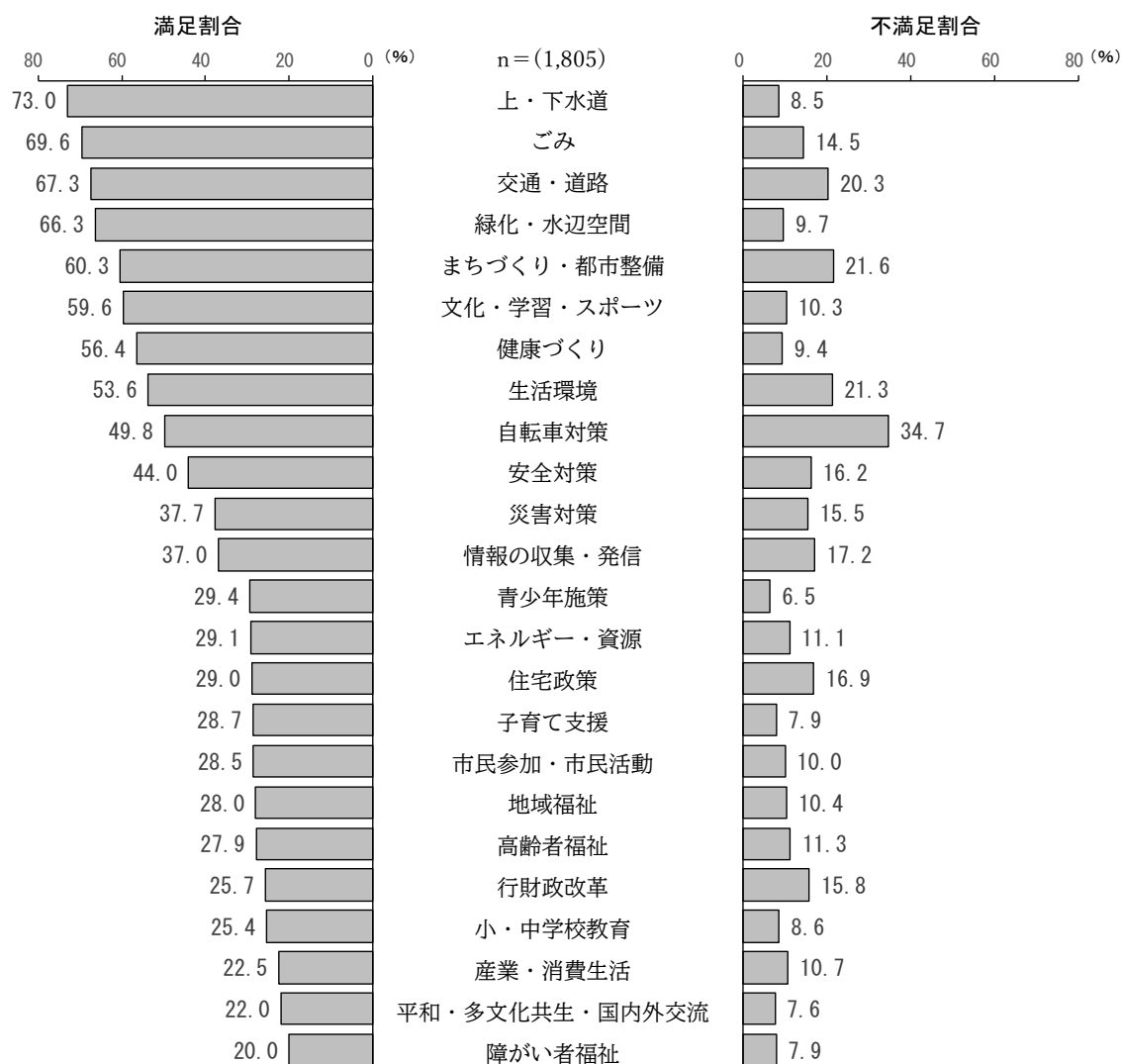
施策全般の総合的な満足度を見ると、「満足」（5.4%）と「ある程度満足」（51.1%）を合わせた『満足』（56.5%）は、5割台半ばである。一方、「あまり満足していない」（11.5%）と「不満足」（2.5%）を合わせた『不満足』（14.0%）は、1割台半ばとなっている。（図表3－1）

図表3－2 施策全般の総合的な満足度（居住地域別）



施策全般の総合的な満足度について、居住地域別で見ると、『満足』は中央地域で最も高くなっている。（図表3－2）

図表3-3 満足割合・不満割合（満足順）



『満足』

（「満足」＋「ある程度満足」）を合わせた『満足』の割合が高い順に見ると、〔上・下水道〕（73.0%）が7割台前半、〔ごみ〕（69.6%）、〔交通・道路〕（67.3%）、〔緑化・水辺空間〕（66.3%）が6割台後半、〔まちづくり・都市整備〕（60.3%）が6割台で続いている。

『不満』

（「不満」＋「あまり満足していない」）を合わせた『不満』の割合は、〔自転車対策〕（34.7%）が3割台半ばで最も高い。次いで、〔まちづくり・都市整備〕（21.6%）、〔生活環境〕（21.3%）、〔交通・道路〕（20.3%）が約2割、〔情報の収集・発信〕（17.2%）、〔住宅政策〕（16.9%）、〔安全対策〕（16.2%）が1割台後半で続いている。（図表3-3）

図表3-4 満足割合（満足度順、前回比較）

（満足度順） (％)

順位	項目	満足度	前回	前回順位
1	上・下水道	73.0	73.1	1
2	ごみ	69.6	71.3	2
3	交通・道路	67.3	60.6	5
4	緑化・水辺空間	66.3	64.7	3
5	まちづくり・都市整備	60.3	53.5	6
6	文化・学習・スポーツ	59.6	61.6	4
7	健康づくり	56.4	53.2	7
8	生活環境	53.6	52.0	8
9	自転車対策	49.8	49.6	9
10	安全対策	44.0	44.3	10
11	災害対策	37.7	35.0	12
12	情報の収集・発信	37.0	36.9	11
13	青少年施策	29.4	31.4	13
14	エネルギー・資源	29.1	24.1	20
15	住宅政策	29.0	23.3	21
16	子育て支援	28.7	27.5	15
17	市民参加・市民活動	28.5	31.0	14
18	地域福祉※	28.0	26.2	19
19	高齢者福祉	27.9	27.3	17
20	行財政改革	25.7	20.4	23
21	小・中学校教育	25.4	27.4	16
22	産業・消費生活	22.5	26.9	18
23	平和・多文化共生・国内外交流※	22.0	22.5	22
24	障がい者福祉	20.0	19.7	24

※「地域福祉」は、前は「地域活動・地域支援」であった。

※「平和・多文化共生・国内外交流」は、前は「平和・都市交流・国際交流」であった。

図表3-5 満足度(項目別件数表および満足度)(件数)

番号	項目	4	3	2	1		わからない	無回答	満足度
		満足	満足 ある 程度	あまり 満足 してい ない	不満足	合計			
1	地域福祉	67	439	153	35	694	1048	63	2.775
2	高齢者福祉	81	422	165	40	708	1047	50	2.768
3	障がい者福祉	67	294	111	33	505	1225	75	2.782
4	健康づくり	219	800	144	26	1189	556	60	3.019
5	子育て支援	118	400	104	38	660	1048	97	2.906
6	青少年施策	147	385	92	25	649	1060	96	3.008
7	小・中学校教育	118	342	106	48	614	1098	93	2.863
8	市民参加・市民活動	65	449	145	37	696	1047	62	2.779
9	平和・多文化共生・国内外交流	46	352	108	29	535	1192	78	2.776
10	文化・学習・スポーツ	275	801	145	41	1262	477	66	3.038
11	産業・消費生活	57	348	153	39	597	1126	82	2.709
12	災害対策	96	585	220	59	960	769	76	2.748
13	安全対策	146	648	222	71	1087	654	64	2.799
14	エネルギー・資源	85	440	168	32	725	1002	78	2.797
15	緑化・水辺空間	318	879	140	34	1371	371	63	3.080
16	ごみ	352	904	175	86	1517	236	52	3.003
17	生活環境	174	794	256	129	1353	387	65	2.749
18	まちづくり・都市整備	193	896	291	100	1480	273	52	2.799
19	交通・道路	269	945	266	101	1581	178	46	2.874
20	自転車対策	183	717	375	251	1526	221	58	2.545
21	上・下水道	420	897	123	31	1471	286	48	3.160
22	住宅政策	84	438	232	72	826	912	67	2.646
23	行財政改革	61	402	210	76	749	989	67	2.598
24	情報の収集・発信	77	591	243	66	977	762	66	2.695
25	施策全般の総合的な満足度	97	923	207	46	1273	418	114	2.841

【満足度】

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」、無回答を除いた回答の平均値を【満足度】とした。(図表3-5)

例:「地域福祉」について見ると、満足度は2.775となる。

【満足度(加重平均)】

(4点×67件+3点×439件+2点×153件+1点×35件)÷694(合計件数)=2.775

図表3－6 満足度（点数順）

順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.160	13	障がい者福祉	2.782
2	緑化・水辺空間	3.080	14	市民参加・市民活動	2.779
3	文化・学習・スポーツ	3.038	15	平和・多文化共生・国内外交流	2.776
4	健康づくり	3.019	16	地域福祉	2.775
5	青少年施策	3.008	17	高齢者福祉	2.768
6	ごみ	3.003	18	生活環境	2.749
7	子育て支援	2.906	19	災害対策	2.748
8	交通・道路	2.874	20	産業・消費生活	2.709
9	小・中学校教育	2.863	21	情報の収集・発信	2.695
10	安全対策	2.799	22	住宅政策	2.646
10	まちづくり・都市整備	2.799	23	行財政改革	2.598
12	エネルギー・資源	2.797	24	自転車対策	2.545

最も【満足度】が高いのは〔上・下水道〕（3.160）である。次いで、〔緑化・水辺空間〕（3.080）、〔文化・学習・スポーツ〕（3.038）、〔健康づくり〕（3.019）、〔青少年施策〕（3.008）の順となっている。

一方、最も【満足度】が低いのは〔自転車対策〕（2.545）である。次いで、〔行財政改革〕（2.598）、〔住宅政策〕（2.646）、〔情報の収集・発信〕（2.695）、〔産業・消費生活〕（2.709）の順となっている。（図表3－6）

図表3-7 満足度（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	上・下水道 3.160	上・下水道 3.147	上・下水道 3.168	上・下水道 3.134	上・下水道 3.166	上・下水道 3.188	上・下水道 3.212	上・下水道 3.158
2位	緑化・水辺空間 3.080	緑化・水辺空間 3.030	緑化・水辺空間 3.116	緑化・水辺空間 3.052	緑化・水辺空間 3.131	文化・学習・スポーツ 3.115	ごみ 3.150	緑化・水辺空間 3.077
3位	文化・学習・スポーツ 3.038	文化・学習・スポーツ 2.980	文化・学習・スポーツ 3.084	健康づくり 3.000	青少年施策 3.102	緑化・水辺空間 3.081	緑化・水辺空間 3.057	文化・学習・スポーツ 3.041
4位	健康づくり 3.019	ごみ 2.959	青少年施策 3.074	ごみ 2.961	健康づくり 3.081	ごみ 3.063	文化・学習・スポーツ 2.975	青少年施策 3.021
5位	青少年施策 3.008	健康づくり 2.942	健康づくり 3.071	文化・学習・スポーツ 青少年施策 2.954	文化・学習・スポーツ 3.072	健康づくり 3.002	健康づくり 2.960	健康づくり 3.019
6位	ごみ 3.003	青少年施策 2.917	ごみ 3.040	- -	ごみ 3.008	青少年施策 2.996	交通・道路 2.931	ごみ 2.979
7位	子育て支援 2.906	交通・道路 2.830	子育て支援 2.970	子育て支援 2.834	子育て支援 2.973	子育て支援 2.928	青少年施策 2.873	子育て支援 2.917
8位	交通・道路 2.874	子育て支援 2.821	交通・道路 小・中学校教育 2.913	地域福祉 2.823	小・中学校教育 2.911	まちづくり・都市整備 2.923	エネルギー・資源 2.828	小・中学校教育 2.870
9位	小・中学校教育 2.863	安全対策 2.794	- -	障がい者福祉 2.813	交通・道路 2.898	交通・道路 2.921	子育て支援 2.820	交通・道路 2.858
10位	安全対策 まちづくり・都市整備 2.799	小・中学校教育 2.785	障がい者福祉 2.850	交通・道路 市民参加・市民活動 2.807	エネルギー・資源 2.873	小・中学校教育 2.893	高齢者福祉 2.814	安全対策 2.808

性別で見ると、男女ともに第1位は〔上・下水道〕、第2位は〔緑化・水辺空間〕、第3位は〔文化・学習・スポーツ〕となっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域も1位は〔上・下水道〕となっている。吉祥寺地域、中央地域の2位は〔緑化・水辺空間〕、武蔵境地域の2位は〔文化・学習・スポーツ〕となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、第1位はともに〔上・下水道〕となっている。介護が必要な同居家族がいる場合の2位は〔ごみ〕、3位は〔緑化・水辺空間〕、介護が必要な同居家族がいない場合の2位は〔緑化・水辺空間〕、3位は〔文化・学習・スポーツ〕となっている。

（図表3-7）

図表3－8 満足度（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	上・下水道 3.500	青少年施策 3.255	緑化・水辺空間 3.182	上・下水道 3.171	上・下水道 3.162	上・下水道 3.068	ごみ 3.193	上・下水道 3.370
2位	青少年施策 3.357	上・下水道 3.246	文化・学習・スポーツ 3.108	緑化・水辺空間 3.131	青少年施策 3.067	ごみ 3.038	上・下水道 3.105	ごみ 3.211
3位	文化・学習・スポーツ 3.353	小・中学校教育 3.217	上・下水道 3.094	青少年施策 3.086	緑化・水辺空間 3.032	健康づくり 3.010	緑化・水辺空間 3.088	健康づくり 3.130
4位	安全対策 3.286	緑化・水辺空間 3.192	健康づくり 2.935	文化・学習・スポーツ 3.079	ごみ 3.014	文化・学習・スポーツ 2.958	健康づくり 3.067	交通・道路 3.117
5位	緑化・水辺空間 3.267	エネルギー・資源 3.178	エネルギー・資源 2.913	健康づくり 3.064	文化・学習・スポーツ 2.992	青少年施策 2.937	文化・学習・スポーツ 2.985	文化・学習・スポーツ 3.053
6位	交通・道路 3.176	高齢者福祉 3.111	まちづくり・都市整備 2.896	子育て支援 3.000	健康づくり 2.919	緑化・水辺空間 2.926	交通・道路 2.906	緑化・水辺空間 3.040
7位	平和・多文化共生・国内外交流 3.091	障がい者福祉 3.105	交通・道路 2.873	小・中学校教育 2.940	－ －	子育て支援 2.840	子育て支援 2.889	市民参加・市民活動 2.983
8位	ごみ 3.071	文化・学習・スポーツ 3.103	高齢者福祉 2.872	ごみ 2.930	小・中学校教育 2.879	小・中学校教育 2.818	生活環境 2.837	生活環境 2.853
9位	健康づくり 障がい者福祉 地域福祉 高齢者福祉 災害対策 住宅政策 3.000	まちづくり・都市整備 3.098	平和・多文化共生・国内外交流 2.865	エネルギー・資源 障がい者福祉 2.875	交通・道路 2.855	障がい者福祉 2.747	青少年施策 2.827	子育て支援 安全対策 2.852
10位	－ －	安全対策 3.096	市民参加・市民活動 産業・消費生活 2.853	－ －	安全対策 2.815	交通・道路 2.739	まちづくり・都市整備 2.787	－ －

年代別で見ると、第1位は18歳～19歳、40歳～49歳、50歳～59歳、60歳～69歳、80歳以上では〔上・下水道〕、20歳～29歳は〔青少年施策〕、30歳～39歳は〔緑化・水辺空間〕、70歳～79歳では〔ごみ〕となっている。（図表3－8）

図表3－9 満足度（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1 位	上・下水道 3. 111	上・下水道 3. 105	上・下水道 3. 076	上・下水道 3. 145	上・下水道 3. 209	上・下水道 3. 455	ごみ 3. 207	上・下水道 3. 278
2 位	健康づくり 3. 045	緑化・水辺空間 3. 046	緑化・水辺空間 2. 987	青少年施策 3. 105	緑化・水辺空間 3. 167	緑化・水辺空間 3. 311	上・下水道 3. 199	緑化・水辺空間 3. 219
3 位	ごみ 3. 018	文化・学習・スポーツ 3. 009	文化・学習・スポーツ 2. 985	文化・学習・スポーツ 3. 102	文化・学習・スポーツ 3. 144	文化・学習・スポーツ 3. 306	緑化・水辺空間 3. 129	青少年施策 3. 071
4 位	緑化・水辺空間 2. 973	青少年施策 2. 983	健康づくり 2. 873	健康づくり 3. 047	ごみ 3. 140	青少年施策 3. 222	健康づくり 3. 069	健康づくり 3. 000
5 位	交通・道路 2. 892	健康づくり 2. 908	青少年施策 2. 839	－ －	健康づくり 3. 138	エネルギー・資源 3. 214	交通・道路 3. 009	文化・学習・スポーツ 2. 967
6 位	文化・学習・スポーツ 2. 869	子育て支援 2. 903	－ －	緑化・水辺空間 3. 000	青少年施策 3. 115	安全対策 3. 189	文化・学習・スポーツ 3. 000	ごみ 2. 943
7 位	エネルギー・資源 2. 809	小・中学校教育 2. 857	ごみ 2. 776	－ －	子育て支援 2. 974	地域福祉 3. 182	生活環境 2. 896	平和・多文化共生・国内外交流 2. 933
8 位	青少年施策 2. 778	ごみ 2. 848	平和・多文化共生・国内外交流 2. 742	子育て支援 2. 987	小・中学校教育 2. 950	健康づくり 3. 167	市民参加・市民活動 2. 867	子育て支援 2. 895
9 位	高齢者福祉 2. 767	交通・道路 2. 800	まちづくり・都市整備 2. 709	交通・道路 2. 954	障がい者福祉 2. 927	平和・多文化共生・国内外交流 3. 160	青少年施策 2. 864	産業・消費生活 2. 875
10 位	子育て支援 2. 761	－ －	安全対策 2. 698	エネルギー・資源 2. 887	生活環境 2. 909	高齢者福祉 3. 158	まちづくり・都市整備 2. 833	安全対策 2. 864

職業別で見ると、第1位は無職以外の職業では〔上・下水道〕、無職では〔ごみ〕となっている。（図表3－9）

図表3-10 満足度（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	緑化・水辺空間 3.123	緑化・水辺空間 3.164	青少年施策 3.242	上・下水道 3.160	上・下水道 3.198	上・下水道 3.128	上・下水道 3.400
2位	文化・学習・ スポーツ 3.110	青少年施策 3.163	上・下水道 3.135	子育て支援 3.094	緑化・水辺空間 3.084	緑化・水辺空間 3.124	文化・学習・ スポーツ 3.290
3位	上・下水道 3.086	上・下水道 3.126	子育て支援 3.109	青少年施策 3.063	青少年施策 3.058	ごみ 3.097	緑化・水辺空間 3.265
4位	健康づくり 3.025	健康づくり 3.109	文化・学習・ スポーツ 3.089	緑化・水辺空間 3.056	文化・学習・ スポーツ 3.052	文化・学習・ スポーツ 3.047	安全対策 3.174
5位	子育て支援 2.905	文化・学習・ スポーツ 3.101	緑化・水辺空間 3.068	文化・学習・ スポーツ 3.015	ごみ 3.036	青少年施策 3.009	ごみ 3.139
6位	青少年施策 2.895	ごみ 2.968	ごみ 3.038	小・中学校教育 2.984	健康づくり 2.966	健康づくり 2.965	市民参加・市 民活動 3.118
7位	ごみ 2.878	子育て支援 2.956	健康づくり 3.000	ごみ 2.962	小・中学校教育 2.932	子育て支援 2.906	健康づくり 3.111
8位	高齢者福祉 2.875	まちづくり・ 都市整備 エネルギー・ 資源 2.857	小・中学校教育 2.968	安全対策 2.946	安全対策 2.892	小・中学校教育 交通・道路 2.879	交通・道路 3.070
9位	産業・消費生活 2.862	-	エネルギー・ 資源 2.854	健康づくり 2.934	地域福祉 2.868	-	まちづくり・ 都市整備 3.027
10位	情報の収集・ 発信 2.838	小・中学校教育 2.856	地域福祉 2.838	平和・多文化 共生・国内外 交流 2.926	子育て支援 2.852	エネルギー・ 資源 2.829	障がい者福祉 高齢者福祉 平和・多文化 共生・国内外 交流 3.000

子どもの就学状況別で見ると、高校生以上を持つ方では〔上・下水道〕が第1位、小学校入学前、小学生を持つ方では〔緑化・水辺空間〕が、中学生を持つ方では〔青少年施策〕がそれぞれ第1位となっている。（図表3-10）

図表3－11 満足度（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万 円未満	300～500万 円未満	500～700万 円未満	700～1,000 万円未満	1,000～1,500 万円未満	1,500万円 以上
1位	上・下水道 3.438	上・下水道 3.342	上・下水道 3.193	上・下水道 3.160	上・下水道 3.090	上・下水道 3.117	上・下水道 3.167	上・下水道 3.200
2位	ごみ 3.375	小・中学校教 育 3.333	健康づくり 3.055	緑化・水辺空 間 3.075	文化・学習・ スポーツ 3.047	緑化・水辺空 間 3.116	緑化・水辺空 間 3.094	緑化・水辺空 間 3.110
3位	子育て支援 3.333	青少年施策 3.250	緑化・水辺空 間 3.029	健康づくり 3.072	緑化・水辺空 間 3.019	文化・学習・ スポーツ 3.083	文化・学習・ スポーツ 3.087	健康づくり 3.055
4位	生活環境 3.308	ごみ 3.098	ごみ 3.004	青少年施策 3.056	ごみ 3.006	青少年施策 3.008	青少年施策 3.065	文化・学習・ スポーツ 3.038
5位	緑化・水辺空 間 産業・消費生 活 3.200	まちづくり・ 都市整備 3.077	文化・学習・ スポーツ 3.000	ごみ 3.052	健康づくり 2.973	ごみ 3.000	ごみ 3.062	青少年施策 3.029
6位	－ －	緑化・水辺空 間 3.059	交通・道路 2.996	子育て支援 3.011	子育て支援 2.909	健康づくり 2.972	健康づくり 3.042	高齢者福祉 2.909
7位	交通・道路 3.190	障がい者福祉 3.056	青少年施策 2.914	文化・学習・ スポーツ 3.005	青少年施策 2.855	子育て支援 2.963	子育て支援 2.960	ごみ 2.908
8位	文化・学習・ スポーツ 情報の収集・ 発信 3.154	交通・道路 3.047	安全対策 2.851	交通・道路 2.950	小・中学校教 育 2.822	交通・道路 2.892	小・中学校教 育 2.945	障がい者福祉 2.907
9位	－ －	健康づくり 3.000	平和・多文化 共生・国内外 交流 2.850	小・中学校教 育 2.854	安全対策 2.790	エネルギー・ 資源 2.839	地域福祉 2.888	小・中学校教 育 2.868
10位	まちづくり・ 都市整備 平和・多文化 共生・国内外 交流 3.100	生活環境 2.972	市民参加・市 民活動 2.843	まちづくり・ 都市整備 2.838	平和・多文化 共生・国内外 交流 2.788	地域福祉 2.838	高齢者福祉 2.865	安全対策 2.850

世帯収入別で見ると、すべての世帯で〔上・下水道〕が第1位となっている。（図表3－11）

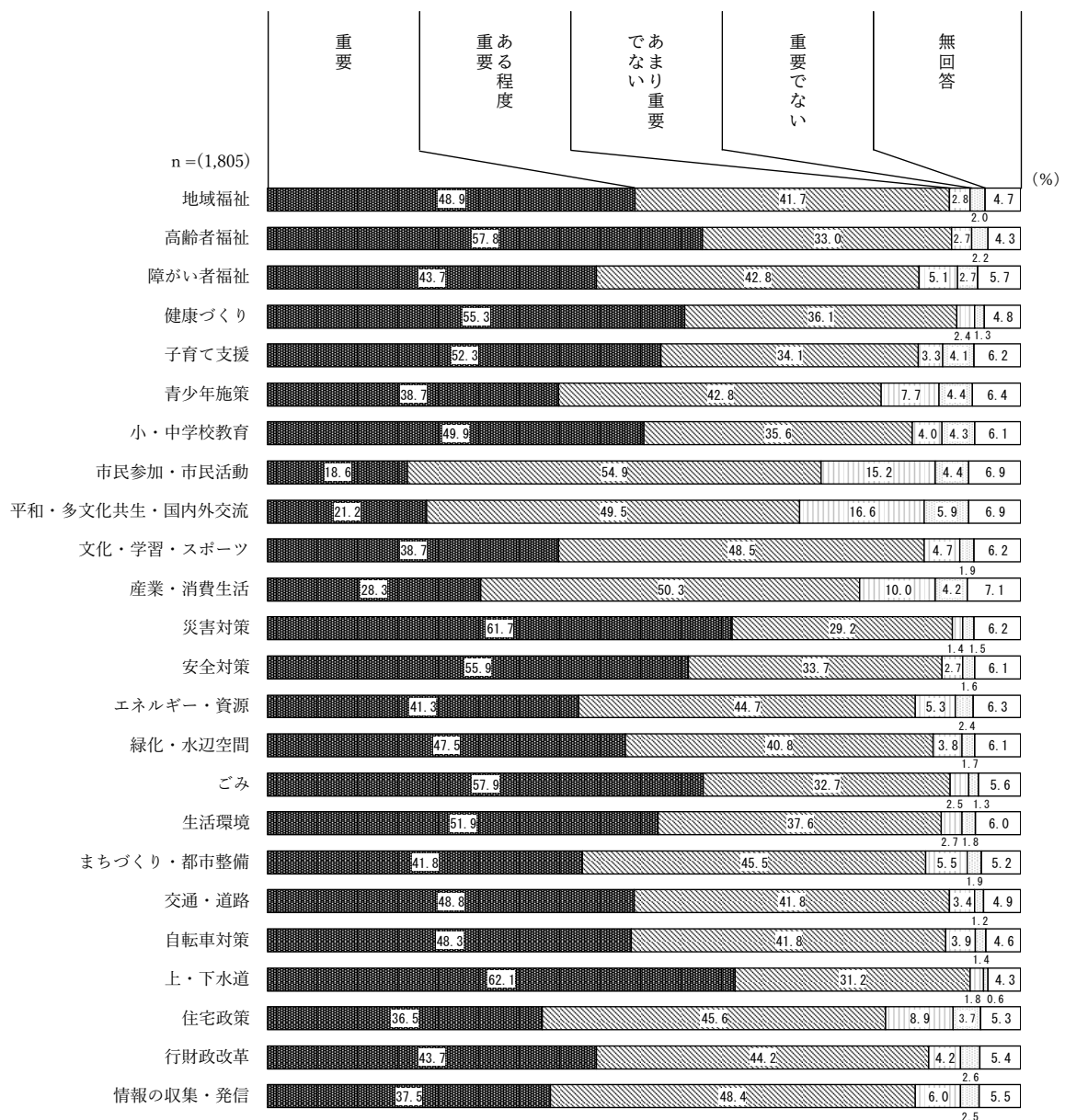
3-2 重要度

◎ 〔上・下水道〕、〔災害対策〕で「重要」が6割台前半、〔平和・多文化共生・国内外交流〕で「あまり重要でない」が1割台後半である。

問15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、【2】今後の重要度については可能な限りご回答ください。

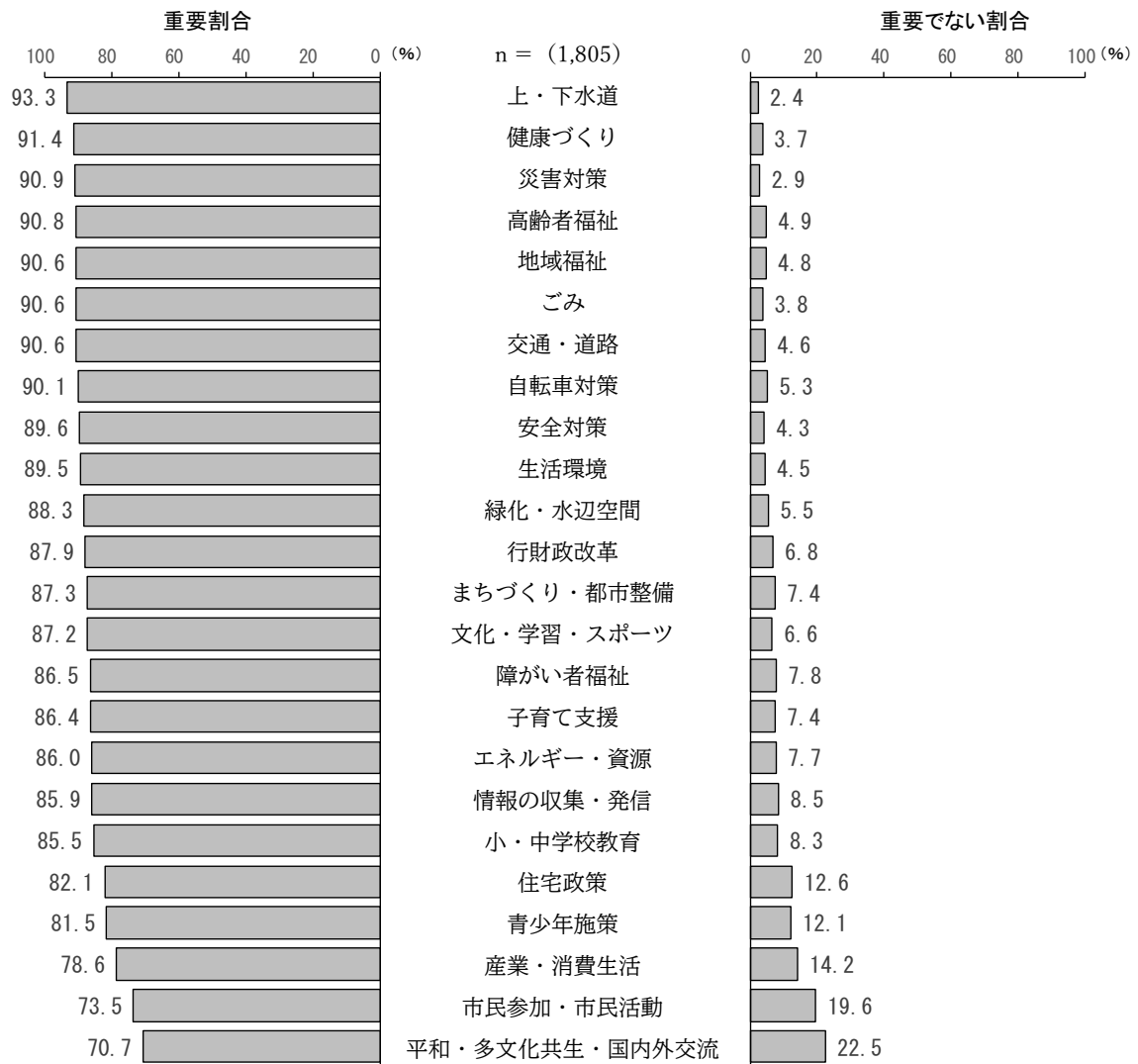
【2】これからの市政を進める上で、どの程度重要だと思いますか。(○は項目ごとにそれぞれ1つ)

図表3-12 重要度



市の施策に対する重要度について、「重要」の割合が最も多いのは〔上・下水道〕（62.1%）、〔災害対策〕（61.7%）で6割台前半、次いで、〔ごみ〕（57.9%）、〔高齢者福祉〕（57.8%）が5割台後半となっている。一方、「あまり重要でない」は〔平和・多文化共生・国内外交流〕（16.6%）で1割台後半となっている。（図表3-12）

図表3-13 重要割合・重要でない割合（重要順）



『重要』

（「重要」＋「ある程度重要」）を合わせた『重要』の割合の高い順に見ると、〔上・下水道〕（93.3%）、〔健康づくり〕（91.4%）、〔災害対策〕（90.9%）、〔高齢者福祉〕（90.8%）と続き、24項目のうち、8項目が9割台、13項目が8割台と高い割合になっている。

『重要でない』

一方、（「重要でない」＋「あまり重要でない」）を合わせた『重要でない』の割合は、〔平和・多文化共生・国内外交流〕（22.5%）が最も高く、〔市民参加・市民活動〕（19.6%）、〔産業・消費生活〕（14.2%）と続いている。（図表3-13）

図表3-14 重要割合（重要度順、前回比較）

（重要度順） (％)

順位		満足度	前回	前回順位
1	上・下水道	93.3	90.2	5
2	健康づくり	91.4	88.7	6
3	災害対策	90.9	92.1	1
4	高齢者福祉	90.8	90.3	4
5	地域福祉※	90.6	88.4	8
6	ごみ	90.6	91.4	2
7	交通・道路	90.6	87.8	9
8	自転車対策	90.1	85.2	12
9	安全対策	89.6	91.0	3
10	生活環境	89.5	88.5	7
11	緑化・水辺空間	88.3	87.3	11
12	行財政改革	87.9	83.6	15
13	まちづくり・都市整備	87.3	82.4	16
14	文化・学習・スポーツ	87.2	84.4	14
15	障がい者福祉	86.5	87.5	10
16	子育て支援	86.4	85.1	13
17	エネルギー・資源	86.0	81.1	18
18	情報の収集・発信	85.9	80.5	19
19	小・中学校教育	85.5	81.4	17
20	住宅政策	82.1	77.7	21
21	青少年施策	81.5	79.9	20
22	産業・消費生活	78.6	76.8	22
23	市民参加・市民活動	73.5	73.0	23
24	平和・多文化共生・国内外交流※	70.7	64.7	24

※「地域福祉」は、前は「地域活動・地域支援」であった。

※「平和・多文化共生・国内外交流」は、前は「平和・都市交流・国際交流」であった。

図表3－15 重要度（項目別件数表および重要度）(件数)

番号	項目	4	3	2	1	合計	無回答	重要度
		重要	重要 ある程度	あまり 重要でない	重要でない			
1	地域福祉	883	752	50	36	1721	84	3.442
2	高齢者福祉	1044	595	48	40	1727	78	3.530
3	障がい者福祉	789	773	92	49	1703	102	3.352
4	健康づくり	999	652	44	23	1718	87	3.529
5	子育て支援	944	616	59	74	1693	112	3.435
6	青少年施策	699	772	139	79	1689	116	3.238
7	小・中学校教育	900	643	73	78	1694	111	3.396
8	市民参加・市民活動	335	991	274	80	1680	125	2.941
9	平和・多文化共生・国内外交流	382	894	299	106	1681	124	2.923
10	文化・学習・スポーツ	699	876	84	34	1693	112	3.323
11	産業・消費生活	511	908	181	76	1676	129	3.106
12	災害対策	1114	527	25	27	1693	112	3.611
13	安全対策	1009	609	49	28	1695	110	3.533
14	エネルギー・資源	745	807	95	44	1691	114	3.332
15	緑化・水辺空間	858	737	68	31	1694	111	3.430
16	ごみ	1045	590	45	24	1704	101	3.559
17	生活環境	936	679	49	32	1696	109	3.485
18	まちづくり・都市整備	755	821	100	35	1711	94	3.342
19	交通・道路	880	754	61	21	1716	89	3.453
20	自転車対策	872	755	70	25	1722	83	3.437
21	上・下水道	1121	563	33	10	1727	78	3.618
22	住宅政策	659	823	161	67	1710	95	3.213
23	行財政改革	788	797	76	47	1708	97	3.362
24	情報の収集・発信	676	874	109	46	1705	100	3.279

【重要度】

「重要」から「重要でない」までの４段階の回答を４～１の点数に直し、（無回答を除いた）回答の平均値を【重要度】とした。（図表３－１５）

※計算方法は106ページの「満足度」の計算方法参照。

図表3-16 重要度（点数順）

順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	上・下水道	3.618	13	小・中学校教育	3.396
2	災害対策	3.611	14	行財政改革	3.362
3	ごみ	3.559	15	障がい者福祉	3.352
4	安全対策	3.533	16	まちづくり・都市整備	3.342
5	高齢者福祉	3.530	17	エネルギー・資源	3.332
6	健康づくり	3.529	18	文化・学習・スポーツ	3.323
7	生活環境	3.485	19	情報の収集・発信	3.279
8	交通・道路	3.453	20	青少年施策	3.238
9	地域福祉	3.442	21	住宅政策	3.213
10	自転車対策	3.437	22	産業・消費生活	3.106
11	子育て支援	3.435	23	市民参加・市民活動	2.941
12	緑化・水辺空間	3.430	24	平和・多文化共生・国内外交流	2.923

最も【重要度】が高いのは〔上・下水道〕（3.618）である。以下、〔災害対策〕（3.611）、〔ごみ〕（3.559）、〔安全対策〕（3.533）、〔高齢者福祉〕（3.530）の順となっている。

一方、最も【重要度】が低いのは〔平和・多文化共生・国内外交流〕（2.923）である。次いで、〔市民参加・市民活動〕（2.941）、〔産業・消費生活〕（3.106）の順となっている。（図表3-16）

図表3-17 重要度（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1 位	上・下水道 3. 618	上・下水道 3. 569	災害対策 3. 660	上・下水道 3. 661	災害対策 3. 622	災害対策 3. 609	高齢者福祉 3. 665	上・下水道 3. 624
2 位	災害対策 3. 611	災害対策 3. 549	上・下水道 3. 659	災害対策 3. 615	上・下水道 3. 592	上・下水道 3. 589	災害対策 3. 618	災害対策 3. 614
3 位	ごみ 3. 559	ごみ 3. 479	ごみ 3. 623	ごみ 3. 589	健康づくり 3. 539	ごみ 3. 554	ごみ 3. 605	ごみ 3. 553
4 位	安全対策 3. 533	健康づくり 3. 454	安全対策 3. 611	安全対策 3. 551	高齢者福祉 3. 532	安全対策 3. 539	上・下水道 3. 590	安全対策 3. 540
5 位	高齢者福祉 3. 530	高齢者福祉 3. 443	高齢者福祉 3. 603	健康づくり 3. 543	ごみ 3. 525	高齢者福祉 3. 525	健康づくり 3. 577	健康づくり 3. 519
6 位	健康づくり 3. 529	安全対策 3. 436	健康づくり 3. 593	高齢者福祉 3. 529	安全対策 3. 509	健康づくり 3. 513	安全対策 3. 524	高齢者福祉 3. 505
7 位	生活環境 3. 485	生活環境 3. 427	生活環境 3. 533	生活環境 3. 517	生活環境 3. 458	生活環境 3. 470	地域福祉 3. 491	生活環境 3. 495
8 位	交通・道路 3. 453	交通・道路 3. 426	地域福祉 3. 520	交通・道路 3. 486	- 3. 436	交通・道路 3. 436	障がい者福祉 3. 479	交通・道路 3. 458
9 位	地域福祉 3. 442	緑化・水辺空間 3. 416	交通・道路 3. 475	自転車対策 3. 475	地域福祉 3. 455	地域福祉 3. 430	交通・道路 3. 436	子育て支援 3. 455
10 位	自転車対策 3. 437	子育て支援 3. 392	- -	子育て支援 3. 471	交通・道路 3. 434	子育て支援 3. 416	生活環境 3. 431	自転車対策 3. 450

性別で見ると、男性の1位は〔上・下水道〕、2位は〔災害対策〕、3位は〔ごみ〕となっている。女性の1位は〔災害対策〕、2位は〔上・下水道〕、3位は〔ごみ〕となっている。

居住地域別で見ると、中央地域、武蔵境地域の1位は〔災害対策〕、2位は〔上・下水道〕となっている。吉祥寺地域の1位は〔上・下水道〕、2位は〔災害対策〕となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、いる場合の1位は〔高齢者福祉〕である。いない場合の1位は〔上・下水道〕、2位と3位はどちらも〔災害対策〕、〔ごみ〕となっている。（図表3-17）

図表3－18 重要度（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	災害対策 3.850	上・下水道 3.536	災害対策 3.659	災害対策 3.593	上・下水道 3.669	高齢者福祉 3.680	高齢者福祉 3.693	上・下水道 3.792
2位	子育て支援 3.750	災害対策 3.533	上・下水道 3.622	安全対策 3.540	災害対策 3.660	上・下水道 3.641	上・下水道 3.673	ごみ 高齢者福祉 3.661
3位	交通・道路 小・中学校教育 3.650	子育て支援 3.506	子育て支援 3.606	ごみ 3.534	高齢者福祉 3.653	ごみ 3.633	ごみ 3.623	－ －
4位	－ －	生活環境 3.494	安全対策 3.598	上・下水道 3.497	ごみ 3.590	災害対策 3.628	災害対策 3.590	交通・道路 3.600
5位	安全対策 3.600	交通・道路 3.458	健康づくり 3.581	健康づくり 3.473	安全対策 3.568	健康づくり 3.602	健康づくり 3.565	健康づくり 3.574
6位	高齢者福祉 生活環境 地域福祉 行財政改革 エネルギー・資源 青少年施策 3.550	安全対策 3.448	生活環境 3.574	生活環境 3.451	健康づくり 3.524	安全対策 3.538	地域福祉 3.500	安全対策 生活環境 3.536
7位	－ －	小・中学校教育 3.436	交通・道路 3.522	高齢者福祉 3.448	地域福祉 3.522	地域福祉 3.521	安全対策 3.455	－ －
8位	－ －	緑化・水辺空間 3.422	緑化・水辺空間 3.500	交通・道路 3.418	生活環境 3.492	緑化・水辺空間 3.474	障がい者福祉 3.448	自転車対策 3.534
9位	－ －	ごみ 3.416	自転車対策 3.482	小・中学校教育 3.417	交通・道路 3.423	自転車対策 3.469	生活環境 3.445	地域福祉 3.496
10位	－ －	自転車対策 3.398	小・中学校教育 3.474	自転車対策 3.399	障がい者福祉 3.414	交通・道路 3.453	緑化・水辺空間 3.433	災害対策 3.491

年代別で見ると、18歳～19歳、30歳～39歳、40歳～49歳では〔災害対策〕が1位、20歳～29歳、50歳～59歳、80歳以上では〔上・下水道〕が1位、60歳～69歳、70歳～79歳では〔高齢者福祉〕が1位となっている。2位は、18歳～19歳で〔子育て支援〕、20歳～29歳、50歳～59歳では〔災害対策〕、30歳～39歳、60歳～69歳、70歳～79歳では〔上・下水道〕、40歳～49歳では〔安全対策〕、80歳以上では〔ごみ〕、〔高齢者福祉〕となっている。（図表3－18）

図表3－19 重要度（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1 位	災害対策 3. 655	災害対策 3. 572	上・下水道 3. 646	高齢者福祉 3. 719	上・下水道 3. 713	災害対策 3. 754	上・下水道 3. 700	高齢者福祉 災害対策 3. 590
2 位	上・下水道 3. 654	上・下水道 3. 559	災害対策 3. 611	災害対策 3. 663	災害対策 3. 663	子育て支援 3. 656	高齢者福祉 3. 671	－ －
3 位	健康づくり 3. 579	ごみ 3. 523	高齢者福祉 3. 568	ごみ 3. 615	健康づくり 3. 654	交通・道路 3. 639	ごみ 3. 608	健康づくり 3. 579
4 位	安全対策 3. 576	安全対策 3. 506	健康づくり 3. 537	安全対策 3. 609	ごみ 高齢者福祉 3. 647	安全対策 3. 590	災害対策 3. 561	上・下水道 3. 575
5 位	ごみ 3. 517	生活環境 3. 485	安全対策 3. 516	地域福祉 3. 602	－ －	小・中学校教 育 生活環境 3. 557	健康づくり 3. 553	子育て支援 小・中学校教 育 3. 500
6 位	高齢者福祉 3. 508	健康づくり 3. 448	生活環境 3. 510	上・下水道 3. 589	安全対策 3. 587	－ －	地域福祉 3. 480	－ －
7 位	自転車対策 3. 467	交通・道路 3. 439	ごみ 3. 479	健康づくり 3. 553	交通・道路 3. 554	文化・学習・ スポーツ 3. 541	安全対策 3. 472	緑化・水辺空 間 地域福祉 3. 487
8 位	生活環境 3. 461	緑化・水辺空 間 3. 434	自転車対策 3. 438	障がい者福祉 3. 491	地域福祉 3. 551	エネルギー・ 資源 3. 525	生活環境 3. 462	－ －
9 位	行財政改革 3. 458	子育て支援 3. 427	交通・道路 3. 421	小・中学校教 育 生活環境 3. 472	自転車対策 3. 536	ごみ 高齢者福祉 地域福祉 3. 508	緑化・水辺空 間 3. 450	障がい者福祉 3. 462
10 位	地域福祉 3. 456	自転車対策 3. 417	緑化・水辺空 間 地域福祉 3. 389	－ －	生活環境 3. 520	－ －	障がい者福祉 3. 438	ごみ 3. 450

職業別で見ると、契約社員、派遣社員、家事専業、無職では〔上・下水道〕が1位、アルバイト、パートでは〔高齢者福祉〕が1位、それ以外では〔災害対策〕が1位となっている。その他では〔災害対策〕、〔高齢者福祉〕が同率で1位である。（図表3－19）

図表3-20 重要度（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	子育て支援 3.828	小・中学校教育 3.712	災害対策 3.581	災害対策 3.720	災害対策 3.724	上・下水道 3.703	上・下水道 3.596
2位	小・中学校教育 3.723	子育て支援 3.589	安全対策 3.570	上・下水道 3.635	安全対策 3.672	高齢者福祉 3.677	地域福祉 災害対策 3.500
3位	災害対策 3.659	安全対策 3.584	高齢者福祉 3.565	安全対策 3.610	上・下水道 3.643	ごみ 3.644	- -
4位	安全対策 3.647	災害対策 3.524	ごみ 3.552	ごみ 3.588	ごみ 3.603	災害対策 3.616	生活環境 3.489
5位	上・下水道 3.644	ごみ 3.506	小・中学校教育 3.541	高齢者福祉 3.560	高齢者福祉 3.590	安全対策 3.559	健康づくり 3.478
6位	青少年施策 3.632	健康づくり 青少年施策 3.497	上・下水道 3.506	健康づくり 3.542	生活環境 3.548	健康づくり 3.526	ごみ 3.468
7位	健康づくり 3.601	- -	生活環境 3.430	小・中学校教育 3.488	交通・道路 3.543	交通・道路 3.495	高齢者福祉 3.457
8位	緑化・水辺空間 3.586	上・下水道 3.485	交通・道路 3.407	生活環境 3.482	地域福祉 3.526	生活環境 3.488	交通・道路 3.435
9位	生活環境 3.575	生活環境 3.470	文化・学習・ スポーツ 3.402	地域福祉 3.410	健康づくり 3.487	地域福祉 3.481	安全対策 子育て支援 小・中学校教育 3.413
10位	交通・道路 3.564	緑化・水辺空間 3.458	健康づくり 3.400	子育て支援 交通・道路 3.398	自転車対策 3.457	自転車対策 3.467	- -

子どもの就学状況別で見ると、小学校入学前を持つ方は「子育て支援」が1位、小学生を持つ方は「小・中学校教育」が1位、中学生、高校生、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方は「災害対策」が1位、社会人、その他を持つ方は「上・下水道」となっており、2位は小学校入学前を持つ方は「小・中学校教育」、小学生を持つ方は「子育て支援」、中学生、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方は「安全対策」、高校生を持つ方は「上・下水道」、社会人を持つ方は「高齢者福祉」、その他を持つ方は「地域福祉」、「災害対策」となっている。（図表3-20）

図表3-21 重要度（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上
1位	ごみ 3.762	災害対策 3.767	上・下水道 3.701	災害対策 3.579	上・下水道 3.662	災害対策 3.594	安全対策 3.652	上・下水道 3.649
2位	健康づくり 地域福祉 高齢者福祉 エネルギー・資源 3.700	高齢者福祉 3.714	災害対策 3.596	高齢者福祉 3.554	災害対策 3.643	上・下水道 3.562	上・下水道 3.635	災害対策 3.628
3位	- -	ごみ 3.705	ごみ 3.589	上・下水道 3.545	健康づくり 3.569	健康づくり 3.538	災害対策 3.628	ごみ 3.610
4位	- -	地域福祉 3.640	高齢者福祉 3.586	ごみ 3.525	ごみ 3.551	ごみ 3.533	ごみ 3.589	生活環境 3.589
5位	- -	上・下水道 3.630	健康づくり 3.533	健康づくり 3.511	生活環境 3.544	安全対策 3.490	生活環境 3.548	安全対策 3.559
6位	自転車対策 3.667	安全対策 3.614	地域福祉 3.515	安全対策 3.457	安全対策 3.534	高齢者福祉 3.486	交通・道路 3.532	高齢者福祉 3.558
7位	上・下水道 交通・道路 3.636	障がい者福祉 3.596	安全対策 3.502	生活環境 3.432	子育て支援 3.505	子育て支援 3.449	健康づくり 3.511	自転車対策 3.514
8位	- -	健康づくり 3.580	生活環境 3.464	自転車対策 3.402	交通・道路 3.498	地域福祉 3.447	高齢者福祉 3.490	小・中学校教育 3.497
9位	安全対策 災害対策 まちづくり・都市整備 3.571	生活環境 3.568	障がい者福祉 3.459	緑化・水辺空間 3.391	自転車対策 3.455	交通・道路 3.440	子育て支援 3.482	交通・道路 3.493
10位	- -	自転車対策 3.522	子育て支援 緑化・水辺空間 3.433	地域福祉 3.382	緑化・水辺空間 3.447	生活環境 3.433	緑化・水辺空間 3.479	健康づくり 3.479

世帯収入別で見ると、収入なしでは〔ごみ〕が第1位、100万円未満、300～500万円未満、700～1,000万円未満では〔災害対策〕が第1位、100～300万円未満、500～700万円未満、1,500万円以上では〔上・下水道〕が第1位、1,000～1,500万円未満では〔安全対策〕が第1位となっている。第2位は100万円未満、300～500万円未満で〔高齢者福祉〕、100～300万円未満、500～700万円未満、1,500万円以上で〔災害対策〕、700～1,000万円未満、1,000～1,500万円未満で〔上・下水道〕となっている。（図表3-21）

3-3 ニーズ得点

◎ ニーズ得点の考え方

ここでは、問15に挙げられている各種施策について、前出の「満足度」、「重要度」をもとに、市民のニーズを明らかにしている。このニーズを求める際の考え方が「ニーズ得点」である。

ニーズ得点は、「重要度」と「満足度」を図表3-22 のとおり得点化し、その差を求め、値が大きいほどニーズが高いと考える。つまりニーズが高い項目とは、「重要だと考えるが満足していない項目」となる。

具体的な計算式は以下のとおり。

○ニーズ得点…各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）

例：「自転車対策」について見ると、ニーズ得点は8.438となる。

【満足度（加重平均）】

$(4 \text{ 点} \times 183 \text{ 件} + 3 \text{ 点} \times 717 \text{ 件} + 2 \text{ 点} \times 375 \text{ 件} + 1 \text{ 点} \times 251 \text{ 件}) \div 1,526 \text{ (合計件数)} = 2.545$

【重要度（加重平均）】

$(4 \text{ 点} \times 872 \text{ 件} + 3 \text{ 点} \times 755 \text{ 件} + 2 \text{ 点} \times 70 \text{ 件} + 1 \text{ 点} \times 25 \text{ 件}) \div 1,722 \text{ (合計件数)} = 3.437$

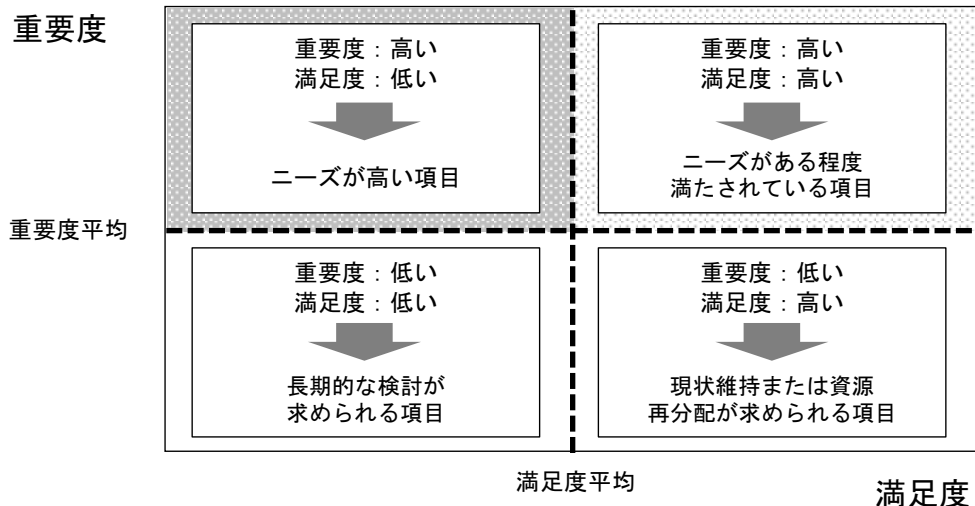
ニーズ得点 $= 3.437 \times (5 - 2.545) = 8.438$

図表3-22 「満足度」および「重要度」の得点化

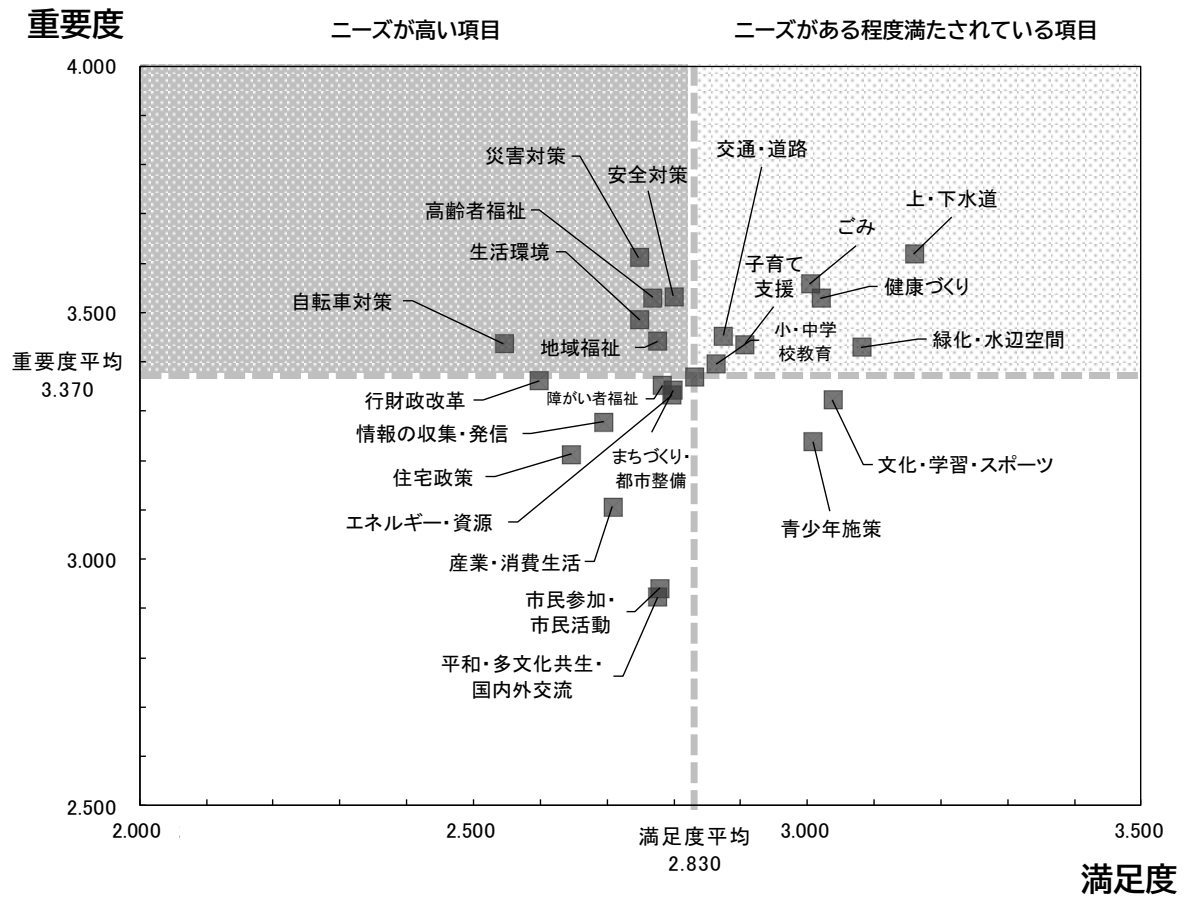
点数	4	3	2	1					4	3	2	1			
回答選択肢	満足	満足 ある程度	あまり満足 していない	不満足	合計	わからない	無回答	満足度 (加重平均)	重要	重要 ある程度	重要でない	重要でない	合計	無回答	重要度 (加重平均)
件数	183	717	375	251	1,526	221	58	2.545	872	755	70	25	1,722	83	3.437

また、上記のニーズ得点に加え、数値化した「重要度」と「満足度」により散布図を作成することで、ニーズの高い項目を確認できる。

下図のように、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとった散布図を「重要度平均」および「満足度平均」で4つに分割すると、図の左下に位置するほど重要度が低く満足度も低い項目であることを、逆に、図の右上に位置するものほど重要度が高く満足度も高い項目であることを示している。また、左上に位置するものは、重要度が高く満足度の低い項目、すなわちニーズが高い項目となる。以下では、「ニーズがある程度満たされている項目」および「ニーズが高い項目」に焦点を当てて、各種施策を見ていくこととする。



図表3-23 散布図（満足度・重要度）



上の散布図において、左上（重要度が高く、満足度が低い：ニーズが高い項目）に位置するのは、『自転車対策』や『災害対策』、『安全対策』、『高齢者福祉』、『生活環境』、『地域福祉』である。一方、『上・下水道』、『ごみ』、『緑化・水辺空間』、『健康づくり』、『子育て支援』、『交通・道路』、『小・中学校教育』は右上（重要度が高く、満足度も高い）に位置し、ニーズがある程度満たされている項目であることがわかる。（図表3-23）

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」と無回答を除いた回答の平均値を【満足度（加重平均）】、「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、無回答を除いた回答の平均値を【重要度（加重平均）】として、各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）の計算結果を【ニーズ得点】として求めた。【ニーズ得点】は、「自転車対策」（8.438）が最も高く、「災害対策」（8.132）が次いで高くなっている。以下、「行財政改革」（8.076）、「高齢者福祉」（7.879）、「生活環境」（7.845）と続いている。（図表3－24）

図表3－24 項目別ニーズ得点

（点数順）

順位		ニーズ得点	前回	前回順位
1	自転車対策	8.438	8.142	4
2	災害対策	8.132	8.563	2
3	行財政改革	8.076	8.569	1
4	高齢者福祉	7.879	8.428	3
5	生活環境	7.845	7.756	10
6	安全対策	7.776	8.087	5
7	地域福祉※	7.658	7.973	7
8	住宅政策	7.563	7.852	8
9	情報の収集・発信	7.558	7.265	14
10	障がい者福祉	7.435	7.982	6
11	まちづくり・都市整備	7.356	7.420	13
12	交通・道路	7.341	7.531	11
13	エネルギー・資源	7.340	7.803	9
14	小・中学校教育	7.257	6.508	20
15	子育て支援	7.193	7.462	12
16	産業・消費生活	7.116	6.927	16
17	ごみ	7.107	6.922	17
18	健康づくり	6.991	7.179	15
19	上・下水道	6.657	6.653	18
20	緑化・水辺空間	6.586	6.610	19
21	市民参加・市民活動	6.532	6.507	21
22	文化・学習・スポーツ	6.520	6.329	22
23	平和・多文化共生・国内外交流※	6.501	6.202	24
24	青少年施策	6.450	6.292	23

※「地域福祉」は、前は「地域活動・地域支援」であった。

※「平和・多文化共生・国内外交流」は、前は「平和・都市交流・国際交流」であった。

図表3-25 ニーズ得点（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	自転車対策 8.438	自転車対策 8.413	自転車対策 8.434	自転車対策 8.799	自転車対策 8.614	高齢者福祉 8.132	災害対策 8.419	自転車対策 8.484
2位	災害対策 8.132	行財政改革 8.159	災害対策 8.151	行財政改革 8.375	災害対策 8.164	災害対策 8.070	自転車対策 8.038	行財政改革 8.104
3位	行財政改革 8.076	災害対策 8.085	高齢者福祉 7.981	生活環境 8.251	行財政改革 7.804	行財政改革 7.897	地域福祉 8.033	災害対策 8.066
4位	高齢者福祉 7.879	生活環境 7.951	行財政改革 7.966	災害対策 8.188	生活環境 7.677	地域福祉 7.892	高齢者福祉 8.012	生活環境 7.895
5位	生活環境 7.845	高齢者福祉 7.764	安全対策 7.919	安全対策 8.118	安全対策 7.636	自転車対策 7.852	行財政改革 7.971	高齢者福祉 7.886
6位	安全対策 7.776	安全対策 7.580	住宅政策 7.818	高齢者福祉 7.757	住宅政策 7.604	障がい者福祉 7.693	安全対策 7.911	安全対策 7.760
7位	地域福祉 7.658	情報の収集・発信 7.526	地域福祉 7.762	情報の収集・発信 7.753	高齢者福祉 7.583	安全対策 7.524	障がい者福祉 7.869	住宅政策 7.590
8位	住宅政策 7.563	地域福祉 7.477	生活環境 7.758	住宅政策 7.683	まちづくり・都市整備 7.563	生活環境 7.471	生活環境 7.552	地域福祉 7.587
9位	情報の収集・発信 7.558	まちづくり・都市整備 7.468	情報の収集・発信 7.539	交通・道路 7.645	地域福祉 7.542	情報の収集・発信 7.442	情報の収集・発信 7.527	情報の収集・発信 7.573
10位	障がい者福祉 7.435	障がい者福祉 7.438	障がい者福祉 7.347	まちづくり・都市整備 7.642	情報の収集・発信 7.423	住宅政策 7.430	産業・消費生活 7.365	交通・道路 7.407

性別で見ると、男女ともに1位が〔自転車対策〕、男性は2位が〔行財政改革〕、3位が〔災害対策〕となっている。女性では2位が〔災害対策〕、3位が〔高齢者福祉〕となっている。

居住地域別で見ると、吉祥寺地域では1位が〔自転車対策〕、2位が〔行財政改革〕、3位が〔生活環境〕となっている。中央地域では1位が〔自転車対策〕、2位が〔災害対策〕、3位が〔行財政改革〕となっている。武蔵境地域では1位が〔高齢者福祉〕、2位が〔災害対策〕、3位が〔行財政改革〕となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、いる場合では1位が〔災害対策〕、2位が〔自転車対策〕、3位が〔地域福祉〕となっている。いない場合では1位が〔自転車対策〕、2位が〔行財政改革〕、3位が〔災害対策〕となっている。（図表3-25）

図表3－26 ニーズ得点（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	子育て支援 8.749	自転車対策 8.271	自転車対策 8.423	自転車対策 8.147	災害対策 8.539	自転車対策 8.933	行財政改革 8.783	自転車対策 8.747
2位	行財政改革 8.676	生活環境 7.645	生活環境 8.081	安全対策 7.997	高齢者福祉 8.493	災害対策 8.392	高齢者福祉 8.416	小・中学校教育 8.645
3位	情報の収集・発信 7.932	災害対策 7.451	安全対策 8.009	生活環境 7.944	自転車対策 8.451	行財政改革 8.359	災害対策 8.375	行財政改革 8.110
4位	自転車対策 7.816	情報の収集・発信 7.403	小・中学校教育 7.896	災害対策 7.811	行財政改革 8.275	高齢者福祉 8.339	自転車対策 8.309	高齢者福祉 7.988
5位	生活環境 7.810	ごみ 7.310	災害対策 7.860	行財政改革 7.716	生活環境 7.976	住宅政策 8.132	地域福祉 8.141	エネルギー・資源 7.948
6位	災害対策 7.700	子育て支援 7.268	子育て支援 7.789	高齢者福祉 7.634	障がい者福祉 7.941	情報の収集・発信 8.073	住宅政策 7.853	障がい者福祉 7.819
7位	小・中学校教育 7.581	交通・道路 7.155	ごみ 7.738	地域福祉 7.519	情報の収集・発信 7.940	安全対策 8.017	障がい者福祉 7.813	災害対策 7.788
8位	エネルギー・資源 7.423	行財政改革 6.800	行財政改革 7.637	交通・道路 7.455	地域福祉 7.903	地域福祉 8.014	エネルギー・資源 7.796	住宅政策 7.764
9位	まちづくり・都市整備 7.331	安全対策 6.565	交通・道路 7.491	住宅政策 7.322	住宅政策 7.861	まちづくり・都市整備 7.982	小・中学校教育 7.739	安全対策 7.595
10位	高齢者福祉 地域福祉 7.100	平和・多文化共生・国内外交流 6.552	住宅政策 7.428	ごみ 7.315	安全対策 7.796	生活環境 7.911	安全対策 7.722	生活環境 7.592

年代別で見ると、18歳～19歳では〔子育て支援〕が1位、50歳～59歳では〔災害対策〕が1位、70歳～79歳では〔行財政改革〕が1位、それ以外の年代では〔自転車対策〕が1位となっている。2位は18歳～19歳では〔行財政改革〕、20歳～29歳、30歳～39歳では〔生活環境〕、40歳～49歳では〔安全対策〕、50歳～59歳、70歳～79歳では〔高齢者福祉〕、60歳～69歳では〔災害対策〕、80歳以上では〔小・中学校教育〕となっている。（図表3－26）

図表3-27 ニーズ得点（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1 位	行財政改革 9.053	自転車対策 8.563	地域福祉 9.005	高齢者福祉 8.565	自転車対策 8.592	自転車対策 7.865	自転車対策 8.268	災害対策 8.548
2 位	自転車対策 8.626	生活環境 8.239	高齢者福祉 8.920	災害対策 8.432	災害対策 7.971	情報の収集・ 発信 7.553	高齢者福祉 8.260	自転車対策 8.452
3 位	災害対策 8.399	災害対策 8.076	生活環境 8.663	地域福祉 8.173	行財政改革 7.923	生活環境 7.363	行財政改革 8.220	交通・道路 8.171
4 位	情報の収集・ 発信 8.393	行財政改革 7.871	自転車対策 8.616	行財政改革 7.984	高齢者福祉 7.881	子育て支援 7.312	小・中学校教 育 8.183	まちづくり・ 都市整備 8.039
5 位	安全対策 8.175	安全対策 7.808	災害対策 8.511	住宅政策 7.942	地域福祉 7.606	災害対策 7.287	災害対策 8.137	障がい者福祉 7.990
6 位	生活環境 8.154	ごみ 7.581	障がい者福祉 8.388	自転車対策 7.884	安全対策 7.594	行財政改革 7.219	障がい者福祉 7.904	情報の収集・ 発信 7.942
7 位	産業・消費生 活 8.136	交通・道路 7.566	住宅政策 8.272	安全対策 7.871	情報の収集・ 発信 7.505	交通・道路 7.063	安全対策 7.836	高齢者福祉 7.812
8 位	住宅政策 8.034	高齢者福祉 7.559	情報の収集・ 発信 8.235	障がい者福祉 7.827	まちづくり・ 都市整備 7.494	ごみ 6.777	地域福祉 7.646	地域福祉 7.720
9 位	地域福祉 7.921	住宅政策 7.521	産業・消費生 活 8.229	生活環境 7.583	交通・道路 7.485	小・中学校教 育 6.573	エネルギー・ 資源 7.630	小・中学校教 育 7.700
10 位	まちづくり・ 都市整備 7.839	エネルギー・ 資源 7.414	安全対策 8.094	情報の収集・ 発信 7.437	住宅政策 7.420	安全対策 6.501	住宅政策 7.544	生活環境 7.658

職業別で見ると、自営業・自由業、では〔行財政改革〕が1位、正社員、正職員、家事専業、学生、無職では〔自転車対策〕が1位、契約社員、派遣社員では〔地域福祉〕が1位、アルバイト、パートでは〔高齢者福祉〕が1位、その他では〔災害対策〕が1位となっている。2位は自営業・自由業、その他では〔自転車対策〕、正社員、正職員では〔生活環境〕、契約社員、派遣社員、無職では〔高齢者福祉〕、アルバイト、パート、家事専業では〔災害対策〕、学生では〔情報の収集・発信〕となっている。（図表3-27）

図表3-28 ニーズ得点（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1 位	小・中学校教育 8.917	安全対策 8.086	災害対策 8.451	行財政改革 8.689	自転車対策 8.563	自転車対策 8.744	子育て支援 8.533
2 位	自転車対策 8.279	小・中学校教育 7.959	高齢者福祉 8.053	災害対策 8.407	災害対策 8.282	高齢者福祉 8.593	行財政改革 8.389
3 位	子育て支援 8.020	自転車対策 7.943	自転車対策 8.023	自転車対策 8.057	高齢者福祉 8.250	災害対策 8.313	自転車対策 8.241
4 位	生活環境 8.012	生活環境 7.801	安全対策 7.829	高齢者福祉 7.949	行財政改革 8.147	行財政改革 8.296	小・中学校教育 7.963
5 位	災害対策 7.955	災害対策 7.760	行財政改革 7.770	生活環境 7.796	生活環境 8.029	生活環境 8.008	生活環境 7.613
6 位	安全対策 7.950	高齢者福祉 7.726	生活環境 7.766	情報の収集・ 発信 7.714	まちづくり・ 都市整備 7.980	障がい者福祉 7.827	地域福祉 7.438
7 位	行財政改革 7.913	交通・道路 7.700	障がい者福祉 7.673	まちづくり・ 都市整備 7.593	情報の収集・ 発信 7.835	住宅政策 7.812	災害対策 7.319
8 位	交通・道路 7.720	障がい者福祉 7.585	交通・道路 7.581	安全対策 7.415	安全対策 7.741	地域福祉 7.790	エネルギー・ 資源 6.945
9 位	青少年施策 7.645	地域福祉 7.489	地域福祉 7.275	健康づくり 7.318	障がい者福祉 7.693	安全対策 7.776	高齢者福祉 6.914
10 位	ごみ 7.525	子育て支援 7.336	産業・消費生 活 7.244	ごみ 7.312	交通・道路 7.667	情報の収集・ 発信 7.764	情報の収集・ 発信 6.781

子どもの就学状況別で見ると、小学校入学前を持つ方では〔小・中学校教育〕、小学生を持つ方では〔安全対策〕、中学生を持つ方では〔災害対策〕、高校生を持つ方では〔行財政改革〕、専門学校、短期大学、大学生等、社会人を持つ方では〔自転車対策〕、その他を持つ方では〔子育て支援〕が1位となっている。2位は、小学校入学前を持つ方では〔自転車対策〕、小学生を持つ方では〔小・中学校教育〕、中学生、社会人を持つ方では〔高齢者福祉〕、高校生、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方では〔災害対策〕、その他を持つ方では〔行財政改革〕となっている。（図表3-28）

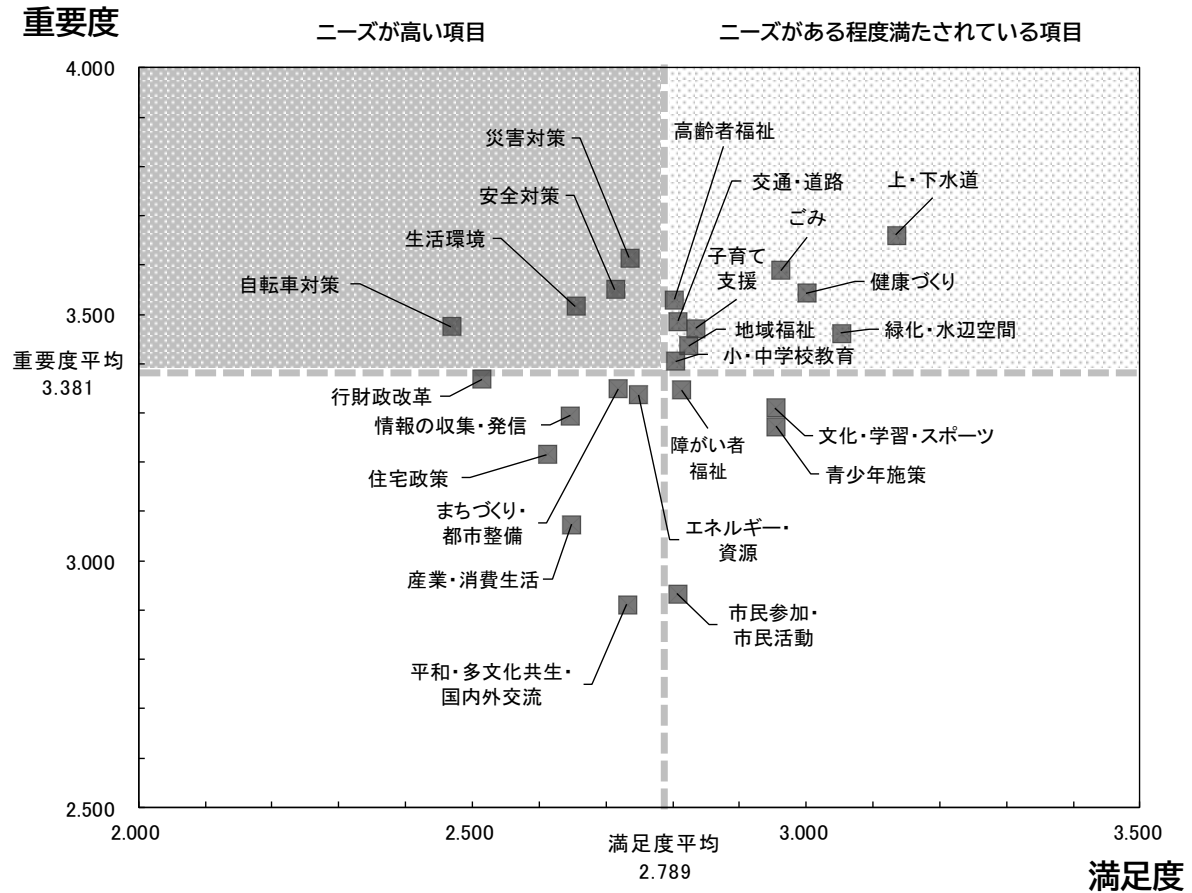
図表3-29 ニーズ得点（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上
1位	高齢者福祉 9.084	災害対策 8.947	行財政改革 8.457	自転車対策 8.372	行財政改革 8.606	自転車対策 8.102	自転車対策 8.545	自転車対策 8.550
2位	青少年施策 8.815	自転車対策 8.340	自転車対策 8.285	高齢者福祉 8.256	自転車対策 8.492	災害対策 8.065	生活環境 8.210	生活環境 8.283
3位	障がい者福祉 7.935	情報の収集・発信 8.300	地域福祉 8.172	災害対策 8.189	住宅政策 8.464	行財政改革 7.720	災害対策 8.065	災害対策 8.090
4位	小・中学校教育 7.934	住宅政策 8.166	災害対策 8.080	行財政改革 7.968	生活環境 8.183	高齢者福祉 7.711	安全対策 8.053	行財政改革 8.044
5位	地域福祉 7.863	安全対策 8.132	住宅政策 8.033	安全対策 7.726	災害対策 8.179	生活環境 7.608	交通・道路 8.035	情報の収集・発信 7.836
6位	災害対策 7.538	行財政改革 7.925	高齢者福祉 7.986	住宅政策 7.673	高齢者福祉 7.822	安全対策 7.587	行財政改革 8.016	まちづくり・都市整備 7.740
7位	エネルギー・資源 7.400	高齢者福祉 7.840	情報の収集・発信 7.715	障がい者福祉 7.635	安全対策 7.810	地域福祉 7.452	まちづくり・都市整備 7.711	子育て支援 7.725
8位	自転車対策 7.334	平和・多文化共生・国内外交流 7.813	生活環境 7.607	地域福祉 7.603	交通・道路 7.773	小・中学校教育 7.411	情報の収集・発信 7.604	安全対策 7.652
9位	安全対策 7.142	地域福祉 7.735	小・中学校教育 7.603	生活環境 7.592	まちづくり・都市整備 7.635	障がい者福祉 7.318	高齢者福祉 7.451	ごみ 7.552
10位	健康づくり 7.115	産業・消費生活 7.611	子育て支援 7.563	情報の収集・発信 7.487	地域福祉 7.606	交通・道路 7.252	障がい者福祉 7.326	交通・道路 7.534

世帯収入別で見ると、収入なしでは〔高齢者福祉〕、100万円未満では〔災害対策〕、100～300万円未満、500～700万円未満では〔行財政改革〕、それ以外の世帯収入では〔自転車対策〕が1位となっている。2位は、収入なしでは〔青少年施策〕、100万円未満、100～300万円未満、500～700万円未満では〔自転車対策〕、300～500万円未満では〔高齢者福祉〕、700～1,000万円未満では〔災害対策〕、1,000～1,500万円未満、1,500万円以上では〔生活環境〕となっている。（図表3-29）

3-4 満足度と重要度の分析（居住地域別）

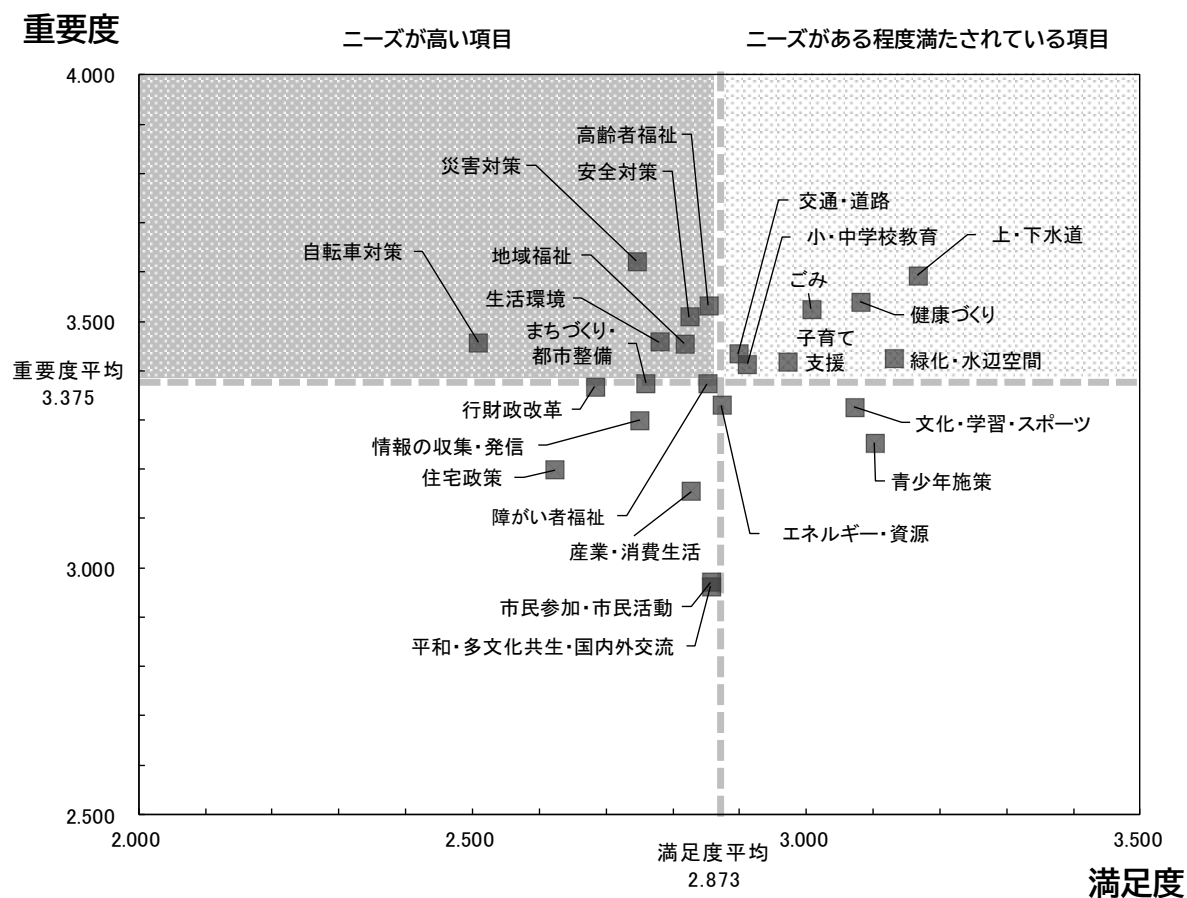
図表3-30 散布図（満足度・重要度）吉祥寺地域



吉祥寺地域では、〔災害対策〕、〔安全対策〕、〔生活環境〕、〔自転車対策〕が、ニーズの高い項目となっている。

一方、〔上・下水道〕、〔ごみ〕、〔緑化・水辺空間〕、〔交通・道路〕、〔健康づくり〕、〔高齢者福祉〕、〔地域福祉〕、〔子育て支援〕、〔小・中学校教育〕は、ニーズがある程度満たされていると見ることができる。（図表3-30）

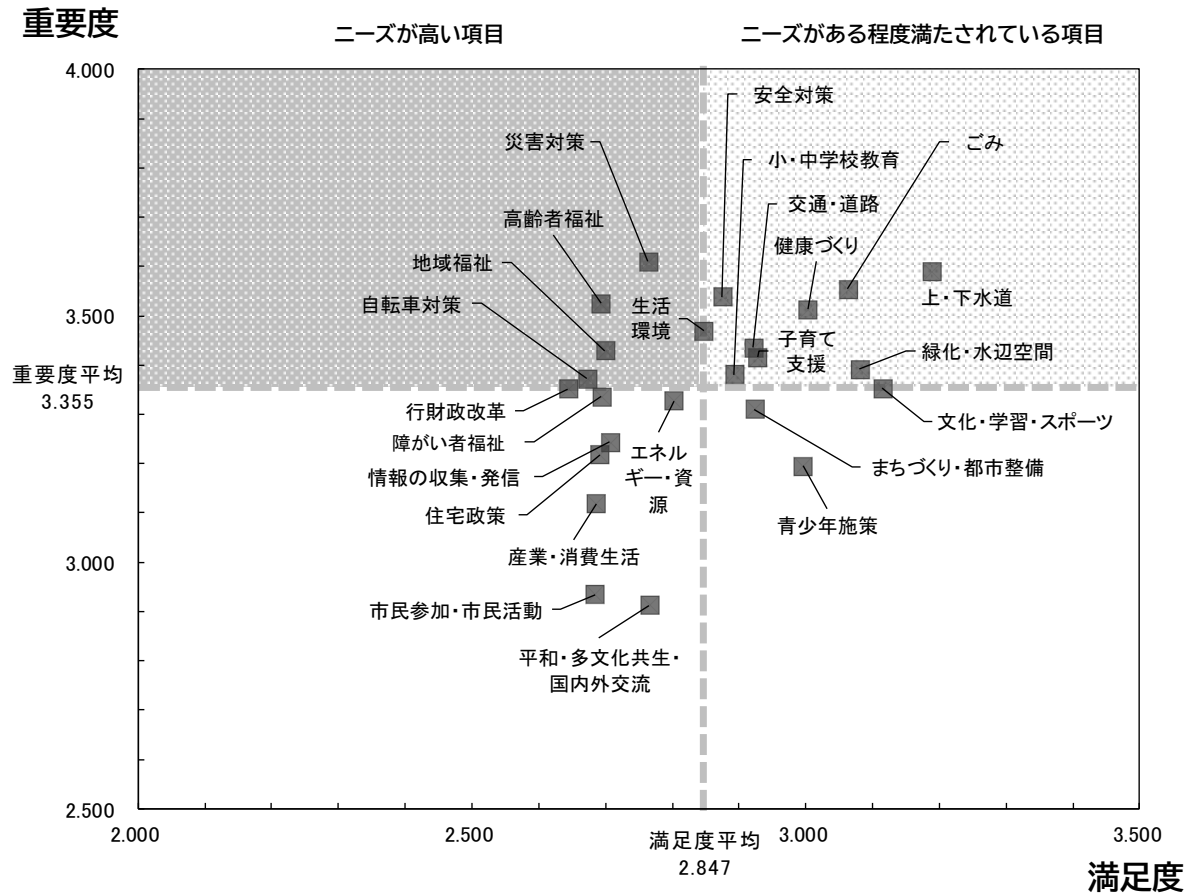
図表3-31 散布図（満足度・重要度）中央地域



中央地域では、〔災害対策〕、〔安全対策〕、〔高齢者福祉〕、〔地域福祉〕、〔生活環境〕、〔自転車対策〕が、ニーズの高い項目となっている。

一方、〔上・下水道〕、〔健康づくり〕、〔ごみ〕、〔小・中学校教育〕、〔交通・道路〕、〔子育て支援〕、〔緑化・水辺空間〕は、ニーズがある程度満たされていると見ることができる。
(図表3-31)

図表3-32 散布図（満足度・重要度）武蔵境地域



武蔵境地域では、〔災害対策〕、〔高齢者福祉〕、〔地域福祉〕、〔自転車対策〕が、ニーズの高い項目となっている。

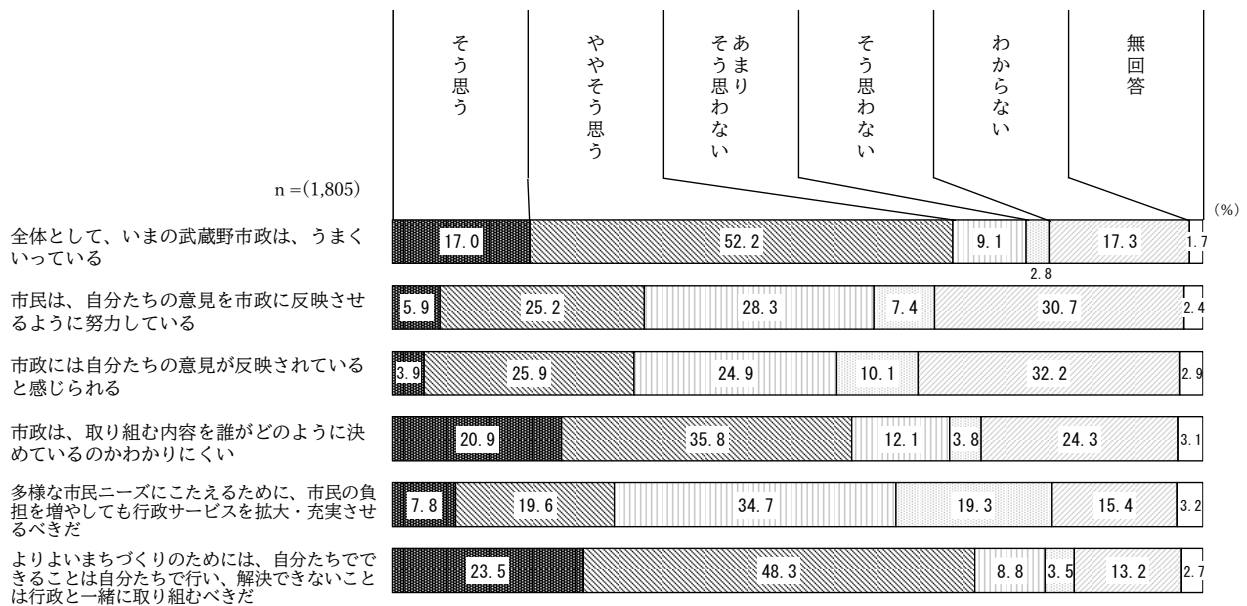
一方、〔上・下水道〕、〔ごみ〕、〔健康づくり〕、〔子育て支援〕、〔交通・道路〕、〔安全対策〕、〔緑化・水辺空間〕、〔小・中学校教育〕は、ニーズがある程度満たされていると見ることができる。（図表3-32）

3-5 市政の現状や問題点

◎ 「全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている」では、『そう思う』は6割台後半、「よりよいまちづくりのためには、自分たちでできることは自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒に取り組むべきだ」では7割台前半である。

問16 市政の現状や問題点についてあなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ)

図表3-33 市政の現状や問題点



市政に対する現状や問題点は、「全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている」は、「そう思う」(17.0%)と「ややそう思う」(52.2%)を合わせた『そう思う』(69.2%)が6割台後半となっている。

「市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している」は、「あまりそう思わない」(28.3%)と「そう思わない」(7.4%)を合わせた『そう思わない』(35.7%)が『そう思う』(31.1%)を若干上回っている。

「市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる」は、『そう思わない』(35.0%)が『そう思う』(29.8%)を5.2ポイント上回っている。

「市政は、取り組む内容を誰がどのように決めているのかわかりにくい」は、『そう思う』(56.7%)が過半数を超えている。

「多様な市民ニーズにこたえるために、市民の負担を増やしても行政サービスを拡大・充実させるべきだ」は、『そう思わない』(54.0%)が過半数を超えている。

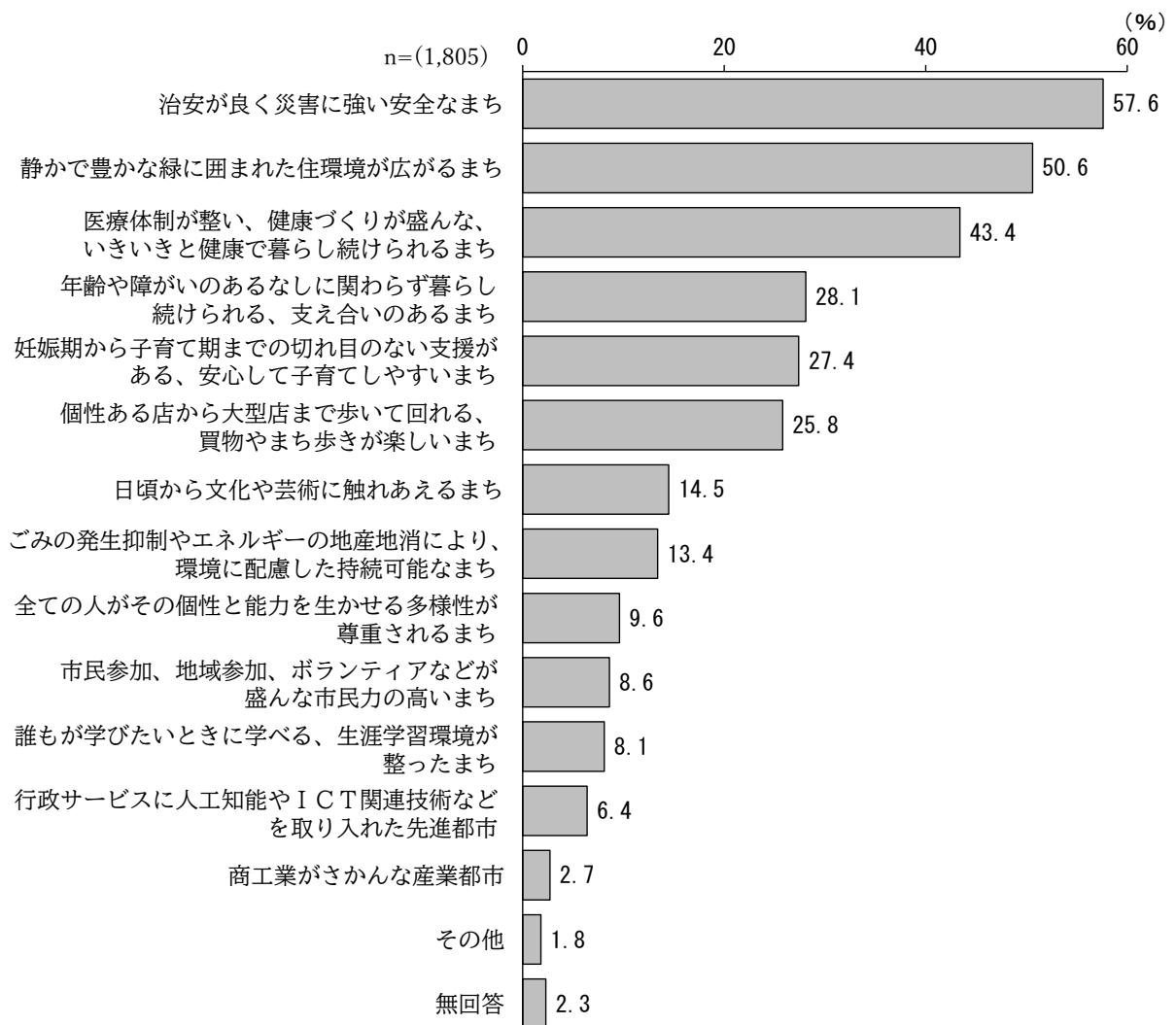
「よりよいまちづくりのためには、自分たちでできることは自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒にとりくむべきだ」は、『そう思う』(71.8%)が過半数を超えている。(図表3-33)

3－6 武蔵野市の将来像

◎ 「治安が良く災害に強い安全なまち」が5割台後半、「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」が約5割、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らしつづけられるまち」が4割台前半である。

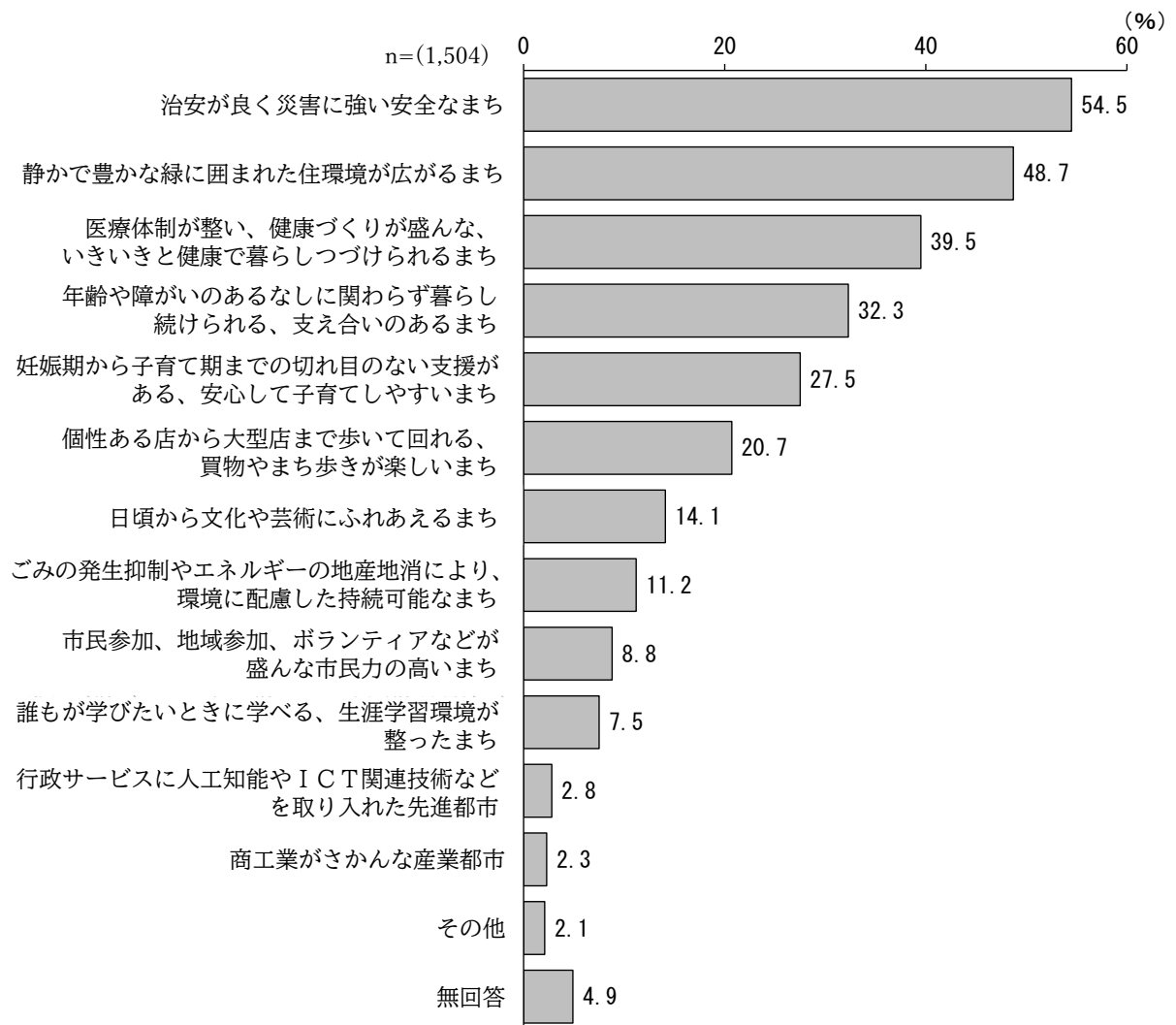
問17 武蔵野市は、これからどのようになれば、より魅力的で活力あふれる都市(まち)になると思いますか。(〇は3つまで)

図表3－34 武蔵野市の将来像



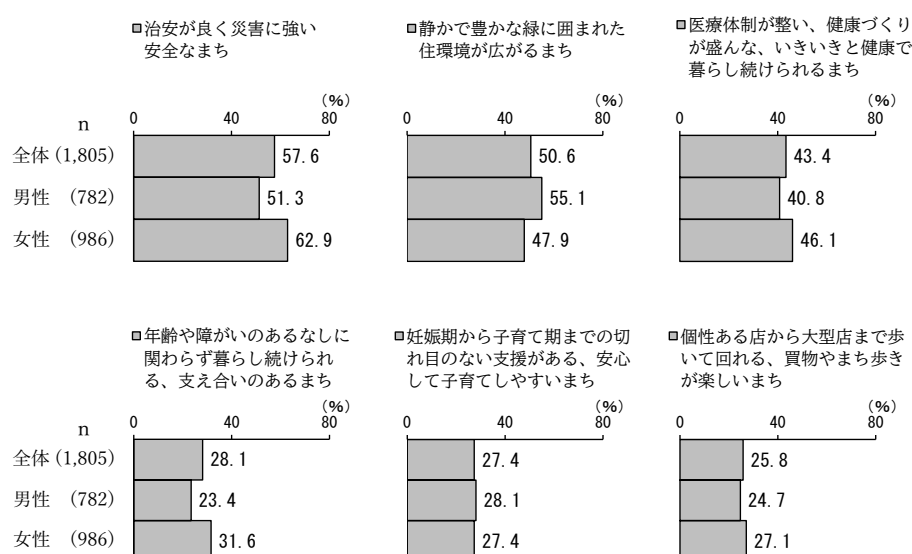
武蔵野市の将来像は、「治安が良く災害に強い安全なまち」(57.6%)が5割台後半で最も高い。次いで、「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」(50.6%)が約5割、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らしつづけられるまち」(43.4%)が4割台前半、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」(28.1%)が2割台後半となっている。(図表3－34)

参考：平成 30 年度調査の結果



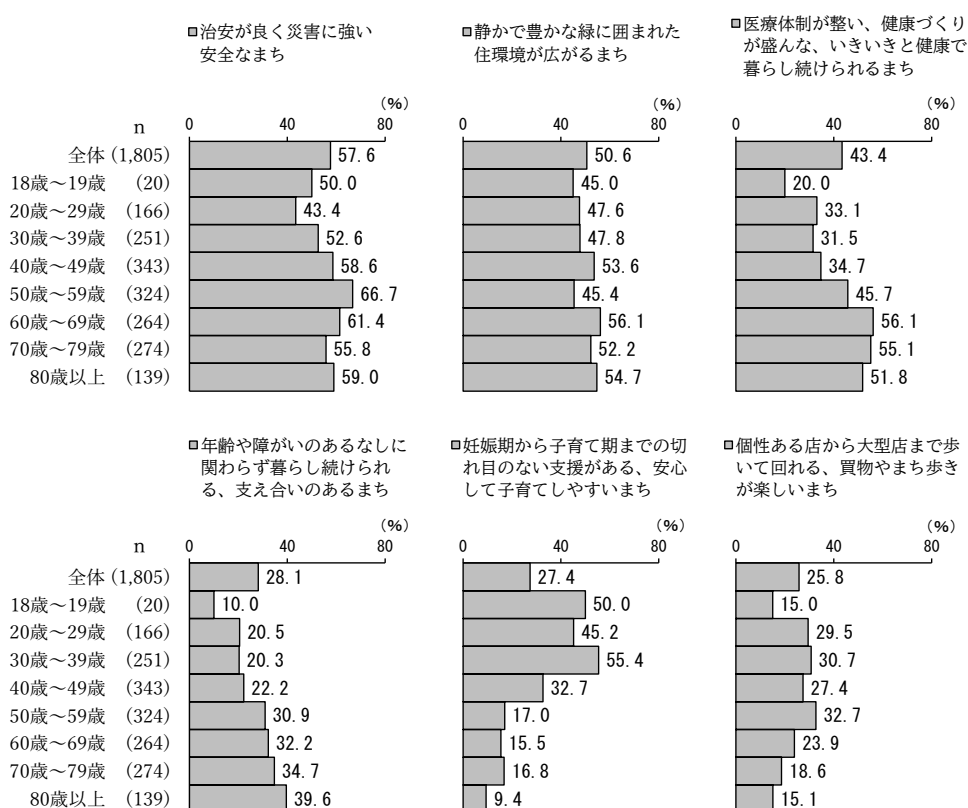
前回調査と比較すると、今回調査から「全ての人がその個性と能力を生かせる多様性が尊重されるまち」が追加となっているものの、上位は第 1 位の「治安が良く災害に強い安全なまち」をはじめ、順位に変動はみられない。また、割合を見ると、「個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち」は前回調査と比べて 5.1 ポイント増加している。

図表3-35 武蔵野市の将来像（性別）上位6項目



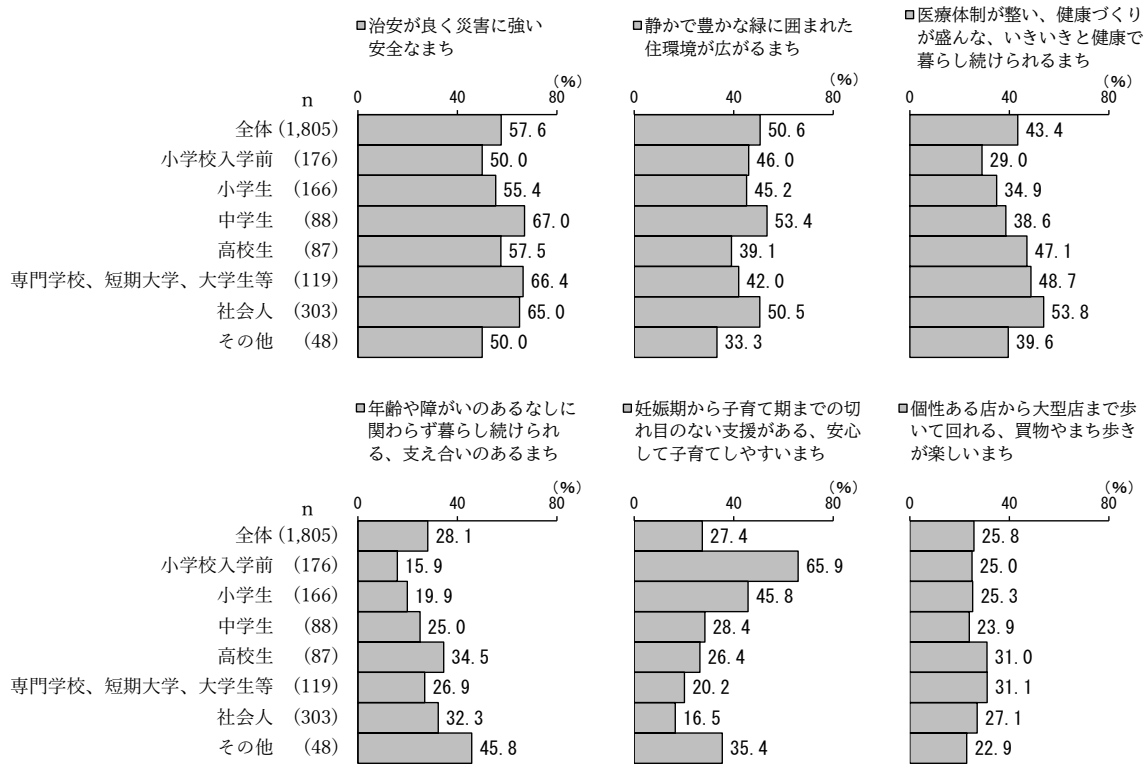
上位6項目について、性別で見ると、「治安が良く災害に強い安全なまち」では、女性の方が男性よりも11.6ポイント高くなっている。逆に、「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」では、男性の方が女性よりも7.2ポイント高い。（図表3-35）

図表3-36 武蔵野市の将来像（年代別）上位6項目



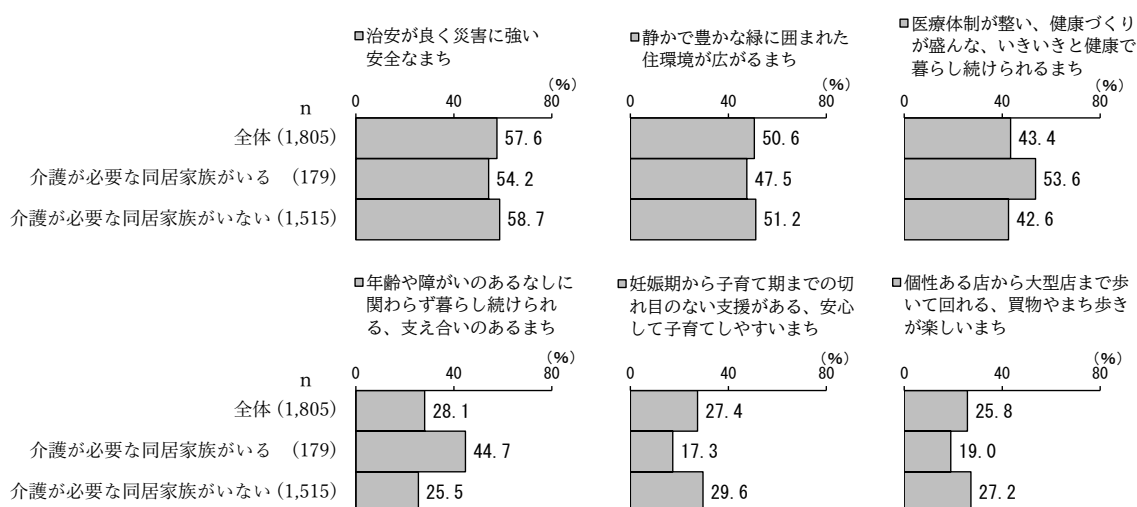
年代別で見ると、「治安が良く災害に強い安全なまち」は、50～59歳で6割台後半と最も高くなっている。「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」は、年代が上がるほど増加する傾向にあり、80歳以上で約4割と高くなっている。（図表3-36）

図表3－37 武蔵野市の将来像（子どもの就学状況別）上位6項目



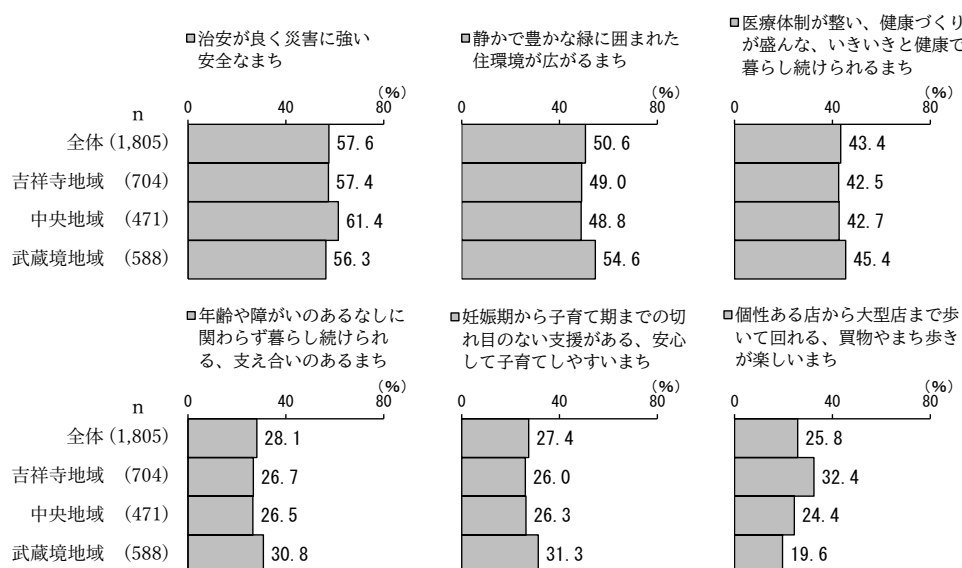
子どもの就学状況別で見ると、「治安が良く災害に強い安全なまち」は、中学生、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方で6割台後半と最も高くなっている。「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」は、小学校入学前を持つ方で6割台半ばと最も高くなっている。（図表3－37）

図表3－38 武蔵野市の将来像（介護が必要な同居家族の有無別）上位6項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」は、介護が必要な同居家族がいる場合の方が、介護が必要な同居家族がいない場合に比べて19.2ポイント高くなっている。一方、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」は、介護が必要な同居家族がいない場合の方が、介護が必要な同居家族がいる場合に比べて12.3ポイント高くなっている。（図表3－38）

図表3－39 武蔵野市の将来像（居住地域別）上位6項目



居住地域別で見ると、「治安が良く災害に強い安全なまち」は、中央地域で他の地域に比べて高くなっている。「個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち」は、吉祥寺地域で他の地域に比べて高くなっている。（図表3－39）

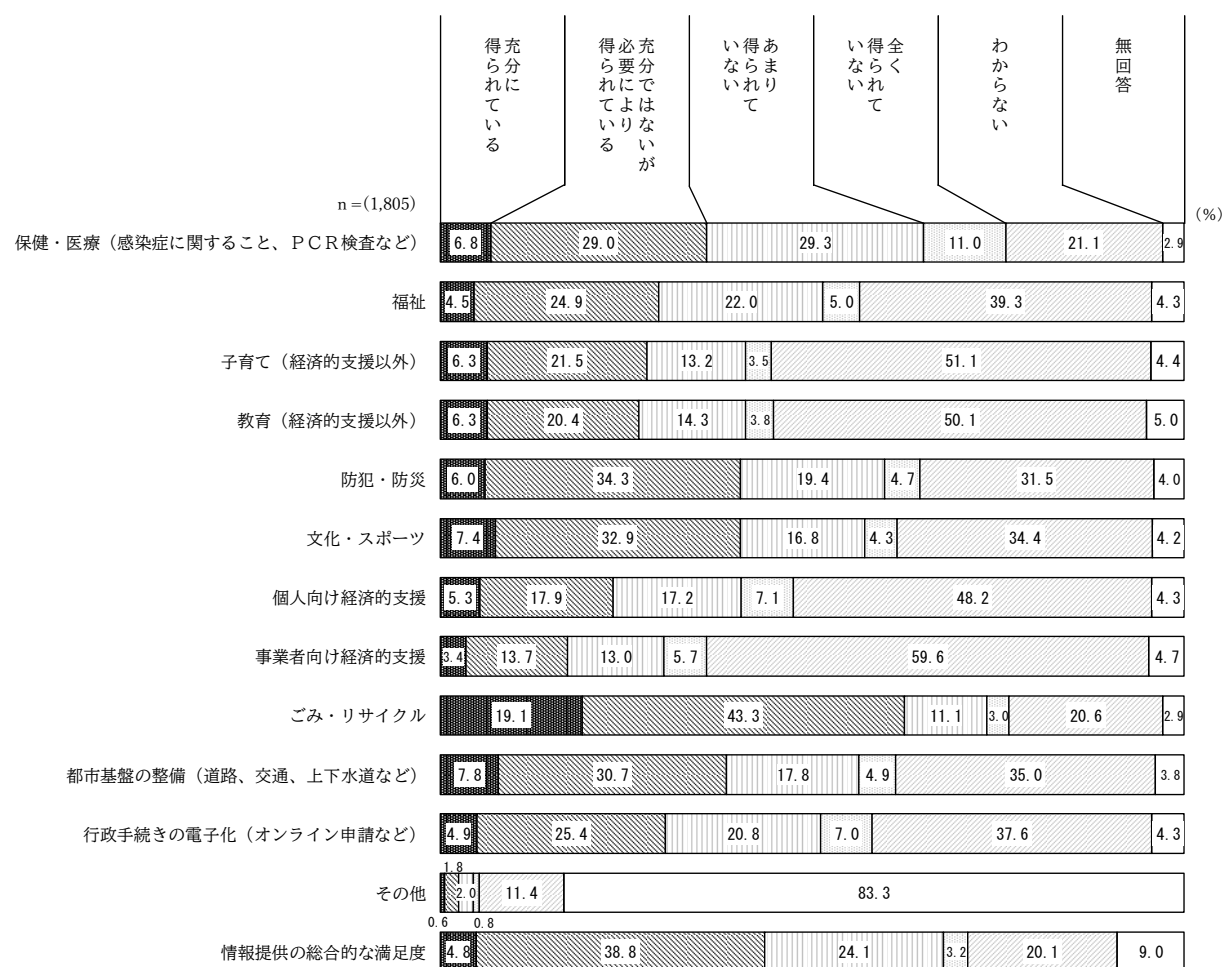
4 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供などについて

4-1 新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手状況

◎ 「情報提供の総合的な満足度」は『得られている』が4割台前半である。

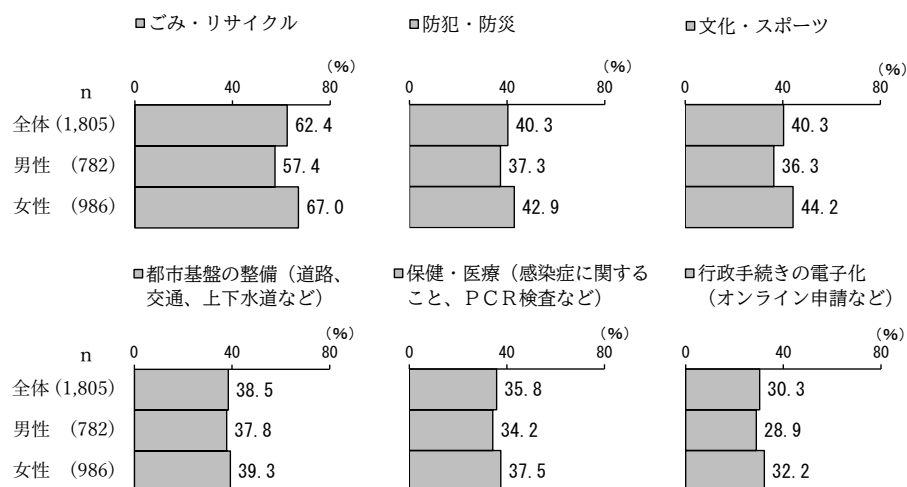
問18 以下に挙げた項目について、情報を十分に得られているかをお答えください。判断できない場合は「わからない」に○をしてください。（○はそれぞれ1つ）

図表4-1 新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手状況



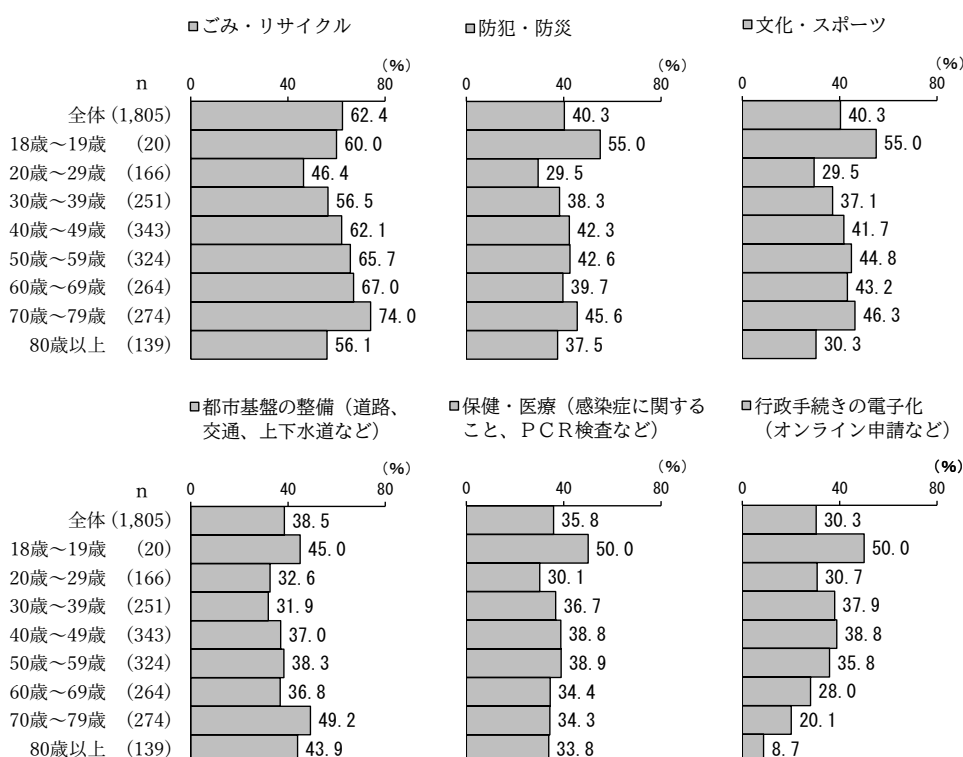
新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手状況は、「十分に得られている」と「充分ではないが必要により得られている」を合わせた『得られている』は、〔ごみ・リサイクル〕（62.4%）が6割台前半、次いで、〔防犯・防災〕（40.3%）、〔文化・スポーツ〕（40.3%）が4割台で高くなっている。一方で、「あまり得られていない」と「全く得られていない」を合わせた『得られていない』は、〔保健・医療（感染症に関すること、PCR検査など）〕（40.3%）が4割台と最も高く、〔行政手続きの電子化（オンライン申請など）〕（27.8%）、〔福祉〕（27.0%）が2割台後半で高くなっている。（図表4-1）

図表4-2 新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手状況《得られている》
(性別) 上位6項目



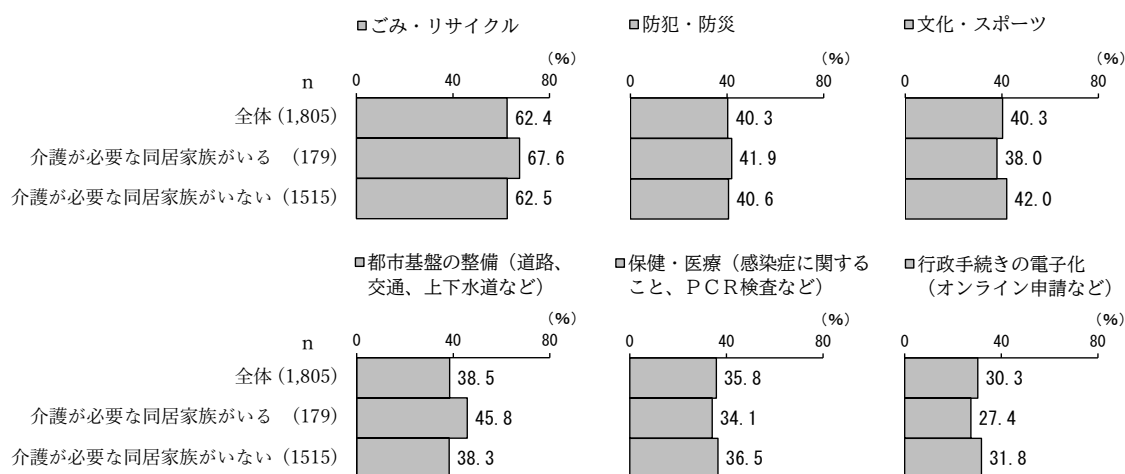
新型コロナウイルス感染症の情報入手について、《得られている》割合の上位6項目を、性別で見ると、〔ごみ・リサイクル〕は9.6ポイント、〔文化・スポーツ〕は7.9ポイント、〔防犯・防災〕は5.6ポイント、女性の方が男性よりも高くなっている。(図表4-2)

図表4-3 新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手状況《得られている》
(年代別) 上位6項目



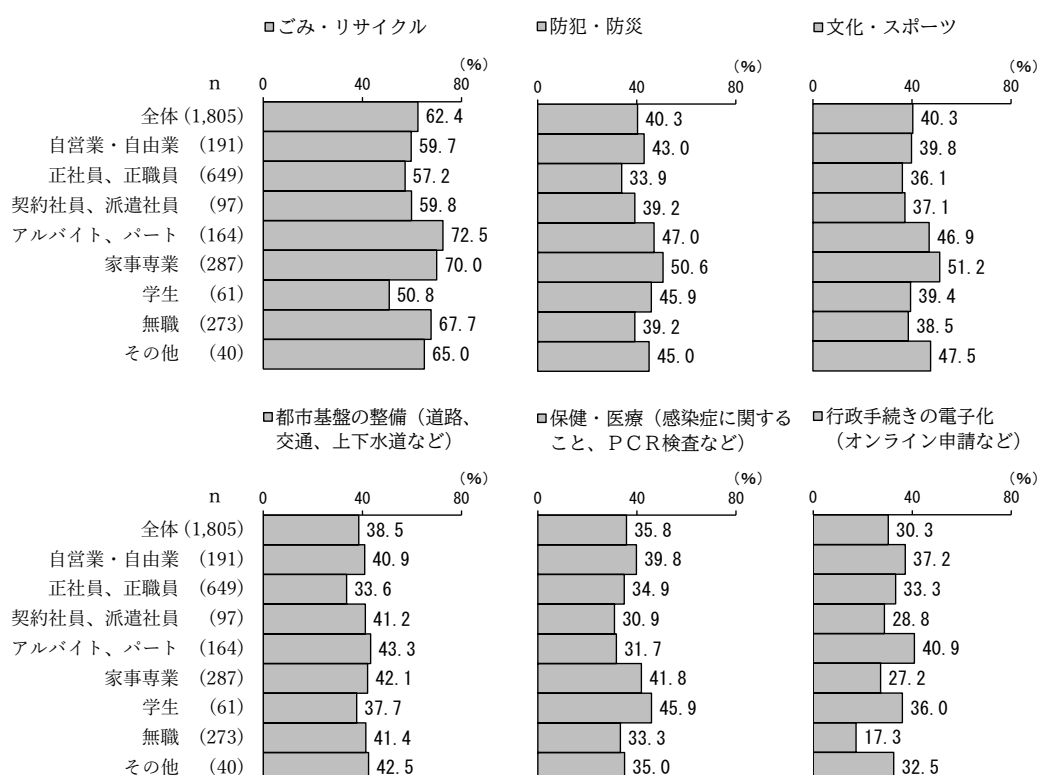
年代別で見ると、〔ごみ・リサイクル〕は、70歳～79歳で7割台前半と最も高くなっている。〔行政手続きの電子化 (オンライン申請など)〕は、年代が下がるにつれて高くなる傾向があり、18歳～19歳で5割と最も高くなっている。(図表4-3)

図表4-4 新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手状況《得られている》
(介護が必要な同居家族の有無別) 上位6項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、〔都市基盤の整備（道路、交通、上下水道など）〕は7.5ポイント、〔ごみ・リサイクル〕は5.1ポイント、介護が必要な同居家族がいる場合の方が高くなっている。（図表4-4）

図表4-5 新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手状況《得られている》
(職業別) 上位6項目



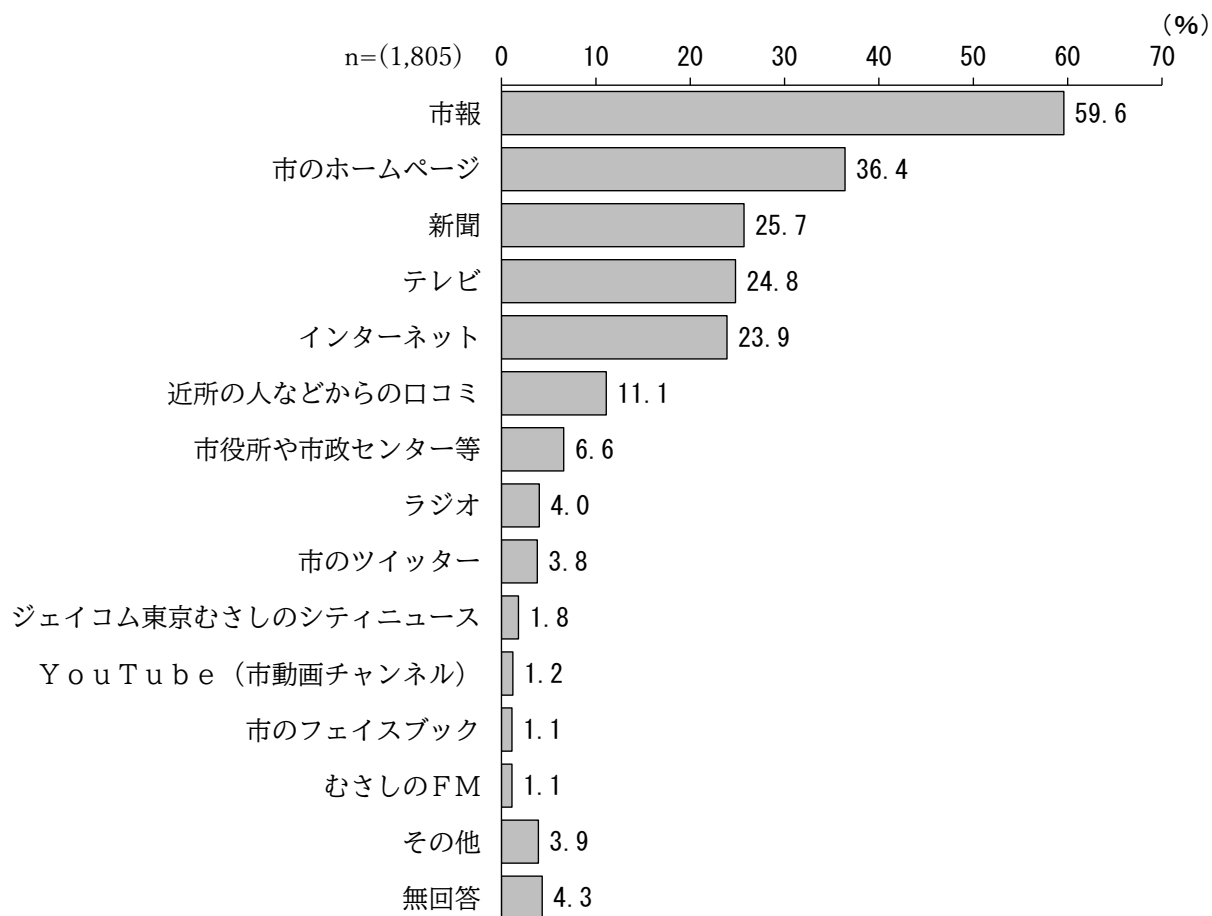
職業別で見ると、〔ごみ・リサイクル〕ではアルバイト、パート、家事専業が7割台と高く、〔保健・医療（感染症に関すること、PCR検査など）〕は、学生で4割台半ばと最も高くなっている。〔防犯・防災〕、〔文化・スポーツ〕では家事専業が5割台と最も高くなっている。（図表4-5）

4-2 新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手手段

◎ 「市報」が約6割で最も高い。

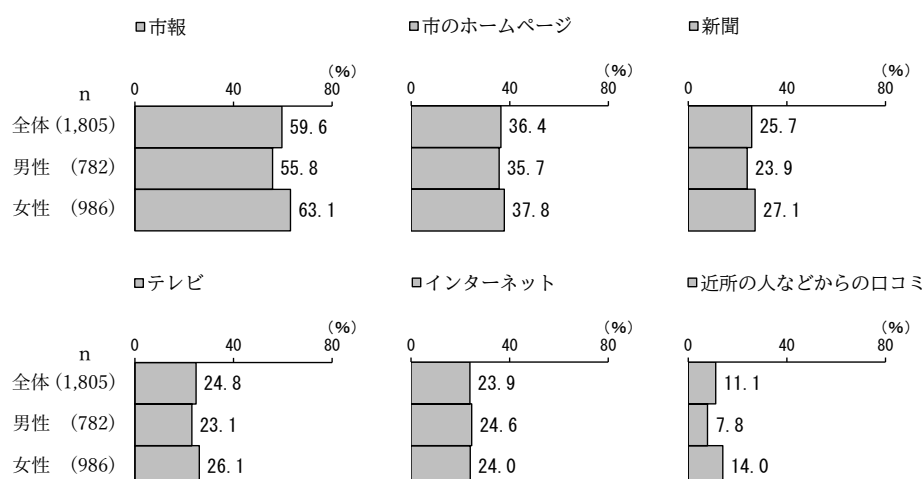
問19 市では、さまざまな手段(場所)で、本市の新型コロナウイルス感染症の情報を発信しています。以下の手段(場所)であなたが、実際に情報を得たものに○をしてください。(○はいくつでも)

図表4-6 新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手手段



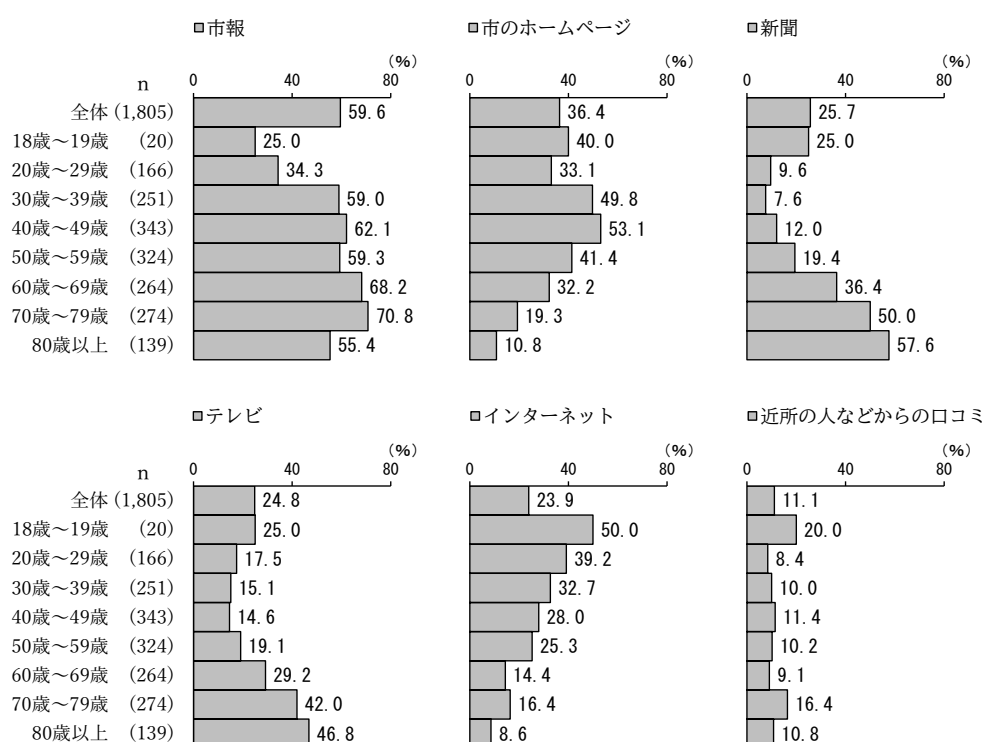
新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手手段では、「市報」(59.6%)が約6割と最も高い結果になっている。次いで、「市のホームページ」(36.4%)が3割台後半、「新聞」(25.7%)、「テレビ」(24.8%)が2割台半ば、「インターネット」(23.9%)が2割台前半が続いている。(図表4-6)

図表4－7 情報の入手手段（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「市報」は、女性の方が男性よりも7.3ポイント高く、「近所の人などからの口コミ」も、女性の方が男性よりも6.2ポイント高くなっている。（図表4－7）

図表4－8 情報の入手手段（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「市報」は、70歳～79歳が約7割と最も高く、次いで、60歳～69歳で6割台後半となっている。「市のホームページ」は、40歳～49歳で5割台前半、30歳～39歳で約5割となっている。「新聞」、「テレビ」は、年代が上がるほど増加する傾向にあり、ともに80歳以上で最も高くなっている一方で、「インターネット」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向があり、18歳～19歳で5割、20歳～29歳で約4割となっている。（図表4－8）

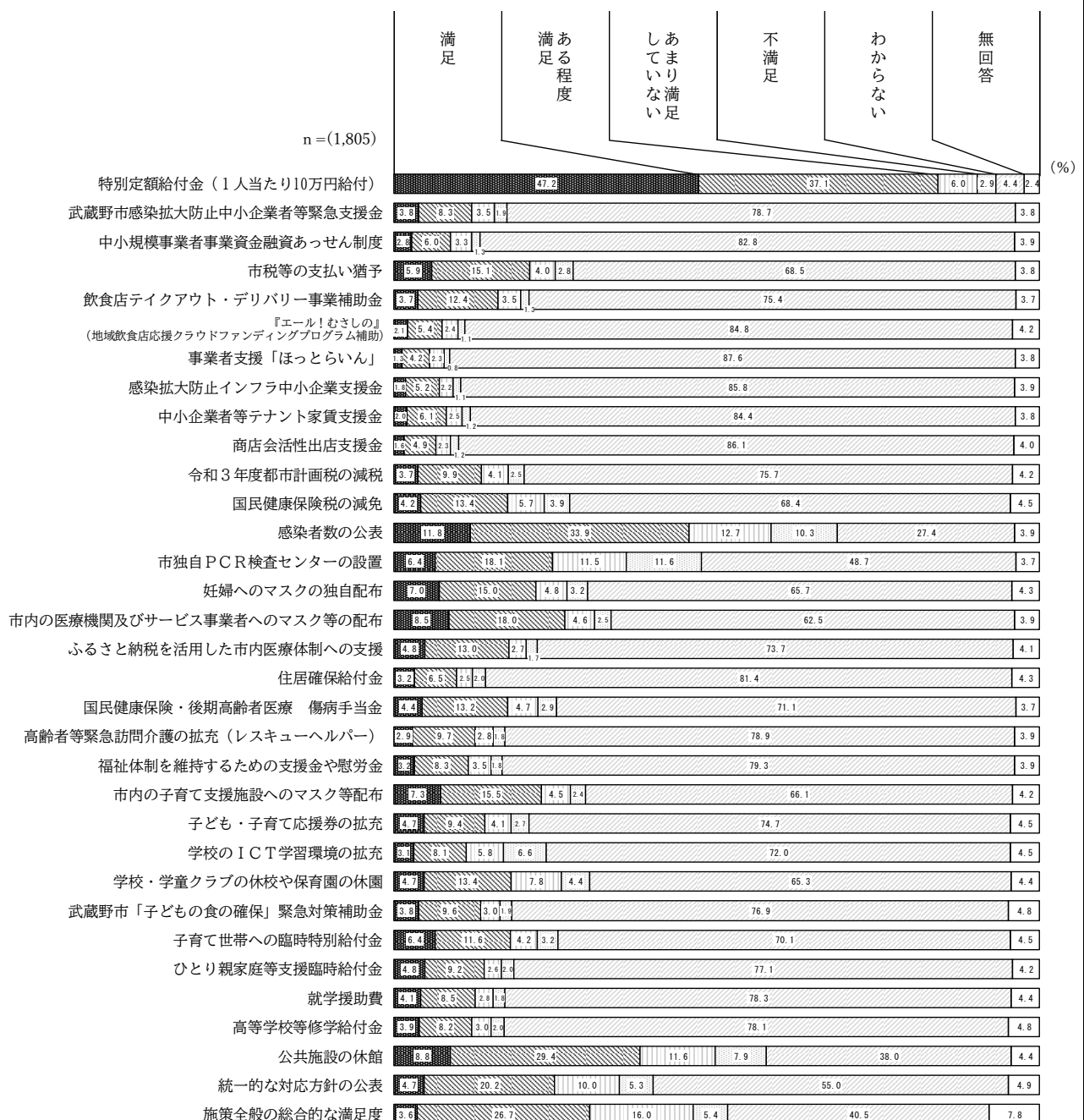
5 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度・重要度について

5-1 満足度

◎ 「施策全般の総合的な満足度」は「満足」（3.6%）と「ある程度満足」（26.7%）を合わせた『満足』が約3割である。

問20 以下に挙げた項目について、現在の満足度をお答えください。満足度を判断できない場合は「わからない」に○をしてください。（○はそれぞれ1つ）

図表5-1 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度



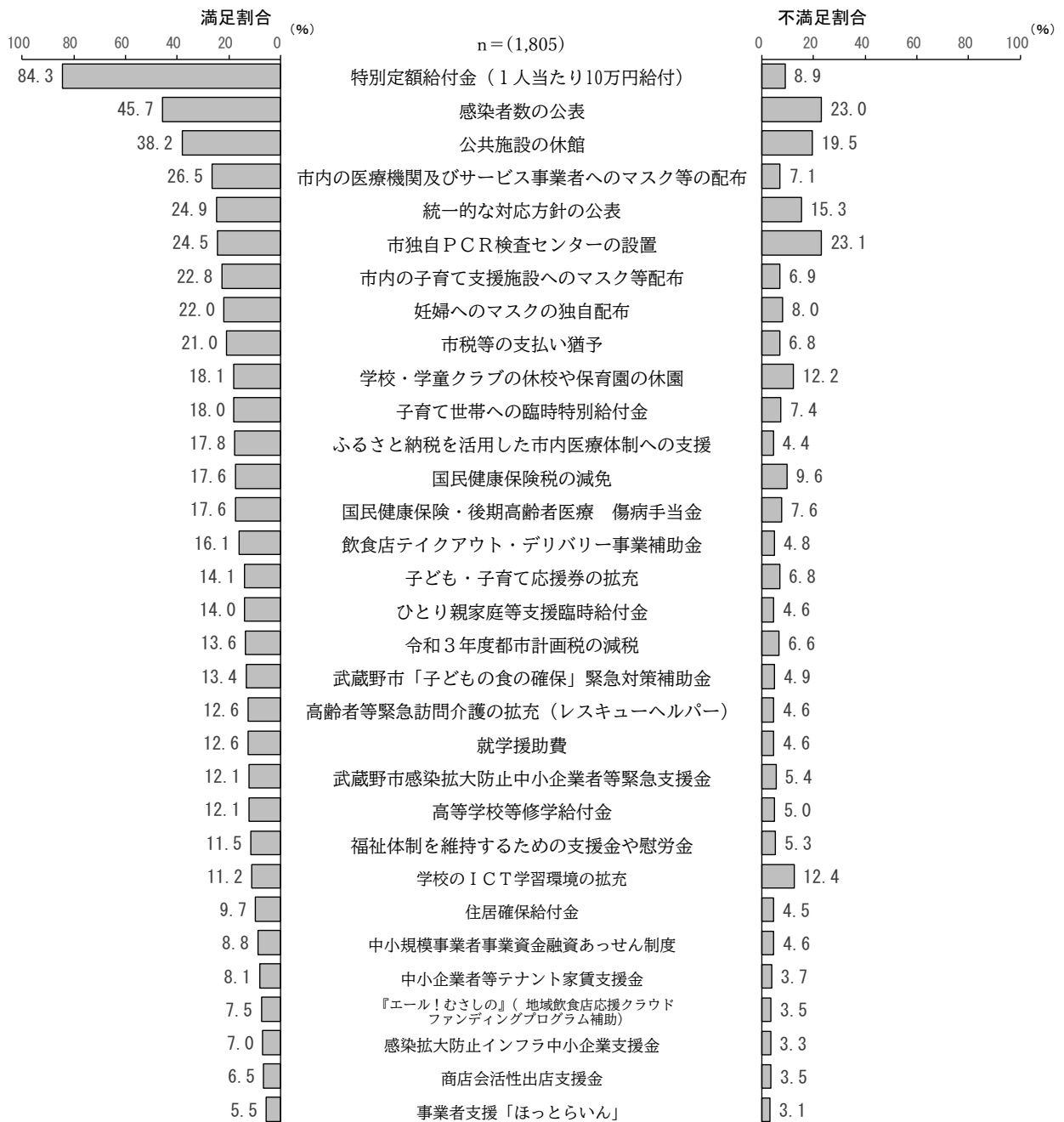
施策全般の総合的な満足度を見ると、「満足」（3.6%）と「ある程度満足」（26.7%）を合わせた『満足』（30.3%）は、約3割である。一方、「あまり満足していない」（16.0%）と「不満足」（5.4%）を合わせた『不満足』（21.4%）は、2割前半となっている。（図表5－1）

図表5－2 新型コロナウイルス感染症に関する施策 満足度順

(%)

順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	特別定額給付金 (1人当たり10万円給付)	84.3	17	ひとり親家庭等支援臨時給付金	14.0
2	感染者数の公表	45.7	18	令和3年度都市計画税の減税	13.6
3	公共施設の休館	38.2	19	武蔵野市「子どもの食の確保」 緊急対策補助金	13.4
4	市内の医療機関及びサービス事業者への マスク等の配布	26.5	20	高齢者等緊急訪問介護の拡充 (レスキューヘルパー)	12.6
5	統一的な対応方針の公表	24.9	20	就学援助費	12.6
6	市独自PCR検査センターの設置	24.5	22	武蔵野市感染拡大防止中小企業者等 緊急支援金	12.1
7	市内の子育て支援施設へのマスク等配布	22.8	22	高等学校等修学給付金	12.1
8	妊婦へのマスクの独自配布	22.0	24	福祉体制を維持するための 支援金や慰労金	11.5
9	市税等の支払い猶予	21.0	25	学校のICT学習環境の拡充	11.2
10	学校・学童クラブの休校や保育園の休園	18.1	26	住居確保給付金	9.7
11	子育て世帯への臨時特別給付金	18.0	27	中小規模事業者事業資金融資 あっせん制度	8.8
12	ふるさと納税を活用した市内医療体制への 支援	17.8	28	中小企業者等テナント家賃支援金	8.1
13	国民健康保険税の減免	17.6	29	『エール！むさしの』(地域飲食店応援 クラウドファンディングプログラム補助)	7.5
13	国民健康保険・後期高齢者医療 傷病手当金	17.6	30	感染拡大防止インフラ中小企業支援金	7.0
15	飲食店テイクアウト・デリバリー事業 補助金	16.1	31	商店会活性出店支援金	6.5
16	子ども・子育て応援券の拡充	14.1	32	事業者支援「ほっとらいん」	5.5

図表5－3 満足割合・不満割合（満足度順）



『満足』

（「満足」＋「ある程度満足」）を合わせた『満足』の割合が高い順に見ると、〔特別定額給付金（1人当たり10万円給付）〕（84.3%）が8割台前半、次いで、〔感染者数の公表〕（45.7%）が4割台半ば、〔公共施設の休館〕（38.2%）が3割台後半、〔市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布〕（26.5%）が2割台半ばで続いている。

『不満』

（「不満」＋「あまり満足していない」）を合わせた『不満』の割合は、〔市独自PCR検査センターの設置〕（23.1%）、〔感染者数の公表〕（23.0%）がともに2割台前半で高くなっている。次いで、〔公共施設の休館〕（19.5%）が約2割で続いている。（図表5－3）

図表5-4 満足度(項目別件数表および満足度)(件数)

番号	項目	4	3	2	1		わからない	無回答	満足度
		満足	満足 ある 程度	あまり 満足 していない	不満足	合計			
1	特別定額給付金 (1人当たり10万円給付)	852	670	108	53	1683	79	43	3.379
2	武蔵野市感染拡大防止中小企業者等 緊急支援金	68	150	63	34	315	1421	69	2.800
3	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度	51	108	59	23	241	1494	70	2.776
4	市税等の支払い猶予	106	272	72	50	500	1236	69	2.868
5	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金	67	223	64	24	378	1361	66	2.881
6	『エール!むさしの』(地域飲食店応援 クラウドファンディングプログラム補助)	38	97	44	20	199	1530	76	2.769
7	事業者支援「ほっとらいん」	24	76	42	14	156	1581	68	2.705
8	感染拡大防止インフラ中小企業支援金	32	94	40	20	186	1549	70	2.742
9	中小企業者等テナント家賃支援金	36	110	45	22	213	1524	68	2.751
10	商店会活性出店支援金	28	89	41	21	179	1554	72	2.693
11	令和3年度都市計画税の減税	66	179	74	45	364	1366	75	2.731
12	国民健康保険税の減免	75	242	102	70	489	1235	81	2.658
13	感染者数の公表	213	612	229	186	1240	495	70	2.687
14	市独自PCR検査センターの設置	115	327	208	209	859	879	67	2.405
15	妊婦へのマスクの独自配布	126	271	87	57	541	1186	78	2.861
16	市内の医療機関及びサービス事業者への マスク等の配布	154	324	83	45	606	1128	71	2.969
17	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援	86	235	49	31	401	1330	74	2.938
18	住居確保給付金	57	118	46	37	258	1470	77	2.756
19	国民健康保険・後期高齢者医療 傷病手当金	79	238	85	52	454	1284	67	2.758

番号	項目	4	3	2	1		わからない	無回答	満足度
		満足	満足 ある 程度	あまり 満足 してい ない	不満足	合計			
20	高齢者等緊急訪問介護の拡充 (レスキューヘルパー)	52	175	51	33	311	1424	70	2.791
21	福祉体制を維持するための支援金や慰労金	58	150	63	32	303	1431	71	2.772
22	市内の子育て支援施設へのマスク等配布	131	279	81	44	535	1194	76	2.929
23	子ども・子育て応援券の拡充	84	170	74	48	376	1348	81	2.771
24	学校のICT学習環境の拡充	56	146	104	119	425	1299	81	2.327
25	学校・学童クラブの休校や保育園の休園	84	242	140	80	546	1179	80	2.604
26	武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金	69	173	54	34	330	1388	87	2.839
27	子育て世帯への臨時特別給付金	116	210	75	57	458	1265	82	2.841
28	ひとり親家庭等支援臨時給付金	87	166	47	37	337	1392	76	2.899
29	就学援助費	74	154	51	32	311	1414	80	2.868
30	高等学校等修学給付金	71	148	54	36	309	1409	87	2.822
31	公共施設の休館	158	530	210	142	1040	686	79	2.677
32	統一的な対応方針の公表	84	364	180	96	724	993	88	2.602

【満足度】

「満足」から「不満足」までの４段階の回答を４～１の点数に直し、「わからない」、無回答を除いた回答の平均値を【満足度】とした。（図表５－４）

例：「特別定額給付金（１人当たり１０万円給付）」について見ると、満足度は３.３７９となる。

【満足度（加重平均）】

（４点×８５２件＋３点×６７０件＋２点×１０８件＋１点×５３件）÷１６８３（合計件数）＝３.３７９

図表5－5 満足度（点数順）

順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	特別定額給付金 (1人当たり10万円給付)	3.379	17	子ども・子育て応援券の拡充	2.771
2	市内の医療機関及びサービス事業者への マスク等の配布	2.969	18	『エール！むさしの』(地域飲食店応援 クラウドファンディングプログラム補助)	2.769
3	ふるさと納税を活用した市内医療体制 への支援	2.938	19	国民健康保険・後期高齢者医療 傷病手当金	2.758
4	市内の子育て支援施設へのマスク等配布	2.929	20	住居確保給付金	2.756
5	ひとり親家庭等支援臨時給付金	2.899	21	中小企業者等テナント家賃支援金	2.751
6	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金	2.881	22	感染拡大防止インフラ中小企業支援金	2.742
7	就学援助費	2.868	23	令和3年度都市計画税の減税	2.731
7	市税等の支払い猶予	2.868	24	事業者支援「ほっとらいん」	2.705
9	妊婦へのマスクの独自配布	2.861	25	商店会活性出店支援金	2.693
10	子育て世帯への臨時特別給付金	2.841	26	感染者数の公表	2.687
11	武蔵野市「子どもの食の確保」 緊急対策補助金	2.839	27	公共施設の休館	2.677
12	高等学校等修学給付金	2.822	28	国民健康保険税の減免	2.658
13	武蔵野市感染拡大防止中小企業者等 緊急支援金	2.800	29	学校・学童クラブの休校や保育園の休園	2.604
14	高齢者等緊急訪問介護の拡充 (レスキューヘルパー)	2.791	30	統一的な対応方針の公表	2.602
15	中小規模事業者事業資金融資 あっせん制度	2.776	31	市独自PCR検査センターの設置	2.405
16	福祉体制を維持するための 支援金や慰労金	2.772	32	学校のICT学習環境の拡充	2.327

最も【満足度】が高いのは〔特別定額給付金（1人当たり10万円給付）〕（3.379）である。次いで、〔市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布〕（2.969）、〔ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援〕（2.938）の順である。

一方、最も【満足度】が低いのは〔学校のICT学習環境の拡充〕（2.327）となっている。次いで、〔市独自PCR検査センターの設置〕（2.405）、〔統一的な対応方針の公表〕（2.602）の順となっている。（図表5－5）

図表5－6 満足度（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	特別定額給付金 （1人当たり10万円給付） 3.379	特別定額給付金 （1人当たり10万円給付） 3.343	特別定額給付金 （1人当たり10万円給付） 3.409	特別定額給付金 （1人当たり10万円給付） 3.379	特別定額給付金 （1人当たり10万円給付） 3.374	特別定額給付金 （1人当たり10万円給付） 3.388	特別定額給付金 （1人当たり10万円給付） 3.291	特別定額給付金 （1人当たり10万円給付） 3.389
2位	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2.969	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2.864	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 3.070	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2.922	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 3.112	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2.963	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.912	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2.988
3位	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.938	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2.825	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 3.066	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.911	『エール！むさしの』（地域飲食店応援クラウドファンディングプログラム補助） 3.083	就学援助費 2.890	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2.910	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.954
4位	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2.929	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.809	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 3.010	市税等の支払い猶予 2.895	武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金 3.080	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.887	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.897	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2.945
5位	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.899	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2.808	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.984	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.883	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 3.062	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.876	市内の子育て支援施設へのマスクなど配布 感染者数の公表 2.818	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2.910
6位	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2.881	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.793	市税等の支払い猶予 2.978	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2.882	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 3.049	妊婦へのマスクの独自配布 2.858	－ －	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.908
7位	就学援助費 市税等の支払い猶予 2.868	就学援助費 2.775	就学援助費 2.960	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2.848	事業者支援「ほっとらいん」 3.029	子育て世帯への臨時特別給付金 2.854	学校・学童クラブの休校や保育園の休園 2.811	就学援助費 2.891
8位	－ －	妊婦へのマスクの独自配布 2.765	住居確保給付金 2.944	就学援助費 2.822	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 3.011	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2.841	武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金 2.806	妊婦へのマスクの独自配布 2.887
9位	妊婦へのマスクの独自配布 2.861	子育て世帯への臨時特別給付金 2.760	妊婦へのマスクの独自配布 2.941	子育て世帯への臨時特別給付金 2.819	住居確保給付金 2.985	武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金 2.833	市税等の支払い猶予 2.800	市税等の支払い猶予 2.884
10位	子育て世帯への臨時特別給付金 2.841	市税等の支払い猶予 2.747	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2.933	子ども・子育て応援券の拡充 2.812	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.966	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2.819	武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金 2.758	子育て世帯への臨時特別給付金 2.860

性別で見ると、男女ともに1位は「特別定額給付金（1人当たり10万円給付）」となっている。男性の2位は「市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布」、3位は「飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金」となっている。女性の2位は「ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援」、3位は「市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布」となっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域も1位は「特別定額給付金（1人当たり10万円給付）」である。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、1位はともに「特別定額給付金（1人当たり10万円給付）」となっている。介護が必要な同居家族がいる場合は、「ひとり親家庭等支援臨時給付金」、介護が必要な同居家族がいない場合は、「市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布」が2位となっている。（図表5－6）

図表5－7 満足度（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金 事業者支援「ほっとらいん」 4.000	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3.354	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3.376	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3.453	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3.419	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3.257	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3.302	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3.483
2位	－	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 3.172	ひとり親家庭等支援臨時給付金 3.075	武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金 3.042	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 3.010	武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金 3.022	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2.929	市税等の支払い猶予 3.081
3位	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 就学援助費 高齢者等緊急訪問介護の拡充（レスキューヘルパー） 3.667	学校・学童クラブの休校や保育園の休園 3.139	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 3.031	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 3.016	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2.971	子育て世帯への臨時特別給付金 3.000	子育て世帯への臨時特別給付金 2.860	就学援助費 3.000
4位	－	高等学校等修学給付金 3.130	福祉体制を維持するための支援金や慰労金 3.024	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度 3.000	市税等の支払い猶予 2.952	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2.986	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2.844	令和3年度都市計画税の減税 2.958
5位	－	令和3年度都市計画税の減税 3.125	高等学校等修学給付金 3.000	市税等の支払い猶予 2.952	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.948	子ども・子育て応援券の拡充 2.978	子ども・子育て応援券の拡充 2.841	子育て世帯への臨時特別給付金 2.957
6位	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3.632	住居確保給付金 3.107	子育て世帯への臨時特別給付金 2.990	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.951	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.947	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2.957	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.823	武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金 2.938
7位	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 子育て世帯への臨時特別給付金 3.500	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度 3.105	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2.978	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2.944	就学援助費 2.911	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.947	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.780	武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金 2.909
8位	－	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 3.094	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2.967	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2.937	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2.886	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.932	妊婦へのマスクの独自配布 2.737	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2.895
9位	ひとり親家庭等支援臨時給付金 市税等の支払い猶予 武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金 国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 3.400	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 3.043	武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金 2.964	高齢者等緊急訪問介護の拡充（レスキューヘルパー） 2.909	妊婦へのマスクの独自配布 2.884	就学援助費 2.929	就学援助費 2.735	学校・学童クラブの休校や保育園の休園 2.839
10位	－	子ども・子育て応援券の拡充 3.032	高齢者等緊急訪問介護の拡充（レスキューヘルパー） 2.919	妊婦へのマスクの独自配布 2.889	子育て世帯への臨時特別給付金 2.862	高等学校等修学給付金 2.902	高等学校等修学給付金 2.714	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2.833

年代別で見ると、18歳～19歳を除くすべての年代で〔特別定額給付金（1人当たり10万円給付）〕が第1位となっている。第2位は20歳～29歳で〔国民健康保険・後期高齢者医療 傷病手当金〕、30歳～39歳で〔ひとり親家庭等支援臨時給付金〕、40歳～49歳で〔武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金〕、50歳～59歳で〔市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布〕、60歳～69歳で〔武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金〕、70歳～79歳で〔市内の子育て支援施設へのマスク等配布〕、80歳以上で〔市税等の支払い猶予〕となっている。第3位は20歳～29歳で〔学校・学童クラブの休校や保育園の休園〕、30歳～39歳で〔ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援〕、40歳～49歳で〔市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布〕、50歳～59歳で〔飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金〕、60歳～69歳と70歳～79歳で〔子育て世帯への臨時特別給付金〕、80歳以上で〔就学援助費〕となっている。（図表5－7）

図表5－8 満足度（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1 位	特別定額給付金 （1人当たり10 万円給付） 3. 288	特別定額給付金 （1人当たり10 万円給付） 3. 427	武蔵野市感染拡 大防止中小企業 者等緊急支援金 3. 167	特別定額給付金 （1人当たり10 万円給付） 3. 423	特別定額給付金 （1人当たり10 万円給付） 3. 408	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 3. 500	特別定額給付金 （1人当たり10 万円給付） 3. 393	特別定額給付金 （1人当たり10 万円給付） 3. 231
2 位	市内の子育て支 援施設へのマス ク等配布 2. 772	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 3. 035	飲食店テイクア ウト・デリバリ ー事業補助金 3. 087	飲食店テイクア ウト・デリバリ ー事業補助金 2. 946	市内の子育て支 援施設へのマス ク等配布 3. 106	特別定額給付金 （1人当たり10 万円給付） 3. 455	子育て世帯への 臨時特別給付金 3. 000	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 3. 071
3 位	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 2. 767	中小規模事業者 事業資金融資あ っせん制度 2. 975	特別定額給付金 （1人当たり10 万円給付） 3. 053	『エール！むさ しの』（地域飲食 店応援クラウド ファンディング プログラム補助） 2. 938	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 3. 102	武蔵野市感染拡 大防止中小企業 者等緊急支援金 3. 429	子ども・子育て 応援券の拡充 2. 978	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 ひとり親家庭等 支援臨時給付金 子育て世帯への 臨時特別給付金 武蔵野市「子ど もの食の確保」 緊急対策補助金 3. 000
4 位	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 2. 761	武蔵野市感染拡 大防止中小企業 者等緊急支援金 2. 961	妊婦へのマスク の独自配布 子ども・子育て 応援券の拡充 感染拡大防止イ ンフラ中小企業 支援金 3. 000	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 2. 933	市税等の支払い 猶予 2. 971	中小規模事業者 事業資金融資あ っせん制度 3. 400	高等学校等修学 給付金 2. 958	-
5 位	子育て世帯への 臨時特別給付金 2. 705	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 2. 952	-	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 2. 925	高等学校等修学 給付金 2. 929	国民健康保険・ 後期高齢者医療 傷病手当金 3. 389	就学援助費 2. 956	-
6 位	市税等の支払い 猶予 2. 703	飲食店テイクア ウト・デリバリ ー事業補助金 2. 930	-	就学援助費 2. 919	妊婦へのマスク の独自配布 2. 916	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 3. 350	ひとり親家庭等 支援臨時給付金 2. 949	-
7 位	ひとり親家庭等 支援臨時給付金 2. 676	中小企業者等テ ナント家賃支援 金 2. 913	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 2. 950	子育て世帯への 臨時特別給付金 2. 902	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 2. 912	市税等の支払い 猶予 3. 308	感染拡大防止イ ンフラ中小企業 支援金 2. 947	妊婦へのマスク の独自配布 2. 929
8 位	妊婦へのマスク の独自配布 2. 672	ひとり親家庭等 支援臨時給付金 妊婦へのマスク の独自配布 2. 903	高齢者等緊急訪 問介護の拡充 （レスキューヘ ルパー） 2. 947	市内の子育て支 援施設へのマス ク等配布 2. 891	ひとり親家庭等 支援臨時給付金 2. 904	市内の子育て支 援施設へのマス ク等配布 3. 300	武蔵野市「子ど もの食の確保」 緊急対策補助金 2. 942	就学援助費 高齢者等緊急訪 問介護の拡充 （レスキューヘ ルパー） 2. 889
9 位	就学援助費 2. 634	-	武蔵野市「子ど もの食の確保」 緊急対策補助金 2. 938	ひとり親家庭等 支援臨時給付金 商店会活性出店 支援金 2. 889	就学援助費 2. 886	住居確保給付金 3. 294	事業者支援「ほ っとらいん」 2. 929	-
10 位	武蔵野市感染拡 大防止中小企業 者等緊急支援金 2. 613	市税等の支払い 猶予 2. 901	福祉体制を維持 するための支援 金や慰労金 2. 933	-	子ども・子育て 応援券の拡充 2. 875	福祉体制を維持 するための支援 金や慰労金 事業者支援「ほ っとらいん」 3. 286	市税等の支払い 猶予 2. 924	高等学校等修学 給付金 2. 857

職業別で見ると、契約社員、派遣社員、学生以外の職業で〔特別定額給付金（1人当たり10万円給付）〕が第1位となっている。契約社員、派遣社員では〔武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金〕、学生では〔ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援〕が第1位となっている。（図表5－8）

図表5－9 満足度（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1 位	特別定額給付金 （1人当たり 10 万円給付） 3. 494	特別定額給付金 （1人当たり 10 万円給付） 3. 535	特別定額給付金 （1人当たり 10 万円給付） 3. 512	特別定額給付金 （1人当たり 10 万円給付） 3. 470	特別定額給付金 （1人当たり 10 万円給付） 3. 464	特別定額給付金 （1人当たり 10 万円給付） 3. 323	子育て世帯への 臨時特別給付金 3. 400
2 位	ひとり親家庭等 支援臨時給付金 3. 175	飲食店テイクア ウト・デリバリ ー事業補助金 3. 130	市税等の支払い 猶予 3. 105	武蔵野市感染拡 大防止中小企業 者等緊急支援金 3. 455	武蔵野市感染拡 大防止中小企業 者等緊急支援金 3. 074	ひとり親家庭等 支援臨時給付金 3. 037	就学援助費 3. 333
3 位	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 3. 173	『エール！むさ しの』（地域飲食 店応援クラウド ファンディング プログラム補助） 3. 031	国民健康保険税 の減免 3. 077	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 3. 353	市税等の支払い 猶予 3. 033	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 3. 020	特別定額給付金 （1人当たり 10 万円給付） 3. 326
4 位	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 3. 137	市税等の支払い 猶予 3. 000	飲食店テイクア ウト・デリバリ ー事業補助金 3. 059	住居確保給付金 3. 286	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 飲食店テイクア ウト・デリバリ ー事業補助金 3. 000	市内の子育て支 援施設へのマス ク等配布 3. 013	ひとり親家庭等 支援臨時給付金 3. 286
5 位	高齢者等緊急訪 問介護の拡充 （レスキューヘ ルパー） 3. 111	ひとり親家庭等 支援臨時給付金 2. 976	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 中小規模事業者 事業資金融資あ っせん制度 令和3年度都市 計画税の減税 3. 000	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 3. 259	－ －	就学援助費 3. 000	住居確保給付金 武蔵野市感染拡 大防止中小企業 者等緊急支援金 3. 250
6 位	市内の子育て支 援施設へのマス ク等配布 3. 060	市内の子育て支 援施設へのマス ク等配布 2. 917	－ －	中小規模事業者 事業資金融資あ っせん制度 3. 222	妊婦へのマスク の独自配布 2. 968	子ども・子育て 応援券の拡充 2. 981	－ －
7 位	感染拡大防止イン フラ中小企業 支援金 3. 056	国民健康保険税 の減免 2. 909	－ －	『エール！むさ しの』（地域飲食 店応援クラウド ファンディング プログラム補助） 中小企業者等テナ ント家賃支援金 感染拡大防止イン フラ中小企業 支援金 3. 167	『エール！むさ しの』（地域飲食 店応援クラウド ファンディング プログラム補助） 2. 923	武蔵野市「子ど もの食の確保」 緊急対策補助金 2. 980	学校・学童クラ ブの休校や保育 園の休園 3. 154
8 位	商店会活性出店 支援金 3. 053	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 2. 901	市内の子育て支 援施設へのマス ク等配布 2. 947	－ －	中小企業者等テナ ント家賃支援金 2. 875	妊婦へのマスク の独自配布 2. 904	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 武蔵野市「子ど もの食の確保」 緊急対策補助金 3. 111
9 位	福祉体制を維持 するための支援 金や慰労金 3. 029	武蔵野市感染拡 大防止中小企業 者等緊急支援金 2. 900	『エール！むさ しの』（地域飲食 店応援クラウド ファンディング プログラム補助） 2. 875	－ －	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 2. 862	子育て世帯への 臨時特別給付金 2. 893	－ －
10 位	妊婦へのマスク の独自配布 3. 012	令和3年度都市 計画税の減税 2. 895	市内の医療機関 及びサービス事 業者へのマスク 等の配布 2. 848	国民健康保険・ 後期高齢者医療 傷病手当金 3. 125	ひとり親家庭等 支援臨時給付金 2. 842	高等学校等修学 給付金 2. 885	国民健康保険・ 後期高齢者医療 傷病手当金 3. 071

子どもの就学状況別で見ると、その他以外では〔特別定額給付金（1人当たり10万円給付）〕が第1位となっており、小学校入学前、社会人を持つ方では〔ひとり親家庭等支援臨時給付金〕、高校生、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方では〔武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金〕が第2位となっている。（図表5－9）

図表5－10 満足度（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上
1位	福祉体制を維持するための支援金や慰労金 3. 667	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3. 040	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3. 222	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3. 362	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3. 395	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3. 442	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3. 523	特別定額給付金（1人当たり10万円給付） 3. 443
2位	子育て世帯への臨時特別給付金 高齢者等緊急訪問介護の拡充（レスキューヘルパー） 令和3年度都市計画税の減税 3. 600	子育て世帯への臨時特別給付金 2. 818	高等学校等修学給付金 2. 959	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 3. 019	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 3. 129	ひとり親家庭等支援臨時給付金 3. 017	ひとり親家庭等支援臨時給付金 3. 163	市税等の支払い猶予 3. 000
3位	－ － 2. 727	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2. 727	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2. 947	妊婦へのマスクの独自配布 3. 011	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2. 909	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 3. 015	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 3. 136	令和3年度都市計画税の減税 2. 973
4位	－ － 2. 714	高等学校等修学給付金 2. 714	子育て世帯への臨時特別給付金 2. 923	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 3. 000	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2. 878	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 3. 010	市税等の支払い猶予 3. 121	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2. 958
5位	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 ひとり親家庭等支援臨時給付金 妊婦へのマスクの独自配布 子ども・子育て応援券の拡充 住居確保給付金 3. 500	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2. 700	武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金 2. 907	子ども・子育て応援券の拡充 2. 982	就学援助費 2. 829	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2. 990	『エール！むさしの』（地域飲食店応援クラウドファンディングプログラム補助） 3. 118	武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金 2. 926
6位	－ － 2. 667	事業者支援「ほっとらいん」 2. 667	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2. 902	武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金 2. 920	子育て世帯への臨時特別給付金 2. 828	就学援助費 2. 964	住居確保給付金 3. 056	飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金 2. 903
7位	－ － 2. 621	公共施設の休館 2. 621	就学援助費 2. 900	子育て世帯への臨時特別給付金 2. 885	妊婦へのマスクの独自配布 2. 821	市税等の支払い猶予 2. 956	武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金 3. 020	市内の子育て支援施設へのマスク等配布 2. 900
8位	－ － 2. 600	子ども・子育て応援券の拡充 学校・学童クラブの休校や保育園の休園 2. 600	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 2. 861	就学援助費 2. 882	『エール！むさしの』（地域飲食店応援クラウドファンディングプログラム補助） 2. 792	武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金 2. 918	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 3. 013	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度 『エール！むさしの』（地域飲食店応援クラウドファンディングプログラム補助） 2. 895
9位	－ － 2. 860	－ － 2. 860	子ども・子育て応援券の拡充 2. 860	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度 2. 872	事業者支援「ほっとらいん」 2. 789	高等学校等修学給付金 中小規模事業者事業資金融資あっせん制度 2. 895	市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布 就学援助費 感染拡大防止インフラ中小企業支援金 商店会活性出店支援金 3. 000	－
10位	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 3. 429	感染者数の公表 2. 568	市税等の支払い猶予 2. 851	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2. 871	ひとり親家庭等支援臨時給付金 2. 780	－ －	－ －	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2. 892

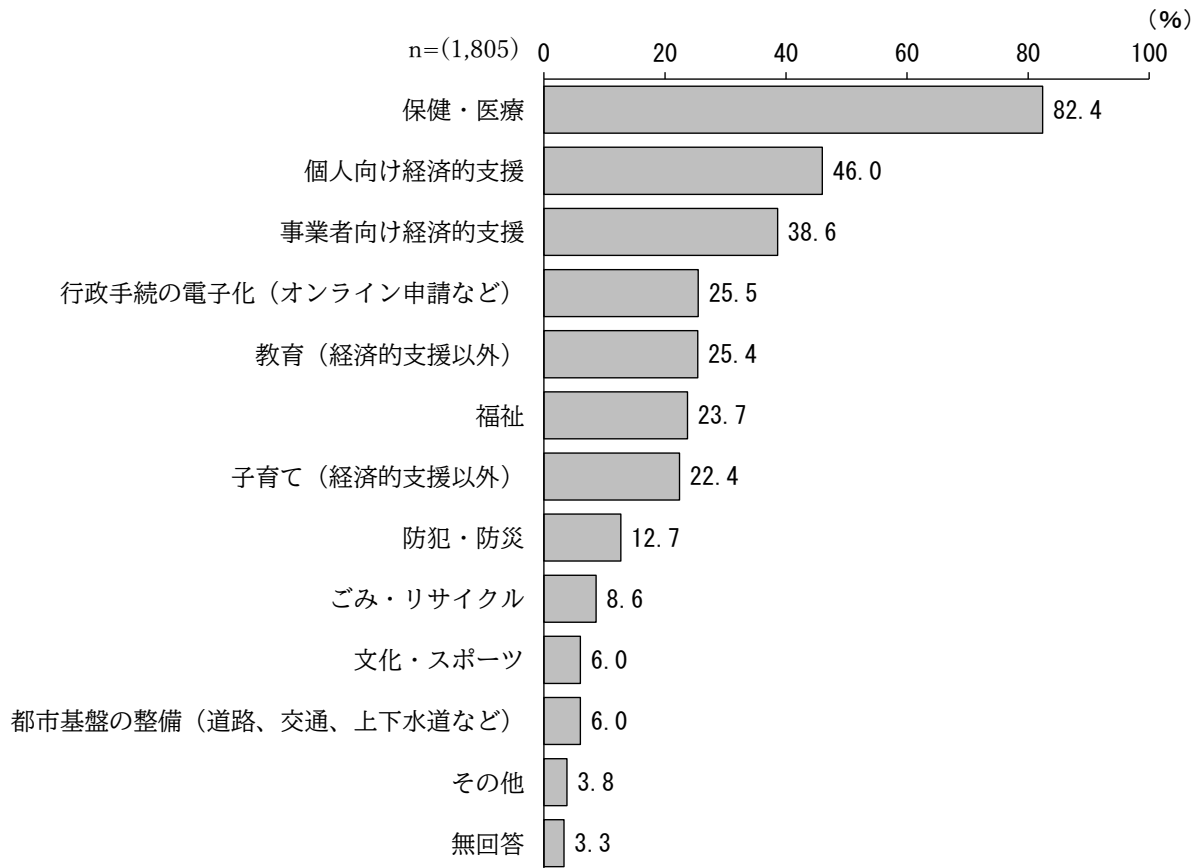
世帯収入別で見ると、収入なし以外の世帯では〔特別定額給付金（1人当たり10万円給付）〕が第1位、収入なしでは〔福祉体制を維持するための支援金や慰労金〕が第1位となっている。（図表5－10）

5－2 重要度

◎ 「保健・医療」（82.4%）が最も高く8割を超えている。

問21 あなたは、新型コロナウイルス感染症に関してどのような施策が重要だと思いますか。（○はいくつでも）

図表5－11 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策（複数回答）



新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策は、「保健・医療」（82.4%）が最も高く8割台前半となっている。次いで、「個人向け経済的支援」（46.0%）が4割台後半、「事業者向け経済的支援」（38.6%）が3割台後半、「行政手続の電子化（オンライン申請など）」（25.5%）、「教育（経済的支援以外）」（25.4%）が2割台半ばと続く。（図表5－11）

図表5-12 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策
(性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別)

(%)

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	保健・医療 82.4	保健・医療 81.2	保健・医療 84.0	保健・医療 82.8	保健・医療 83.2	保健・医療 82.5	保健・医療 85.5	保健・医療 82.6
2位	個人向け 経済的支援 46.0	個人向け 経済的支援 46.3	個人向け 経済的支援 46.0	個人向け 経済的支援 45.7	個人向け 経済的支援 46.5	個人向け 経済的支援 46.4	個人向け 経済的支援 45.8	個人向け 経済的支援 46.7
3位	事業者向け 経済的支援 38.6	事業者向け 経済的支援 37.2	事業者向け 経済的支援 40.2	事業者向け 経済的支援 39.5	事業者向け 経済的支援 39.1	事業者向け 経済的支援 38.4	福祉 38.5	事業者向け 経済的支援 39.5
4位	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 25.5	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 26.7	教育（経済的 支援以外） 29.4	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 26.4	教育（経済的 支援以外） 25.1	教育（経済的 支援以外） 28.1	事業者向け 経済的支援 36.9	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 26.9
5位	教育（経済的 支援以外） 25.4	福祉 20.8	福祉 26.1	教育（経済的 支援以外） 24.0	福祉 24.0	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 26.7	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 23.5	教育（経済的 支援以外） 26.6
6位	福祉 23.7	子育て（経済 的支援以外） 20.6	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 25.1	福祉 23.9	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 23.8	福祉 子育て（経済 的支援以外） 23.5	教育（経済的 支援以外） 22.9	子育て（経済 的支援以外） 23.7
7位	子育て（経済 的支援以外） 22.4	教育（経済的 支援以外） 20.5	子育て（経済 的支援以外） 24.2	子育て（経済 的支援以外） 21.6	子育て（経済 的支援以外） 23.4	- -	子育て（経済 的支援以外） 19.0	福祉 22.0
8位	防犯・防災 12.7	防犯・防災 10.7	防犯・防災 13.9	防犯・防災 13.1	防犯・防災 12.7	防犯・防災 12.4	ごみ・リサイ クル 11.7	防犯・防災 12.7
9位	ごみ・リサイ クル 8.6	ごみ・リサイ クル 8.1	ごみ・リサイ クル 9.1	ごみ・リサイ クル 8.9	ごみ・リサイ クル 9.6	ごみ・リサイ クル 7.8	防犯・防災 10.6	ごみ・リサイ クル 8.1
10位	文化・スポー ツ 都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 6.0	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 6.4	文化・スポー ツ 7.0	文化・スポー ツ 7.1	文化・スポー ツ 6.6	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 6.8	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 8.9	文化・スポー ツ 5.8

性別で見ると、男女ともに第1位は「保健・医療」、第2位は「個人向け経済的支援」、第3位は「事業者向け経済的支援」となっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域も第1位は「保健・医療」、第2位は「個人向け経済的支援」、第3位は「事業者向け経済的支援」となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、第1位はともに「保健・医療」、第2位は「個人向け経済的支援」となっている。介護が必要な同居家族がいる場合の第3位は「福祉」、いない場合の第3位は「事業者向け経済的支援」となっている。（図表5-12）

図表5－13 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策（年代別順位）

（％）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	保健・医療 75.0	保健・医療 69.9	保健・医療 74.1	保健・医療 79.6	保健・医療 87.3	保健・医療 90.2	保健・医療 90.5	保健・医療 82.0
2位	個人向け 経済的支援 45.0	個人向け 経済的支援 56.6	個人向け 経済的支援 48.2	個人向け 経済的支援 46.1	個人向け 経済的支援 49.7	個人向け 経済的支援 43.2	個人向け 経済的支援 44.2	個人向け 経済的支援 31.7
3位	事業者向け 経済的支援 40.0	事業者向け 経済的支援 42.8	事業者向け 経済的支援 41.8	事業者向け 経済的支援 39.1	事業者向け 経済的支援 43.2	事業者向け 経済的支援 38.3	事業者向け 経済的支援 36.9	福祉 27.3
4位	教育 （経済的支援 以外） 35.0	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 34.3	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 35.9	教育 （経済的支援 以外） 32.1	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 29.3	福祉 30.7	福祉 28.1	事業者向け 経済的支援 23.0
5位	子育て （経済的支援 以外） 25.0	子育て （経済的支援 以外） 26.5	子育て （経済的支援 以外） 34.7	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 29.2	教育 （経済的支援 以外） 23.1	教育 （経済的支援 以外） 23.9	教育 （経済的支援 以外） 22.3	防犯・防災 16.5
6位	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 20.0	教育 （経済的支援 以外） 24.1	教育 （経済的支援 以外） 31.9	子育て （経済的支援 以外） 28.0	福祉 17.6	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 20.5	子育て （経済的支援 以外） 19.7	ごみ・リサイ クル 15.8
7位	福祉 15.0	福祉 20.5	福祉 22.7	福祉 22.7	子育て （経済的支援 以外） 14.8	子育て （経済的支援 以外） 18.9	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 17.9	教育 （経済的支援 以外） 子育て （経済的支援 以外） 12.9
8位	－ －	防犯・防災 12.7	防犯・防災 8.4	防犯・防災 12.0	防犯・防災 12.7	防犯・防災 11.7	防犯・防災 16.1	－ －
9位	文化・スポー ツ 都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 5.0	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 6.6	ごみ・リサイ クル 文化・スポー ツ 5.6	ごみ・リサイ クル 文化・スポー ツ 6.7	ごみ・リサイ クル 6.5	ごみ・リサイ クル 8.7	－ －	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 10.8
10位	－ －	ごみ・リサイ クル 4.8	－ －	－ －	文化・スポー ツ 5.2	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 5.7	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 9.5	文化・スポー ツ 行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 7.9

年代別で見ると、すべての年代で1位は「保健・医療」、2位は「個人向け経済的支援」となっている。3位は80歳以上を除くすべての年代で「事業者向け経済的支援」、80歳以上では「福祉」となっている。（図表5－13）

図表5－14 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策（職業別順位）

（％）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1位	保健・医療 82.7	保健・医療 78.0	保健・医療 89.7	保健・医療 86.6	保健・医療 87.5	保健・医療 73.8	保健・医療 87.5	保健・医療 80.0
2位	個人向け 経済的支援 57.1	個人向け 経済的支援 47.8	個人向け 経済的支援 55.7	個人向け 経済的支援 54.9	個人向け 経済的支援 34.5	個人向け 経済的支援 59.0	個人向け 経済的支援 39.2	事業者向け 経済的支援 40.0
3位	事業者向け 経済的支援 54.5	事業者向け 経済的支援 39.9	事業者向け 経済的支援 36.1	事業者向け 経済的支援 42.7	事業者向け 経済的支援 32.4	事業者向け 経済的支援 45.9	福祉 31.5	教育 （経済的支援 以外） 35.0
4位	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 28.3	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 30.8	福祉 32.0	教育 （経済的支援 以外） 29.9	教育 （経済的支援 以外） 28.6	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 26.2	事業者向け 経済的支援 30.0	個人向け 経済的支援 福祉 30.0
5位	福祉 23.6	子育て （経済的支援 以外） 27.0	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 27.8	－ －	福祉 23.7	－ －	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 17.9	－ －
6位	教育 （経済的支援 以外） 23.0	教育 （経済的支援 以外） 26.5	教育 （経済的支援 以外） 25.8	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 23.8	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 20.9	子育て （経済的支援 以外） 19.7	教育 （経済的支援 以外） 16.5	－ －
7位	子育て （経済的支援 以外） 19.9	福祉 18.3	子育て （経済的支援 以外） 22.7	子育て （経済的支援 以外） 23.2	子育て （経済的支援 以外） 20.2	福祉 18.0	防犯・防災 15.8	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 27.5
8位	防犯・防災 11.5	防犯・防災 9.7	防犯・防災 14.4	防犯・防災 15.2	防犯・防災 13.9	防犯・防災 11.5	子育て （経済的支援 以外） 15.4	文化・スポー ツ 17.5
9位	ごみ・リサイ クル 文化・スポー ツ 7.9	ごみ・リサイ クル 6.3	ごみ・リサイ クル 9.3	ごみ・リサイ クル 都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 7.9	ごみ・リサイ クル 12.2	文化・スポー ツ 9.8	ごみ・リサイ クル 13.2	防犯・防災 10.0
10位	－ －	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 4.9	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 7.2	－ －	文化・スポー ツ 5.6	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 4.9	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 9.5	ごみ・リサイ クル 7.5

職業別で見ると、全ての職業で「保健・医療」が1位となっている。2位はその他を除くすべての職業で「個人向け経済的支援」、その他では「事業者向け経済的支援」となっている。3位は自営業・自由業、正社員、正職員、契約社員、派遣社員、アルバイト、パート、家事専業、学生では「事業者向け経済的支援」、無職では「福祉」、その他では「教育（経済的支援以外）」となっている。（図表5－14）

図表5－15 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策（子どもの就学状況別順位）
(%)

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	保健・医療 69.9	保健・医療 77.1	保健・医療 84.1	保健・医療 79.3	保健・医療 84.0	保健・医療 89.4	保健・医療 79.2
2位	子育て （経済的支援 以外） 48.3	教育 （経済的支援 以外） 50.0	個人向け 経済的支援 事業者向け 経済的支援 37.5	個人向け 経済的支援 41.4	個人向け 経済的支援 44.5	個人向け 経済的支援 46.5	事業者向け 経済的支援 58.3
3位	教育 （経済的支援 以外） 42.6	個人向け 経済的支援 40.4	－	事業者向け 経済的支援 37.9	事業者向け 経済的支援 38.7	事業者向け 経済的支援 38.6	個人向け 経済的支援 56.3
4位	事業者向け 経済的支援 36.9	子育て （経済的支援 以外） 39.2	教育 （経済的支援 以外） 35.2	教育 （経済的支援 以外） 36.8	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 30.3	福祉 25.1	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 35.4
5位	個人向け 経済的支援 行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 34.7	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 36.1	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 29.5	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 28.7	教育 （経済的支援 以外） 26.9	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 教育（経済的 支援以外） 19.8	福祉 33.3
6位	－ －	事業者向け 経済的支援 32.5	福祉 子育て （経済的支援 以外） 25.0	福祉 24.1	福祉 24.4	－	子育て （経済的支援 以外） 29.2
7位	福祉 14.2	福祉 18.1	－	子育て （経済的支援 以外） 20.7	子育て （経済的支援 以外） 17.6	子育て （経済的支援 以外） 16.5	教育 （経済的支援 以外） 27.1
8位	防犯・防災 9.1	防犯・防災 10.8	防犯・防災 6.8	ごみ・リサイ クル 8.0	防犯・防災 12.6	防犯・防災 14.2	防犯・防災 16.7
9位	文化・スポー ツ 6.3	ごみ・リサイ クル 文化・スポー ツ 5.4	ごみ・リサイ クル 5.7	防犯・防災 都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 5.7	ごみ・リサイ クル 7.6	ごみ・リサイ クル 11.6	文化・スポー ツ 8.3
10位	ごみ・リサイ クル 4.0	－	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 3.4	－	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 6.7	都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 6.9	ごみ・リサイ クル 都市基盤の整 備（道路、交 通、上下水道 など） 4.2

子どもの就学状況別で見ると、すべての就学状況で「保健・医療」が1位となっており、小学校入学前を持つ方では「子育て（経済的支援以外）」、小学生を持つ方では「教育（経済的支援以外）」、中学生、高校生、専門学校、短期大学、大学生等、社会人では「個人向け経済的支援」、中学生、その他では「事業者向け経済的支援」が2位となっている。（図表5－15）

図表5－16 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策（世帯収入別順位）

（％）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上
1位	保健・医療 92.0	保健・医療 80.0	保健・医療 87.4	保健・医療 81.7	保健・医療 83.7	保健・医療 78.5	保健・医療 83.1	保健・医療 83.2
2位	個人向け経済的支援 48.0	個人向け経済的支援 54.5	個人向け経済的支援 47.7	個人向け経済的支援 47.8	個人向け経済的支援 50.7	個人向け経済的支援 45.0	事業者向け経済的支援 46.9	事業者向け経済的支援 40.3
3位	福祉 36.0	事業者向け経済的支援 47.3	事業者向け経済的支援 35.4	事業者向け経済的支援 35.9	事業者向け経済的支援 38.6	事業者向け経済的支援 37.2	個人向け経済的支援 44.1	個人向け経済的支援 38.9
4位	事業者向け経済的支援 行政手続の電子化（オンライン申請など） 教育（経済的支援以外） 子育て（経済的支援以外） 20.0	福祉 34.5	福祉 31.0	福祉 26.8	行政手続の電子化（オンライン申請など） 27.0	行政手続の電子化（オンライン申請など） 30.5	行政手続の電子化（オンライン申請など） 33.8	行政手続の電子化（オンライン申請など） 32.9
5位	－ －	教育（経済的支援以外） 32.7	教育（経済的支援以外） 20.6	教育（経済的支援以外） 23.7	子育て（経済的支援以外） 26.0	教育（経済的支援以外） 28.2	教育（経済的支援以外） 31.4	教育（経済的支援以外） 27.5
6位	－ －	子育て（経済的支援以外） 25.5	防犯・防災 18.8	子育て（経済的支援以外） 22.7	教育（経済的支援以外） 24.2	子育て（経済的支援以外） 26.5	子育て（経済的支援以外） 24.5	子育て（経済的支援以外） 21.5
7位	－ －	行政手続の電子化（オンライン申請など） 防犯・防災 18.2	行政手続の電子化（オンライン申請など） 17.7	行政手続の電子化（オンライン申請など） 21.7	福祉 21.9	福祉 21.1	福祉 16.6	福祉 20.1
8位	防犯・防災 16.0	－ －	子育て（経済的支援以外） 15.9	防犯・防災 11.2	防犯・防災 11.6	防犯・防災 12.8	防犯・防災 10.3	防犯・防災 8.1
9位	ごみ・リサイクル 12.0	文化・スポーツ 14.5	都市基盤の整備（道路、交通、上下水道など） 10.5	ごみ・リサイクル 10.2	ごみ・リサイクル 7.4	ごみ・リサイクル 9.4	文化・スポーツ 6.2	ごみ・リサイクル 7.4
10位	都市基盤の整備（道路、交通、上下水道など） 8.0	ごみ・リサイクル 12.7	ごみ・リサイクル 8.7	文化・スポーツ 6.8	文化・スポーツ 6.5	都市基盤の整備（道路、交通、上下水道など） 6.7	ごみ・リサイクル 5.5	文化・スポーツ 5.4

世帯収入別で見ると、すべての世帯で「保健・医療」が第1位となっている。収入なし、100万円未満、100～300万円未満、300～500万円未満、500～700万円未満、700～1,000万円未満では「個人向け経済的支援」が、1,000～1,500万円未満、1,500万円以上では「事業者向け経済的支援」が第2位となっている。（図表5－16）

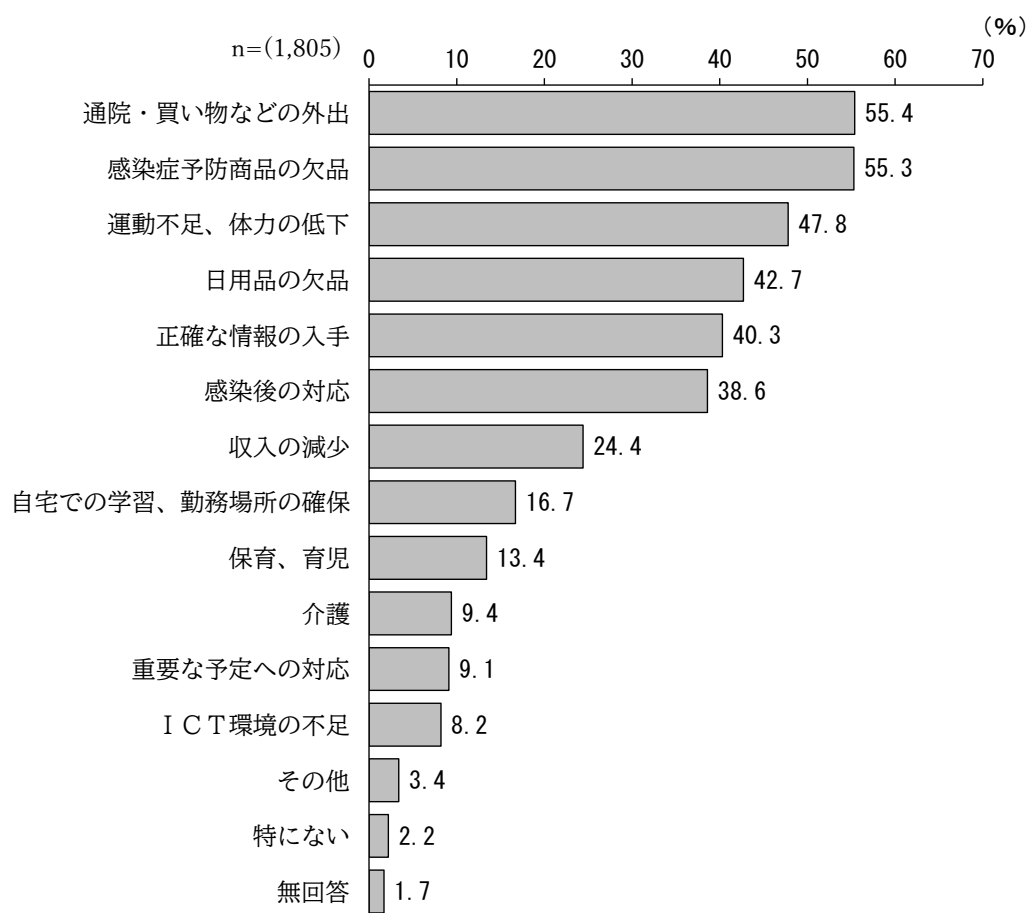
6 新型コロナウイルス感染症の状況下での行動変化について

6-1 心配や負担の内容

◎ 「通院・買い物などの外出」、「感染症予防商品の欠品」が5割台半ばで高い。

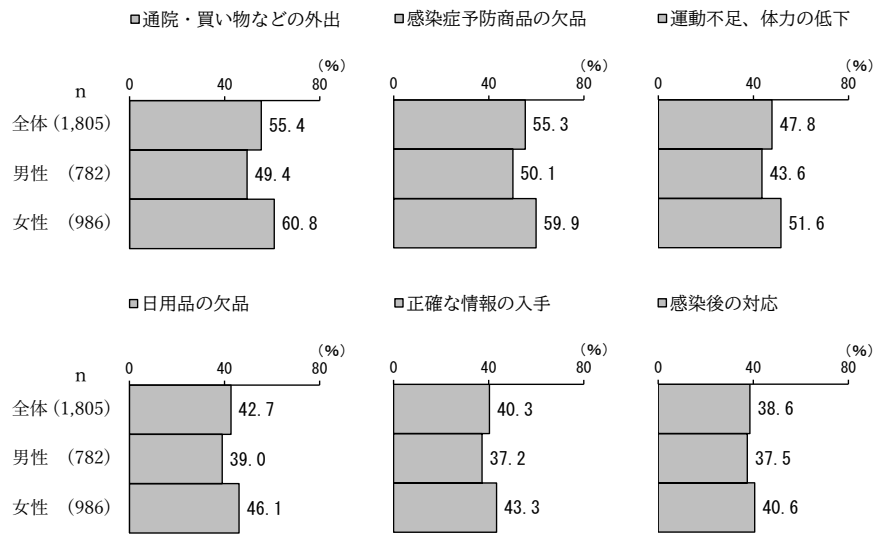
問22 あなたが、新型コロナウイルス感染症の状況下で心配だったことや、負担であったことを教えてください。(〇はいくつでも)

図表6-1 新型コロナウイルス感染症の状況下での心配や負担の内容(複数回答)



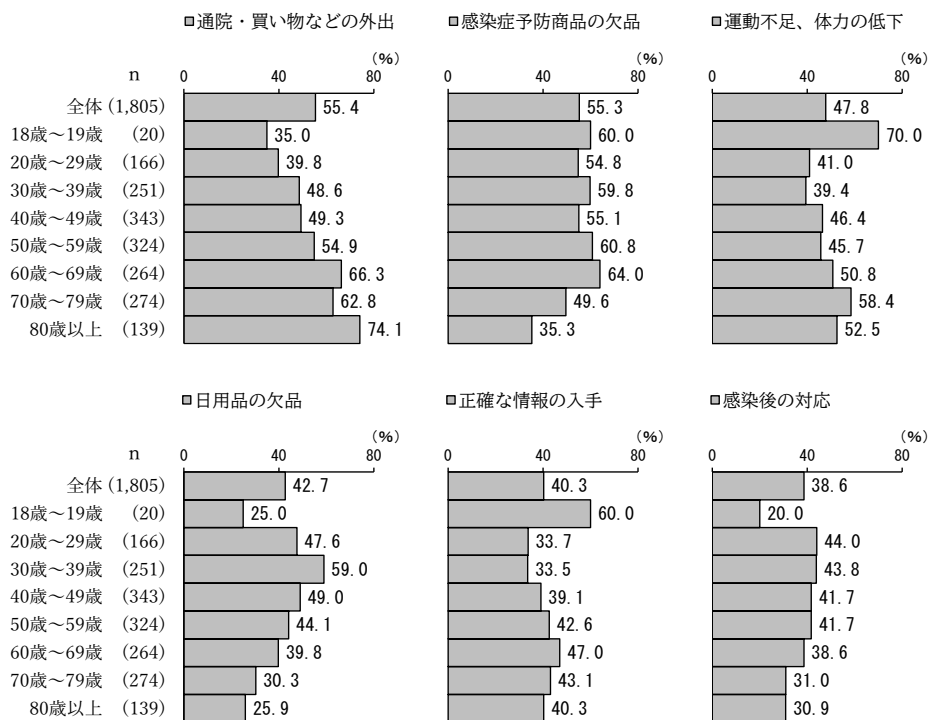
新型コロナウイルス感染症の状況下で心配だったことや、負担であったことは、「通院・買い物などの外出」(55.4%)、「感染症予防商品の欠品」(55.3%)がともに5割台半ばで高くなっている。次いで、「運動不足、体力の低下」(47.8%)で4割台後半、「日用品の欠品」(42.7%)で4割台前半、「正確な情報の入手」(40.3%)が約4割と続く。(図表6-1)

図表6－2 心配や負担の内容（性別）上位6項目



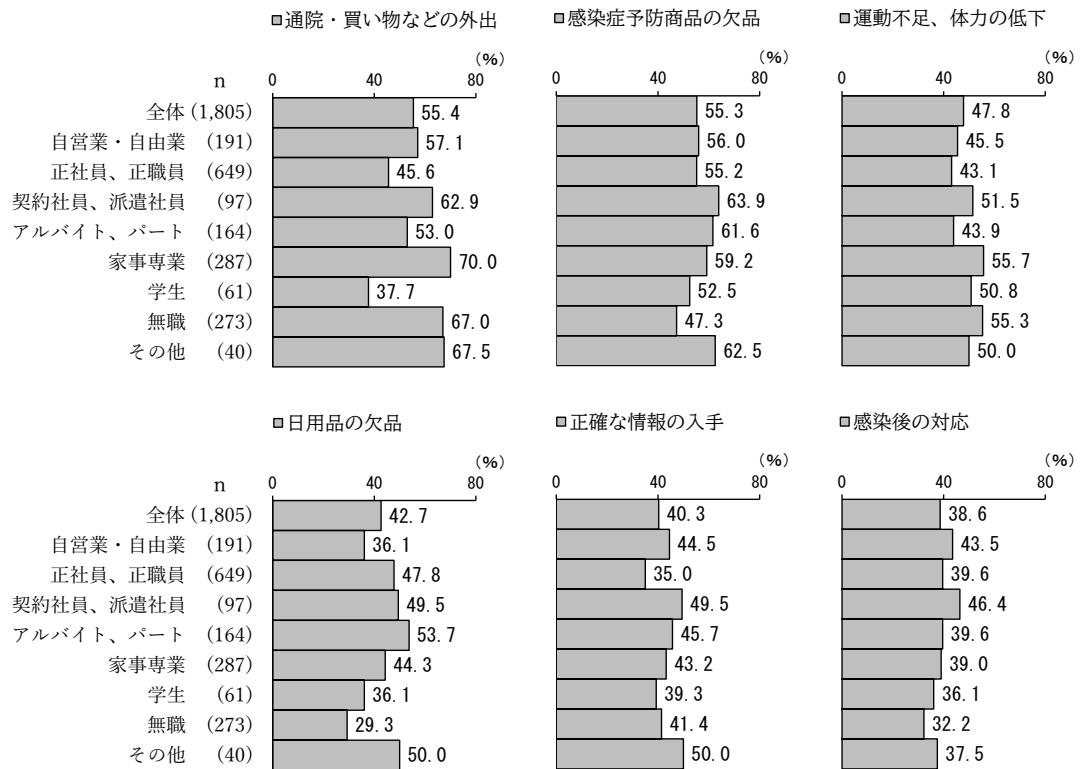
上位6項目について、性別で見ると、女性の方が男性より高い傾向となっており、「通院・買い物などの外出」は、女性の方が男性より11.4ポイント、「感染症予防商品の欠品」も女性の方が男性より9.8ポイント高くなっている。（図表6－2）

図表6－3 心配や負担の内容（年代別）上位6項目



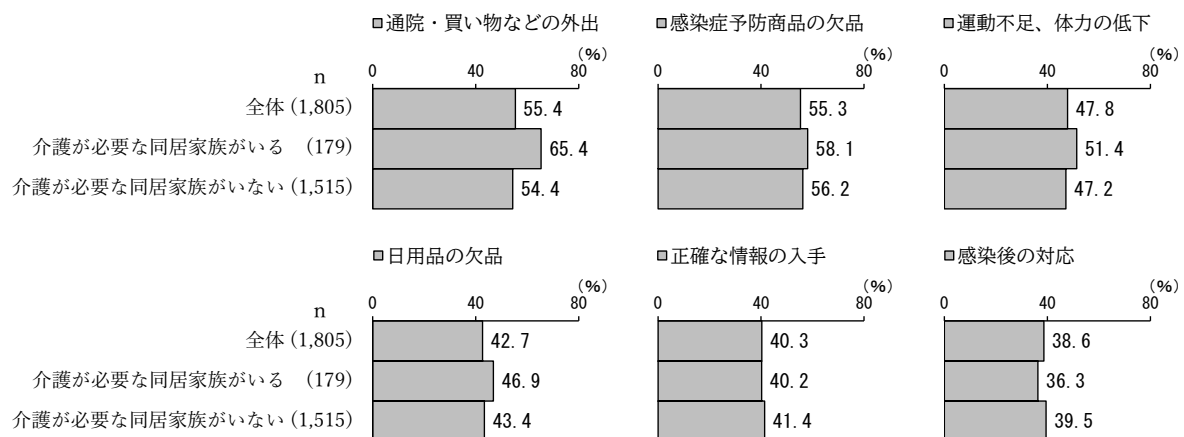
年代別で見ると、「通院・買い物などの外出」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、80歳以上で7割台前半と最も高い。一方、「日用品の欠品」は、18歳～19歳、20歳～29歳を除き年代が下がるにつれて高くなる傾向にあり、30歳～39歳で約6割と最も高くなっている。18歳～19歳は「運動不足、体力の低下」で7割、「正確な情報の入手」で6割と最も高くなっている。（図表6－3）

図表6－4 心配や負担の内容（職業別）上位6項目



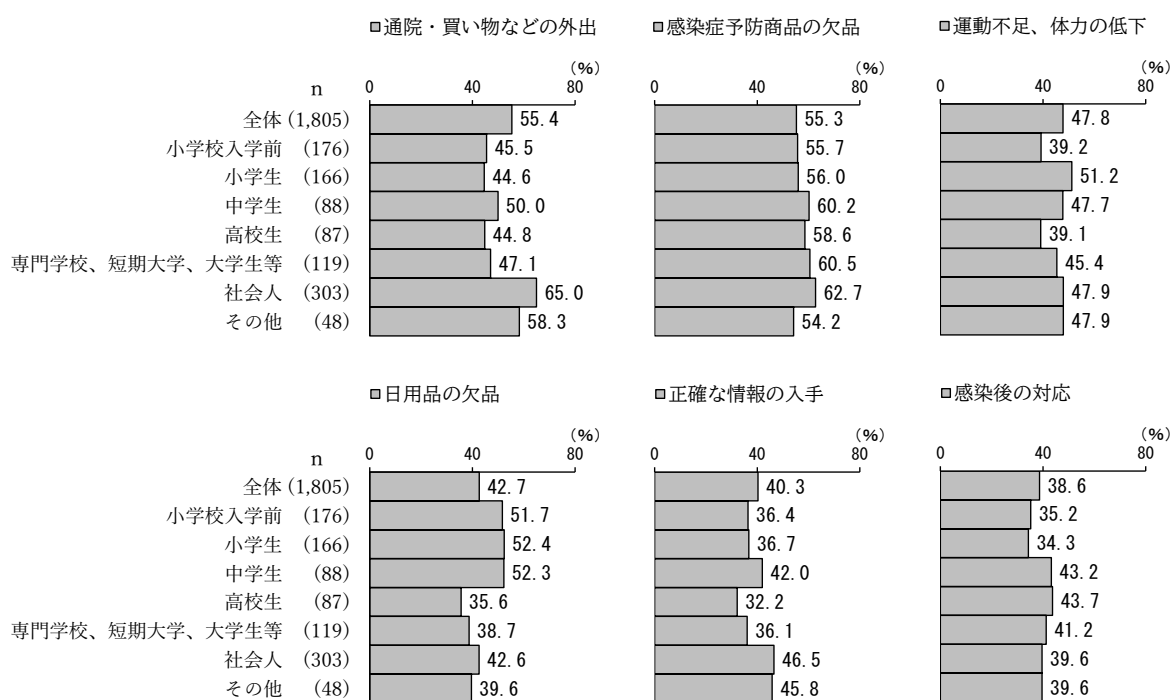
職業別で見ると、「通院・買い物などの外出」は、家事専業で7割と最も高くなっている。「感染症予防商品の欠品」は契約社員、派遣社員、その他、アルバイト、パートで6割台前半と高くなっている。（図表6－4）

図表6－5 心配や負担の内容（介護が必要な同居家族の有無別）上位6項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「通院・買い物などの外出」は、介護が必要な同居家族がいる場合の方が11.0ポイント高く、「感染症予防商品の欠品」、「運動不足、体力の低下」、「日用品の欠品」でも介護が必要な同居家族がいる場合の方がやや高くなっている。（図表6－5）

図表6－6 心配や負担の内容（子どもの就学状況別）上位6項目



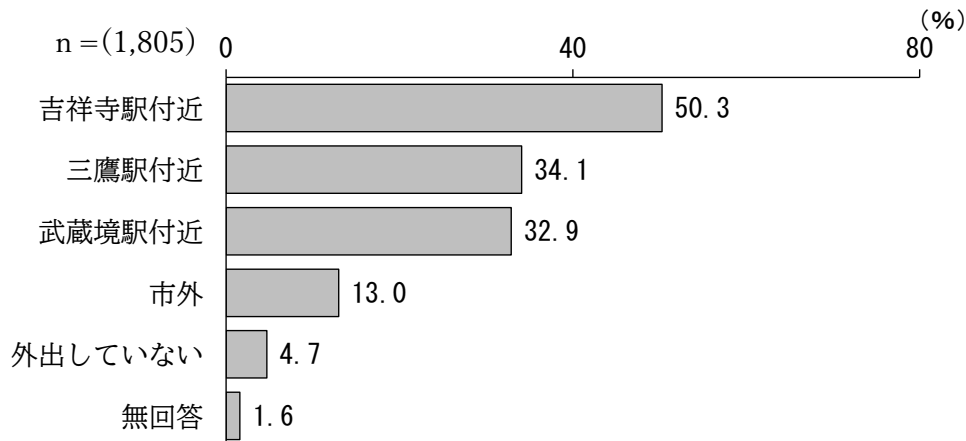
子どもの就学状況別で見ると、「通院・買い物などの外出」は社会人を持つ方で6割台半ばと最も高くなっている。「感染症予防商品の欠品」はすべての就学状況で5割を超えて高くなっている。「運動不足、体力の低下」は小学生を持つ方で5割台前半と最も高くなっている。（図表6－6）

6－2 緊急事態宣言発令期間中の外出先

◎ 「吉祥寺駅付近」が約5割、「三鷹駅付近」、「武蔵境駅付近」は3割台前半である。

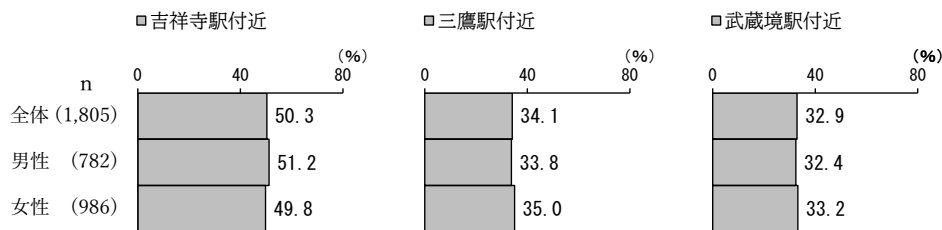
問23 あなたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令期間中(令和2年 4/7～5/25)に、必要な外出(買い物等)をした場所に○をしてください。(○はいくつでも)「市外」を選んだ方は、かっこの内の該当地域を選択してください。該当地域がない場合は、その他にご記入ください。

図表6－7 緊急事態宣言発令期間中の外出先(複数回答)



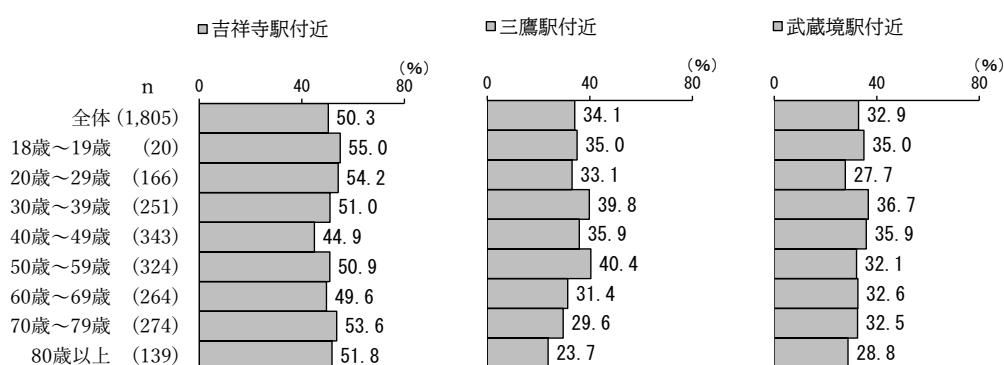
緊急事態宣言発令期間中の外出先では、「吉祥寺駅付近」が50.3%と過半数を超えている。次いで、「三鷹駅付近」(34.1%)、「武蔵境駅付近」(32.9%)と3割台前半である。(図表6－7)

図表6－8 緊急事態宣言発令期間中の外出先(性別) 吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅付近



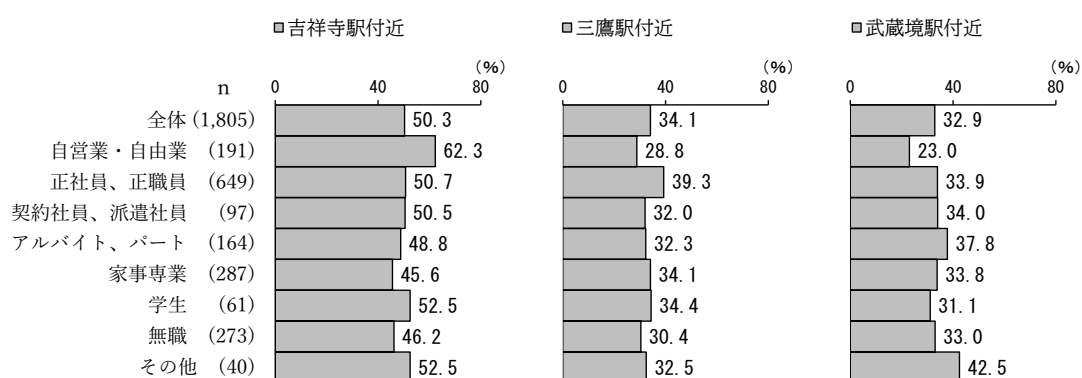
外出先の吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅付近について、性別による大きな違いは見られない。(図表6－8)

図表6－9 緊急事態宣言発令期間中の外出先（年代別）吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅付近



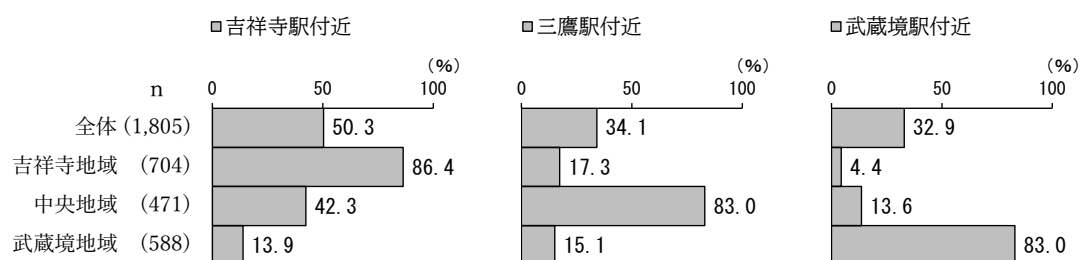
年代別で見ると、「吉祥寺駅付近」は、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、50歳～59歳、70歳～79歳、80歳以上の各年代で5割以上と高くなっている。「三鷹駅付近」は50歳～59歳で4割と最も高くなっている。「武蔵境駅付近」は30歳～39歳で3割台後半と最も高くなっている。一方、20歳～29歳では2割台後半と低くなっている。（図表6－9）

図表6－10 緊急事態宣言発令期間中の外出先（職業別）吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅付近



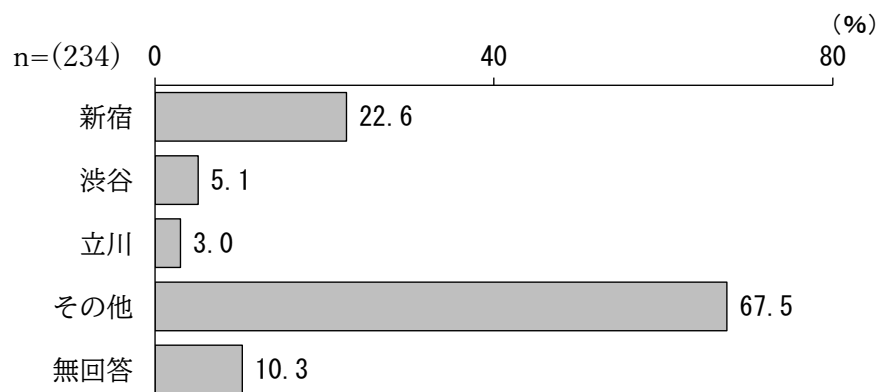
職業別で見ると、「吉祥寺駅付近」は、自営業・自由業で6割台前半と最も高くなっている。「三鷹駅付近」は正社員、正職員で約4割と最も高く、「武蔵境駅付近」ではそのほか4割台前半で最も高い。（図表6－10）

図表6－11 緊急事態宣言発令期間中の外出先（居住地域別）吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅付近



居住地域別で見ると、「吉祥寺駅付近」は、吉祥寺地域が8割台後半、「三鷹駅付近」は、中央地域が8割台前半、「武蔵境駅付近」は、武蔵境地域が8割台前半と、それぞれ8割を超えている。（図表6－11）

図表6－12 市外への外出（買い物等）先（複数回答）



緊急事態宣言発令期間中の外出先で「市外」と回答した234人の外出先は、「新宿」（22.6%）が2割台前半、次いで、「渋谷」（5.1%）、「立川」（3.0%）である。

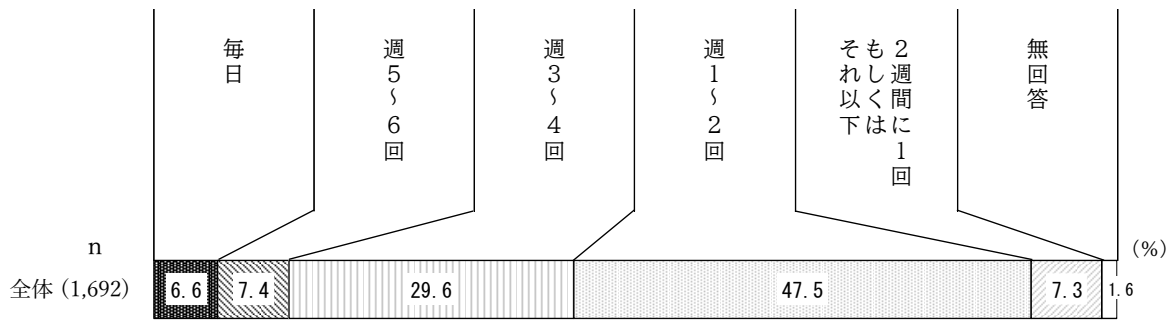
「その他」の主な内容は、杉並区、中野区など23区西部の地域が最も高く、次いで、小金井市、三鷹市内などとなっている。（図表6－12）

6-3 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度

◎ 「週1～2回」が4割台後半と最も多く、「週3～4回」が2割台後半である。

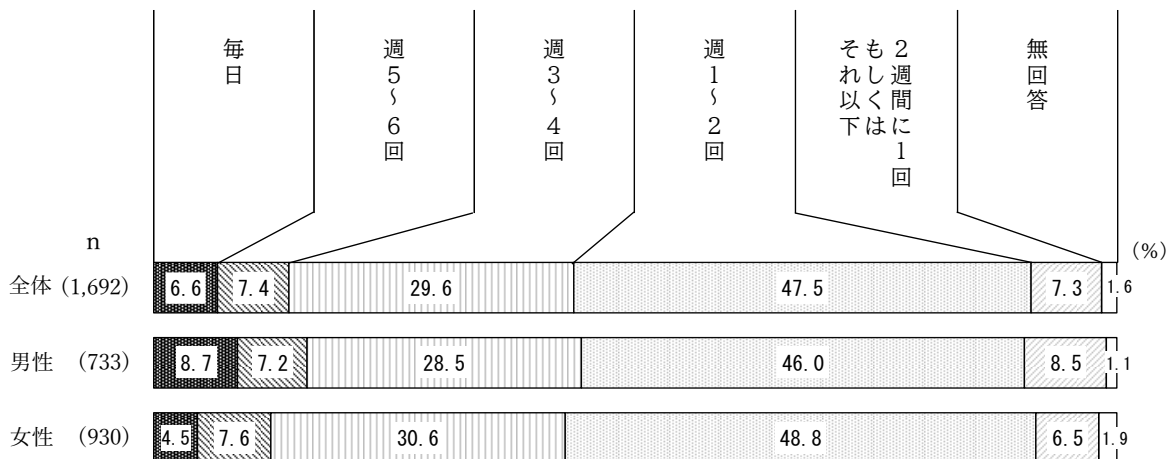
問23-1 あなたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令期間中(令和2年 4/7～5/25)に必要な外出(買い物等)をした回数(頻度)に○をしてください。(○は1つ)

図表6-13 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度



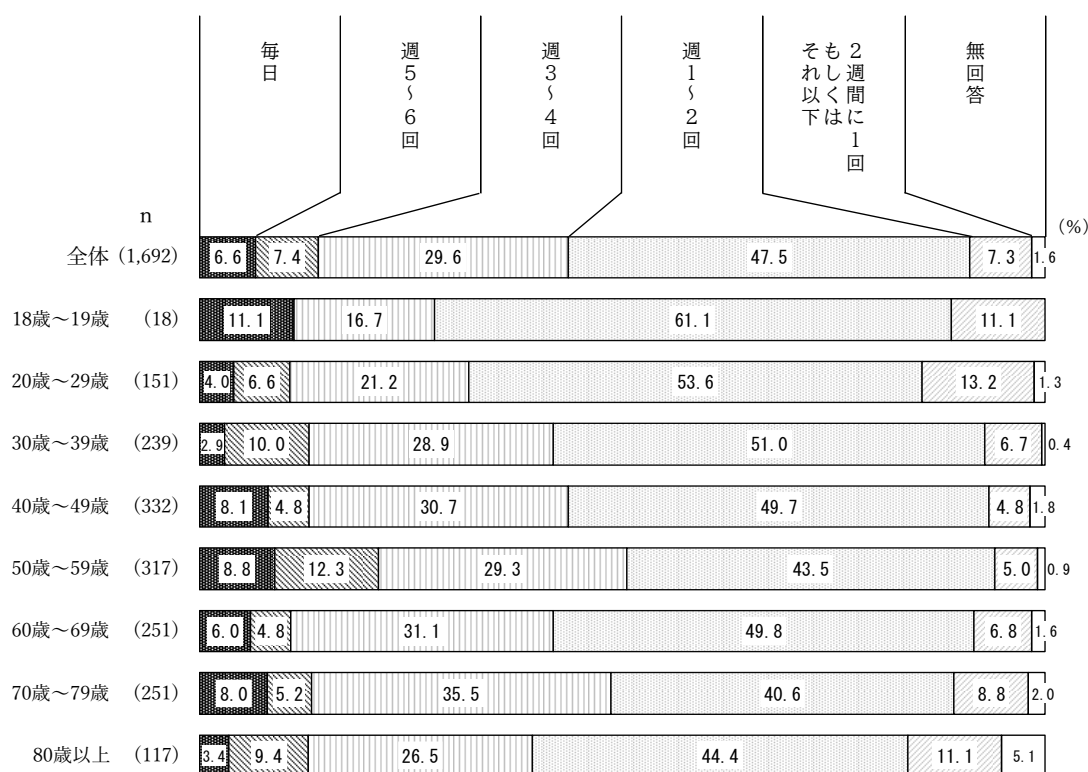
緊急事態宣言発令期間中の外出頻度では、「週1～2回」(47.5%)が4割台後半で最も高く、次いで、「週3～4回」(29.6%)が2割台後半であり、合わせると7割以上を占める。(図表6-13)

図表6-14 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度(性別)



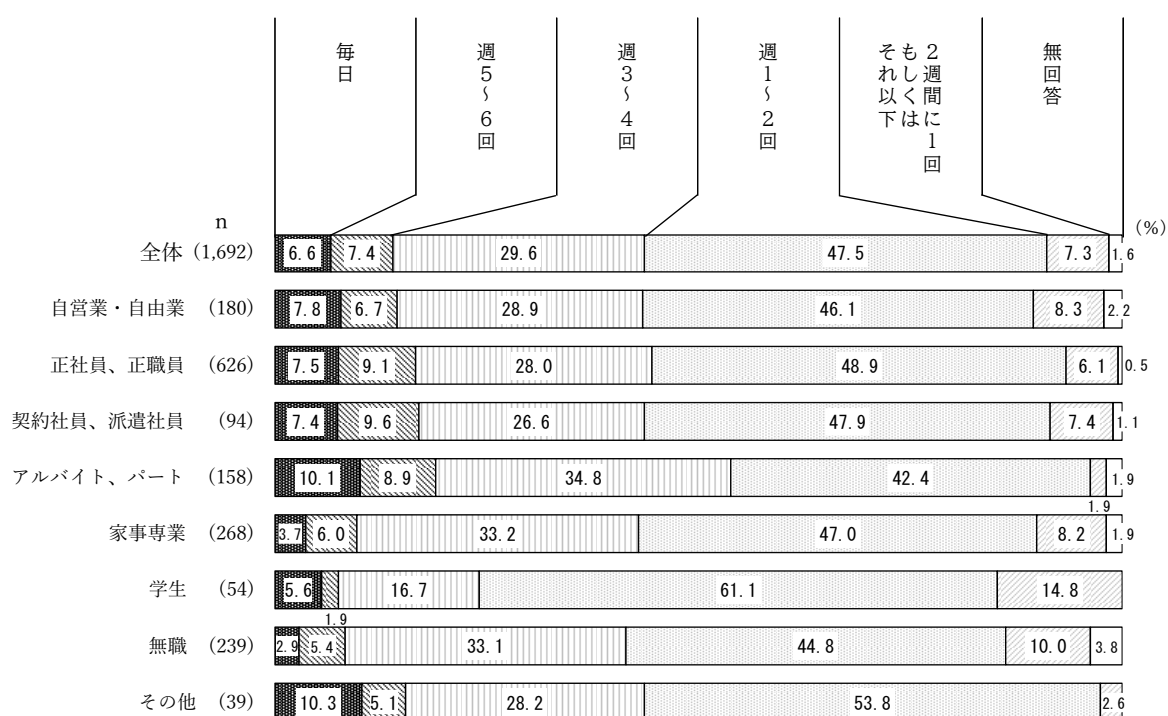
性別で見ると、「毎日」は男性の方が女性よりもやや高いものの、大きな違いは見られない。(図表6-14)

図表6－15 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度（年代別）



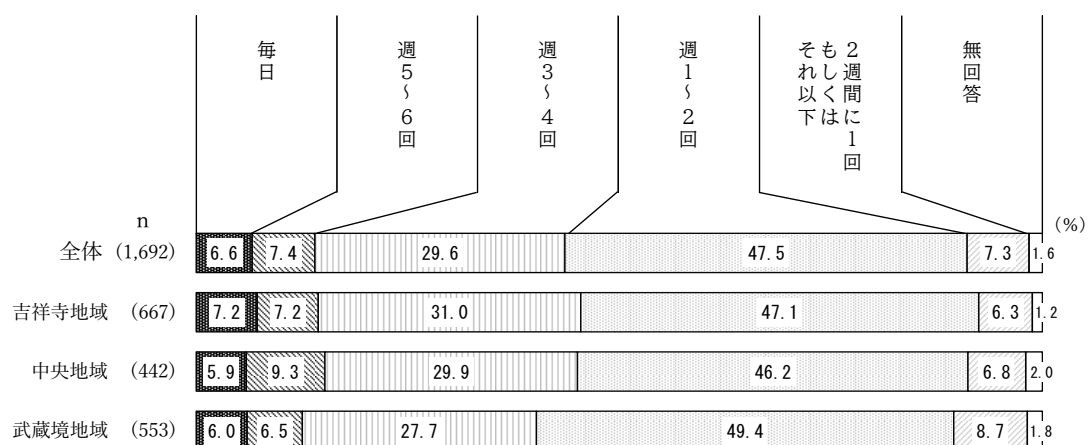
年代別で見ると、「週1～2回」は、18歳～19歳で6割を超えて高くなっており、20歳～29歳、30歳～39歳でも過半数を超えている。「週3～4回」は、70歳～79歳で3割台半ば、60歳～69歳、40歳～49歳でも3割を超えている。「週5～6回」は、50歳～59歳で1割台前半、30歳～39歳で1割である。（図表6－15）

図表6－16 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度(職業別)



職業別で見ると、「週1～2回」は、学生で6割を超えて高くなっている。「週3～4回」は、アルバイト、パート、家事専業、無職で3割前半である。「毎日」は、アルバイト、パート、その他で約1割である。(図表6－16)

図表6－17 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度(居住地域別)



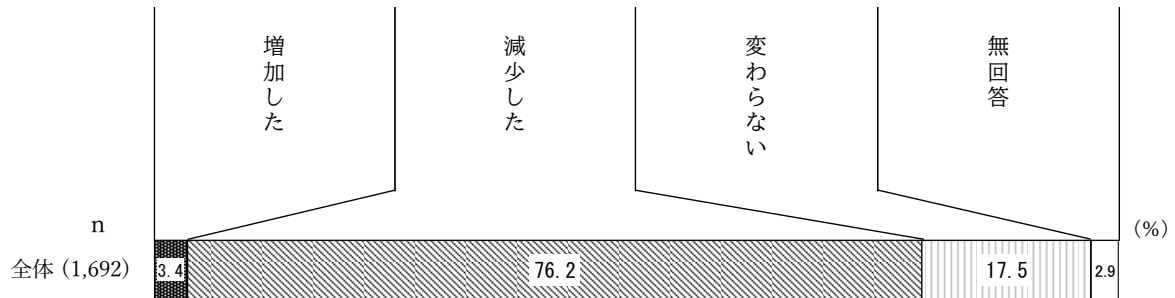
居住地域別で見ると、「週1～2回」は、武蔵境地域が約5割と最も高くなっている。(図表6－17)

6-4 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度の変化

◎ 「減少した」が7割台後半で最も高い。

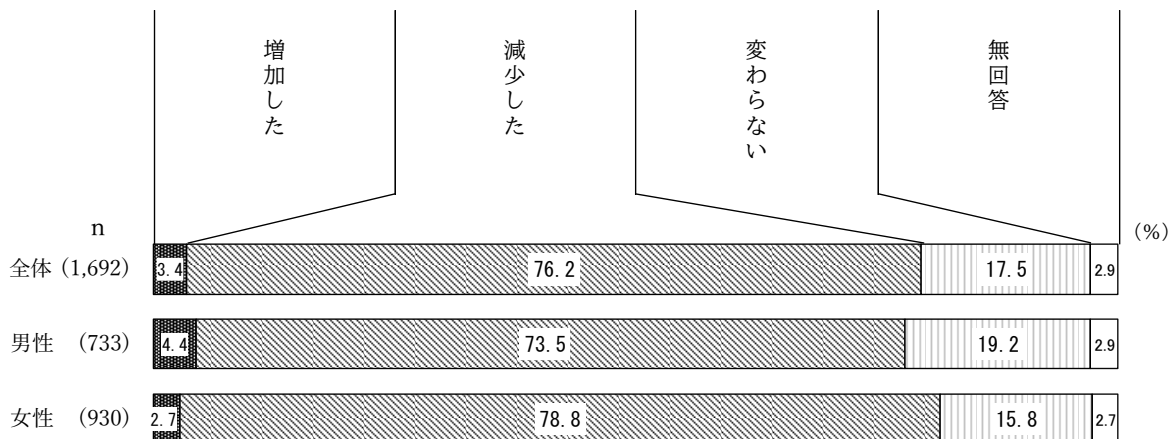
問23-2 あなたの、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令期間中(令和2年 4/7～5/25)の必要な外出(買い物等)の頻度は、通常時と比べてどのように変化しましたか。(○は1つ)

図表6-18 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度の変化



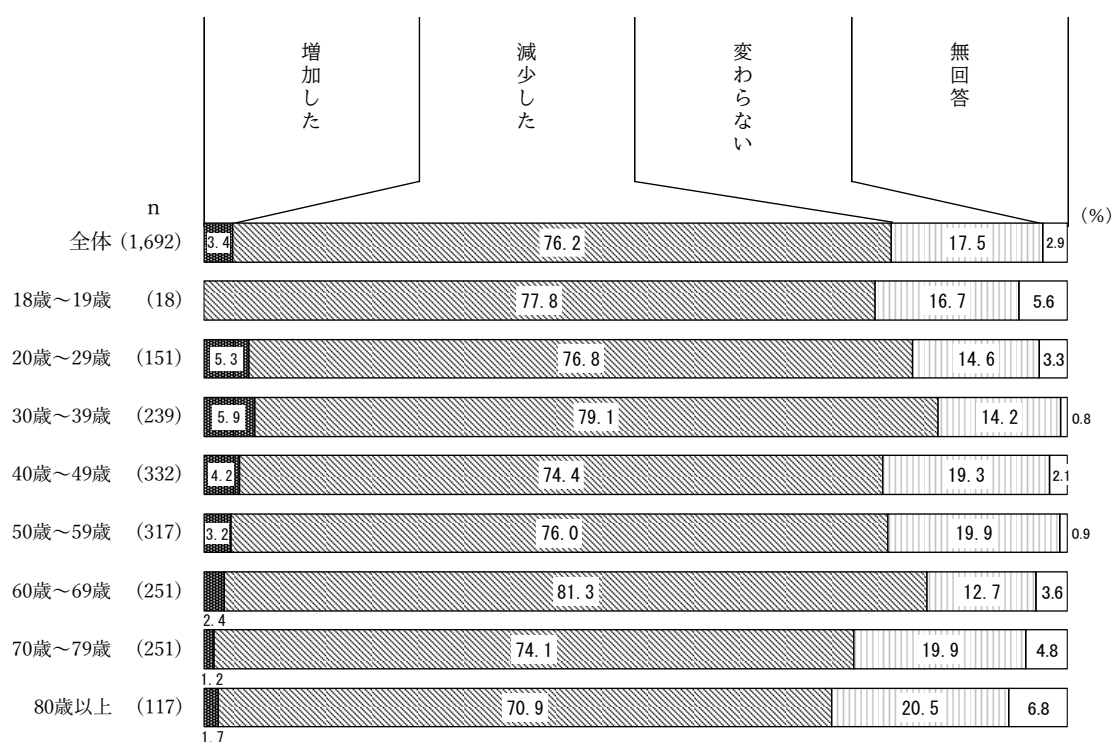
緊急事態宣言発令期間中の外出頻度の変化は、「減少した」(76.2%)が7割台後半と最も高くなっている一方、「変わらない」(17.5%)は1割台後半である。(図表6-18)

図表6-19 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度の変化(性別)



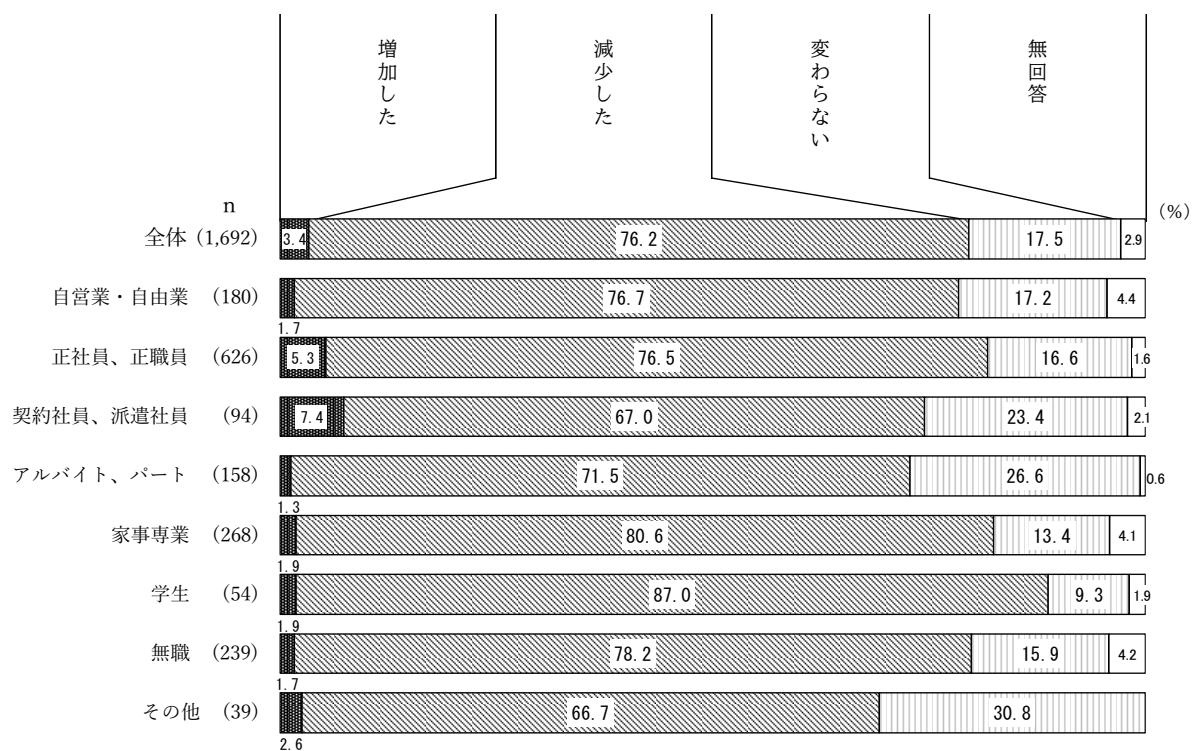
性別で見ると、「減少した」は女性の方が男性よりも5.3ポイント高く、「増加した」は男性の方が女性よりも1.7ポイント高くなっている。(図表6-19)

図表6－20 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度の変化（年代別）



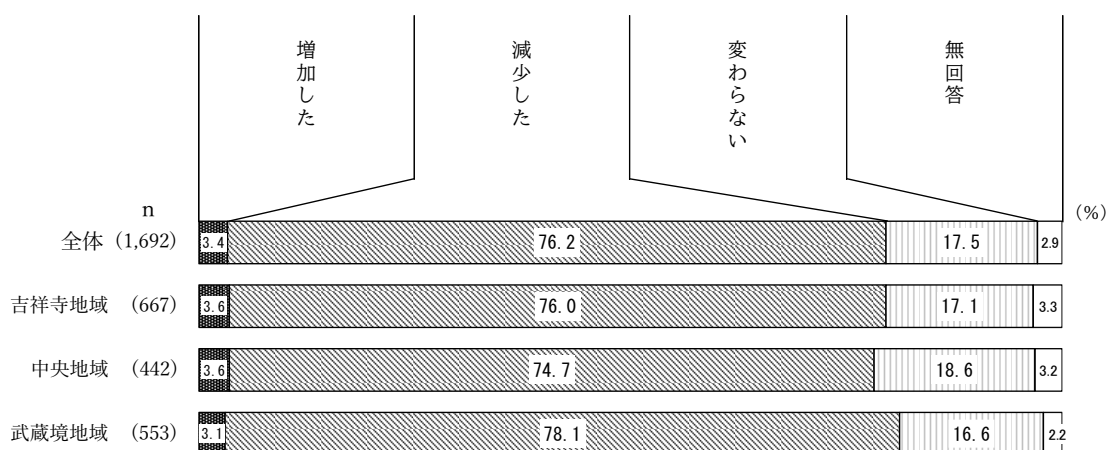
年代別で見ると、「減少した」は、60歳～69歳で8割を超えて最も高くなっており、すべての年代で7割を超えている。「変わらない」は、40歳～49歳、50歳～59歳、70歳～79歳、80歳以上で約2割である。（図表6－20）

図表6－21 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度の変化（職業別）



職業別で見ると、「減少した」は、家事専業、学生で8割を超えて高くなっている。「変わらない」は、その他で約3割、アルバイト、パートで2割台後半である。「増加した」は、契約社員、派遣社員、正社員、正職員が他と比べて高くなっている。（図表6－21）

図表6－22 緊急事態宣言発令期間中の外出頻度の変化（居住地域別）



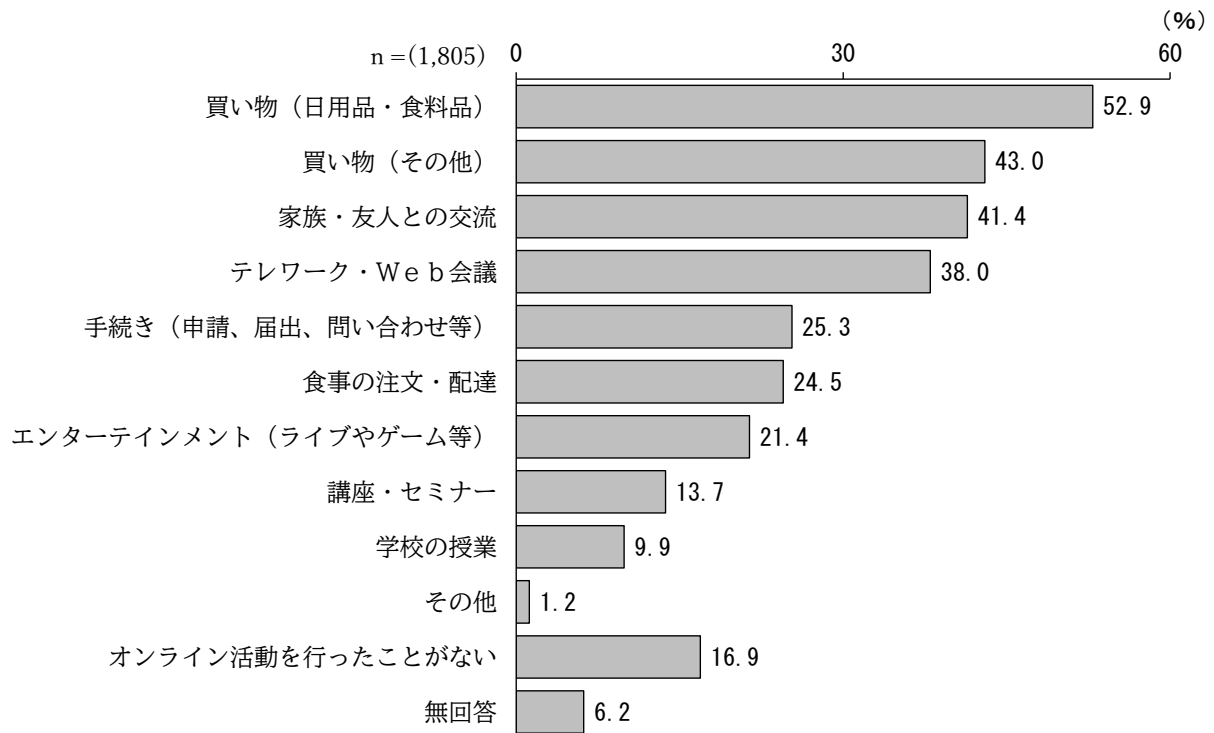
居住地域別で見ると、大きな違いは見られない。（図表6－22）

6-5 オンライン活動の現状

◎ 「買い物（日用品・食料品）」が5割台前半で過半数を超えている。

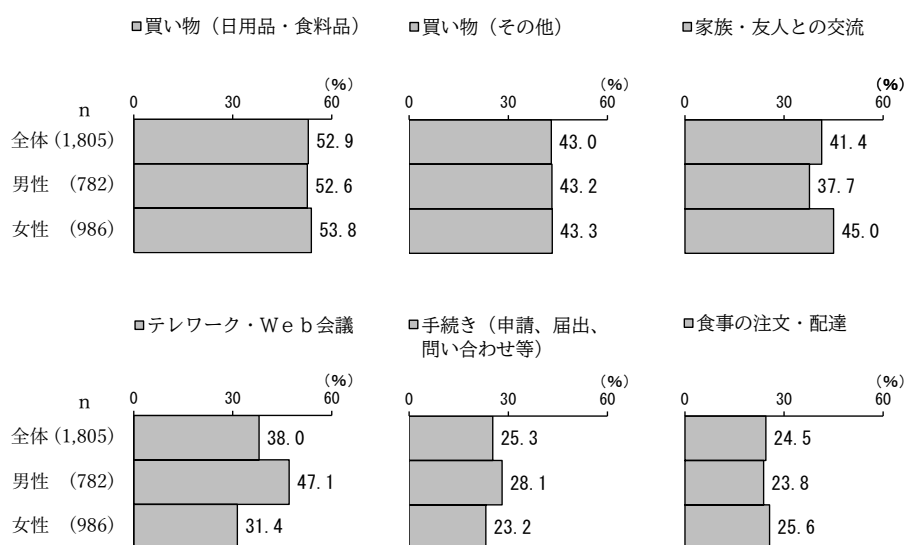
問24 オンラインによる様々な活動のうち、以下の活動をしたことがありますか。活動したことがあるものに○をつけてください(○はいくつでも)。なお「その他」を選んだ方は、かつこ内に具体的な内容を記入してください。

図表6-23 経験したことのあるオンライン活動(複数回答)



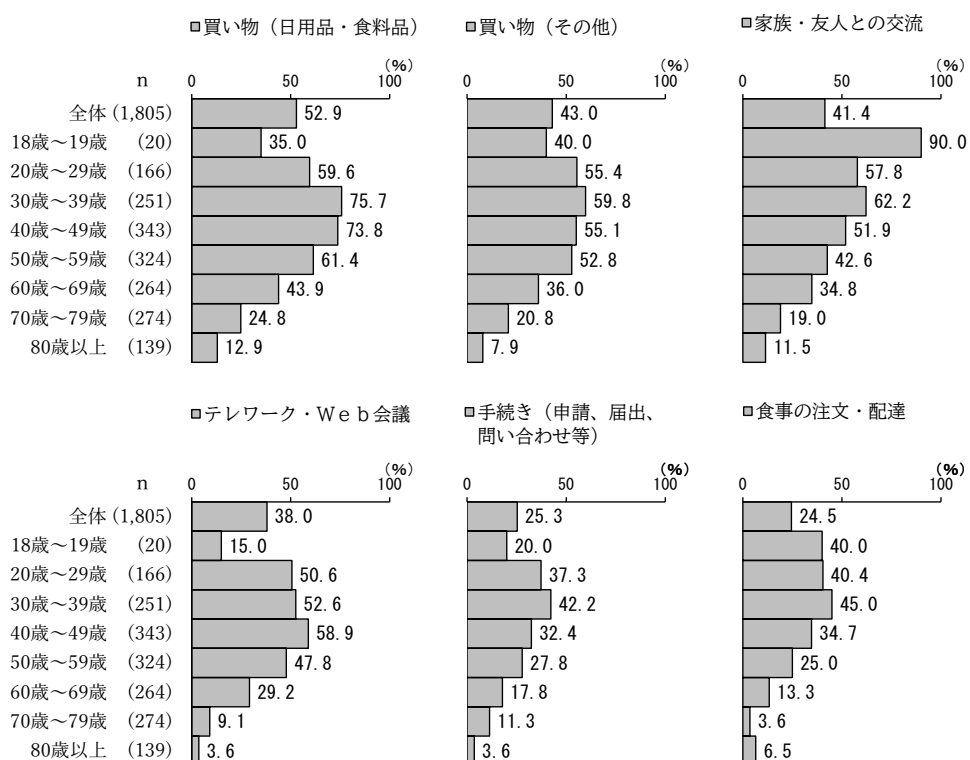
経験したことのあるオンライン活動は、「買い物（日用品・食料品）」（52.9%）が5割台前半と過半数を超えている。次いで、「買い物（その他）」（43.0%）、「家族・友人との交流」（41.4%）が4割台前半、「テレワーク・Web会議」（38.0%）が3割台後半である。（図表6-23）

図表6-24 経験したことのあるオンライン活動（性別）上位6項目



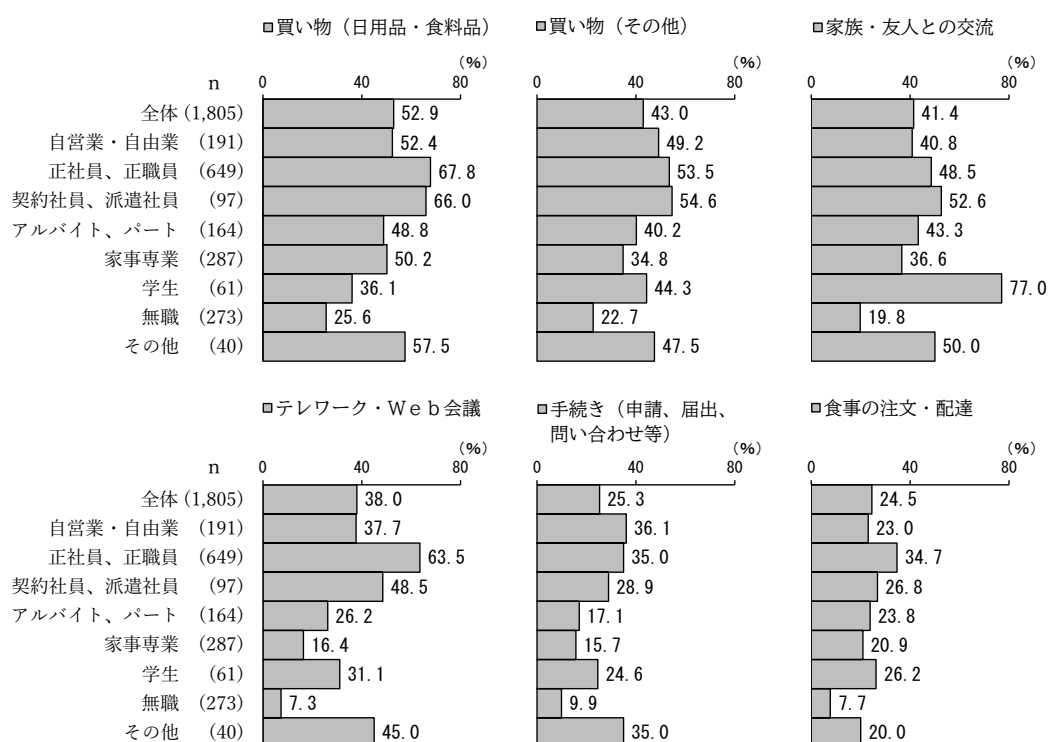
上位6項目について、性別で見ると、「家族・友人との交流」は、女性の方が男性より7.3ポイント高く、「テレワーク・Web会議」では男性の方が女性より15.7ポイント高くなっている。（図表6-24）

図表6-25 経験したことのあるオンライン活動（年代別）上位6項目



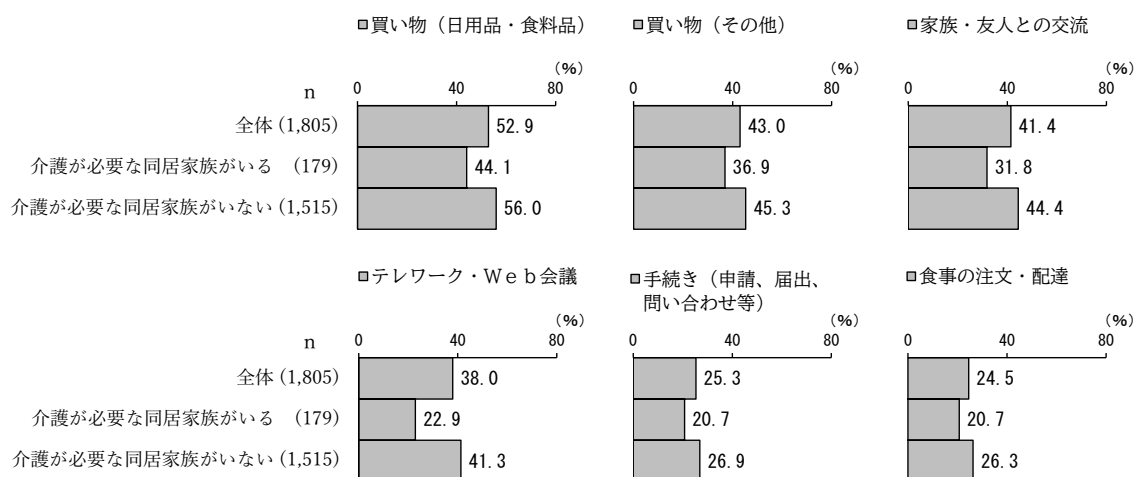
年代別で見ると、18歳～19歳は低い項目が多いものの、「家族・友人との交流」では9割と最も高くなっている。「テレワーク・Web会議」は、40歳～49歳で5割台後半と最も高く、20歳～39歳の各年代でも5割台と高くなっている。「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」は、30歳～39歳で4割台前半と最も高くなっている。（図表6-25）

図表6-26 経験したことのあるオンライン活動（職業別）上位6項目



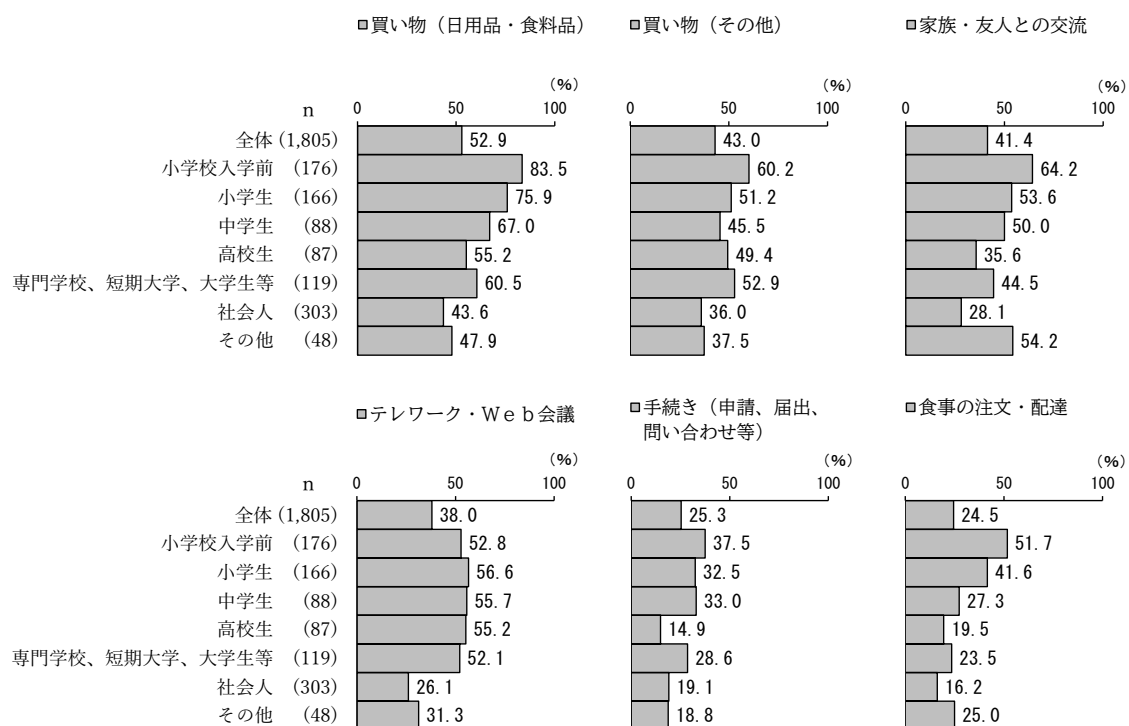
職業別で見ると、「買い物（日用品・食料品）」は、正社員、正職員、契約社員、派遣社員で6割台後半と高くなっている。「家族・友人との交流」は、学生で7割台後半と最も高い。「テレワーク・Web会議」は、正社員、正職員で6割台前半と最も高くなっている。（図表6-26）

図表6-27 経験したことのあるオンライン活動（介護が必要な同居家族の有無別）上位6項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、介護が必要な同居家族がいない場合の方が、いる場合よりも高い傾向にあり、「テレワーク・Web会議」では18.4ポイント、「家族・友人との交流」では12.6ポイント、介護が必要な同居家族がいない場合の方が高くなっている。（図表6-27）

図表6－28 経験したことのあるオンライン活動（子どもの就学状況別）上位6項目



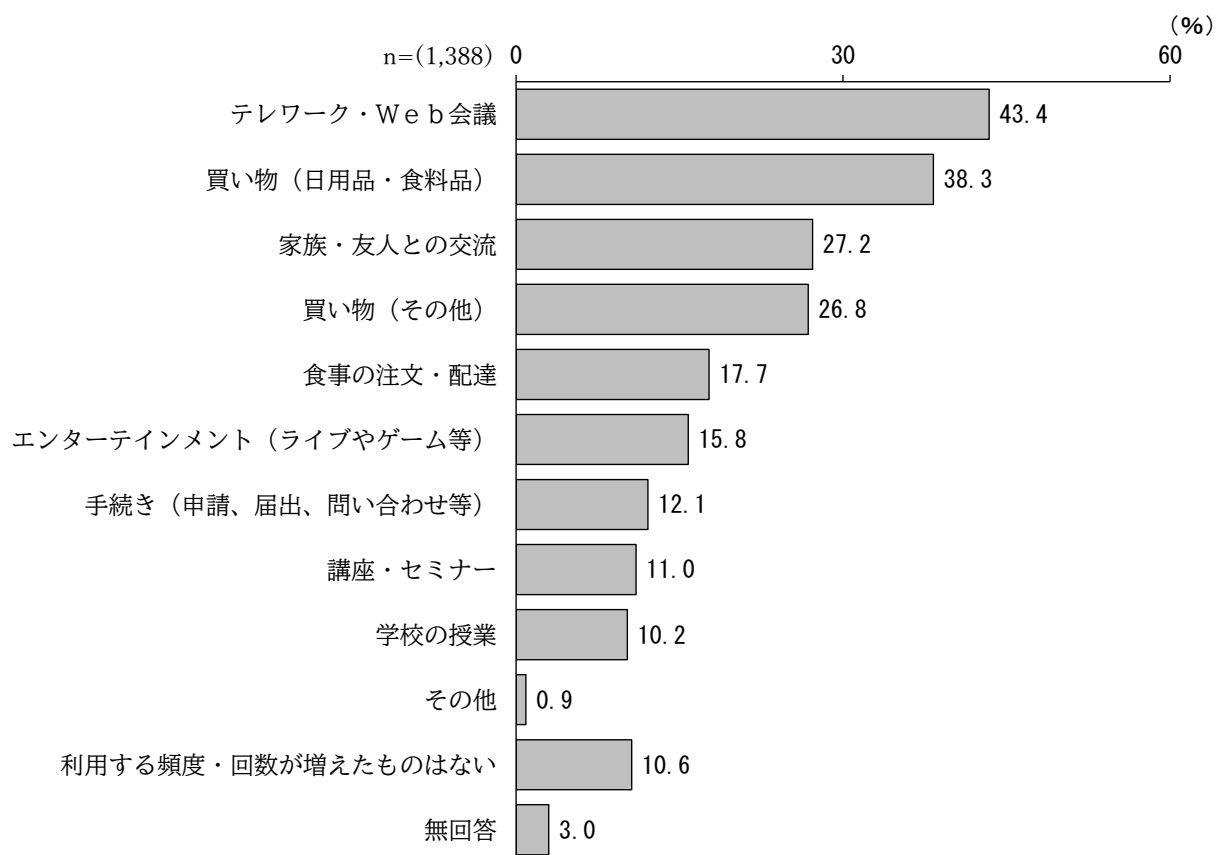
子どもの就学状況別で見ると、「買い物（日用品・食料品）」は小学校入学前を持つ方で8割前半と最も高く、次いで、小学生を持つ方で7割台半ばと高くなっている。「買い物（その他）」、「家族・友人との交流」、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」、「食事の注文・配達」は、いずれも小学校入学前を持つ方が最も高くなっている。（図表6－28）

6-6 新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用する頻度・回数が増えたもの

◎ 「テレワーク・Web会議」が4割台前半で最も高い。

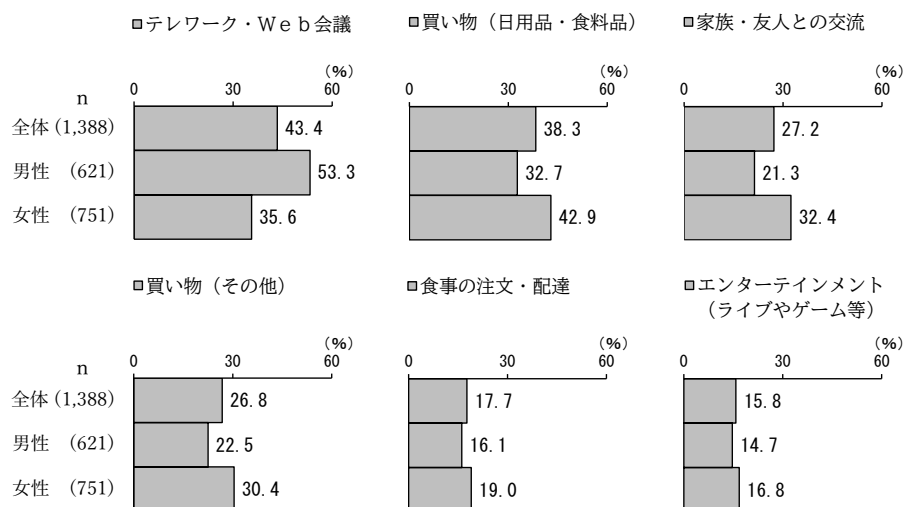
問24-1 問24で回答したオンラインによる活動のうち、新型コロナウイルス感染症拡大以降（おおむね令和2年3月以降）、利用する頻度・回数が増えたものに○をしてください（○はいくつでも）。なお「その他」を選んだ方は、かっこ内に具体的な内容を記入してください。

図表6-29 新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用する頻度・回数が増えたもの（複数回答）



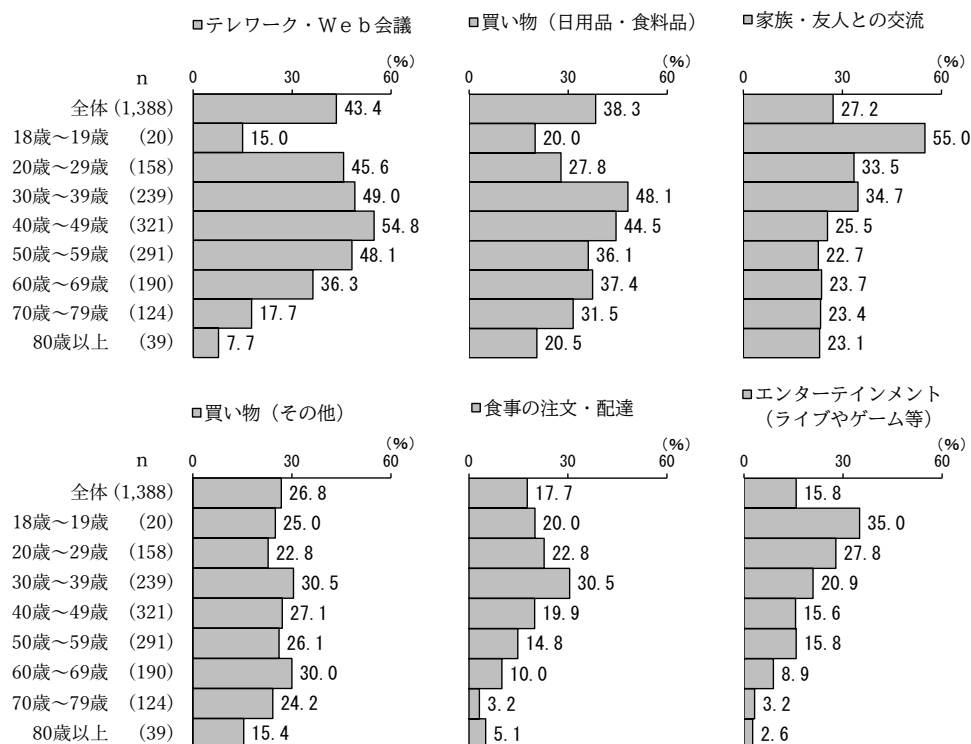
経験したことのあるオンライン活動のうち、新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用する頻度・回数が増えたものは、「テレワーク・Web会議」（43.4%）が4割台前半で最も高くなっている。次いで、「買い物（日用品・食料品）」（38.3%）が3割台後半、「家族・友人との交流」（27.2%）、「買い物（その他）」（26.8%）が2割台後半で続く。（図表6-29）

図表6-30 新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用する頻度・回数が増えたもの
(性別) 上位6項目



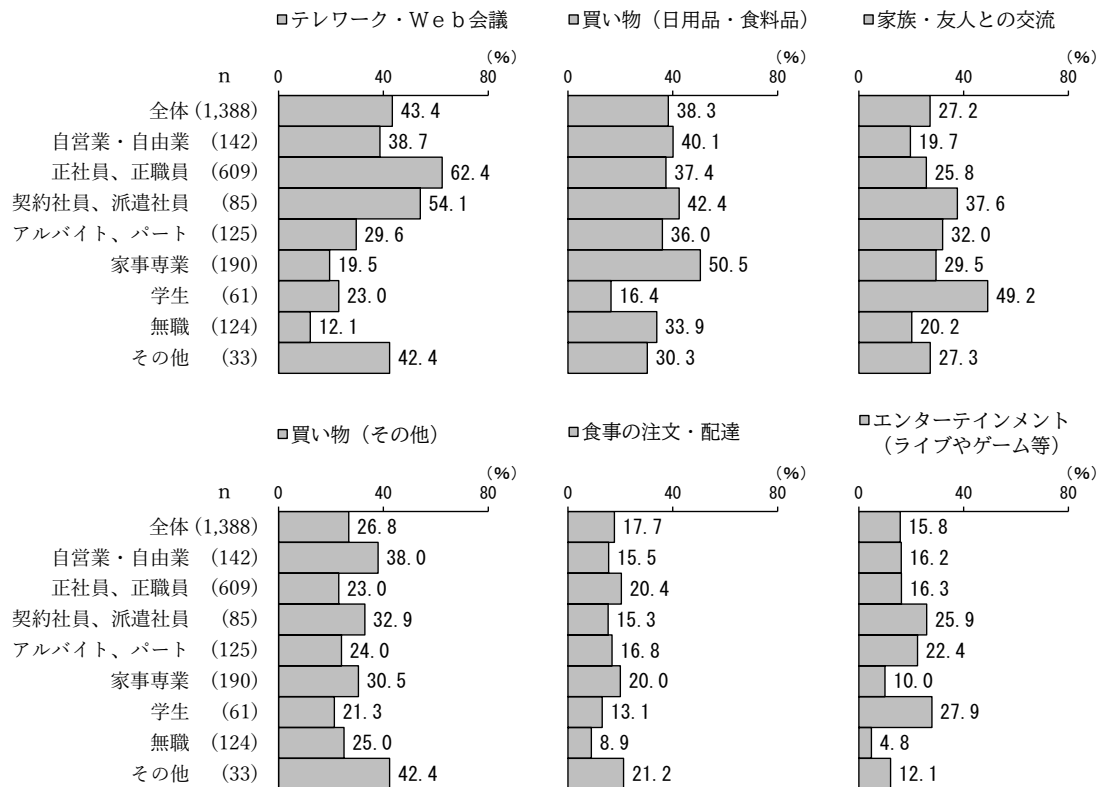
上位6項目について、性別で見ると、「テレワーク・Web会議」は、男性の方が女性より17.7ポイント高くなっている。一方、「家族・友人との交流」、「買い物 (日用品・食料品)」では、どちらも女性の方が10ポイント以上高くなっている。(図表6-30)

図表6-31 新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用する頻度・回数が増えたもの
(年代別) 上位6項目



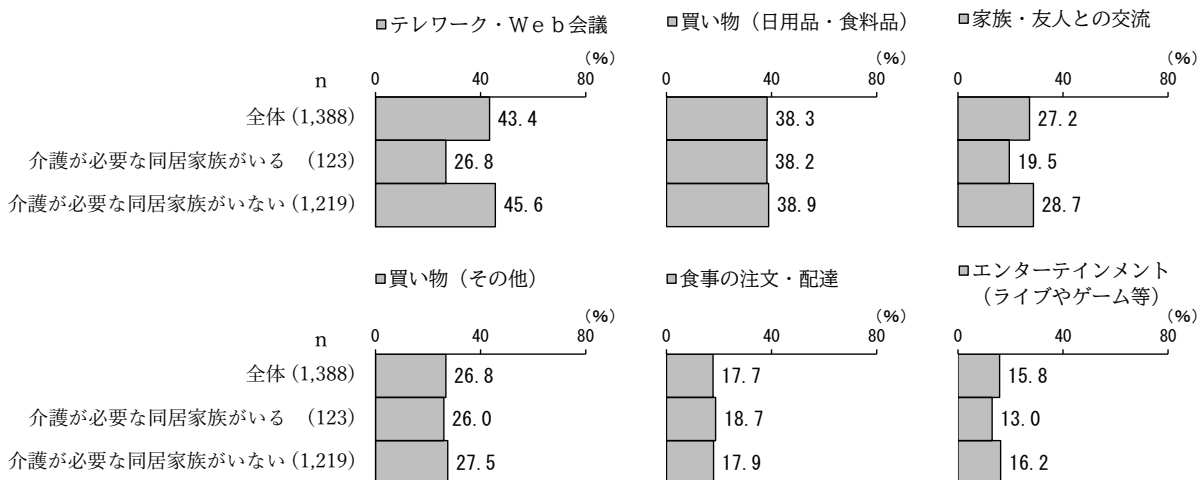
年代別で見ると、「テレワーク・Web会議」は、40歳～49歳で5割台前半と最も高くなっている。「買い物 (日用品・食料品)」、「食事の注文・配達」は、どちらも30歳～39歳で4割台後半、3割台と高くなっている。(図表6-31)

図表6－32 新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用する頻度・回数が増えたもの
(職業別) 上位6項目



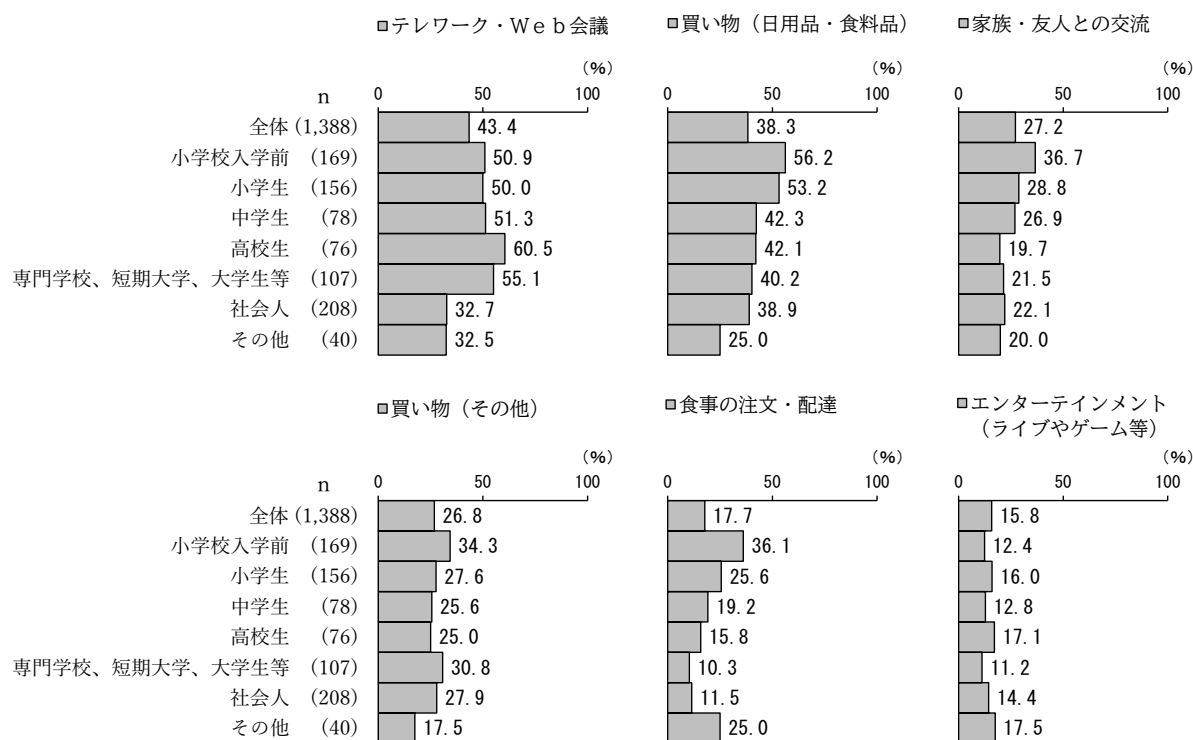
職業別で見ると、「テレワーク・Web会議」は、正社員、正職員で6割台前半と高くなっている。「買い物 (日用品・食料品)」は、家事専業で5割、「家族・友人との交流」は、学生で約5割と最も高くなっている。(図表6－32)

図表6－33 新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用する頻度・回数が増えたもの
(介護が必要な同居家族の有無別) 上位6項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「テレワーク・Web会議」では18.8ポイント、「家族・友人との交流」では9.2ポイント、介護が必要な同居家族がいない場合の方が高くなっている。(図表6－33)

図表6-34 新型コロナウイルス感染症拡大以降に利用する頻度・回数が増えたもの
(子どもの就学状況別) 上位6項目



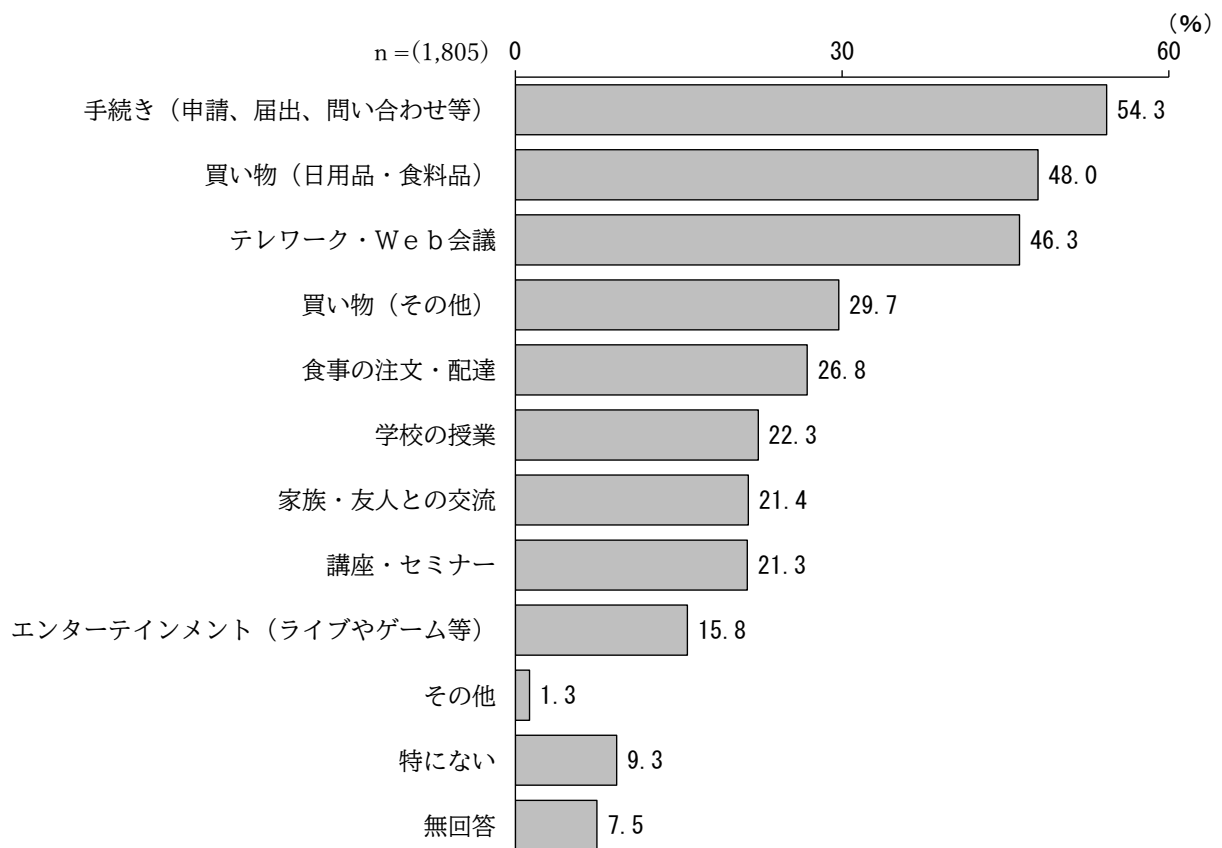
子どもの就学状況別で見ると、「テレワーク・Web会議」は高校生を持つ方で6割と最も高くなっている。「買い物 (日用品・食料品)」は小学校入学前を持つ方で5割台後半、次いで、小学生を持つ方で5割台前半と高くなっており、「家族・友人との交流」、「買い物 (その他)」、「食事の注文・配達」は、いずれも小学校入学前を持つ方が最も高くなっている。(図表6-34)

6－7 今後も利用が促進されるべきオンライン活動

◎ 「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」が5割台前半で過半数を超えている。

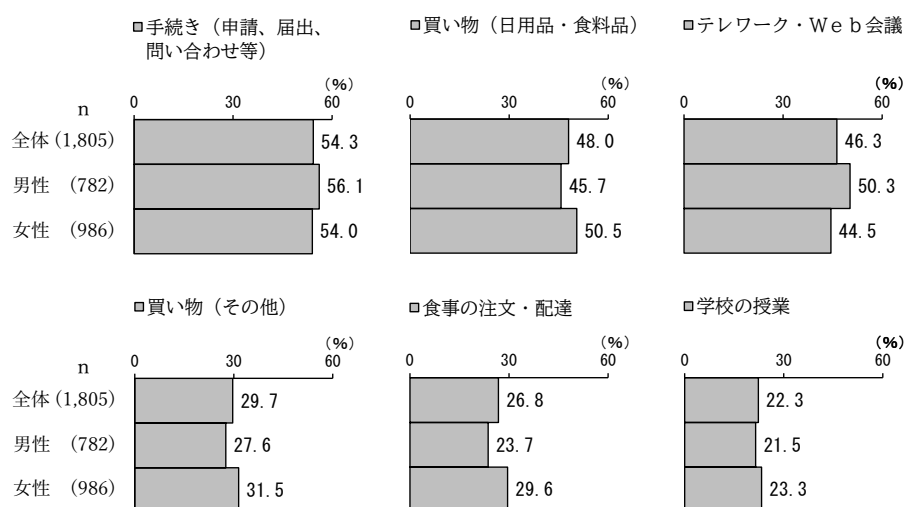
問25 オンラインによる様々な活動のうち、今後（新型コロナウイルス感染症を想定した日常において）も利用が促進されるべきと思うものに○をしてください（○はいくつでも）。なお「その他」を選んだ方は、カッコ内に具体的な内容を記入してください。

図表6－35 今後も利用が促進されるべきオンライン活動（複数回答）



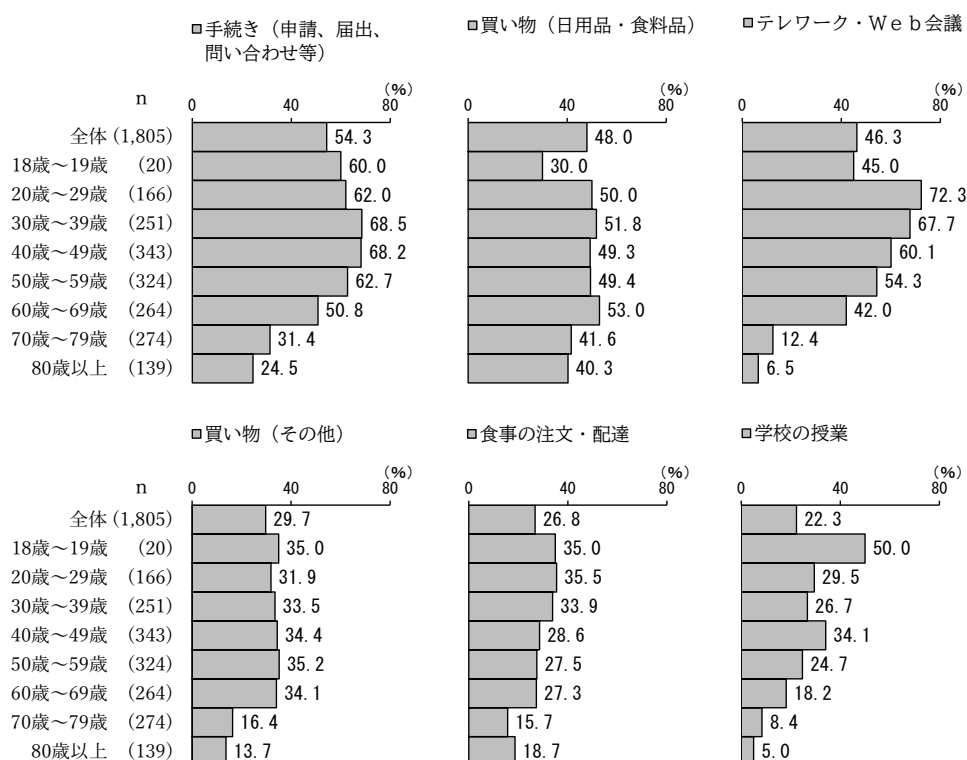
今後も利用が促進されるべきオンライン活動は、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」（54.3％）で過半数を超えている。次いで、「買い物（日用品・食料品）」（48.0％）、「テレワーク・Web会議」（46.3％）が4割台後半、「買い物（その他）」が約3割で続いている。（図表6－35）

図表6－36 今後も利用が促進されるべきオンライン活動（性別）上位6項目



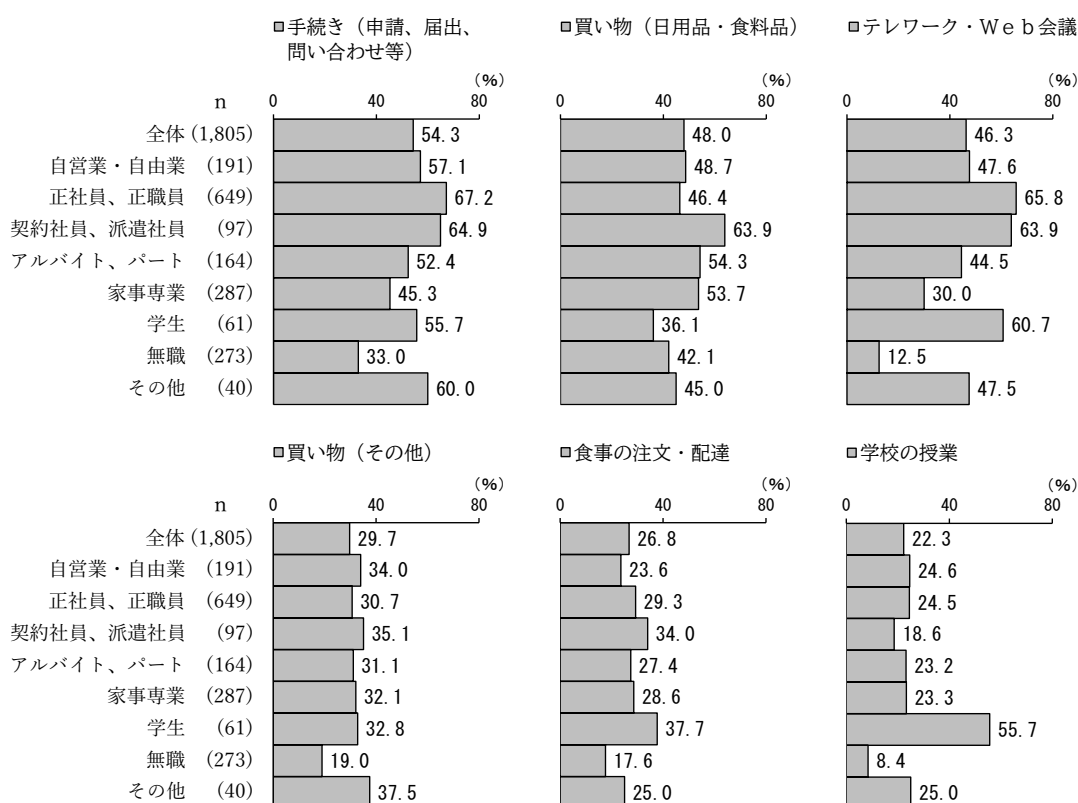
上位6項目について、性別で見ると、「テレワーク・Web会議」は、男性の方が女性より5.8ポイント高くなっている。一方、「食事の注文・配達」では女性の方が男性より5.9ポイント高くなっている。（図表6－36）

図表6－37 今後も利用が促進されるべきオンライン活動（年代別）上位6項目



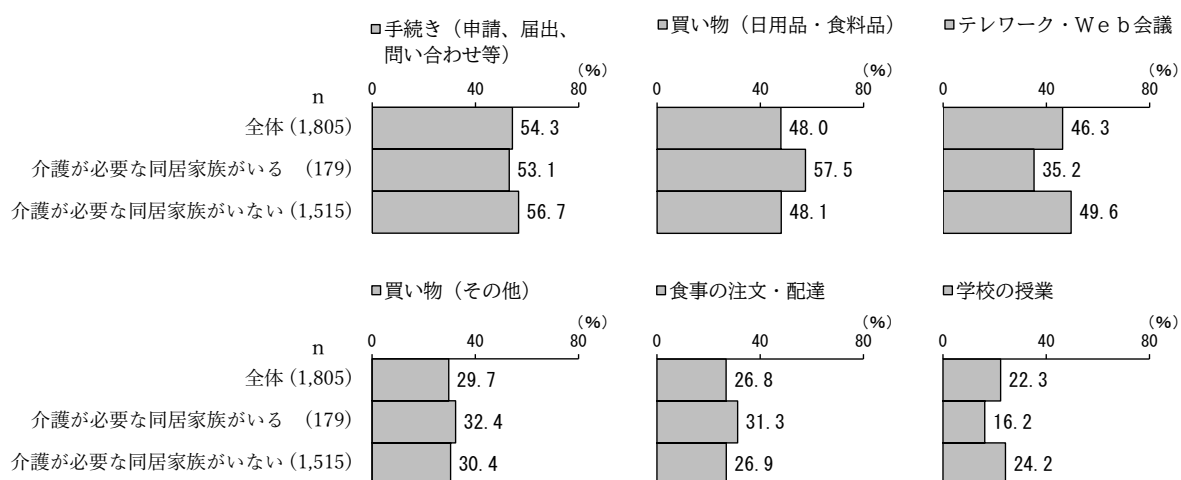
年代別で見ると、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」は、30歳～49歳の各年代で6割台後半と最も高くなっている。「テレワーク・Web会議」は、20歳～29歳で7割を超えて高くなっている。「学校の授業」は18歳～19歳で5割と最も高くなっている。（図表6－37）

図表6－38 今後も利用が促進されるべきオンライン活動（職業別）上位6項目



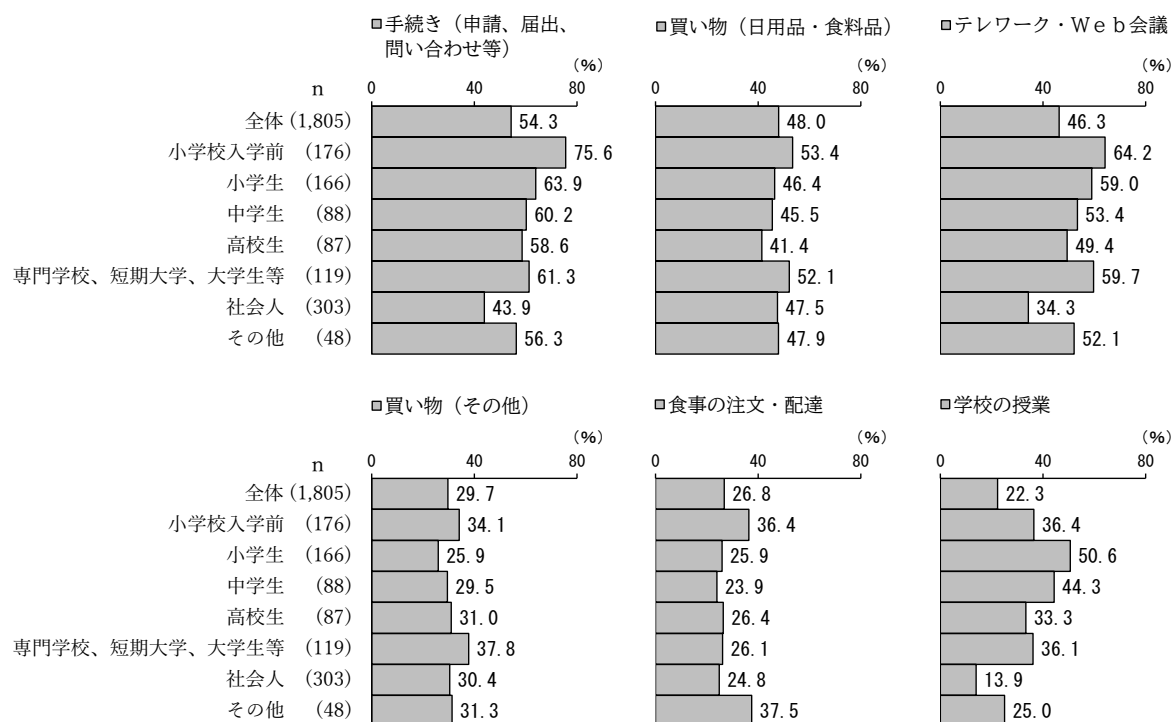
職業別で見ると、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」は、正社員、正職員で6割台後半、次いで、契約社員、派遣社員で6割台前半と高くなっている。「買い物（日用品・食料品）」は、契約社員、派遣社員で6割台前半である。「学校の授業」は、学生で5割台半ばと最も高くなっている。（図表6－38）

図表6－39 今後も利用が促進されるべきオンライン活動（介護が必要な同居家族の有無別）上位6項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「買い物（日用品・食料品）」では介護が必要な同居家族がいる場合の方が、いない場合よりも9.4ポイント高くなっている。一方、「テレワーク・Web会議」では14.4ポイント、介護が必要な同居家族がいない場合の方が高くなっている。（図表6－39）

図表6－40 今後も利用が促進されるべきオンライン活動
(子どもの就学状況別) 上位6項目



子どもの就学状況別で見ると、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」は小学校入学前を持つ方で7割台半ばと最も高く、「買い物（日用品・食料品）」は小学校入学前、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方で5割台前半と高くなっている。「学校の授業」は、小学生を持つ方が5割と最も高くなっている。（図表6－40）

7 市政についての自由回答

市政についての意見や要望、施策に対するアイデアとして506件の回答が寄せられた。一人の回答が複数の内容にわたる場合には、本文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分け、これを武蔵野市第六期長期計画における施策体系に沿って分類・整理した。なお、下記の項目に該当しない回答が37件あった。

寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋して掲載する。なお、固有名詞や長文等は一部省略等している。

7-1 健康・福祉(36件)

分類	内容	性別	年齢	地域
まちぐるみの支え合いを実現するための取組み	一人暮らしをしている 80 代の女性です。幸い今は健康に気をつけ、周りに迷惑をかけないことを心がけ暮らしていますが、病気や体力が衰えた時でも住み慣れたこの地、我が家でヘルパーの力を借りて生活ができればと願っています。このような状態になった時に助けていただけるシステムや体力が回復するまでステイできるような施設をつくってほしいです。	女性	80 歳以上	吉祥寺地域
	猛暑やコロナウイルスの影響で多くの規制が生じている中、街で見かける独り身の高齢者は日陰等がない炎天下で、1人で買い物等の用事で出かけられているのが心配で仕方がないです。健康のために散歩されているのなら仕方ありませんが、見守りやサポートを武蔵野市ならではのアイデアでつくりだしてほしいです。	男性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
生命と健康を守る地域医療充実への取組みと連携の強化	市内に特養はいくつかありますが、24 時間看護師が必要な人は有料ホームしか受け入れてもらえません。家族が都外の介護施設にいますが、有料ホームは料金が高く遠いので、経済的にも負担になります。介護施設の充実をお願いします。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	東町には入院できる病院がなく、吉祥寺南病院まで家族が通うのは大変なので、作っていただければありがたいです。母を介護していますが、介護用品を扱う店が少なく困っています。高齢者も増えている現状、充実した品揃えの店を誘致していただければ多くの方に喜ばれると思います。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	がん検診等の案内はありがたいですが、それぞれの病院への連絡を手間に感じてしまい、なかなか行けていません。いくつかまとめて受診できたり、予約だけでもオンラインで済めばありがたいです。	女性	40 歳～49 歳	中央地域

分類	内容	性別	年齢	地域
安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実	育児や福祉等困った時に気軽に相談できる友人等が地域にいない場合、行政へ相談したいと思っても誰に相談できるのかわかりません。気軽に相談してもよい場所、専門家をもっと広く伝えるべきです。	その他	30 歳～39 歳	中央地域
福祉人材の確保と育成に向けた取り組み	市民公園のボランティアで週 1 回作業していますが、メンバーが年を取り、現在は平均年齢 80 歳以上で 3 名となっています。「若い時にボランティアをして、これが点数として、後に自分が手助けを必要な時に使う」というシステムを在米中に知りましたが、何か楽しく、結果として自分に戻ってくる方法を考えてたと思います。	女性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
新しい福祉サービスの整備	全般に満足していますが、デイケア、デイサービス等の数と質がよくない印象です。市の方からすこし援助してあげてはいかがでしょうか。健常高齢者で一人暮らしの行き場所が必要です。予防事業は効果がみえにくいですが長い目でみれば、障害をもって介護される人の減少効果があると思います。武蔵野市でも早急に必要な機能だと考えます。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
	夫婦とも難病指定を受けて 2 人で生活しています。障害課の担当者にとってもよくしてもらっていますが、制度として家族全員が難病の場合、サービス時間の加算等を考慮してくださると助かります。	女性	70 歳～79 歳	中央地域
	軽度の障害者が成人した後のグループホーム等をもっと増やしてほしいです。入所体験等が重度の方に手厚いのは分かりますが、軽度と言えども、親亡き後の心配は大きいです。重度の方はそれなりに手当等もあるうえ市内の施設は殆どが重・中度対応です。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	長く在住している市民が優先的に入居できる介護アパート等が充実してほしいです。市がサポートしていると安心です。	男性	50 歳～59 歳	武蔵境地域

7-2 子ども・教育(53件)

分類	内容	性別	年齢	地域
子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	子どもに軽度の知的障害があるので将来が不安です。一人で暮らしていけるサポートの充実を期待しています。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	市立小中学校の教育に関してしっかり取り組んでほしいです。(特別支援も含めて) 文科省や東京都教育委員会の言いなりではなく、一人ひとりの子どもを大事にした内容を取り組むくらいの気持ちで実施してほしいです。	女性	80 歳以上	吉祥寺地域
	発達障害児を持つ親にとって、有益な情報(習い事教室や放課後デイサービス等の公的・民間療育サービス一覧)や利用者の声、療育の障害児福祉に関わりたい人のための情報の公開を望みます。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援	3 歳以上の認可外保育料は全額無償でなく上限があるので、認可保育園に入れなかった場合の負担が重いです。せめて 2 歳児までの認可外保育料の認可、保育料との差額補助というかたちで補助金を支給してほしいです。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	武蔵野市は広いので乳幼児を連れて指定された市の施設に連れていくことは難しいと思います。保育園について園数を増やす等対策をしてくださっていることは感謝していますがそれでも倍率が高く、保育園に入れられるのか不安が大きいです。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	高校生の医療費の無償化を早急に実現してほしいです。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	子どもが『遊べる』公園の充実を望みます。公園はあっても様々な禁止事項や、近隣の一部の住民の苦情により遊びのびと遊べない場所が多いので、その改善をしてほしいと思います。この改善によって市内の子どもの運動能力の向上も見込めると思います。	男性	18 歳～19 歳	武蔵境地域
子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実	子どもの発達支援を拡充するため、公務員として保育士、臨床心理士、理学療法士を採用してほしいです。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
子どもの「生きる力」を育む	セカンドスクール、ジャンボリーは武蔵野市の子どもたちにとって素晴らしい体験です。長く続いていくよう願っています。ジャンボリーで体験したことは、災害時にも役立つはずです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	次男が小学校に通学して 5 年間、ダウン症を理由に妻が同伴を強いられています。インクルーシブ教育の観点から妻が色々掛け合っていますが、合併症も無く、学校に行くことを拒んでいない息子に対して学校の意志は変化が感じとれません。通学路は親同伴でよいとしても、通学路以外の校内でサポートをつけることで母親の負担を軽減できる体制をとれないものでしょうか。	男性	50 歳～59 歳	中央地域
教育環境の充実と学校施設の整備	様々な理由で在籍教室にいられなくなった子どもが、保健室しか居場所がない、たまたま手の空いている教員しか対応できないという事態は、結果的に不登校にもつながってしまうと思うので、マンパワーの確保とスペースの確保は急務だと思います。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	小学校の授業について、必要な場合にオンラインで受けられるよう整えておく必要があると思います。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域

7-3 平和・文化・市民生活(104件)

分類	内容	性別	年齢	地域
多様性を認め合い尊重し合う平和な社会の構築	外国籍市民に対し、具体的にどのような支援活動を行っているか全く知りませんでした。近くに他の外国籍の方がいることを知らずに孤独感がありました。外国市民に対して、共同のイベントを開催してほしいです。	女性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	L G B T等を当たり前に受け入れられるような多様性に対応する施策をお願いしたいです。	女性	80 歳以上	吉祥寺地域
	英語でアクセスできる情報を増やしてほしいです。	男性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
災害への備えの拡充	災害時にペットと避難できる場所を明確化してほしいです。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	防災無線が台風や大雨等の時に特に聞き取りづらいので、文章ではなく単語で区切って伝える等してほしいです。警戒レベルに合わせてレベル1なら音を1回、レベル2なら音を2回鳴らすのもわかりやすいと思います。台風時にジェイコム東京むさしのシティニュースで地元のピンポイント情報がわかると安心なので、是非充実させて市民の皆さんに知らせてほしいです。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
安全・安心なまちづくり	市内に防犯カメラ設置がどのくらいあるのか知りたいです。犯罪が増えているように感じます。日常は平和なので犯罪に対する心構えが少ないことにつけこまれる気がします。	男性	60 歳～69 歳	中央地域
	エントランスのガラスが破られることがあったので、道路に防犯カメラを多く設置し、必要があれば見ることができるようにしてほしいです。	女性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
	高齢者を狙った詐欺電話が多すぎます。電話の近くに置いておけるクリアファイルや、防水シート等に対応の仕方をわかりやすく図化して印刷し、高齢者のいる家庭に配ってほしいです。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	吉祥寺駅周辺の客引きの排除をしてほしいです。	男性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	小学生の孫がいます。学童が終わって帰る時間（特にこれから暗くなるので）にも、見守ってくれる方がほしいです。	女性	70 歳～79 歳	中央地域
地域社会と市民活動の活性化	コミュニティセンターでフリーマーケットを開催したいです。してほしいです。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	子育て支援施設があるのは大変ありがたいですが、その場限りの関係で終わることが多いことがよく分かりました。地域に頼れる友人・知人がいると心強いと思うので、適度な繋がりを持つことができる子育てサークル等があるとよいと感じています。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
地域社会と市民活動の活性化	コミセンの活用率が悪いのではないのでしょうか。市に40年近く住んでいますが、個人が気軽に利用できる感じがしません。あらかじめ何かのコミュニティに参加してないと利用しにくいです。一人暮らしや子どもがいないとママ友等のコミュニティに入る機会がないので無縁です。図書館のように椅子を置いて本が読めたり、パソコンを置いて自宅に個室のない子どもが勉強できるようなコワーキングスペースのようなかたちの方が利用しやすいと思います。せっかく身近にあるのだから、市が積極的に改革してほしいです。	女性	50歳～59歳	中央地域
	年齢にかかわらず、幅広い世代の市民が気軽に入ることができ、広く社会に開かれたカフェのような公共空間があれば、皆にとって有益なものになると思います。様々な出会いや発見の機能を「カフェ的な空間」を活用して発揮する取組があれば賛同します。人と人とのつながりづくりや、情報発信の基地として地域の課題解決の実践、地域活性化といったまちづくり活動のさまざまな機能を担うコミュニティカフェがあればうれしいです。	女性	50歳～59歳	武蔵境地域
豊かで多様な文化の醸成	前から屋外でのコンサートやダンス発表等が少ないように感じていました。前に住んでいた自治体では、休日街角でミニ屋外コンサート等があったんです。私にとって、クリーンセンター横（グラウンド側）の雰囲気がよいので、ミニクラシックコンサートやジャズコンサートをしてほしいです。小さな屋台を出して、ワインと小さなおかずを出してもらい、立ちながら聞いてみたいです。	女性	40歳～49歳	中央地域
	文化的事案の活発化、オンライン等も利用して実現してほしいです。	男性	40歳～49歳	吉祥寺地域
	緑が多く、文化的な暮らしをするのに最適な街だと思います。東京都の中でも、特にアニメーション関係や漫画家等のクリエイターがたくさん住んでいるイメージがあるので、制作活動をするアーティストや作家に対する支援を強化すれば、より文化的芸術的な街として一層盛り上がると思います。	女性	30歳～39歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
多様な学びや運動・スポーツ活動の推進	プールの利用に困っています。開始と同時にトライしても繋がらず、予約ができません。当日の開始2時間前に行って待っているのですが、何とかしてほしいです。	女性	50歳～59歳	武蔵境地域
	東京武蔵野シティFCを、もう少しバックアップしてあげてほしいです。シティニュースで取り上げ、行政施設での試合日程告知、ポスター掲示、市転入者への券配布、スタジアムの整備等、Jリーグ昇格・参入なら、かなり市も盛り上がると思います。	男性	40歳～49歳	吉祥寺地域
まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興	市内限定で使えるプレミアム商品券を発行してほしいです。市内のみで使えるのであれば、資金が循環し、活性化につながるのではないのでしょうか。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
	吉祥寺の街に大型店しか入れなくなっている現状を心配しています。良心的な小さなお店がどんどん撤退してしまい、中央線沿線の吉祥寺の個性がなくなってしまうています。大型店は吉祥寺らしさを奪います。賃料が高すぎるのではないのでしょうか。コソコソ頑張る小さなお店を応援してあげてほしいです。街歩きが楽しくなければ人は来ないと思います。若者だけでなく、大人にも楽しめる街になってほしいです。	女性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	都市の緑地化をしてほしいです。自給自足の生活は田舎や地方だけのものではありません。東京の都市でも自給自足ができる環境づくり、農業斡旋、地産地消が必要です。自分の住む地域で生活の全てが補えるのが理想です。自給自足、都会を田舎化し理想を現実にしてほしいです。私は飲食の仕事をしていますが、店で提供する食材である野菜はできる限り地産地消を心がけ、近所の農家の野菜を使っています。もっともっと地域の農業が活性化すればよいと思います。農家の野菜を食べて育った子どもたちが、将来農業を目指すなんて素敵ではないのでしょうか。	女性	30歳～39歳	武蔵境地域
	農地に対する減税措置がなくなることにより、住宅に変わることが予想されます。	男性	30歳～39歳	武蔵境地域
	国内で唯一無二的な街である、吉祥寺という観光資源をできる限り活かし、武蔵野市の維持発展に力を入れてほしいです。個性を伸ばすために大型店の出店を規制し、個性的な商店や街並みが充実できるようにしてほしいです。	男性	40歳～49歳	武蔵境地域

7-4 緑・環境(74件)

分類	内容	性別	年齢	地域
刻々と変化する環境問題への対応	木の花小路公園の看板に、池にホタルが生息している旨が記載されていますが、家で飼育するザリガニを放流している人を何度か見かけました。ザリガニ放流の禁止の看板を立てていただきたいです。	女性	18 歳～19 歳	吉祥寺地域
地球温暖化対策の推進	地球温暖化が叫ばれる中、海外に目を向けると、生ゴミを燃えるゴミとして出すのは禁止するなどの事例もあります。他県では家庭用の生ごみ処理機も市が販売しており、家庭内で出るゴミの削減を推奨しています。このように、まずは生ごみ処理機の販売や推奨など、徐々に始めていってほしいです。	女性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
「緑」を基軸としたまちづくりの推進	公園の杉の木他、伸び放題で冬場日当たりが悪く布団も干せません。電話や要望をしても何もしてくれません。一番太陽がほしい時の日陰は辛いです。また、伸び放題も見え目が悪く、カラスが巣を作りペランダに飛んでくるので怖いです。	女性	70 歳～79 歳	中央地域
	武蔵野市に居住 60 年、満 90 歳の老夫婦です。60 年前と比べ、道路や下水道、ゴミ処理など格段に整備されましたが、反面緑は減少しました。「緑多い武蔵野市」のため、これ以上減少しないよう維持に努めてもらいたいです。	男性	80 歳以上	中央地域
	武蔵野市を代表する吉祥寺駅（特に北口側）の緑化につとめてほしいです。井の頭公園の緑で十分に樹木があるイメージですが、駅を象徴するようなシンボルツリー、吉祥寺大通りの緑化をさらに進めてほしいです。緑化に伴うメンテナンス（特に落葉の清掃等）に市税が使われることを支持します。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	緑が多く落ち着いていて、素敵なお店もあるよい街だと感じています。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	武蔵野プレイスの北側の広場は、以前は芝が植えてありましたが、今は土のままです。以前のように芝にするか、ちゃんと整備をしてほしいです。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
省エネルギー・省資源型の持続可能な都市の構築	有料のレジ袋と同じように、レジに有料の武蔵野市ごみ袋を置くと、よりレジ袋削減効果があると思います。現在の緑のごみ袋では買い物袋として目立ってしまい使いにくいので、ベージュ等落ち着いた色にするとよいと思います。どこかの自治体で行われている取組であり、非常によいと思ったのでぜひ武蔵野市でも検討してほしいです。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
様々な環境の変化に対応した良好な生活環境の確保	騒音対策、特にヘリコプターの航空法違反の低空飛行について何らかの手を打ってほしいです。	男性	40 歳～49 歳	中央地域
	歩きたばこ・ポイ捨てがまだまだ多いので、パトロール強化、厳罰化を望みます。	女性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域

7-5 都市基盤(121件)

分類	内容	性別	年齢	地域
個性あふれる魅力的な地域のまちづくり	電柱の地中化を望みます。災害時や災害後の電力の安定のため、また散歩中の犬の尿の問題において、電柱が地中にあるとよいです。	女性	60歳～69歳	吉祥寺地域
	タワーマンション建築を禁止してほしいです。災害時の崩壊の危険、人の混雑があり、景観を損ねます。空き室増加による幽霊マンションの可能性等、将来的に様々な問題が発生すると思います。	男性	50歳～59歳	武蔵境地域
	吉祥寺駅への自動車・自転車の流入制御(休日)する社会実験をしてほしいです。都市計画はソフトウェア志向であるべきです。ハード(建物や再開発)で町おこしをする発想はもはや時代にそぐわないです。脱ハードのソフト志向でいくべきです。吉祥寺駅南口再開発については中止を提案します。この計画は完全にバブル時代の負の遺産で、時代錯誤も甚だしいです。ハードに頼った駅前集中的な発想は捨てるべきです。	男性	40歳～49歳	吉祥寺地域
将来にわたり持続性ある都市基盤づくり	LED街路灯整備計画に基づき、街路灯を蛍光灯から切り替えつつあることは承知していますが、LEDへの切り替えにより場所によっては車の運転時にまぶしく、運転に支障が出たことがあるので、改善をお願いしたいです。	男性	60歳～69歳	吉祥寺地域
	武蔵野市の水道水はおいしいです。水道事業を民営化しないでほしいです。	男性	80歳以上	吉祥寺地域
	水道に関してインフラ整備が必要だと聞いたことがあるので、なるべく早い段階で整備しなおしてほしいと思います。	男性	30歳～39歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
誰もが利用しやすい交通環境の整備	バリアフリーを推進してほしいです。足を骨折した時には段差と坂、路面のでこぼこにより車椅子の操作に苦労しました。健常者の視点だけで判断せず、障害のある方の意見を十分取り入れた施策が必要だと感じます。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	中央線沿線の駅のホームドア設置（人身事故防止）を要望します。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	駅周辺の歩道における自転車走行の危険性の除去について、対策が取られていないと感じます。駐車違反の監視員のような制度を導入し、歩道での危険走行を指導するとか、駅周辺の一定エリアを「押し歩きエリア」として指定して、警察と連携して危険走行を取り締まったり、押し歩きを指導するなどの取組が必要だと思います。	男性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	ムーバス路線の見直しをしてほしいです。日常生活で買い物、病院、仕事、役所等バスが必要な地域の運行がないのはとても不便です。境西、境東小金井循環は駅近にもかかわらず路線が重複しているので、廃止等の見直しを要求します。現在運行していない桜堤、緑町の路線運行をお願いしたいです。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	駐輪場利用の制度変更に反対です。なぜ一時利用を増やして、定期利用の通勤者の分を減らすのか、あまり意図される効果はないと思います。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	三鷹駅付近の駐輪場が少ないです。特に一時利用しようとしても、すぐに満車になってしまい、なかなか停められず時間がかかり、とても不便です。	女性	30 歳～39 歳	中央地域
	自転車運転者に対するマナー啓発および悪質な運転に対する取締りを強化してほしいです。	男性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
	バス通り等は歩道を走る自転車が多く、安全に利用できる自転車専用レーンがほしいです。	女性	60 歳～69 歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
安全で快適な道路ネットワークの構築	井の頭道路は避難道路になっているはずなので、道路に沿った建物の老朽化も含めて、バスターミナルや道路等、吉祥寺駅南口の開発をするべきです。吉祥寺駅駐車場を作ってほしいです。三鷹駅北口ロータリーに信号を作ってほしいです。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	道路は出来る限り吸水性の高い舗装にするべきです。少しでも地面に雨水を吸わせてあげないと地球が可哀相です。	男性	80 歳以上	吉祥寺地域
	昨今のゲリラ豪雨で、雨量の多い際に歩道一杯に水溜りができたりして、水はけが悪い箇所が見られます。排水溝の整備等を進めていただけるとありがたいです。	男性	20 歳～29 歳	武蔵境地域
	防災や福祉で一番重要なことは消防車、救急車、福祉の車が家の前までやって来られることですが、武蔵野市は道路幅が4メートル未満の道路が多く、その対策が全く進んでいません。杉並区のように条例で4メートル道路の確保を決める必要があります。至急制定をお願いします。	男性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
安心して心地よく住み続けられる住環境づくり	武蔵野市に30年住んでおり、他と比べてとても住みやすく、きれいで、治安もよいです。しかし、住宅の家賃等がとても高いです。子育て世代の友人の中には転出して住居を買った人が多かったです。皆、武蔵野市は住みやすいが、家を買えないとのこと。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	マンション等高層住宅の増設により、かつての緑に囲まれた静かで落ち着いた住環境が残念ながら破壊されてしまっています。また、新市民の増加により、市財政の圧迫も懸念されます。従って、今後、マンション等の新增設は極力抑制して、これ以上の環境悪化を防ぐとともに、市人口の増加要因も抑制していくことが肝要と考えます。	男性	70 歳～79 歳	中央地域
	今でも新たな住宅が次々に建っていますが、人口増に伴うインフラやサービスの整備が追い付いていない印象を受けます。	男性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり	サンロードの整備をしてほしいです。昔は高級スーパーがありましたが、現在は安売りの店ばかりで、もう少し高級志向の店を増やした方が吉祥寺のイメージアップにつながります。吉祥寺駅周辺の景観整備をしてほしいです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	三鷹駅周辺の商業施設を増やしてほしいです。	女性	60 歳～69 歳	無回答

7-6 行財政(81件)

分類	内容	性別	年齢	地域
市民参加と連携・協働の推進	この市は治安が良く、元気で優しい年配の方、何か得意なものを持った方がたくさんいると思います。フリーマーケットアプリのお手伝いバージョンのように、自分の得意なことを市に申請し、働いたら決まったポイントがたまり、自分が助けてほしい時にそのポイントを使う等はどうかでしょうか。労働をポイント化する基準は難しいかもしれませんが、そのことにより地域の中で挨拶が増え、助け合いが自然にでき、市の財政に頼らなくても、人と人との助け合いで生活が営めるようになっていくのではないかと考えます。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
効果的な広報・広聴の仕組みづくりとシティプロモーション	広報はいつも目を通していますが、引越してきてすぐコロナで大変な時期だったので、正直、市政や市の活動についてよく分からずにいます。市のホームページやYouTube等もチェックしていこうと思います。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	市のホームページの検索が役に立ちません。吉祥寺東町農業公園受講の募集告知を知りませんでした。公園を利用している人にも分かるように、公園にある掲示板に掲示してもよかったのではないのでしょうか。今後は利用してもらいたいです。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	市のたばこポイ捨て禁止マーク、吉祥寺駅のクリスマスイルミネーション等、公的に多くの人の目にふれる物については、コンペにした方がよいと思います。市のホームページを改善してほしいです。他の自治体（23 区）を参考にしてほしいです。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
公共施設等の再構築と市有地の有効活用	武蔵野市民文化会館の利用が、ほとんど主催事業により埋まっているため、ほとんど利用できません。もしくは、競争率が高く予約が困難です。もう少し市民活動のために配分してほしいです。	その他	40 歳～49 歳	中央地域
	武蔵野市の商工会館は非常によい場所にあります。私は会館の近くに住んでいるので、展示場の前を通りますが、展示品を立ち止まってみる人が全くいないので残念です。もっと活用できないでしょうか。市のためになるように、個人でも学生でも利用できるように考えてもよいのではと思っています。	男性	80 歳以上	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
社会の変化に対応していく行財政運営	住民税の減額、武蔵野市独自の個人向け給付金を検討してほしいです。	男性	30 歳～39 歳	中央地域
	農業をしていない農家の農地（農家が家庭菜園している土地）への固定資産税を課税してほしいです。議員定数を半分にして半分はボランティアにしてほしいです。	男性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
	市長・議会のオープン化を提案したいです。例えば市長定例会見を毎週行い、何の仕事をしたかを市民に報告、市議会を生放送し議員・市長・役人発言の同時字幕対応、翌日速記録、WEB公開するなどしてほしいです。また、小さな市役所にして基幹的な業務以外は役人の仕事を減らしていく発想を入れるべきです。市民の自治能力（参加意識）を引き出す政策をすることで、市民が自治に参加する意識を引き出す政策を拡充すべきだと思います。	男性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	各申請書の手続きが複雑すぎて、項目について分かりにくいです。役所言葉は通常の言語ではありません。言葉だけでなく「市民本位」の徹底をしてほしいです。職員の都合や業務効率を優先するのではなく、市民の気持ちや立場が考慮されるべきです。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
	市政に限らず、行政手続きのオンライン化は必須です。またオンライン手続き利用にあたって、都度異なる手続き方法（マイナポイント、10 万円給付手続き）は改めるよう、管轄省庁とも協議する必要があります。特にマイナンバーカードを使った行政手続きの簡素化は、スピード感をもって行うべきです。	男性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
多様な人材の確保・育成と組織の活性化	市役所受付のモラル向上、出向くたびに私語が多く、私本を読んでいる時があります。窓口担当者の知識武装、スキルアップ、マイナンバーカードの更新に出向いた際、ポイントカードのチラシがあったので聞くと、私はすでに所有しているが、マイナポイントキャンペーンは今からマイナンバーカードを作成する人しか該当しないと否定される等、十分な説明ができていませんでした。	男性	60 歳～69 歳	中央地域

8 新型コロナウイルス感染症についての自由回答

新型コロナウイルス感染症についての意見や要望、施策に対するアイデアとして430件の回答が寄せられた。一人の回答が複数の内容にわたる場合には、本文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分け、調査票（アンケート用紙）問20の1～32の施策ごとに分類・整理した。なお、下記の項目に該当しない回答が30件あった。

寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋して掲載する。なお、固有名詞や長文等は一部省略等している。

8-1 経済的支援策について(55件)

分類	内容	性別	年齢	地域
特別定額給付金 (1人当たり10万円給付)	特別定額給付金は、支給が円滑かつ迅速でした。職員の皆さんの頑張りに感謝しています。	女性	50歳～59歳	武蔵境地域
	10万円の給付金は4月末時点で生存していることが対象でしたが、コロナ禍が続く中、他自治体の取組のように5月以降の出生児に対しても給付金の支給対象としてほしいです。	女性	30歳～39歳	武蔵境地域
武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金	武蔵野市内、特に吉祥寺地域に多くある、チェーン店ではない飲食店への経済的支援を強化してほしいです。吉祥寺の魅力のひとつとも言える個人経営の店がなくならないよう対策が必要だと感じます。	女性	18歳～19歳	中央地域
	武蔵野市内在住ですが、近隣市区で個人事業を行なっています。武蔵野市に限らず、コロナの助成金関係はこちらから積極的に探さないと見つけれられないようなアナウンスのものが多かった印象です。実際に知り合いの自営業者では、適合する助成金に気づいていない人が数人いました。	男性	40歳～49歳	武蔵境地域
市税等の支払い猶予	年金生活者への税金軽減を考えてほしいです。	男性	70歳～79歳	中央地域
	税金の猶予ではなく免除にはならないのでしょうか。税金の重要性はわかりますが、税金で生活の首を絞めていては元も子もないように思います。	男性	30歳～39歳	吉祥寺地域
中小企業者等テナント家賃支援金	主人がテナント料を払っている自営業で、国の支援の他に市でも補填しているようですが、37万5千円以上のテナント料制限があり、20万前後のテナント料の零細業は対象となっていないようです。市独自の支援を希望します。	女性	70歳～79歳	中央地域
商店会活性出店支援金	駅前の飲食店等の閉店が相次いでおり、街全体の活気が今後低下していく事が強く懸念されます。事業者の積極的な支援と誘致により、魅力的な街づくりに取り組んでいただきたいです。	男性	30歳～39歳	武蔵境地域
国民健康保険税の減免	コロナで生活が困窮しています。国民健康保険が払えません。税金が払えません。	女性	60歳～69歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
その他の経済的支援策	感染症による経済的支援をすることにより、個人が支払う税金が増えるのではないかと心配です。	男性	60 歳～69 歳	中央地域
	感染拡大防止という事情は理解しているので、状況をみて友好都市への市民宿泊助成を再開してほしいです。	男性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
	国で対応できていない細かいところ、持続化給付金の給付対象からはもれているが、コロナウイルスの影響を受けている人に対応してほしいです。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	他区では、新型コロナ対策として、全区民に一律 12 万円給付とのことですが、武蔵野市も同じく全市民に給付を考えてほしいです。現時点で税金が平等に使われているとは思えません。税金ばかり徴収されて、恩恵を受けられていません。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	非正規雇用者への武蔵野市独自の給付金を手厚くしてほしいです。	男性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	コロナ禍において様々な支援・給付金等がありますが、まだまだ漏れている職種というのはあるように思います。全員に一律にということではなくてよいと思いますが、収入の減少に応じた独自の救済処置があるとうれしいです。	男性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
	個人店等は経営が難しくなっていると思うので、食料品店や農家等の食材をオンラインで買えるような仕組みがあるとよいと思います。こういった取組で地産地消も促せますし、個人経営者の手助けにもなると思います。	女性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	家賃を減額している大家への給付金支援をしてほしいです。	女性	50 歳～59 歳	中央地域

8-2 健康福祉支援策について(205件)

分類	内容	性別	年齢	地域
感染者数の公表	感染者数の発表をやめて、重症者数と医療体制の状況と重症者が年代別にどれくらいいるのかを毎日発表するのであればしてほしいです。マスクを外して生活できる日を待ち望んでいます。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	感染者の感染経路の情報を公開してほしいです。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	市のどのあたり、特に商業施設や老人ホーム、学校等で、感染者が出たか、詳しく教えてほしいです。また男女比、年代別も教えてほしいです。	女性	60 歳～69 歳	中央地域
市独自PCR検査センターの設置	検査は自家用車に限らず、屋外で簡単にできるようにしてもらいたいです。保育園等、接触が避けられないところでは、定期的に検査や感染対策の実施状況調査をしてほしいです。	女性	20 歳～29 歳	中央地域
	介護、看護従事者に対するPCR検査の実施が必要です。	男性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	PCR検査の数が少なく、自費でできる病院だと金額が高いので、もう少し安くしてもらえれば自費で気軽に受けたいと思っています。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	PCRとワクチンが無料でできるようにお願いします。	男性	70 歳～79 歳	中央地域
	PCR検査拡充、充実、医療施設の拡充が必要です。冬期インフルエンザとのダブルパンチに備えて十分な準備と、対応のシミュレーションを行っていただきたいです。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
妊婦へのマスクの独自配布	ちょうど妊婦だったため、マスクの配布はとてもありがたかったです。	女性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
	妊婦向けに現在もマスク配布されていますが、市場流通量が確保された時点で、代替案に切り替えてもらえたほうがありがたかったです。	男性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布	マスクの次に使い捨て手袋を支給してほしいです。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	コロナが原因で介護施設にマスクと手袋が入ってきません。病院同様、介護施設も優先的にしてほしいです。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
住居確保給付金	周辺の市に比べて家賃が若干高いかなと思います。独身者もしくは低所得者に一時的な補助をしたらどうでしょうか。金銭的な部分で現金ではなく、券等を検討することは可能でしょうか。	男性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
福祉体制を維持するための支援金や慰労金	医療従事者や施設、困っている人たちに、市で寄付の制度をつくれればいいと思います。一人 100 円でも 1,000 円でも、同じ市民を助けられるなら、シニアの豊かな人や、余裕のある人が手助けをすると思うし、私もわずかでも寄付したいと思います。	女性	60 歳～69 歳	中央地域
	近隣市区ではコロナ禍の中、介護施設で働いている職員にクオカード 5,000 円分支給されましたが、武蔵野市は行わないのでしょうか。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
その他の健康福祉支援策	発熱した場合、かかりつけ医からは指定の相談窓口で電話するよう言われていますが、すぐに電話がつながるのか不安です。これからインフルエンザや風邪で発熱すること多いと思うので、もしそうになったら不安です。	女性	70 歳～79 歳	吉祥寺地域
	もし陽性と判断された場合のわかりやすいガイドラインの提供を望みます。ワクチンができた場合には、予防接種の助成等を検討してほしいです。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	保健所の設置と保健所業務の拡充をしてほしいです。PCR 検査を抜本的に拡充してほしいです。訪問介護の仕事をしていますが、毎日不安を抱えながら仕事をしています。施設介護の方ばかりでなく、私たちにも目を向けてくれればありがたいです。	女性	60 歳～69 歳	中央地域
	対策が緩い店舗をよく見かけますので、武蔵野市として抜き打ちチェック等を行っていただきたいです。	女性	30 歳～39 歳	中央地域
	汚れたマスクを捨てるごみ箱を置いてほしいです。	男性	70 歳～79 歳	中央地域
	マスクをし忘れたときのための、マスク専用の自販機が改札口の側にあるとよいと思います。コンビニや遠くの店舗に行くのは時間制限があるため、改札口の側にあると助かります。	女性	60 歳～69 歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
その他の健康福祉支援策	検温データの収集について、毎朝検温し、サイトやアプリを活用して市に報告するシステムの新設を希望します。市民の意識喚起、体調管理の習慣化に繋がるとともに、市としても感染拡大の未然防止策に活用できると考えます。高齢者の独居家庭への買い物・宅配ボランティアについて、ボランティアは登録制、FAXやメールで買い物の内容と予算を受け付けるなどはどうでしょうか。学校の放課後の消毒作業ボランティアについて、月～金曜日の同じ時間に集まれる人が行くとよいと思います。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	医療機関や介護施設に入院・入所している家族との面会ができないため、入所していた家族が帰ってきたときには、本人が認知症になってしまっているケースが多くあると思います。院内、施設内でテレビ電話のような形で面会ができるシステムがあれば、皆さんも助かるのではないかと思います。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	ワクチンが完成した折には、全市民に無償でいち早く与えてほしいです。	女性	70 歳～79 歳	中央地域
	今後、市民がマスク、消毒液等が市内で手に入らない事態が発生した場合に備えてほしいです。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	保健センターの余裕ある人員配置、医療従事者へのスペシャルケアが必要だと思います。エッセンシャルワーカーに対する感謝を、市全体が何らかの形をもって提示していただきたいです。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	感染が拡大した場合における、入院・自宅療養以外の療養場所を確保してほしいです。一人暮らしの方が、コロナに感染して自宅療養する際の生活全般の支援、特に食事や体調管理等をしてほしいです。	女性	50 歳～59 歳	中央地域
	もし感染したときどうなるのか、どうしたらよいのかフローチャートのような見て、すぐわかるものがほしいです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域

8-3 子育て支援策について(24件)

分類	内容	性別	年齢	地域
学校のICT学習環境の拡充	子どもが公立中学校へ通っていますが、休校中にオンライン等での授業やサポートが全くなく、市としてのIT体制の遅れや脆弱性を痛感しました。財政的に可能なら、一刻も早くIT体制を整え、公立小・中・高校、大学へのサポートを行うべきと考えます。コロナが収まったとしても、再度新たな前代未聞の事態が起きる可能性は高いと思います。私立と公立間の格差のみならず、世界的にみても日本の国力低下にもつながる由々しき問題だと考えています。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
学校・学童クラブの休校や保育園の休園	2人の乳幼児を子育て中の共働き世帯です。緊急事態宣言の発令に伴い保育園が休園となり、対応に苦労しました。子どもたちが通う園は、市の方針に沿って保護者がともにエッセンシャルワーカーの場合のみ保育を検討とのことでした。これに該当しない我が家は、夫婦で有給休暇等を駆使して2カ月間なんとか乗り切りました。会社側の対応、在宅勤務・特別休暇等が整っていない中で、子どもの預け先を失っては、核家族・共働き世帯としては家庭が回らなくなってしまいます。今後もし同様の事態が発生した場合は、柔軟な対応を検討していただけないでしょうか。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
子育て世帯への臨時特別給付金	様々な施策があったことを知りましたが、所得制限があり、日頃から補助金等はありませんでした。この度の子育て世帯への臨時特別給付金は、子育てしている同じ状況の世帯でもらえる、もらえないというのは不公平だと思います。	女性	30歳～39歳	吉祥寺地域
	武蔵野市の経済活性化や、よりよいまちづくり、子育て世代への支援として、武蔵野市内のみで使用できる商品券を「子育て世帯への臨時特別給付金」として子ども1人につき5万円の配布を提案します。 「子育て世帯への臨時特別給付金」は通帳への送金であったので、貯蓄へまわったり、受給した感じがあまりしませんでした。商品券として使用できればWin-Winになれます。今回一番、新型コロナに対して影響を受けたのは子育て世代です。	男性	40歳～49歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
ひとり親家庭等 支援臨時給付金	ひとり親への給付金はとても感謝していますが、現況届の提出を、平日に仕事を休んで行くのは大変なので、コロナウイルスの感染予防のためにもオンラインや郵送可にしてほしいと思いました。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
その他の子育て 支援策	5 歳以下の子どもにマスクは不要と出ているにもかかわらず、幼稚園でマスクを強要するのはなぜでしょうか。小学校でも学校給食中に友達と口もきかずに食べることが、子どもたちの心身ともに健全な発達にどのように影響するのか、統計をしっかりと見てほしいです。マスクをすることで、子どもも大人も体のあちこちに不調がでてきています。利益に関係なく、正しいことを発言している医師や専門家の話をもっとしっかりと聞いた上で判断し、対策をしていただけるよう強く要望します。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域

8-4 その他の支援策について(116件)

分類	内容	性別	年齢	地域
公共施設の休館	外出禁止の時期、コミセン等での子どもの交流の場が皆無だったので、子育てが非常に孤独に感じました。引っ越してきたばかりだったため尚更でした。	女性	20 歳～29 歳	武蔵境地域
	緊急事態発令が解かれた後も図書館の利用が制限されたのは残念でした。市の関連施設では、個々の事情もあるのに、一律な対応が取られたのはやや滑稽にみえました。事情に応じた対応をするべきです。	男性	70 歳～79 歳	中央地域
	妻のやっているママさんコーラスの練習がコミセンでできなくなり困っています。他の自治体では許されているそうで、感染対策のルールを明確化した上で、早期に使えるようにしていただきたいです。	男性	70 歳～79 歳	吉祥寺地域
	コロナウイルス感染症拡大防止のため、市の有料施設の定員を2分の1にするなら、施設使用料も2分の1にしてほしいです。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	健康促進の運動施設が不足しています。現在、体育館ではバドミントンや卓球は毎日できますが、他のマイナースポーツはできません。コロナ流行以前は夜間に小中学校の体育館を使用できましたが、現時点では利用できません。シニアにとっては筋肉の衰えが激しくスポーツができなくなっており、やめる人もでてきました。近隣市区のように地区ごとに小さめの体育館をつくってほしいです。また、コミュニティセンターの利用は市民を優先してほしいです。	女性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
統一的な対応方針の公表	市の政策が全くわからないため、わかるものを作ってほしいです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
その他	室内で家事等を行いながらできるようなことがあればイラストにいただき、各戸への配布やネットに公開したり、正確な最新情報を駅や公共施設等に掲示してパトロールの際に音声で流してもらえるとよいのではないのでしょうか。わからないと不必要に不安になり、感染した人を差別する言動を助長する原因になると思います。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	新型コロナウイルス接触確認アプリ（C O C O A）と連動した市の対応等はあるのでしょうか。（例えば、市民が接触と判断されたらスムーズな検査までのルートが確保される、補助等について）。またそういう情報について、結局どのメディアの何を見るのが一番いいのかよくわかりません。T w i t t e r の武蔵野市コロナ関連専用アカウントはあるのでしょうか。市には困っている人を助けていただけるような対応、情報発信を望みます。	男性	30 歳～39 歳	中央地域
	電子的な手続きの充実化が必要です。コロナの状況下でマイナンバーカードを市役所にとりに行く必要があったのは抵抗がありました。電子的な申請と郵送で完結できるとよいのではないのでしょうか。	男性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	普段から福祉や医療に公費を多く投入している状況で、コロナ対策での異常なほどの公費追加投入はいかなもののでしょうか。福祉や医療は普段から潤沢に投入されている公費があるのだから、それをベースにコロナへの対応をしてもらい、最も被害の大きかった文化やスポーツ、地元商業への支援を手厚くすべきです。感染者数だけで大騒ぎするのではなく、冷静な対応を求めます。コロナ感染は防ぎたいものですが、失業による死者数を増やさない対策も大事です。文化やスポーツ等が消えたことで、若者を中心に潜在的うつ病患者が増えている状況を、冷静に捉えることができているのか疑問です。	男性	40 歳～49 歳	中央地域
	吉祥寺駅周辺の商店街の安全性について。人が混みすぎます。	女性	60 歳～69 歳	中央地域
	ペットボトルの回収日を以前の毎週 1 回に戻してほしいです。コロナ禍において家にいる時間と人数が増え、ペットボトルがいつもの倍以上に増えているため、マンションのゴミ置き場がペットボトルで溢れて困っています。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	感染者への差別、風評被害にあわないような対策を検討してほしいです。	女性	40 歳～49 歳	中央地域

IV 調査票

武蔵野市民意識調査

市民の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多大なご協力をいただき、併せて御礼申し上げます。

市では、将来の基本目標や重要施策を定める「長期計画」を市民参加によって策定し、市政運営を進めています。

このたび、令和2年度を初年度とする第六期長期計画に掲げられている広聴の充実を踏まえ、武蔵野市にお住まいの皆さまが市政に対してどのようなご意見をお持ちかがうため、市民意識調査を実施いたします。

調査の実施にあたっては、令和2年8月14日現在、満18歳以上の市民の方3,500人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。ご記入いただいた内容は、無記名のうえ、すべて統計的に処理いたしますので、個々の方のご回答内容や個人情報特定されることは一切ございません。ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年9月

武蔵野市長

松下 玲子

【回答のしかた】 次の2つの方法からいずれか1つを選び回答してください。

1. 調査票（この冊子）に直接記入し郵送（返信用封筒を同封しております。）
2. パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答
→別紙「オンライン回答のご案内」をご覧ください。

＜調査票記入上のご注意＞

- ◆ 封筒の宛名のご本人がお答えください。
- ◆ ご記入は、濃いえんぴつまたはボールペン・万年筆でお願いいたします。
- ◆ お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。
- ◆ お答えは、設問ごとに（○は1つ）（○はいくつでも）などと指定されていますので、ご注意ください。
- ◆ 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。

ご記入が済みました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、

9月18日（金）までに ご投函ください。

封筒に入れる際は、線に沿って三つ折りにしてください

○市政全般に関する質問

P1～P9

○新型コロナウイルス感染症に関する質問

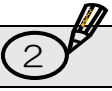
P10～P14

はじめに、お住まいの地域のことについてうかがいます

問1 あなたが現在住んでいるところに住みはじめた理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 公園などが整備され、緑が比較的多い	11. 治安がよい
2. 道路その他の都市インフラが整っている	12. 防災、防火対策が進んでいる
3. 文化・スポーツなどの施設が整っている	13. 騒音などの公害が少ない
4. 交通の便がよい	14. 商業や事業に有利
5. 買い物が便利	15. 家賃や生活費が手ごろ
6. 子育てや子どもの教育の環境が整っている	16. 親族が住んでいる
7. 高齢者や障がい者などの施設が充実している	17. 生まれ育った地域である
8. 健康・医療施設が整っている	18. 通勤・通学先に近い
9. 芸術や文化に触れる機会が多い	19. 社宅・寮がある
10. 市政に参加する機会が多い	20. その他()

問2 あなたは、お住まいの周りの環境についてどう思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	よい	まあよい	あまり よくない	わるい
例 ●○について→	1	2 	3	4
1. 地域の治安・安全性	1	2	3	4
2. 騒音や振動	1	2	3	4
3. 公園や緑の多さ	1	2	3	4
4. 防災や災害時の避難	1	2	3	4
5. 道路整備の状況	1	2	3	4
6. 日常の利便性 (買物・通勤など)	1	2	3	4
7. 近所づきあい・地域活動	1	2	3	4
8. 文化施設・スポーツ施設	1	2	3	4
9. まち並みや景観・美観	1	2	3	4
10. 全体的な雰囲気	1	2	3	4

問3 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 住み続けたい | 4. わからない → 問4にお進みください |
| 2. 市内の他のところへ移りたい | |
| 3. 武蔵野市以外のところへ移りたい | |

問3で「1」もしくは「2」に○をつけられた方にお尋ねします。

問3-1 武蔵野市内に住み続けたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 公園などが整備され、緑が比較的多い | 11. 市政に参加する機会が多い |
| 2. 道路その他の都市インフラが整っている | 12. 治安がよい |
| 3. 文化・スポーツなどの施設が整っている | 13. 防災、防火対策が進んでいる |
| 4. 交通の便がよい | 14. 騒音などの公害が少ない |
| 5. 買い物が便利 | 15. 商業や事業に有利 |
| 6. 近所づきあいなど、人間関係がよい | 16. 家賃や生活費が手ごろ |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っている | 17. 親族が住んでいる |
| 8. 高齢者や障がい者などの施設が充実している | 18. 生まれ育った地域である |
| 9. 健康・医療施設が整っている | 19. 仕事や通学に便利である |
| 10. 芸術や文化に触れる機会が多い | 20. その他 () |

問3で「3」に○をつけられた方にお尋ねします。

問3-2 武蔵野市外に移りたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 公園などが整備されず、緑が不十分である | 11. 市政に参加する機会が少ない |
| 2. 道路その他の都市インフラが整っていない | 12. 治安がよくない |
| 3. 文化・スポーツなどの施設が整っていない | 13. 防災、防火対策が遅れている |
| 4. 交通の便がわるい | 14. 騒音などの公害に悩まされている |
| 5. 買い物が不便 | 15. 商業や事業に不利、不向き |
| 6. 近所づきあいなど、人間関係がわるい | 16. 家賃や生活費が高い |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っていない | 17. 親族が住んでいない |
| 8. 高齢者や障がい者などの施設が不十分である | 18. 生まれ育った地域に戻りたい |
| 9. 健康・医療施設が整っていない | 19. 仕事や通学に不便である |
| 10. 芸術や文化に触れる機会が少ない | 20. その他 () |

問4 あなたは、武蔵野市全体のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。

また、お住まいの地域のできごとや動きについてはいかがですか。(○はそれぞれ1つ)

	非常に 関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
武蔵野市全体について	1	2	3	4
お住まいの地域について	1	2	3	4

問5 あなたは日頃、近所の方とどの程度のおつきあいをされていますか。(○はいくつでも)

1. 会えばあいさつする
2. 会えば立ち話する
3. ときどき食事をしたり、出かけたりすることがある
4. 互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする
5. 互いの家に行って、おしゃべりや飲食をする
6. ほとんどつきあいはない

問5で「1」～「5」に○をつけられた方にお尋ねします。

問5-1 どのようなきっかけで、近所の方とのつながりができましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 日常生活の中で | 5. 地域のボランティア活動を通じて |
| 2. 保育園、幼稚園、学校などを通じて | 6. 地域の集会や会合、イベントなどで |
| 3. 趣味やスポーツ、習い事などを通じて | 7. 友人、知人を通じて |
| 4. コミュニティセンターで | 8. その他() |

問5で「6」に○をつけられた方にお尋ねします。

問5-2 近所の方とのつきあいが無い理由は何でしょうか。(○はいくつでも)

1. つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない
2. 仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない
3. 職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している
4. 相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている
5. 自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない
6. 地域とのつながりを持つ必要がない
7. その他()

問6 あなたは、お住まいの地域とのつながりやコミュニケーションのために何かしていることがありますか。していることがない場合、今後したいと思っていますか。

(○はそれぞれ1つ)

	している	今はしていないが今後したい	これからもしたいと思わない
1. 日常的に気軽にあいさつや会話をする	1	2	3
2. 趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる	1	2	3
3. コミュニティセンターを利用する	1	2	3
4. 地域のお祭りやイベントなどに参加する	1	2	3
5. 集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う	1	2	3
6. 地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える	1	2	3
7. 防災・福祉・環境ボランティアなどの地域活動に参加する	1	2	3
8. 地域のリーダーや市の各種委員などになり、市政に参画する	1	2	3
9. 災害などいざというときに助け合う	1	2	3
10. その他()	1	2	3

問 7 防災・福祉・環境ボランティアなど、地域の活動に、より多くの人が参加するようになるために必要なことは何だと思われますか。(〇はいくつでも)

1. 活動内容を積極的に広報すること 2. 団体の情報がオープンになっていること 3. 市民が求める地域課題に沿って活動すること 4. 活動・行事の内容を魅力的にすること 5. 企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること 6. 活動と一緒にいる仲間や知り合いがいること 7. 活動に参加するときの役割や協力内容が明確化されていること 8. 地域の様々な人や団体との情報交換や交流の場があること 9. その他 ()
--

問 8 あなたは、武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていますか。(〇はそれぞれ1つ)

	感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	感じていない
武蔵野市全体について	1	2	3	4	5
お住まいの地域について	1	2	3	4	5

問 9 日頃、生活や身近な環境で困っていることや不安なことはありますか。(〇はいくつでも)

1. 自分や家族の病気や健康、介護のこと 2. 子どもの保育や教育のこと 3. 居場所や生きがいのこと 4. 収入や資産など経済的なこと 5. 進学、就職のこと 6. 結婚、妊娠、出産のこと 7. 老後に関すること 8. 事業や家業の経営のこと 9. 家族や親族との関係のこと	10. 近隣や地域との関係のこと 11. 交通環境に関すること 12. 住宅に関すること 13. 災害時のこと 14. 犯罪や防犯に関すること 15. その他 [] 16. 困っていることや不安なことはない
--	---

問 10 あなたは、困りごとがあるときに、だれに手伝ってもらいますか。(〇はいくつでも)

1. 配偶者 2. 子ども 3. 親 4. その他の家族・親族 5. 友人・知人	6. とおり近所の人 7. 職場の同僚 8. 市役所 9. 民間サービス	10. その他 () 11. 手伝いは必要ない 12. 手伝って欲しいが、頼む人がいない
--	---	---

問 11 あなたは、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(〇はいくつでも)

1. 配偶者 2. 子ども 3. 親 4. その他の家族・親族 5. 友人・知人 6. とおり近所の人	7. 職場の同僚 8. 市役所 9. 保育園、幼稚園、学校の先生 10. かかりつけ医 11. 民生委員・児童委員	12. 警察 13. 専門的な相談窓口、機関 14. その他 () 15. 相談はしない 16. 相談したいが、する人がいない
--	---	--

市政に関する情報提供などについてうかがいます

問 12 あなたは現在、武蔵野市の情報を十分に得られていると思いますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1. 十分に得られている |
| 2. 充分ではないが必要な情報は得られている |
| 3. あまり得られていない |

問 13 あなたは、市政に関するどのような情報を知りたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 保険・年金 | 8. 防犯・防災 |
| 2. 税金 | 9. 催し物・講座の情報 |
| 3. 福祉 | 10. 市の魅力・おすすめスポット |
| 4. 保健・医療 | 11. 市の財政状況 |
| 5. 子育て・教育 | 12. 市内施設の開館日・空き状況等 |
| 6. ごみ・リサイクル | 13. その他 () |
| 7. 文化・スポーツ | 14. 特にない |

問 14 市では、さまざまな手段(場所)で、武蔵野市の情報を発信しています。

あなたは、次の手段(場所)を知っていますか。また、利用していますか。それぞれの欄に○をご記入ください。(○はそれぞれ1つずつ)

情報を得ているもの	知っていて、 利用している	知っているが、 利用していない	知らない
1. 市報	1	2	3
2. 市のホームページ	1	2	3
3. ジェイコム東京むさしのシティニュース	1	2	3
4. むさしのFM	1	2	3
5. 季刊むさしの	1	2	3
6. 市のフェイスブック・ツイッター	1	2	3
7. YouTube(市動画チャンネル)	1	2	3
8. カタログポケット (言語ユニバーサル情報配信ツール)	1	2	3
9. 新聞・タウン誌など	1	2	3
10. 市役所や市政センターなど	1	2	3
11. コミュニティセンター	1	2	3
12. 近所の人などからの口コミ	1	2	3
13. その他 ()	1	2	3

現在の市の施策に対する満足度・重要度についてうかがいます

問 15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、【2】今後の重要度については可能な限りご回答ください。

【1】現在の市の施策・事業の実施状況、または今後実施予定の施策・事業に対し、どの程度満足していますか。

満足度を判断できない場合は「5 わからない」に○をしてください。

【2】これからの市政を進める上で、どの程度重要だと思いますか。

(○は項目ごとに満足度・重要度それぞれ1つ)

		【1】現在の満足度					【2】今後の重要度				
		満足	満足 ある 程度	あ ま り な い 満 足	不 満 足	わ か ら な い	重 要	重 要 あ る 程 度	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い	
例	施策・事業の名称 取り組み事例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
健康・福祉	1. 地域福祉 ●地域の見守りネットワーク ●災害時要援護 ●生活困窮者支援 ●シニア支え合いポイント制度 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	2. 高齢者福祉 ●介護保険 ●認知症対策 ●見守り支援 ●施設整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	3. 障がい者福祉 ●相談事業 ●雇用や就労支援 ●施設整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	4. 健康づくり ●各種検診や予防接種 ●身体やこころの健康づくり ●介護予防、食育 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
子ども・教育	5. 子育て支援 ●待機児童対策 ●0123施設 ●生活困窮家庭支援 ●ファミリー・サポート・センター など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	6. 青少年施策 ●地域子ども館学童クラブ・あそべえ ●むさしのジャンボリー、プレーパーク など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	7. 小・中学校教育 ●セカンドスクール●特別支援教育 ●教育相談 ●不登校対策 ●教育環境の ICT 化 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	

		【１】現在の満足度					【２】今後の重要度				
		満足	満足 ある程度	あまり していない	不満 足	わからない	重要	重要 ある程度	あまり でない	あまり 重要	重要でない
平和・文化・市民生活	8. 市民参加・市民活動 ●コミュニティセンター ●委員会委員への公募や会議の公開 ●NPOの支援 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	9. 平和・多文化共生・国内外交流 ●平和啓発事業 ●人権擁護 ●男女平等施策 ●友好都市との交流事業 ●外国籍市民の支援 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	10. 文化・学習・スポーツ ●生涯学習支援 ●図書館、武蔵野プレイス ●文化、スポーツ施設 ●ふるさと歴史館 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	11. 産業・消費生活 ●産業の活性化、創業支援 ●農業振興、農地保全 ●消費者相談 ●都市観光 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	12. 災害対策 ●防災訓練、防災体制の強化 ●建築物の耐震化 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	13. 安全対策 ●防犯対策、パトロール ●環境浄化（風俗産業による生活環境悪化の防止） など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
緑・環境	14. エネルギー・資源 ●省エネ、創エネ設備の推進 ●雨水の利活用 ●資源の循環的利用の推進 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	15. 緑化・水辺空間 ●公園、緑地整備 ●民有地の緑の保全 ●生物多様性の保全 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	16. ごみ ●レジ袋削減 ●クリーンセンター ●ごみ減量、リサイクル など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	17. 生活環境 ●生活公害の低減 ●放射線対策 ●喫煙マナー向上 ●まちの美化 ●環境に関する情報提供 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	

		【１】現在の満足度					【２】今後の重要度			
		満足	満足 ある程度	あまり満足 していない	不満足	わからない	重要	重要 ある程度	あまり重要 でない	重要でない
都市 基 盤	18. まちづくり・都市整備 ●都市景観 ●三駅周辺整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	19. 交通・道路 ●安全な道路空間づくり ●ムーバス ●外環への対応 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	20. 自転車対策 ●駐輪場、自転車走行空間の整備 ●自転車交通安全教育 ●放置自転車対策 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	21. 上・下水道 ●下水道施設の再整備 ●安全でおいしい水の安定供給 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	22. 住宅政策 ●公営住宅、高齢者向け住宅 ●分譲マンション管理支援 ●空き家対策、耐震化助成 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
行 財 政	23. 行財政改革 ●健全財政、職員育成、事務効率化 ●自治基本条例の制定 ●市有地の有効活用 ●民間との連携 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	24. 情報の収集・発信 ●広報の充実 ●情報セキュリティの徹底 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
25. 施策全般の総合的な満足度		1	2	3	4	5				

問 16 市政の現状や問題点についてあなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ 1 つ)

	そう 思う	ややそ う思う	あまり そう思 わない	そう思 わない	わから ない
1. 全体として、いまの武蔵野市政は、うまく いっている	1	2	3	4	5
2. 市民は、自分たちの意見を市政に反映させ るように努力している	1	2	3	4	5
3. 市政には自分たちの意見が反映されてい ると感じられる	1	2	3	4	5
4. 市政は、取り組む内容を誰がどのように決 めているのかわかりにくい	1	2	3	4	5
5. 多様な市民ニーズにこたえるために、市民 の負担を増やしても行政サービスを拡大・ 充実させるべきだ	1	2	3	4	5
6. よりよいまちづくりのためには、自分たちで できることは自分たちで行い、解決できない ことは行政と一緒に取り組むべきだ	1	2	3	4	5

問 17 武蔵野市は、これからどのようになれば、より魅力的で活力あふれる都市（まち）にな
ると思いますか。(○は 3 つまで)

1. 日頃から文化や芸術に触れあえるまち 2. 静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち 3. 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち 4. 年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち 5. 医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち 6. 誰もが学びたいときに学べる、生涯学習環境が整ったまち 7. 市民参加、地域参加、ボランティアなどが盛んな市民力の高いまち 8. 個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち 9. 商工業がさかんな産業都市 10. ごみの発生抑制やエネルギーの地産地消により、環境に配慮した持続可能なまち 11. 治安が良く災害に強い安全なまち 12. 行政サービスに人工知能や ICT 関連技術などを取り入れた先進都市 13. 全ての人がその個性と能力を生かせる多様性が尊重されるまち 14. その他 ()

新型コロナウイルス感染症に関する情報提供などについてうかがいます

問 18 以下に挙げた項目について、情報を十分に得られているかをお答えください。
判断できない場合は「5 わからない」に○をしてください。（○はそれぞれ1つ）

		現在の満足度				
		1 れている 十分に得ら れている	2 が十分に 必要により 得られている	3 れていない あまり得ら れていない	4 全く得られ ていない	5 わからない
例	情報の内容 ……………→	①	2	3	4	5
	1. 保健・医療（感染症に関すること、PCR検査など）	1	2	3	4	5
	2. 福祉	1	2	3	4	5
	3. 子育て（経済的支援以外）	1	2	3	4	5
	4. 教育（経済的支援以外）	1	2	3	4	5
	5. 防犯・防災	1	2	3	4	5
	6. 文化・スポーツ	1	2	3	4	5
	7. 個人向け経済的支援	1	2	3	4	5
	8. 事業者向け経済的支援	1	2	3	4	5
	9. ごみ・リサイクル	1	2	3	4	5
	10. 都市基盤の整備（道路、交通、上下水道など）	1	2	3	4	5
	11. 行政手続きの電子化（オンライン申請など）	1	2	3	4	5
	12. その他（ ）	1	2	3	4	5
	13. 情報提供の総合的な満足度	1	2	3	4	5

問 19 市では、さまざまな手段（場所）で、本市の新型コロナウイルス感染症の情報を発信しています。
以下の手段（場所）であなたが、実際に情報を得たものに○をしてください。
（○はいくつでも）

1. 市報	8. 市役所や市政センター等
2. 市のホームページ	9. インターネット
3. 市のフェイスブック	10. テレビ
4. 市のツイッター	11. ラジオ
5. YouTube（市動画チャンネル）	12. 新聞
6. むさしのFM	13. 近所の人などからの口コミ
7. ジェイコム東京むさしのシティニュース	14. その他（ ）

市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度についてうかがいます

問 20 以下に挙げた項目について、現在の満足度をお答えください。

満足度を判断できない場合は「5 わからない」に○をしてください。

(○はそれぞれ1つ)

		現在の満足度				
		満足	満足 ある 程度	あまり 満足 して いない	不満 足	わ か ら な い
例	施策・事業の名称▶	1	2	3	4	5
経済的 支援策 について	1. 特別定額給付金（1人当たり10万円給付）	1	2	3	4	5
	2. 武蔵野市感染拡大防止中小企業者等緊急支援金	1	2	3	4	5
	3. 中小規模事業者事業資金融資あっせん制度	1	2	3	4	5
	4. 市税等の支払い猶予	1	2	3	4	5
	5. 飲食店テイクアウト・デリバリー事業補助金	1	2	3	4	5
	6. 『エール!むさしの』（地域飲食店応援クラウドファンディングプログラム補助）	1	2	3	4	5
	7. 事業者支援「ほっとらいん」	1	2	3	4	5
	8. 感染拡大防止インフラ中小企業支援金	1	2	3	4	5
	9. 中小企業者等テナント家賃支援金	1	2	3	4	5
	10. 商店会活性出店支援金	1	2	3	4	5
	11. 令和3年度都市計画税の減税	1	2	3	4	5
	12. 国民健康保険税の減免	1	2	3	4	5
健康福 祉支 援策 について	13. 感染者数の公表	1	2	3	4	5
	14. 市独自PCR検査センターの設置	1	2	3	4	5
	15. 妊婦へのマスクの独自配布	1	2	3	4	5
	16. 市内の医療機関及びサービス事業者へのマスク等の配布	1	2	3	4	5
	17. ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援	1	2	3	4	5
	18. 住居確保給付金	1	2	3	4	5
	19. 国民健康保険・後期高齢者医療 傷病手当金	1	2	3	4	5
	20. 高齢者等緊急訪問介護の拡充（レスキューヘルパー）	1	2	3	4	5
	21. 福祉体制を維持するための支援金や慰労金	1	2	3	4	5

		現在の満足度				
		満足	満足 ある程度	あまり満足 していない	不満足	わからない
子育て支援策について	22. 市内の子育て支援施設へのマスク等配布	1	2	3	4	5
	23. 子ども・子育て応援券の拡充	1	2	3	4	5
	24. 学校の ICT 学習環境の拡充	1	2	3	4	5
	25. 学校・学童クラブの休校や保育園の休園	1	2	3	4	5
	26. 武蔵野市「子どもの食の確保」緊急対策補助金	1	2	3	4	5
	27. 子育て世帯への臨時特別給付金	1	2	3	4	5
	28. ひとり親家庭等支援臨時給付金	1	2	3	4	5
	29. 就学援助費	1	2	3	4	5
	30. 高等学校等修学給付金	1	2	3	4	5
その他	31. 公共施設の休館	1	2	3	4	5
	32. 統一的な対応方針の公表	1	2	3	4	5
33. 施策全般の総合的な満足度		1	2	3	4	5

問 21 あなたは、新型コロナウイルス感染症に関してどのような施策が重要だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 保健・医療	7. 個人向け経済的支援
2. 福祉	8. 事業者向け経済的支援
3. 子育て（経済的支援以外）	9. ごみ・リサイクル
4. 教育（経済的支援以外）	10. 都市基盤の整備（道路、交通、上下水道など）
5. 防犯・防災	11. 行政手続の電子化（オンライン申請など）
6. 文化・スポーツ	12. その他（ ）

問 22 あなたが、新型コロナウイルス感染症の状況下で心配だったことや、負担であったことを教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 保育、育児 | 8. ICT 環境の不足 |
| 2. 介護 | 9. 自宅での学習、勤務場所の確保 |
| 3. 通院・買い物などの外出 | 10. 重要な予定への対応 |
| 4. 感染後の対応 | 11. 正確な情報の入手 |
| 5. 感染症予防商品の欠品 | 12. 運動不足、体力の低下 |
| 6. 日用品の欠品 | 13. その他 () |
| 7. 収入の減少 | 14. 特にない |

問 23 あなたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令期間中(4/7～5/25)に、必要な外出(買い物等)をした場所に○をしてください。(○はいくつでも)

「4. 市外」を選んだ方は、かっこ内の該当地域を選択してください。該当地域がない場合は、その他にご記入ください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 吉祥寺駅付近 |
| 2. 三鷹駅付近 |
| 3. 武蔵境駅付近 |
| 4. 市外 (新宿・渋谷・立川 その他) |
| 5. 外出していない → 問 24 にお進みください |

問 23 で「1」～「4」に○をつけられた方にお尋ねします。

問 23-1 あなたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令期間中(4/7～5/25)に必要な外出(買い物等)をした回数(頻度)に○をしてください。(○は1つ)

- | |
|-------------------|
| 1. 毎日 |
| 2. 週 5～6 回 |
| 3. 週 3～4 回 |
| 4. 週 1～2 回 |
| 5. 2週間に1回もしくはそれ以下 |

問 23 で「1」～「4」に○をつけられた方にお尋ねします。

問 23-2 あなたの、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令期間中(4/7～5/25)の必要な外出(買い物等)の頻度は、通常時と比べてどのように変化しましたか。(○は1つ)

- | |
|----------|
| 1. 増加した |
| 2. 減少した |
| 3. 変わらない |

問 24 オンラインによる様々な活動のうち、以下の活動をしたことがありますか。活動したことがあるものに○をつけてください（○はいくつでも）。なお「10. その他」を選んだ方は、カッコ内に具体的な内容を記入してください。

※オンラインとは、インターネット等のネットワークに接続され、テレビ電話や会議などが利用できる状態のこと。

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 買い物（日用品・食料品） | 7. 講座・セミナー |
| 2. 買い物（その他） | 8. エンターテインメント（ライブやゲーム等） |
| 3. 食事の注文・配達 | 9. 家族・友人との交流 |
| 4. 手続き（申請、届出、問い合わせ等） | 10. その他（ ） |
| 5. テレワーク・Web会議 | 11. オンライン活動を行ったことがない
→問 25 にお進みください |
| 6. 学校の授業 | |

問 24 で「1」～「10」に○をつけられた方にお尋ねします。

問 24-1 問 24 で回答したオンラインによる活動のうち、新型コロナウイルス感染症拡大以降（おおむね令和 2 年 3 月以降）、利用する頻度・回数が増えたものに○をしてください（○はいくつでも）。なお「10. その他」を選んだ方は、カッコ内に具体的な内容を記入してください。

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 買い物（日用品・食料品） | 7. 講座・セミナー |
| 2. 買い物（その他） | 8. エンターテインメント（ライブやゲーム等） |
| 3. 食事の注文・配達 | 9. 家族・友人との交流 |
| 4. 手続き（申請、届出、問い合わせ等） | 10. その他（ ） |
| 5. テレワーク・Web会議 | 11. 利用する頻度・回数が増えたものはない |
| 6. 学校の授業 | |

問 25 オンラインによる様々な活動のうち、今後（新型コロナウイルス感染症を想定した日常において）も利用が促進されるべきと思うものに○をしてください（○はいくつでも）。なお「10. その他」を選んだ方は、カッコ内に具体的な内容を記入してください。

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 買い物（日用品・食料品） | 7. 講座・セミナー |
| 2. 買い物（その他） | 8. エンターテインメント（ライブやゲーム等） |
| 3. 食事の注文・配達 | 9. 家族・友人との交流 |
| 4. 手続き（申請、届出、問い合わせ等） | 10. その他（ ） |
| 5. テレワーク・Web会議 | 11. 特にない |
| 6. 学校の授業 | |

市政についてのご意見・ご要望、市政に対するアイデアなどがありましたら、ご自由にご記入ください。

新型コロナウイルス感染症に関する市の政策についてのご意見・ご要望などはこちらにご記入ください。

統計処理のため、以下の項目にもお答えください

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

F 2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 18歳～19歳	4. 40歳～49歳	7. 70歳～79歳
2. 20歳～29歳	5. 50歳～59歳	8. 80歳以上
3. 30歳～39歳	6. 60歳～69歳	

F 3 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

1. 自営業・自由業	5. 家事専業
2. 正社員、正職員	6. 学生
3. 契約社員、派遣社員	7. 無職
4. アルバイト、パート	8. その他（ ）

F 4 あなたは現在、結婚をしていますか。(○は1つ)

1. 現在、結婚している	3. 過去に結婚し、死別した
2. 過去に結婚し、離別した	4. 一度も結婚したことはない

F 5 あなたの（同居している）家族構成をお答えください。(○は1つ)

1. ひとり暮らし	4. 親と子と孫（3世代世帯）
2. 夫婦のみ	5. その他（ ）
3. 親と子（2世代世帯）	

（F 5で「3」、「4」とお答えの方に）

F 5-1 お子さんの状況をお答えください。(○はいくつでも)

1. 小学校入学前	5. 専門学校、短期大学、大学生等
2. 小学生	6. 社会人
3. 中学生	7. その他（ ）
4. 高校生	

F 6 同居のご家族に高齢や障がい等で介護の必要な方はいますか。(○は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

F 7 職場・学校等、あなたが平日の日中に最も多くの時間を過ごす場所はどこですか。
(○は1つ)

1. 武蔵野市内	3. 東京都23区内
2. 武蔵野市以外の東京都の市町村	4. 東京都外

F 8 武蔵野市内での合計の居住年数をお答えください。(○は1つ)

1. 1年未満	4. 10年～15年未満
2. 1年～5年未満	5. 15年～20年未満
3. 5年～10年未満	6. 20年以上

F 9 現在お住まいの町名をお答えください。(○は1つ)

1. 吉祥寺東町	6. 中町	11. 境
2. 吉祥寺南町	7. 西久保	12. 境南町
3. 御殿山	8. 緑町	13. 桜堤
4. 吉祥寺本町	9. 八幡町	
5. 吉祥寺北町	10. 関前	

F 10 現在お住まいの住宅の種類をお答えください。(○は1つ)

1. 持ち家(戸建て)	3. 借家(戸建て)	5. 社宅・寮
2. 持ち家(マンション等の集合住宅)	4. 借家(マンション・アパート等の集合住宅)	6. その他(福祉施設など)

F 11 あなたの世帯全体の令和元年中の収入額はどのくらいでしたか。(○は1つ)

※収入には年金や財産収入等を含め、世帯で同居されている方全体の収入(税金や保険が引かれる前の金額)でお答えください。

1. 収入なし	6. 700～1,000万円未満
2. 100万円未満	7. 1,000～1,500万円未満
3. 100～300万円未満	8. 1,500万円以上
4. 300～500万円未満	9. わからない
5. 500～700万円未満	

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、

9月18日（金）までに ご投函ください。

※ 無記名による調査ですので、調査票や返信用封筒には住所や氏名を書かないでください。

<調査についてのお問い合わせ先>

武蔵野市役所 市民部 市民活動推進課 市民相談係
電話：0422-60-1829（直通） 担当／森本・山岸

令和2(2020)年度
武蔵野市民意識調査

発行 令和3年(2021)3月

発行 武蔵野市 市民部 市民活動推進課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2丁目2番28号
電 話 0422-60-1829(直通)

実施 株式会社 文化科学研究所
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-43-7 光ビル4F
電 話 03-5354-6180(代)